

## 第6節 中・近世の遺構と遺物

### 1 調査の概要

3区から6区の各調査区においては表土層を除去し、浅間B混土層を確認面とした遺構確認作業を行った。調査時にはこの遺構確認面を1面と呼称している。

地形は奈良・平安時代の遺構確認面を基本的には踏襲していた。3区、4-I区では西から東に向かって緩やかな傾斜が見られた。4-II区、4-III区では傾斜の向きが南東から南方向に向かっていた。

5区、6区では自然流路の埋没が進行しているものの平坦になるには至らず、6区では0.5m程の段差が残されていたようである。

区ごとの遺構検出状況を記すと、3区では井戸1基、溝6条、土坑3基が検出された。

4区では溝13条、土坑4基、ピット38本を検出した。低位部の4-III区では遺構の検出は全くなかった。

5区では溝21条、土坑8基、柵列3条を検出した。

6区では井戸1基、溝8条、土坑9基、ピット5本を検出した。

遺構外出土の遺物としては中・近世の陶磁器23点、砥石1点、鉄砲玉1点、古銭2点が出土している。鉄製品で時期の断定できないものは第5節(9)に含めて掲載している。

### 2 柵列

#### 概要

5区2面の南側寄りで3条を確認した。柵列とは調査時の呼称であるが、ピットの形状からは柵列ではなく耕作痕、あるいは溝底部の残存痕のようにも考えられる。

#### 5区1号柵列(第473図、P L 74)

位置 440-360 ~ 375

重複 重複関係は認められない。

形状 東西方向に列をなすピット状の掘り込みを23基検出した。確認面は浅間B混土層である。両端の間隔は直線距離で16.86mである。P 1からP 16までは弱く蛇行するものの直線を指向しているように見える。列の方向はE-2°-Sである。P 16からP 21までは北方向に振れている。この部分の列の方向はE-20°-Sである。西端寄りのP 21からP 23の3基はP 1からP 16までとほぼ同じ方向に戻っている。

個々のピットは、平面形が南北方向に長軸を有するものである。ピット間隔は66から78cmである。P 10とP 11、P 20とP 21の間は他より間隔開いている。この間に1基分が削平を受けている可能性が考えられる。

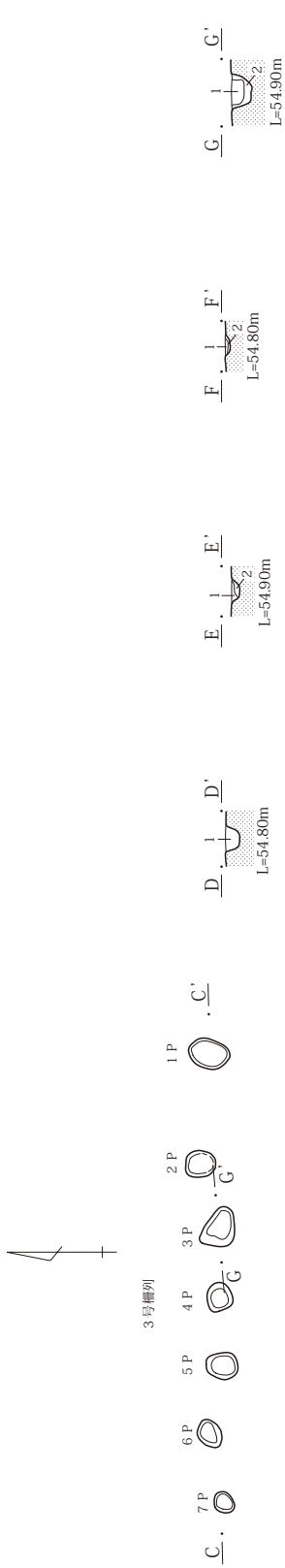
柱穴 個々のピットの規模(長径×深さ)は以下のようなものである。P 1は61×7cm、P 2は53×5cm、P 3は55×6cm、P 4は62×10cm、P 5は55×7cm、P 6は46×13cm、P 7は48×13cm、P 8は53×11cm、P 9は43×6cm、P 10は59×10cm、P 11は37×6cm、P 12は44×9cm、P 13は41×9cm、P 14は45×4cm、P 15は37×3cm、P 16は38×5cm、P 17は32×6cm、P 18は33×7cm、P 19は36×4cm、P 20は33×8cm、P 21は38×6cm、P 22は32×9cm、P 23は36×5cmである。埋没土は上層に浅間B軽石を混土した灰褐色砂質土が、下層に灰褐色粘土質土が堆積していた。調査時の所見では下層下部には植物が炭化したと考えられる堆積物が認められたとされる。埋没土の状況は2号柵列、3号柵列にも共通する内容である。所見 詳細な掘削時期を知ることは困難であった。

#### 5区2号柵列(第473図、P L 74)

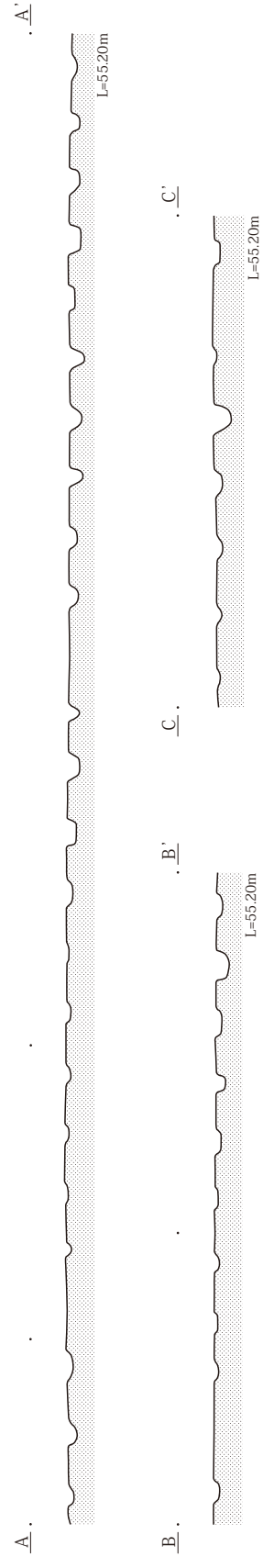
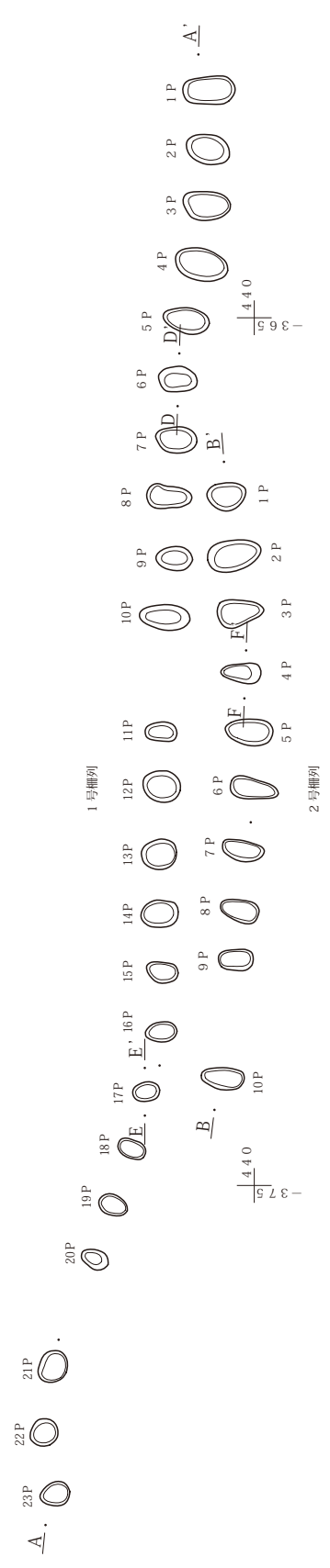
位置 435、440-365、370

重複 重複関係は認められない。

形状 1号柵列の南側で検出された。東西方向に列をなすピット状の掘り込みを10基検出した。確認面は2面上面、浅間B混土層である。両端の間隔は直線距離で6.73mである。P 6を頂点とする折れ線あるいは弧状の配列が認められた。列の方向はP 1



- 1 灰褐色砂質土 A s-B混。
- 2 灰褐色粘質土 灰褐色粘質土主体。2層下部に植物炭化物と思われる堆積あり。



第473図 1面5区柵列 1-3号

からP 6まではE-4°-N、P 6からP 10まではE-7°-Sである。

個々のピットは、1号柵列と同様、平面形が南北方向に長軸を有するものである。P 21以西は円形に近づいている。ピット間の間隔は65から71cmである。P 9とP 10の間は他より間隔が開いている。この間に1基分が削平を受けている可能性が考えられる。柱穴 個々のピットの規模(長径×深さ)は以下のようなものである。P 1は46×7cm、P 2は53×9cm、P 3は53×3cm、P 4は47×7cm、P 5は55×5cm、P 6は56×2cm、P 7は50×5cm、P 8は46×2cm、P 9は40×6cm、P 10は51×8cmである。埋没土は1号柵列と同様である。

所見 詳細な掘削時期を知ることは困難であった。

### 5区3号柵列(第473図、P L 74)

位置 440、445-370、375

重複 重複関係は認められない。

形状 1号柵列の北側で検出された。両者の間隔は2.86mである。東西方向に列をなすピット状の掘り込みを7基検出した。確認面は2面上面、浅間B混土層である。両端の間隔は直線距離で4.90mである。小さく蛇行するものの基本的には直線を指向していたようである。列の方向はE-1°-Nである。

個々のピットは、1号柵列、2号柵列とはやや異なり不整形円形が主体である。同様、平面形が南北方向に長軸を有するものである。ピット間の間隔は72から78cmである。P 9とP 10の間は他より間隔が開いている。この間に1基分が削平を受けている可能性が考えられる。

柱穴 個々のピットの規模(長径×深さ)は以下のようなものである。P 1は46×7cm、P 2は33×7cm、P 3は46×20cm、P 4は30×7cm、P 5は34×9cm、P 6は34×6cm、P 7は26×4cmである。埋没土は1号柵列と同様である。

所見 詳細な掘削時期を知ることは困難であった。

## 3 井戸

### 概要

本遺跡においては古墳時代から平安時代にいたる多数の住居を検出したものの、これに付随すると考えられる井戸は未検出である。3区で1基、6区で1基検出したものはいずれも1面におけるものである。

3区1号井戸は、調査区の中央、南端寄りで検出されたものである。周辺の調査区内にはピットの掘り込みはなく、屋敷地の存在を想定させるような資料は認められない。

6区1号井戸は、I区・II区の北半寄りで検出された。北側からピットが少数検出されている。11号溝によって画すると考えられる方形区画内に位置すると見ることできるが、その帰属を明らかにすることはできない。

### 3区1号井戸(第474・475図、P L 74・135)

位置 430、435-500、505

重複 3号、6号溝と重複する。

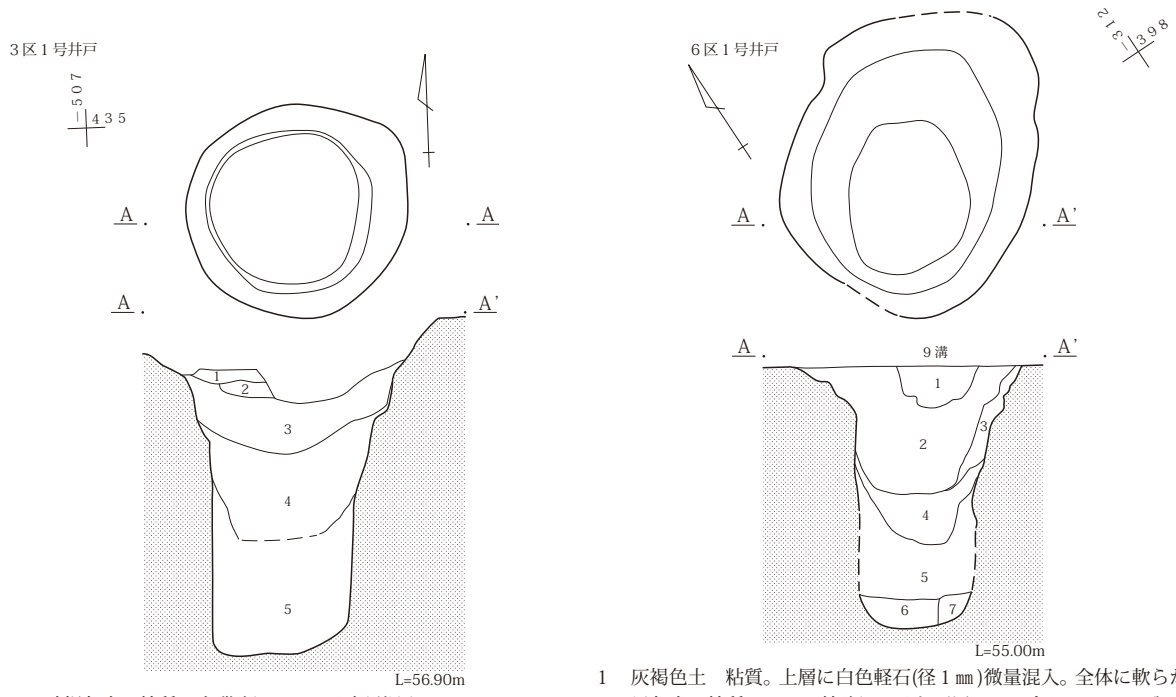
主軸方位 N-40°-W

形状 素掘りで、石積みや井桁などは残存していなかった。井筒の平面形はやや歪んだ円形を呈していた。断面形は上方に向かってわずかに開きながら立てあがっている。確認面から70cm程下位に弱い変換点を持ち、それから上位は外傾の割合を増している。規模は確認面の南北で1.70m、東西で1.75m、底面の南北で1.18m、東西で1.16m、深さ2.19mを測る。

埋没土 上層に浅間B軽石の混土層である黒褐色土が堆積していた。中層には暗褐色土が、下層には小礫を含む暗褐色土が堆積していた。

遺物 埋没土中から出土した須恵器甕の破片1と土錘2を資料化した。

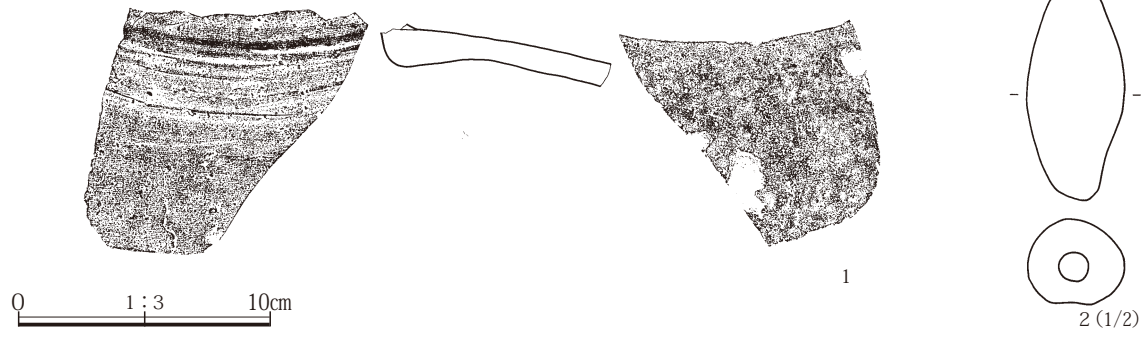
所見 透水層、不透水層に関する観察はなかった。出土した遺物は少量であり、混入品の可能性も考えられる。埋没土中に浅間B軽石の混土層が堆積していることから中世以降の所産と考えられる。



- 1 暗褐色土 粘質。小礫(径2～3mm)少量混入。
- 2 黒褐色土 砂質。As-B混土。
- 3 暗褐色土 粘質。焼土粒(径2～3mm)均一に10%混入。小礫(径10mm)を均一に10%混入。ロームブロック(径5mm)を均一に5%混入。
- 4 暗褐色土 粘質。小礫(径20～30mm)を均一に30%混入。
- 5 不明

- 1 灰褐色土 粘質。上層に白色軽石(径1mm)微量混入。全体に軟らかい。
- 2 黒色土 粘質。ローム粒(径1mm)を下層に10%含む。ロームブロック(径10～20mm)を少量5%混入。
- 3 灰褐色土 粘質。ローム粒(径1mm)を均一に20%混入。
- 4 暗黄褐色土 粘質。ローム粒(径1mm)を均一に40%混入。ロームブロック(径10mm)を少量10%混入。
- 5 黄褐色土 粘質。小礫(径10mm)を少量混入。
- 6 灰褐色土 粘質。砂(40%)と小礫の混土。小礫(径10mm)を50%混入。
- 7 灰褐色土 黄褐色土ブロック(径10～20mm)50%混入。

第474図 1面3区1井戸6区1井戸



第475図 1面3区1井戸出土遺物 1-2

**6区1号井戸 (第474図)**

位置 395-310、315  
 重複 調査所見では9号住居に先出する。  
 主軸方位 N-30°-W  
 形状 素掘りで、石積みや井桁などは残存していなかった。平面形は確認面、底面とも南北方向に長軸を有する長円形を呈していた。断面形は確認面から30cm程下位に変換点を持ち、これより上位は外傾著しく立ち上がる。変換点より下位は底面に向かって徐々に径を狭めるものの大きな変化は見られず、

筒状を呈していた。規模は確認面の長径が2.32m、短径が1.91m、底面の長径が1.20m、短径が0.95mを測った。深さは2.03mである。  
 埋没土 上層から黒色土、暗黄褐色土、黄褐色土が堆積、最下層には砂粒と小礫が混土状態を呈した灰褐色土が堆積していた。  
 遺物 全く出土しなかった。  
 所見 透水層、不透水層に関する観察はなかった。掘削時期を知ることは困難である。古代の所産との理解もある。

## 4 土坑

### 概要

1面の調査で検出された土坑は24基である。調査時には32基を土坑として認定したが、整理作業時に個々の内容を検討した結果、ここでは24基を報告する。検討の結果、報告から除外したものは4区67号から69号、71号、83号、5区4号、6区26号、33号の8基である。

これらの土坑については、各区の調査概要を報告、各土坑の平・断面図を掲載した。個々の土坑ごとに1基ずつ記述を行うことはかえって報告が煩雑になると考え、形態、規模の計測値などについては全体を一覧表にまとめて掲載した。形状、規模を見ていくと土坑とピットの区分の基準がやや不明瞭の感を受けられるが、これは調査時の遺構名称をそのまま継承して報告していることに起因するものである。

円形と長円形の区別は、便宜上、長軸と短軸の計測値の比率が1:1から1.1:1までを円形、1.1以上を長円形とした。

遺物の出土を伴うものは皆無であった。

以下、調査区ごとにその検出状況を示す。

3区では7号から9号土坑の3基が確認された。これらは、3号溝と6号溝が交差する地点の北西側に位置する。平面形は円形あるいは長円形である。掘り込みは浅く、断面形は皿状である。埋没土は浅間B混土を含む黒褐色土である。

4区では8号、77号、80号、82号の4基が検出された。8号土坑は、4-I区の南西部分で単独で確認された。他の3基は4-II区の西側部分から検出されたものでそれぞれが単独で掘り込まれていた。平面形は長円形を基本とするが、残存状態が不良なことも影響してかあまり明瞭な掘り込みとは言えない。80号を除く3基の埋没土が浅間B混土を含む黒褐色土あるいは暗褐色土である点は3区の事例と共通する。

5区では8基を検出した。検出されたのは調査区の北東部分、20号溝以北の微高地上である。1号土坑を除く7基が17号溝と20号溝の間に位置していた。これは両溝が土坑掘削時の土地利用、区割りになんらかの影響を与えていたためと考えることもできよう。平面形には円形、長円形のものが見られるが形状、規模などに統一性が見られないことから、これらの土坑が同時期に存在したものと考える必要はないようである。埋没土も暗褐色土、茶褐色土、黒褐色土とばらつきがある。浅間B混土の混入についての記録は見られない。

6区では9基を検出した。6区で土坑が検出されたのは6-III区だけで、I区、II区では未検出である。これらについても特に共通する要素を見出し難いものであった。24号や28号は平面の規模に対しやや深い掘り込みであった。27号は長辺の長い形状で、1面においては類例のないものであった。埋没土は黒褐色土で埋没していたものが6基と主体をなし、他に暗褐色土が堆積しているものが見られた。浅間B混土混入の記録は見られない。

### 5区6号土坑 (第478図、P L 75)

位置 500-395

重複 重複関係は見られない。

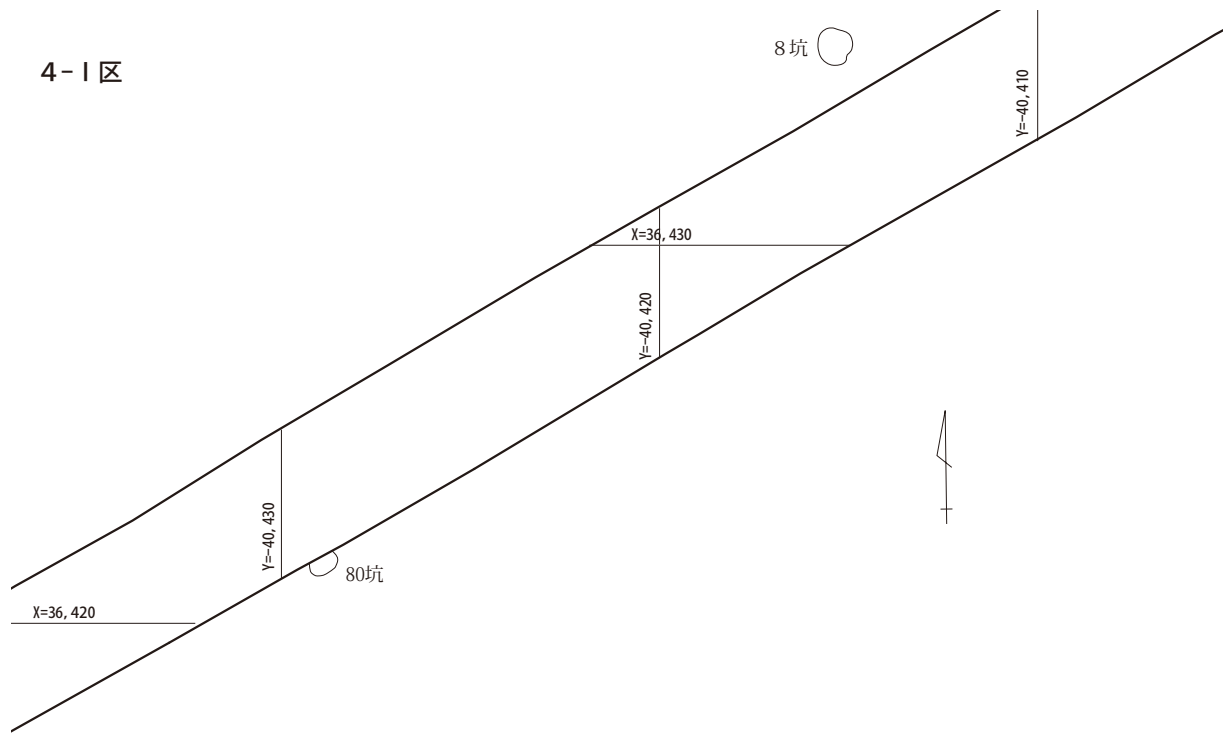
長軸方位 N-29°-E

形状 確認面は南西方向に向かって傾斜している。平面形は円形である。規模は長軸105cm、短軸98cmを測った。深さは72cmで、壁面は外傾弱く立ち上がる。

埋没土 上層に薄く茶褐色土が、底面近くには明褐色土が、その間は黒褐色土が厚く堆積していた。

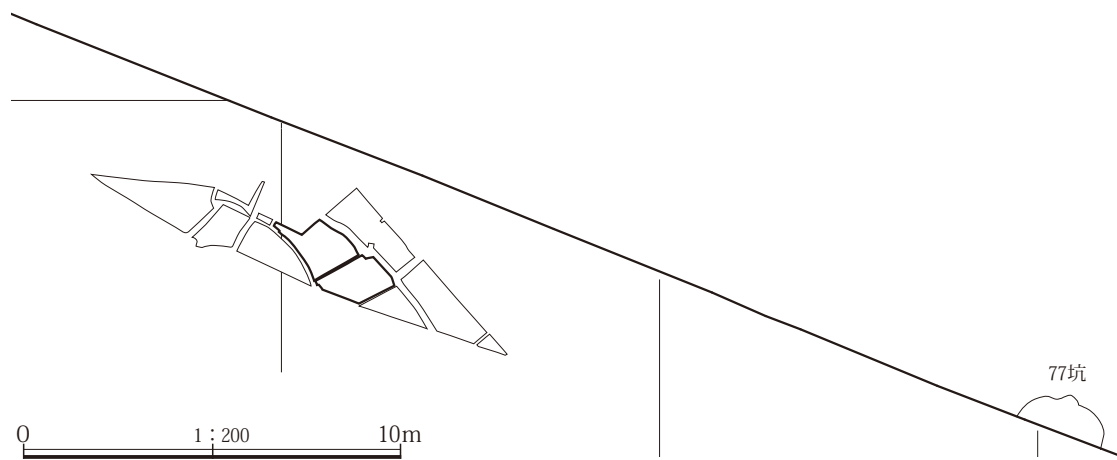
遺物 出土していない。

所見 掘削時期は不詳である。

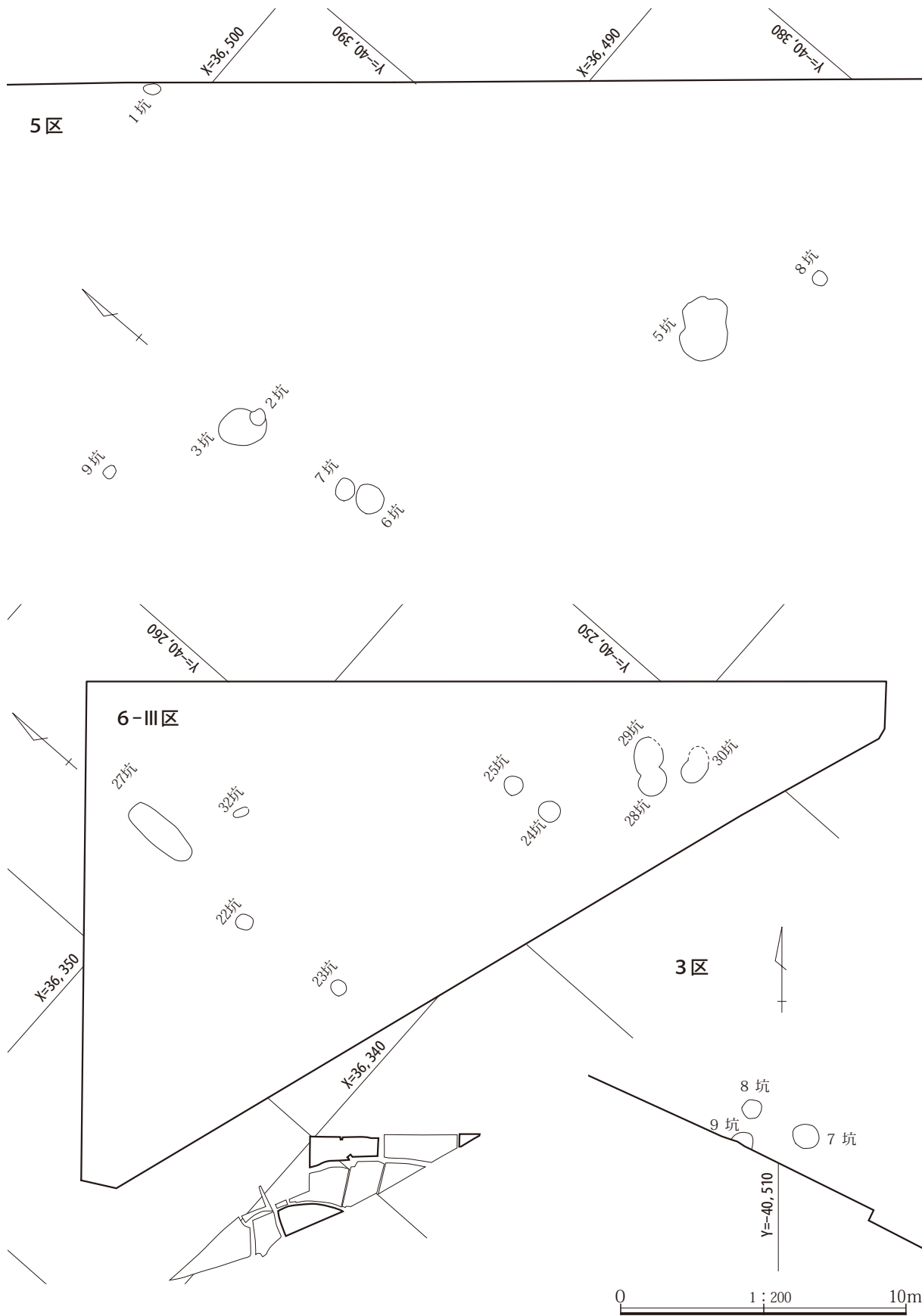


4-II区

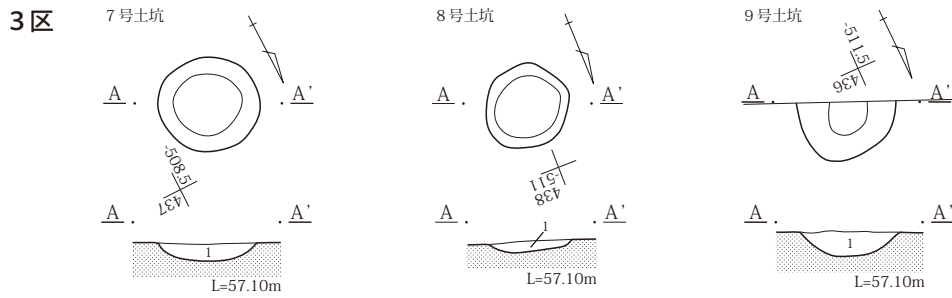
82坑



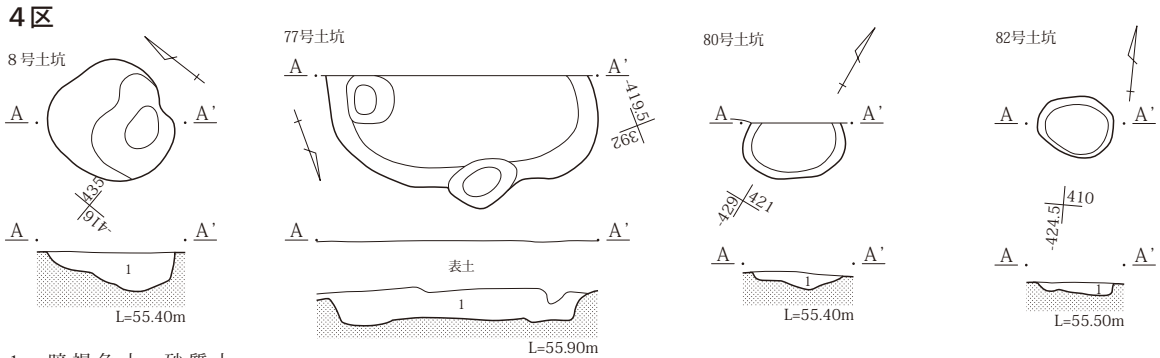
第476图 1面4-I区4-II区土坑分布



第477图 1面3区5区6-III区土坑分布



1 黒褐色土 砂質。As-B混土(70%)。焼土粒(径1~3mm)均一に10%混入。炭化物(径5mm)均一に10%混入。

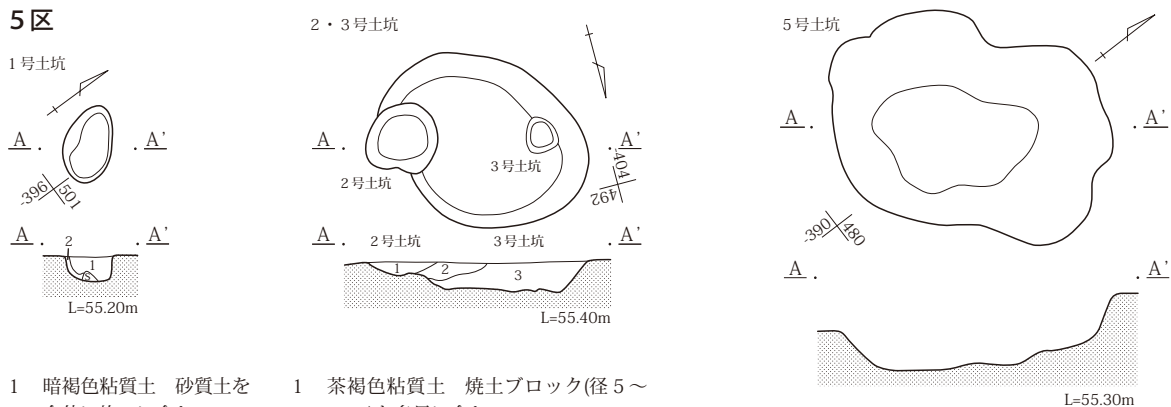


1 暗褐色土 砂質土 (As-B混土か)。ローム粒少量混入。

1 黒褐色土 As-B混土。ロームブロック(径20~50mm)少量混入。

1 暗褐色土やや砂質土炭化物・焼土粒少量混入。

1 黒褐色土 As-B混土。



1 暗褐色粘質土 砂質土を全体に均一に含む。

2 暗褐色粘質土 1層よりも明るい。砂質土なし。

1 茶褐色粘質土 焼土ブロック(径5~10mm)を多量に含む。

2 暗褐色粘質土 ロームブロック(径20~30mm)を多量に含む。

3 暗褐色粘質土 2層よりも褐色味強い。ロームブロック(径20~50mm)を多量に含む。

6号土坑

1 茶褐色粘質土 ローム粒(径2~5mm)を20%相当含む。

2 茶褐色粘質土 ローム粒(径2~10mm)を30%含む。焼土も含む。

3 黒褐色粘質土 ロームブロック(径3~20mm)を30%含む。

4 黒褐色粘質土 ローム粒(径1~5mm)とロームブロック(径5~20mm)を70%含む。

5 明褐色土 粘質土。黒褐色土ブロック混入。

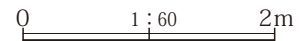
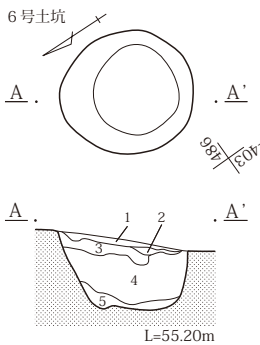
7号土坑

1 暗褐色粘質土 焼土粒(径2~5mm)を含む。

2 暗褐色粘質土 焼土なし。ローム粒(径5~10mm)を含む。

3 暗褐色粘質土 ロームブロック(径5~30mm)を多量に含む。

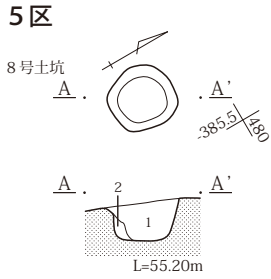
4 暗褐色粘質土 ローム土を全体に80%含む。



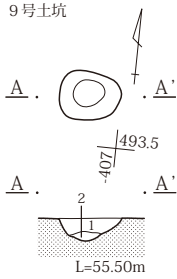
第478図 1面土坑 3区7号-5区7号



5区

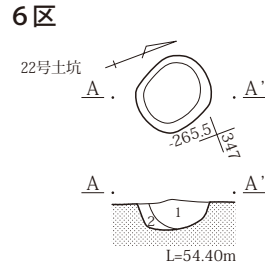


- 1 黒色土 粘質。白色軽石(径1mm)を均一に50%混入。
- 2 黄褐色粘質土 ロームブロック(径20~30mm)を50%混入。

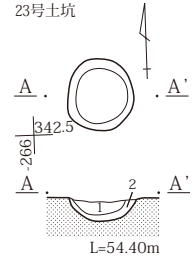


- 1 暗褐色土 やや粘質。ロームブロック(径10~50mm)30%混入。
- 2 黄褐色土 粘質。ロームブロック(径20~30mm)主体で暗褐色土が間に混入。

6区

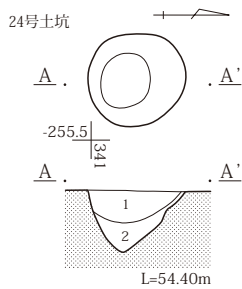


- 1 暗褐色土 粘質土。
- 2 暗褐色土 粘質土。ロームブロック・ローム土混入。

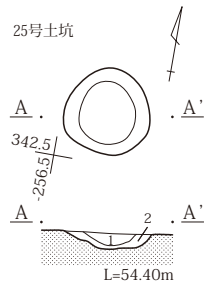


- 1 暗褐色土 粘質土。
- 2 暗褐色土 粘質土。ローム混入。

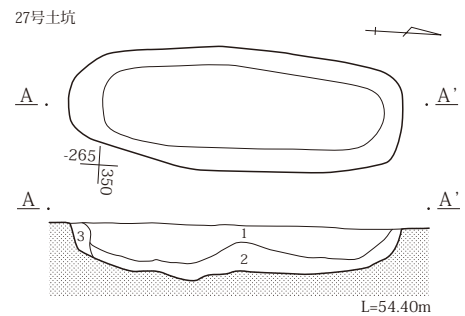
6区



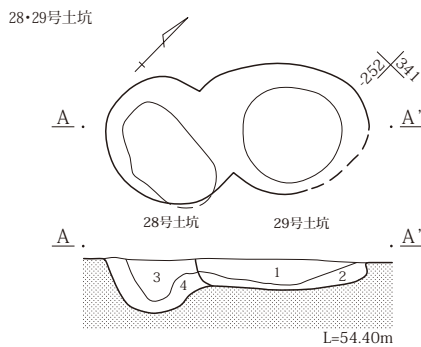
- 1 黒褐色土 ローム土少量混入。
- 2 黒褐色土 ロームブロック多量に混入。



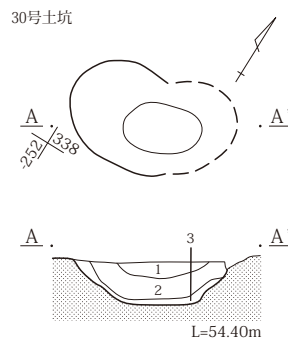
- 1 黒褐色土 ローム土少量混入。
- 2 黒褐色土 ローム土・ロームブロック多量に混入。



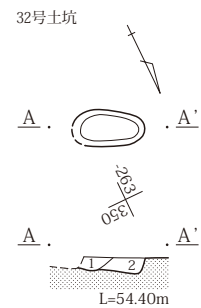
- 1 黒褐色土 ローム粒多量・ロームブロック少量混入。
- 2 黒褐色土 ローム粒・ロームブロック多量に混入。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(大粒)多量に混入。



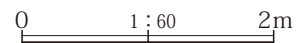
- 1 黒褐色土 ローム土極少量混入。(29号土坑)
- 2 黒褐色土 ローム土・ロームブロック多量に混入。(29号土坑)
- 3 黒褐色土 ロームブロック少量混入。(28号土坑)
- 4 黒褐色土 大きなロームブロック(径50mm前後)多量に混入。(28号土坑)



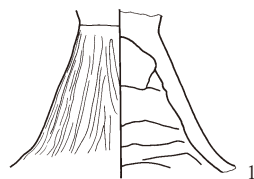
- 1 暗褐色土 ローム土少量混入。
- 2 黒褐色土 ローム土少量混入。
- 3 黒褐色土 ロームブロック(径50mm前後)多量に混入。



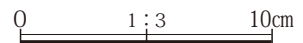
- 1 暗褐色土 ローム土少量混入。
- 2 褐色土 ローム土・ロームブロック混入。



第479図 1面土坑 5区8-6区32



第480図 1面5区3土坑出土遺物



## 5 ピット

### 概要

各調査区の1面で検出したピットは4区で38本、6区で5本の合計43本である。3区、5区では検出されていない。個々の情報については、第21表に掲載したとおりである。表中のピット番号は、各区の調査の進行にそって、一連の番号が付されていた。掲載は不連続で、欠番が生じているものがある。また、整理作業時に新たに番号を付したのものがある。以下、分布、形状、埋没土、出土遺物の順に確認された点を記しておく。

### 4区1面

#### 概要

4区1面を確認面としたピットは合計38本を検出した。

分布 ピットが検出されたのは4-I区とII区である。4-I区では調査区の南西部分、12号溝以西から29本を検出した。本調査区の確認面は西側から東側に向かって緩やかに傾斜しており、その高位部に分布が集中していた。分布状況は散在的であった。本区では同確認面上において土坑を検出することは無かった。現道を挟んで西側に位置する3区においてもピット、土坑の広がりには認められなかった。

4-II区では調査区の西側寄りから9本を検出した。立地的にはI区と共通しており、I区から続く緩傾斜地の高位部に位置しており、I区よりもさらに散漫な傾向にあった。

形状 平面形は整然としたものが少なく、不整形、長円形のものが多く見られた。四角形を基本とするものは認められない。深さはP67の6cmからP105の54cmまでであったが全体的には残存状態は不良で浅いものがあった。4-II区検出の事例は全体的に浅いものが多かった。柱痕が確認されものは無かった。埋没土 P1をはじめ暗褐色土が堆積しているものが多数見られたが、他にP13の黄褐色土や、P22の緑灰色土、P106の黒褐色土などの事例が確認され

ている。

遺物 資料化に足るものは出土していない。

所見 建物遺構の一部を構成するような状況は認められなかった。掘削時期、性格などについては不明である。

### 6区1面

#### 概要

6区1面を確認面としたピットは合計5本検出した。

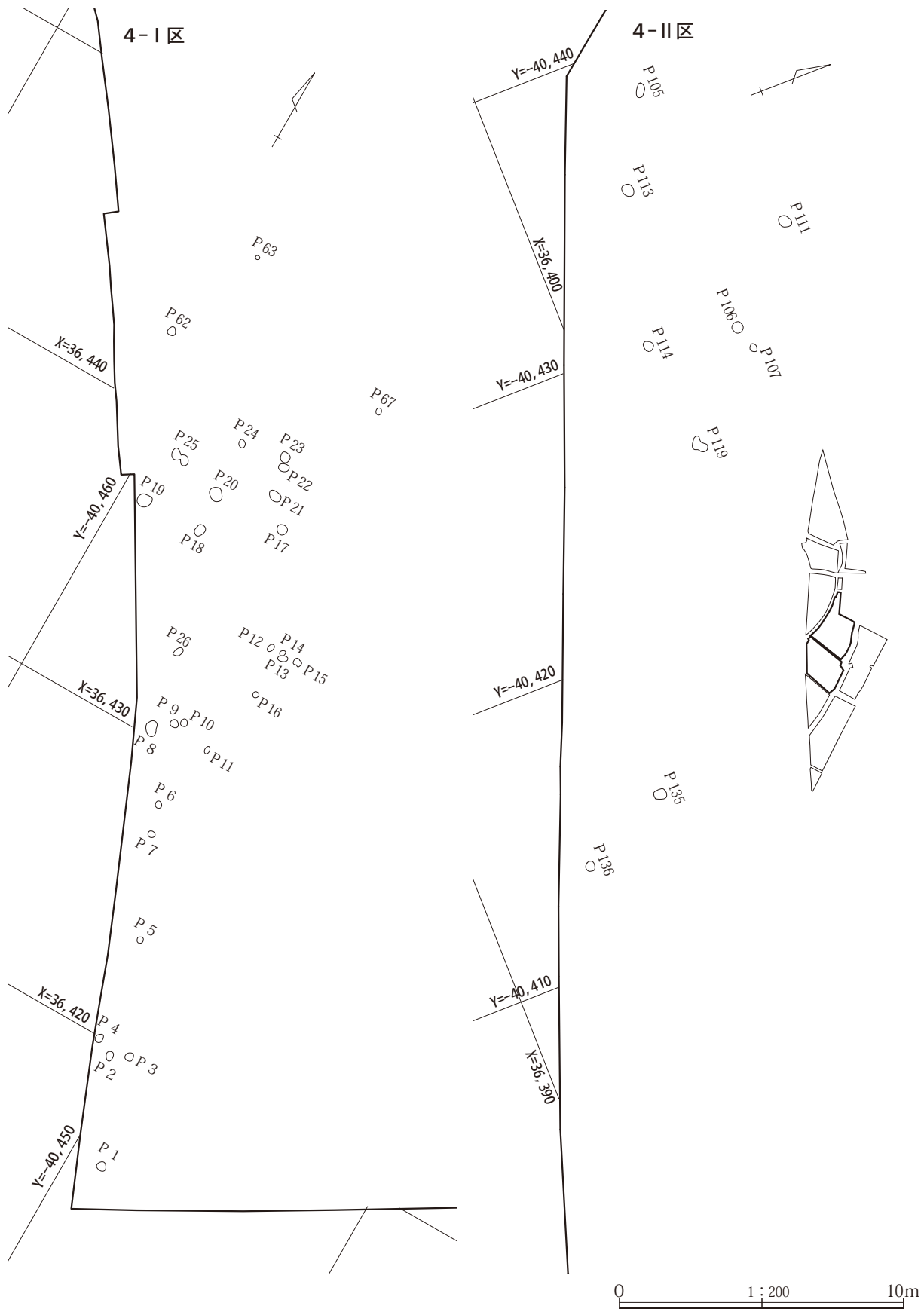
分布 ピットが検出されたのは調査区の南東端、6-III区のみである。これに続く6-I・II区では検出されていない。土坑は、調査区の中央で検出された8号溝を挟んだ東西両側で検出されたが、ピットも同様にP20が8号溝の西側から、他の4本は東側から検出である。

形状 平面形は円形あるいは長円形を呈していた。断面形はP21が比較的良好であったが、P24、P23は残存状態が不良であった。

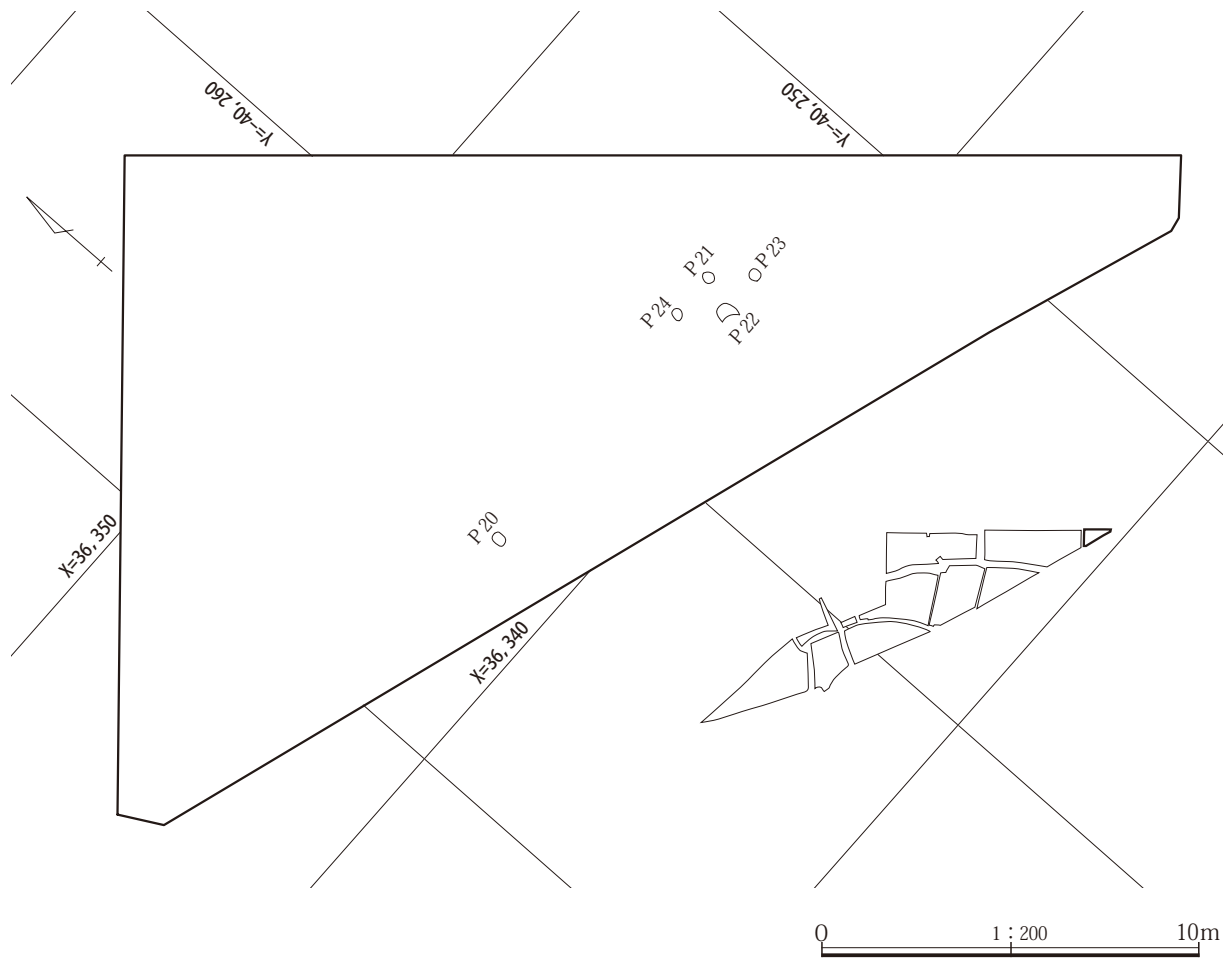
埋没土 黒褐色土、暗褐色土が堆積していた。

遺物 資料化に足るものは出土していない。

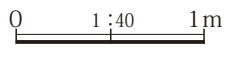
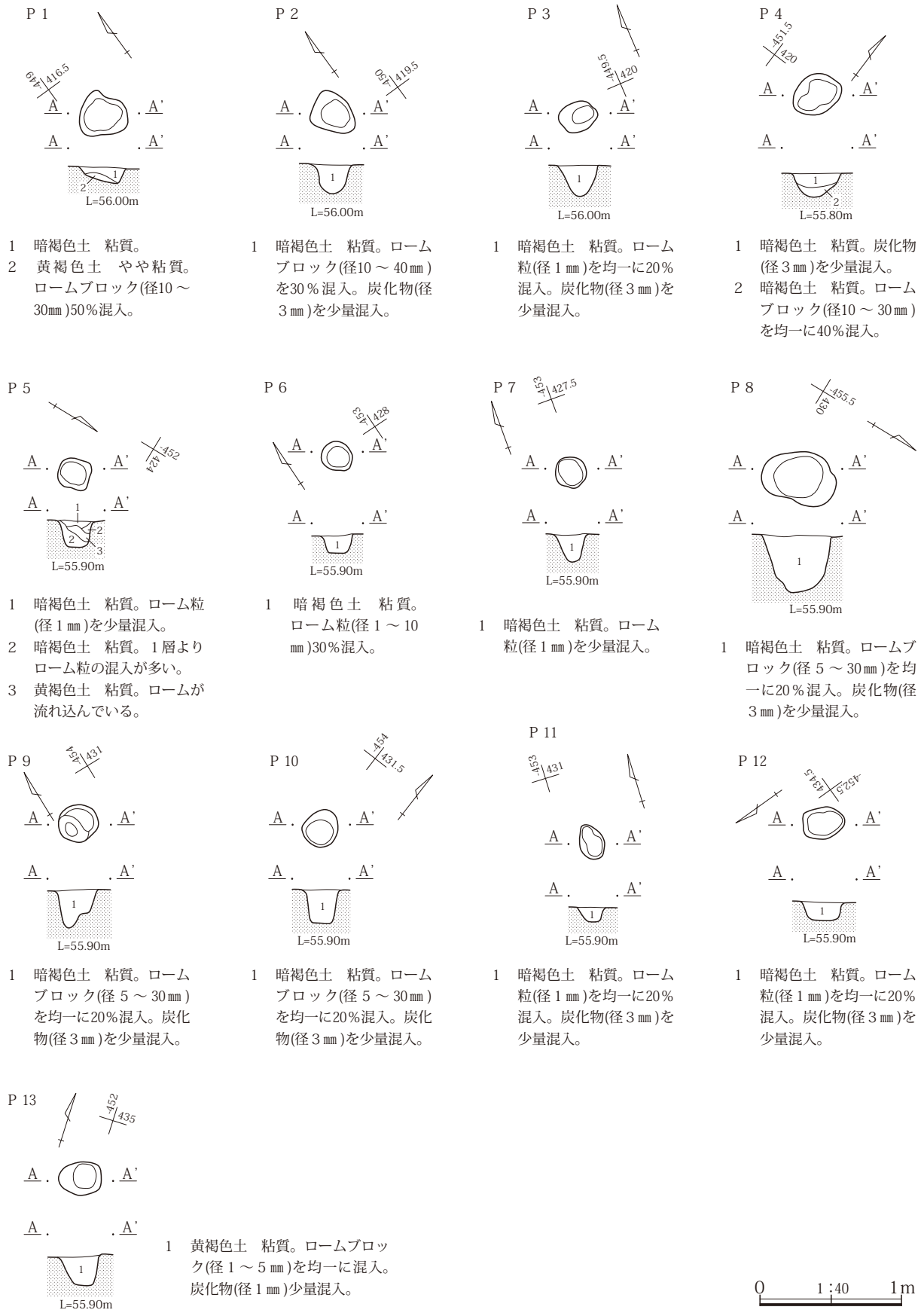
所見 掘削時期、性格などについては不明である。



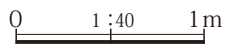
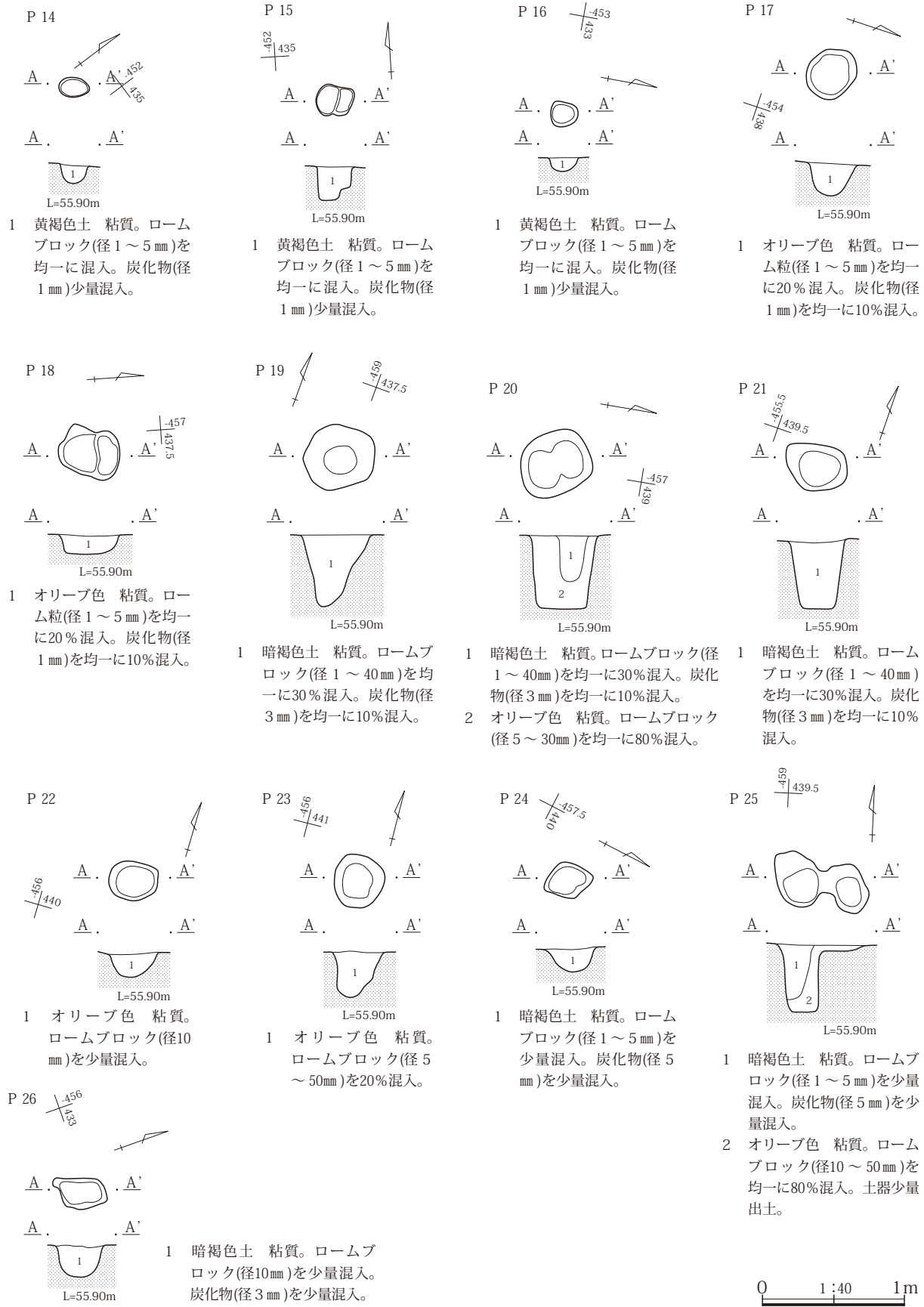
第481図 1面4-I区4-II区ピット分布



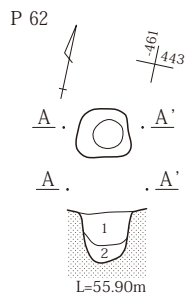
第482図 1面6-Ⅲ区ピット分布



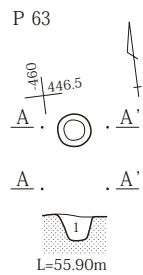
第483図 1面4区ピット 1-13



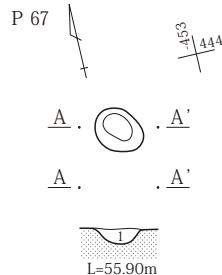
第484図 1面4区ピット 14-26



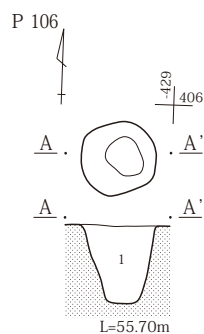
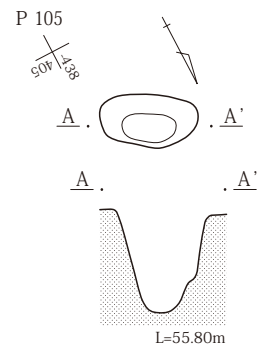
- 1 暗褐色土 砂質。As-B混土。  
2 灰黄褐色土 ロームブロック  
(オリーブ色)(径5~10mm)を均  
一に40%混入。



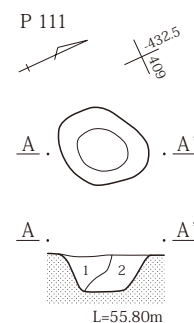
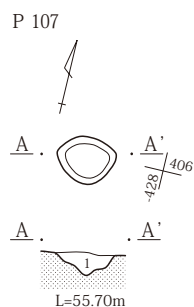
- 1 黒褐色土 As-B混土。



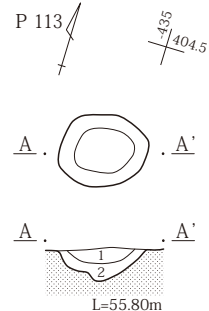
- 1 黒褐色土 As-B混土。



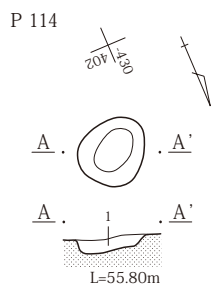
- 1 黒褐色土 As-B混土。ローム土  
少量混入。炭化粒極少量含む。



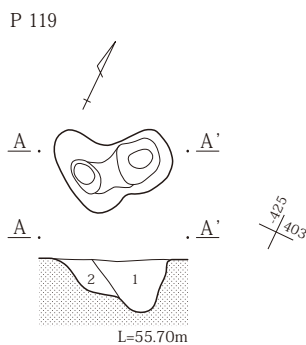
- 1 黒褐色土 As-B混土。ローム土  
少量混入。炭化粒極少量含む。  
2 黒褐色土 As-B混土。ロームブ  
ロック(径20~30mm)中量混入。



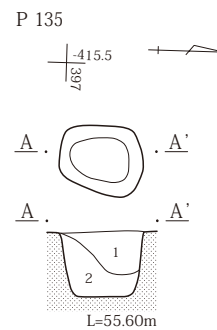
- 1 黒褐色土 As-B混土。ローム  
土少量混入。炭化粒極少量含む。  
2 黒褐色土 As-B混土。ローム  
ブロック(径20~30mm)中量混  
入。



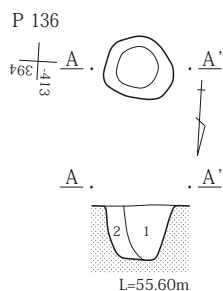
- 1 黒褐色土 As-B混土。  
ローム土少量混入。炭化粒  
極少量含む。



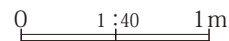
- 1 黒褐色土 As-B混土。ローム土  
少量混入。炭化粒極少量含む。  
2 黒褐色土 As-B混土。ロームブ  
ロック(径20~30mm)中量混入。



- 1 黒褐色土 As-B混土。ローム土  
少量混入。炭化粒極少量含む。  
2 黒褐色土 As-B混土。ロームブ  
ロック(径20~30mm)中量混入。

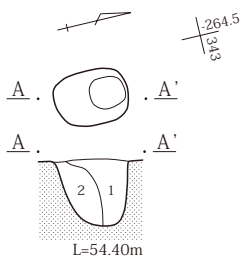


- 1 黒褐色土 As-B混土。ローム土少量混入。炭化粒  
極少量含む。  
2 黒褐色土 As-B混土。ロームブ  
ロック(径20~30  
mm)中量混入。

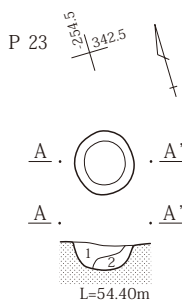


第485図 1面4区ピット 62-136

P 20

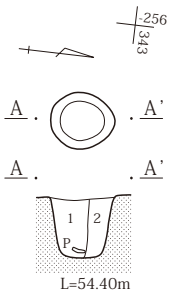


- 1 黒褐色土
- 2 暗褐色土 ロームブロック混入。

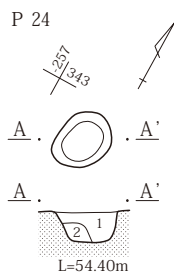


- 1 黒褐色土 ローム土・ロームブロック混入。
- 2 黒褐色土 ローム土・ロームブロック多量に混入。

P 21

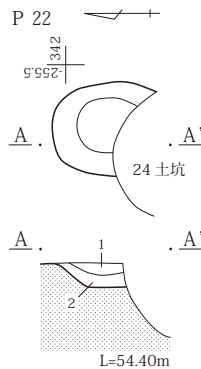


- 1 黒褐色土 ローム土極少量混入。
- 2 黒褐色土 ローム土・暗褐色粘質土ブロック混入。

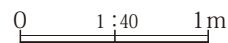


- 1 黒褐色土 ローム土・ロームブロック混入。
- 2 黒褐色土 ローム土・ロームブロック多量に混入。

P 22



- 1 暗褐色土 ロームブロック少量混入。
- 2 暗褐色土 ロームブロック多量に混入。



第486図 1面6区ピット 20-24



## 6 溝

### 概要

本項で報告する溝は各調査区の第1面で確認され、調査が実施されたものである。出土遺物が少量であったことから掘削時期を特定することができたものは少ないが中・近世の時期に掘削されたものと考えられる。

### 3区の概要

3区1面からは6条の溝が検出された。調査区東端で検出された1号溝は現道に沿っていたものと考えられる。距離が離れていることから断定はできないが、475-500グリッド周辺で検出した5号溝と走向が類しているように考えられる。

調査区西側部分で検出された2号・6号の2本の南北溝は、約7mの間隔を開けて同様の弧を描いて延びており、道路の両側に配置された可能性が考えられる。

### 3区1号溝（第488・489図、P L 78）

位置 405-450（南端）、415-455（北端）

重複 重複は認められない。

形状 調査区の東端寄りで検出した。南北両端とも調査区域外におよんでいた。北側の延長は4区では検出されていない。検出長は、11.24mである。走向は南北方向に直線的である。断面形は底幅を有する逆台形状である。壁面の上半部は斜め上方に傾斜の度合を強めている。底面は北側部分で西壁寄り有一段低くなっていた。規模は上幅0.88から1.08m、下幅0.74から0.88mと大きな変化は認められなかった。残存高は土層記録地点で0.42mを測った。底面の標高は北端で55.55m、南端で55.61mである。わずかではあるが全体的に北側に向かって深くなっていた。

走行方位 N-10°-W

埋没土 3層に分層される。中層に浅間B混土を含む灰黄褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 埋没土中から少量の遺物が出土している。須恵器甕杯1、2を資料化した。

所見 圃場整備事業前には道路に沿って用水があったようであるが本溝との関係は不明である。区画溝の可能性も考えられるが詳細は不詳である。掘削時期は不詳である。

### 3区2号溝（第488・489図、P L 78・137）

位置 425-495（南端）、470-500（北端）

重複 3号溝に先出する。

形状 南北方向の溝である。南北両端とも調査区域外に延びている。南半部分はほぼ直線を指向しているが450-500グリッド内で方向を西寄りに変え、弱い弧を描きながら延びていた。検出部分の走長は42.44mを測る。断面形は底幅のある逆台形状を呈していた。規模は上幅0.90から1.30m、下幅0.30から0.64m、深さ0.24mである。底面の標高は北端で56.51m、北端から南方向に11.3mで56.46m、南端で56.54mを測った。

走行方位 N-23°-W（北側）、N-5°-W（南側）

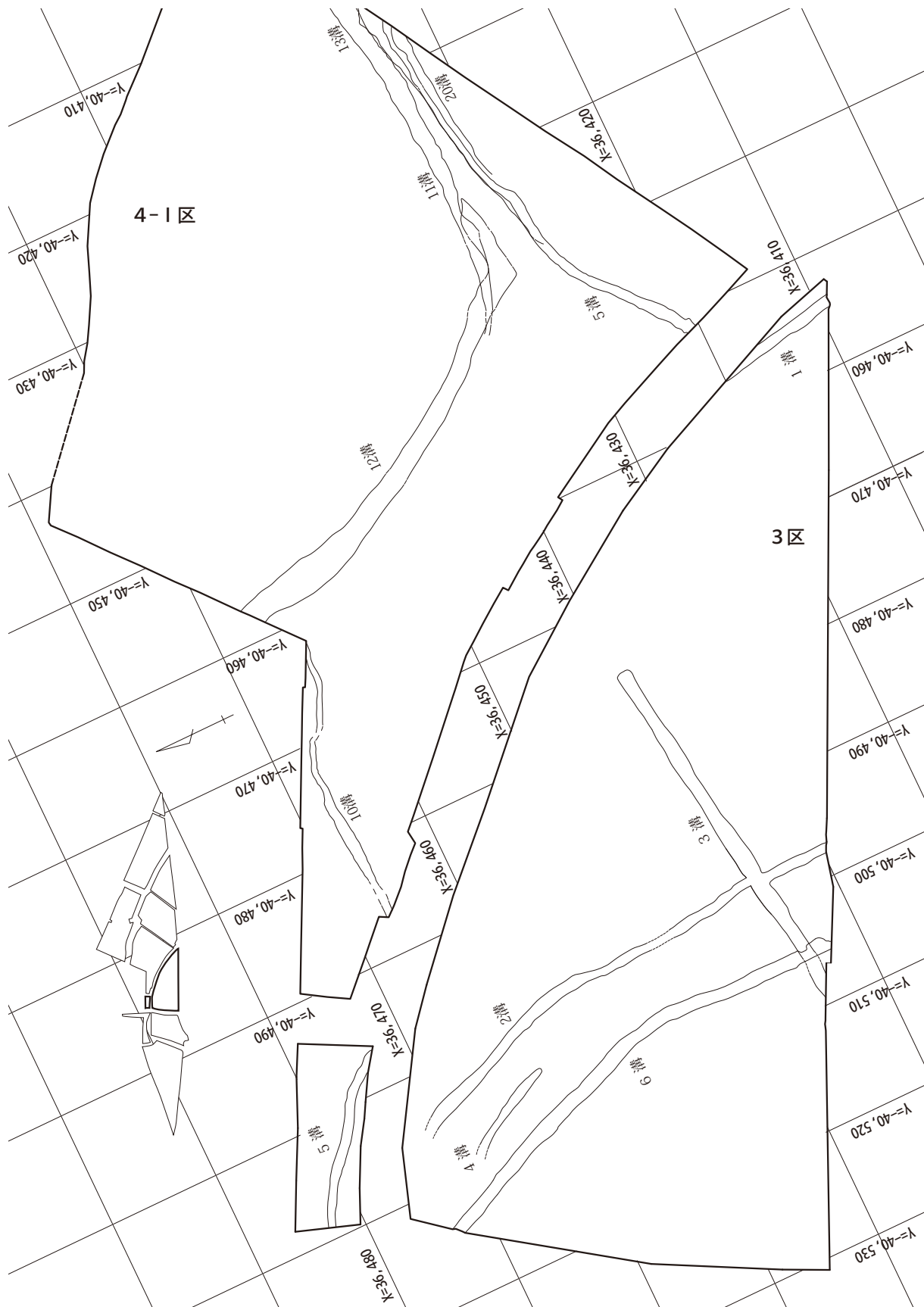
埋没土 底面近くを除いて浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。遺物 北側を中心に埋没土中から少量の遺物が出土している。須恵器椀1・2、長頸壺3、土錘9から11、棒状鉄製品5、祥符元寶8、土師器埴7などを資料化した。

所見 流水の有無が確認されていないことから性格については不詳である。西側約7mにほぼ同規模で本溝に平行するような走向をとる6号溝が掘削されている。道路状遺構の両面側溝のようにも見えるが形状、埋没土の状況が異なることから、前後する時期に土地の区画あるいは水利と同じ目的で掘削された遺構である可能性を考えたい。ただし、圃場整備事業前の区割には本溝あるいは6号溝との関連を示すようなものは見られない。掘削時期については不詳である。

### 3区4号溝（第488図、P L 79・137）

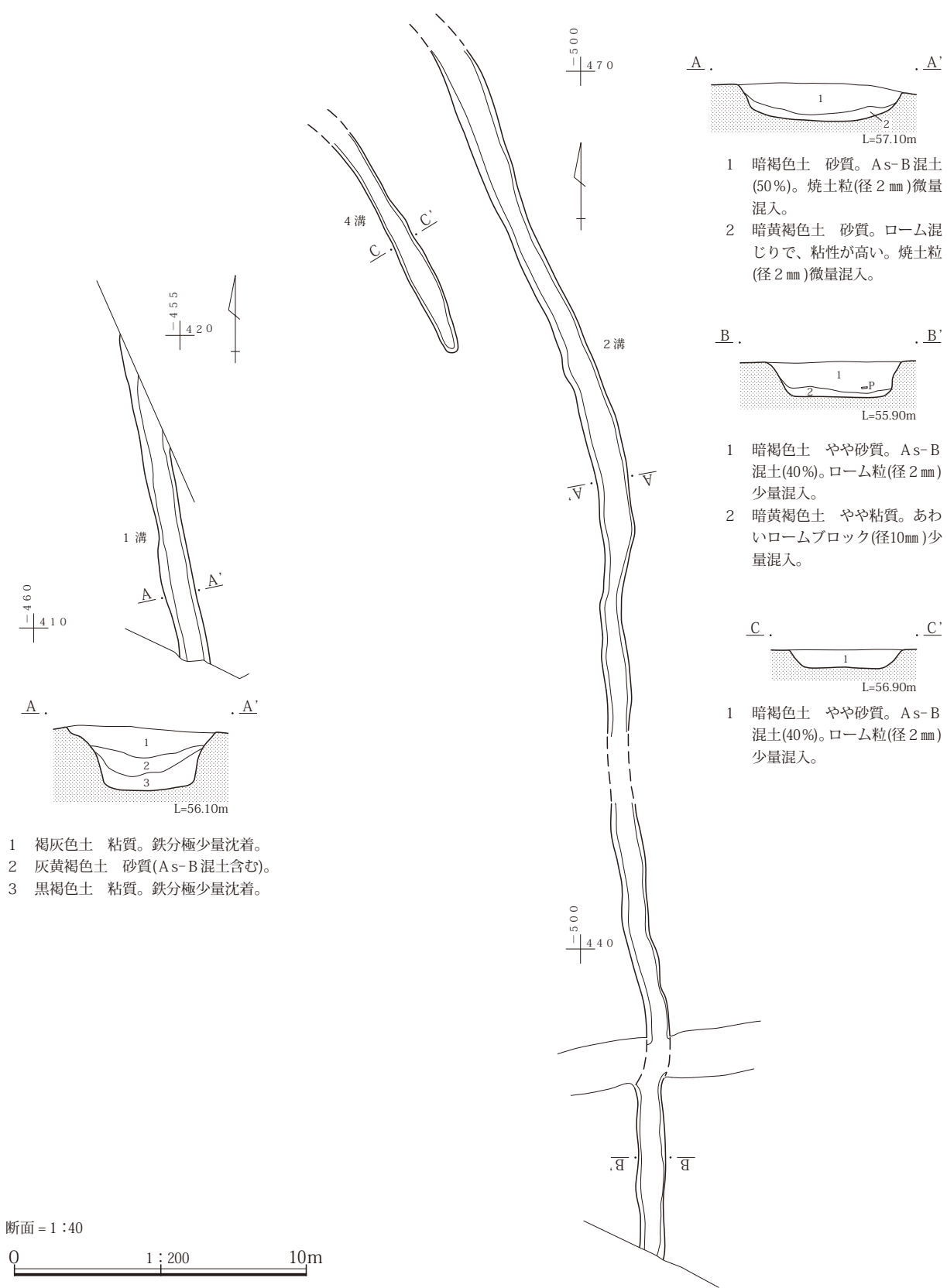
位置 460-500（南端）、465-505（北端）

重複 重複は認められない。



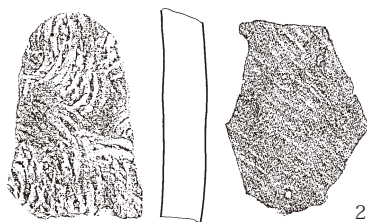
第487図 1面3区溝分布

0 1:500 20m

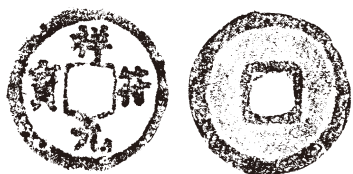
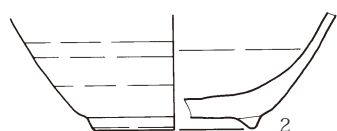
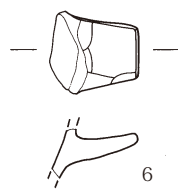
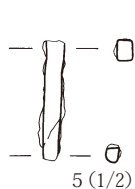
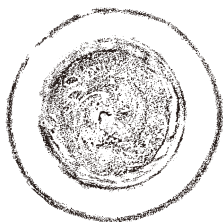
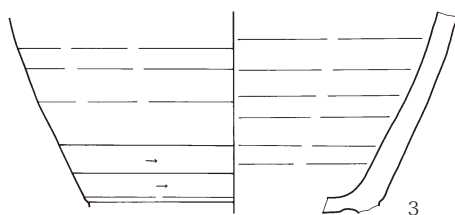
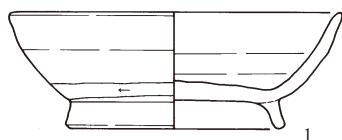


第488図 1面3区溝 1溝2溝4溝

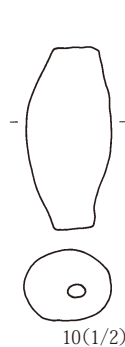
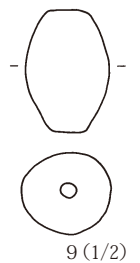
1号溝



2号溝



8 (1/1)



10 (1/2)

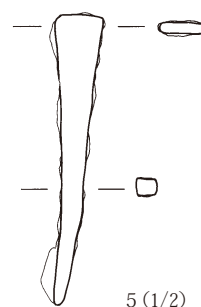


11 (1/2)

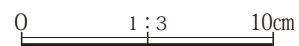
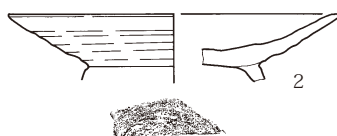
3号溝



4 (1/2)



5 (1/2)



第489图 1面3区溝出土遺物 1-3溝

形状 2号溝と6号溝の間で検出された南北方向の溝である。走向はわずかに弧を描いている。南側は浅くなり立ち上がっている。南北両端ともさらに延びていたものと考えられる。検出長は8.29mである。掘り込みの残存は浅いが、断面形は底幅のある逆台形状を呈していたと考えられる。規模は上幅0.72から0.92m、下幅、0.32から0.56m、深さ0.13mである。

走行方位 N-30°-W

埋没土 浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 埋没土中からわずかに遺物が出土している。皇宗通寶1、祥符通寶2を資料化した。

所見 遺構の性格、掘削時期については不詳である。

### 3区3号溝 (第489・490図、P L 78・137)

位置 440-475 (東端)、440-505 (西端)

重複 2号・6号溝、1号井戸。2号溝に後出する。

形状 東西方向の溝である。西端は調査区域外に延びている。東端は立ち上がり、収束しており、東側に位置する4区ではその延長先を検出していない。走向はほぼ直線を指向している。検出長は32.45mである。断面形は土層記録地点では凸レンズ状を呈するが、一部では平底状をなす部分も認められる。規模は、上幅1.26から1.62m、下幅0.60から1.04mを測る。深さは0.22から0.42mである。底面の標高は東端で56.6m、西端で56.49mであるが、確認面も東側から西側に向かって徐々に高くなっていた。

走行方位 N-82°-W

埋没土 上層に浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。

遺物 埋没土中から少量の遺物が出土している。須恵器盤1、皿2、土錘3、鉄製品4・5などを資料化した。

所見 東端が立ち上がって途切れていることから区画溝と考えられる。掘削時期については不詳である。

### 3区5号溝 (第490・491図、P L 79・138)

位置 470-495 (東端)、480-505 (西端)

重複 重複は認められない。

形状 東西方向の溝である。両端とも調査区域外におよんでいた。西端は2区の調査で、東端も3-I区の調査でその延長先を検出していない。わずかに北側に弱い弧を描くものの、直線に近い走向である。東端部分は南方向に屈曲し始めているようにも見られるが判然とししない。検出した走長さは15.20mである。断面形は外傾著しく立ち上がる逆台形状を呈していた。規模は上幅0.50から0.94m、下幅0.30から0.72mである。底面の標高は西端で55.66m、東端で55.72mである。

走行方位 N-53°-W

埋没土 上層には浅間B混土を含む灰褐色土が、中層には暗褐色の粘質土と砂粒のラミナ状の堆積が認められる。下層にも砂粒が多く混入しており、流水があったことが認められる。

遺物 埋没土中から土錘1が出土している。

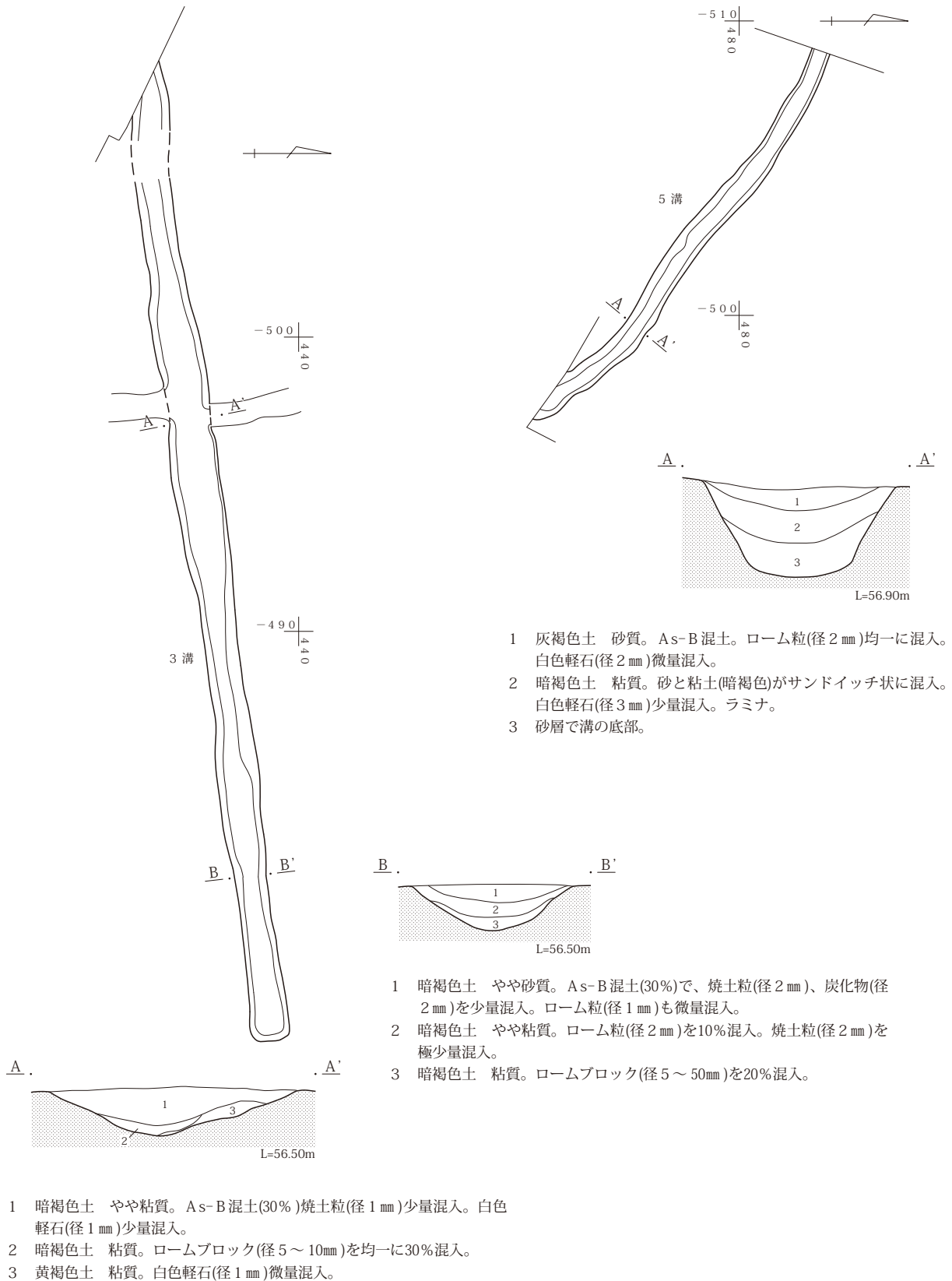
所見 埋没土の状況から、用・排水路として使用されていたと考えられる。圃場整備事業前には道路に沿って用水路があったようであるが本溝との関係は不明である。掘削時期は不詳である。

### 3区6号溝 (第491・492図、P L 79・138)

位置 430-500 (南端)、470-510 (北端)

重複 3号溝、1号井戸、と重複する。75号住居、86号住居他に後出する。

形状 南北方向の溝である。南北両端とも調査区域外におよんでいた。南半部分の走向はほぼ南北方向であるが、450ライン付近で西方向に大きく曲がる。屈曲後はまた直線的に延びている。検出した走長は41.84mである。断面形は逆台形状を呈していた。規模は上幅0.66から1.50m、下幅0.42から1.04mと各々の数値に幅があるがこれは南端寄りの1号井戸との重複部分の乱れた部分などが含まれているため、全体的には一定の整った形状を有していたものと考えられる。深さは良好な部分で0.66mを測った。底面の標高は北端で56.01m、南端寄りの

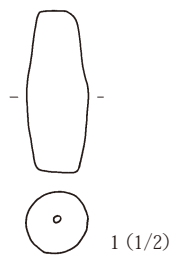


第490図 1面3区溝 3溝5溝

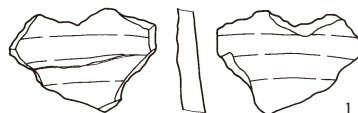
4号溝



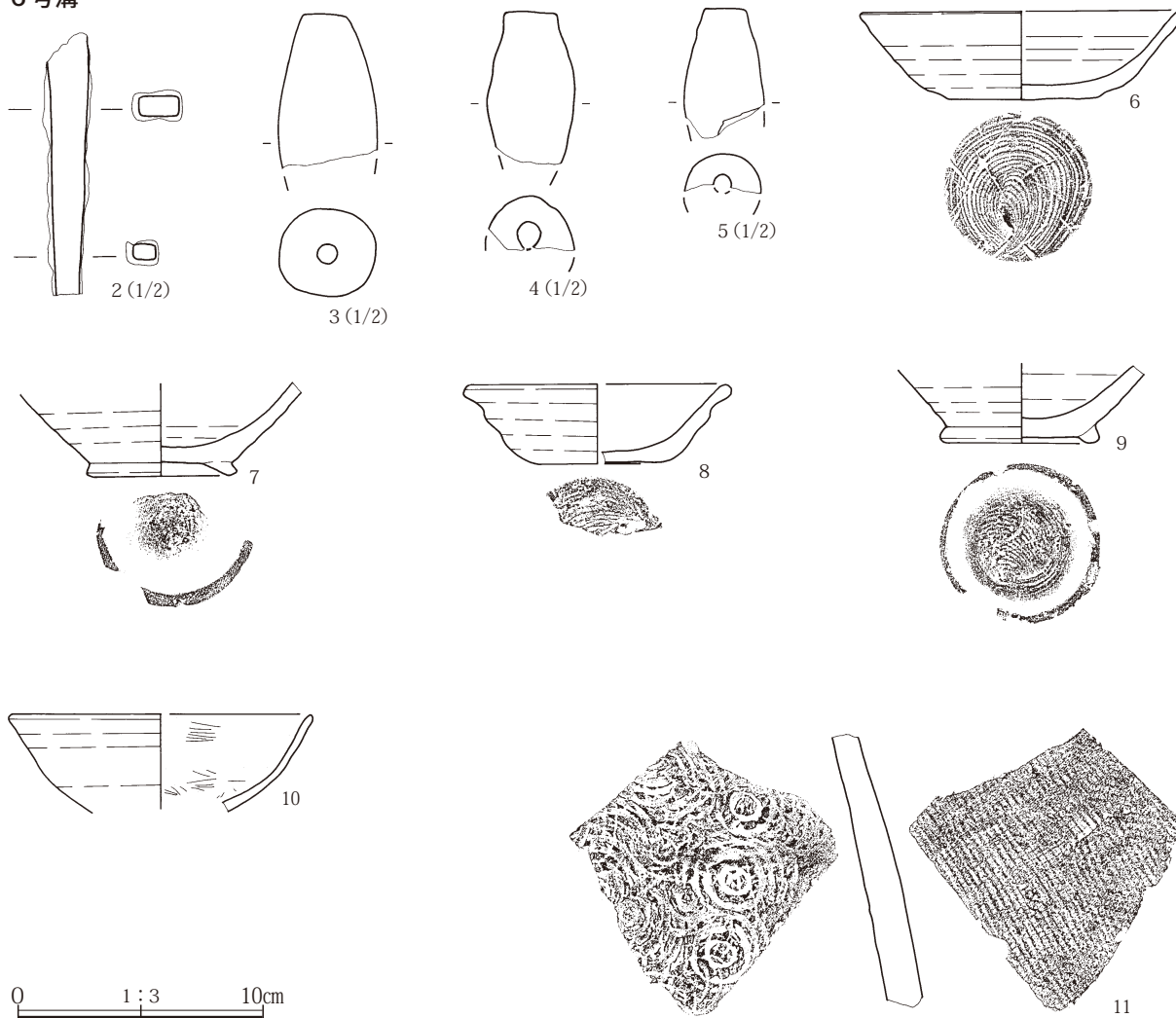
5号溝



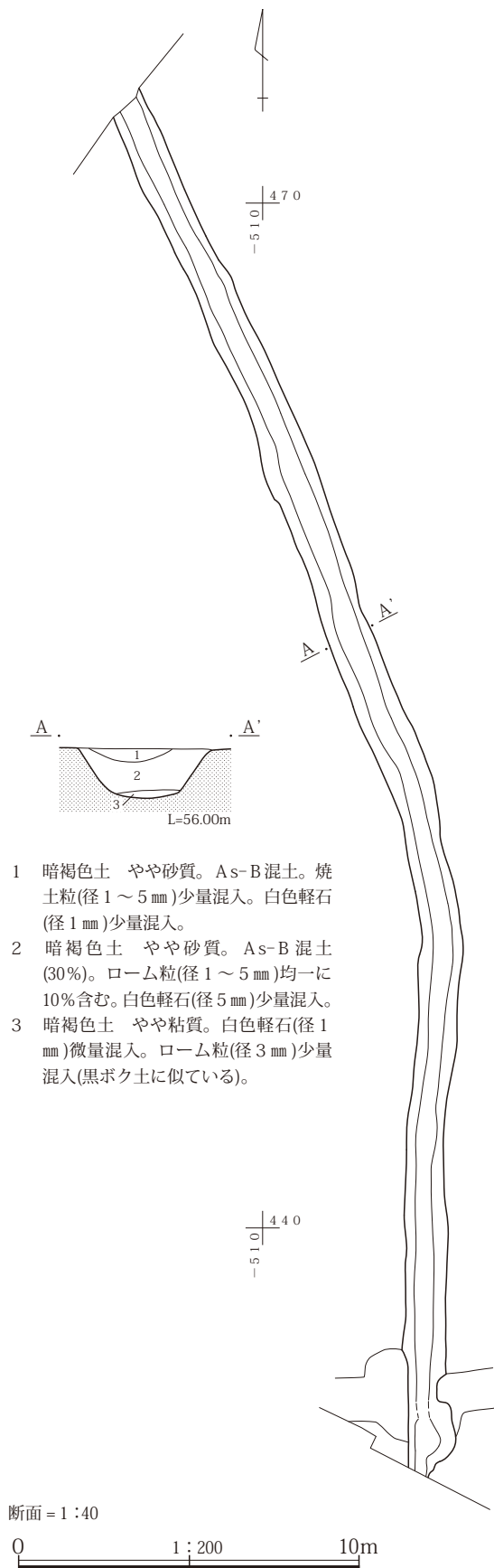
6号溝



6号溝



第491图 1面3区溝出土遺物 4溝5溝6溝



- 1 暗褐色土 やや砂質。As-B混土。焼土粒(径1～5mm)少量混入。白色軽石(径1mm)少量混入。
- 2 暗褐色土 やや砂質。As-B混土(30%)。ローム粒(径1～5mm)均一に10%含む。白色軽石(径5mm)少量混入。
- 3 暗褐色土 やや粘質。白色軽石(径1mm)微量混入。ローム粒(径3mm)少量混入(黒ボク土に似ている)。

3号溝との交点北側で56.26mである。底面は北側に向かって徐々に高くなっていた。

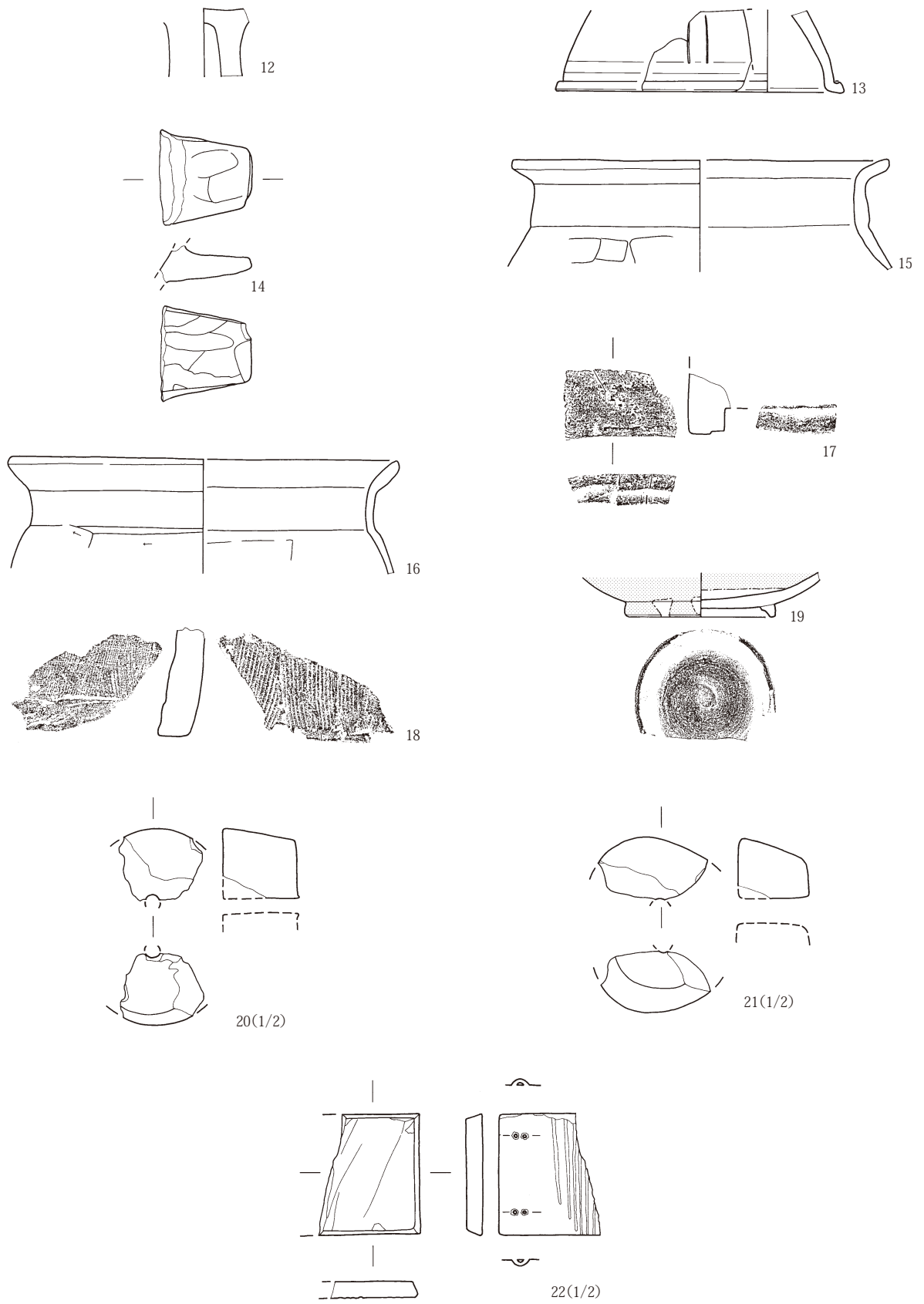
走行方位 N-22°-W(北側)、N-2°-E(南側)  
埋没土 暗褐色土が堆積、混入物の相違により分層される。上層には浅間B混土が含まれていた。流水の有無は確認されていない。

遺物 埋没土の上・中層を中心に遺物が出土している。須恵器杯6、椀7・9、灰釉陶器椀19、円面硯13、瓦17・18、土錘3から5、土製紡錘車20・21、石製巡方22などを資料化した。

所見 性格、掘削時期については不詳である。

第492図 1面3区6溝





0 1:3 10cm

第493图 1面3区沟出土遗物 6沟

#### 4区の概要

4区1面では合計13条の溝が検出された。その内訳はⅠ区で6条、Ⅱ区で6条、Ⅲ区で1条である。

Ⅰ区では北西部分で検出した10号溝が2面の15号溝の走向をほとんどトレースしていた。11号溝は調査区の北側から発し、途中で大きく屈曲、走向を東側に変えていた。Ⅱ区の31号、35号溝との関連性も考えられた。調査区南側で検出した5号溝は東西方向の溝で、やはりⅡ区の31号、35号溝と走向が近いものである。

Ⅱ区では調査区の西側部分で29号溝が検出された。他は調査区の北東から東側部分で多く検出された。いずれも幅の狭い掘り込みであった。

6号、31号、35号などの東西方向の溝は、圃場整備事業前に東西方向の流路を取り、調査区東方向にある巖穴山古墳の北側から現在の矢田堀放水路に向かっていった用水路の前身にあたる可能性が考えられるが異同を特定できない。

Ⅲ区からは検出されなかった。

#### 4区5号溝（第496・501図、P L 79）

位置 430—415（東端）、420—450（西端）

重複 20号溝と重複する。

形状 4—Ⅰ区南側部分で検出した東西方向の溝である。東西の両端は調査区域外におよんでいるが西側の延長先は3区で検出されていない。走向は、中で小さな蛇行が見られるものの全体的には北側に張り出す弧を描いている。検出した走長は38.98mである。断面形は凸レンズ状を呈していたようである。規模は、上幅0.58から1.20m、下幅0.16から0.44m、深さ0.21mを測った。西半分の幅が広がった。底面の標高は西端で55.62m、東端で55.36mである。

走行方位 N—46°—E（西側）、N—84°—E（東側）  
埋没土 東側では暗褐色土が、西側では暗褐色土の下位に黄褐色土が堆積していた。流水の有無については確認されていない。

遺物 埋没土中から須恵器碗1が出土している。また、木片の出土もあったが木製品は含まれてい

なかった。

所見 性格、掘削時期については不詳である。

#### 4区10号溝（第496・501図、P L 80・138）

位置 460—460（東端）、465—485（西端）

重複 下位にほぼ同様の走向の15号溝が掘削されている。

形状 4—Ⅰ区北西部分で検出した東西方向の溝である。東西の両端とも調査区域外におよんでいる。西端の延長先は3区では検出されていない。西側部分はほぼ直線的に延びるが、—475ラインから東側は走向を南寄りに蛇行させた後、再度東方向に延びている。検出した走長は21.98mである。断面形は凸レンズ状を呈している。規模は上幅0.28から1.10m、下幅0.24から0.52m、深さ0.20mを測る。底面の標高は西端で55.82m、東端で55.74mを測る。

走行方位 N—88°—E（西側）、N—72°—W（東側）  
埋没土 浅間B混土のブロックを少量混入する暗褐色土が堆積していた。流水が有ったものと考えられる。

遺物 埋没土中から須恵器碗1・2、土錘3が出土している。

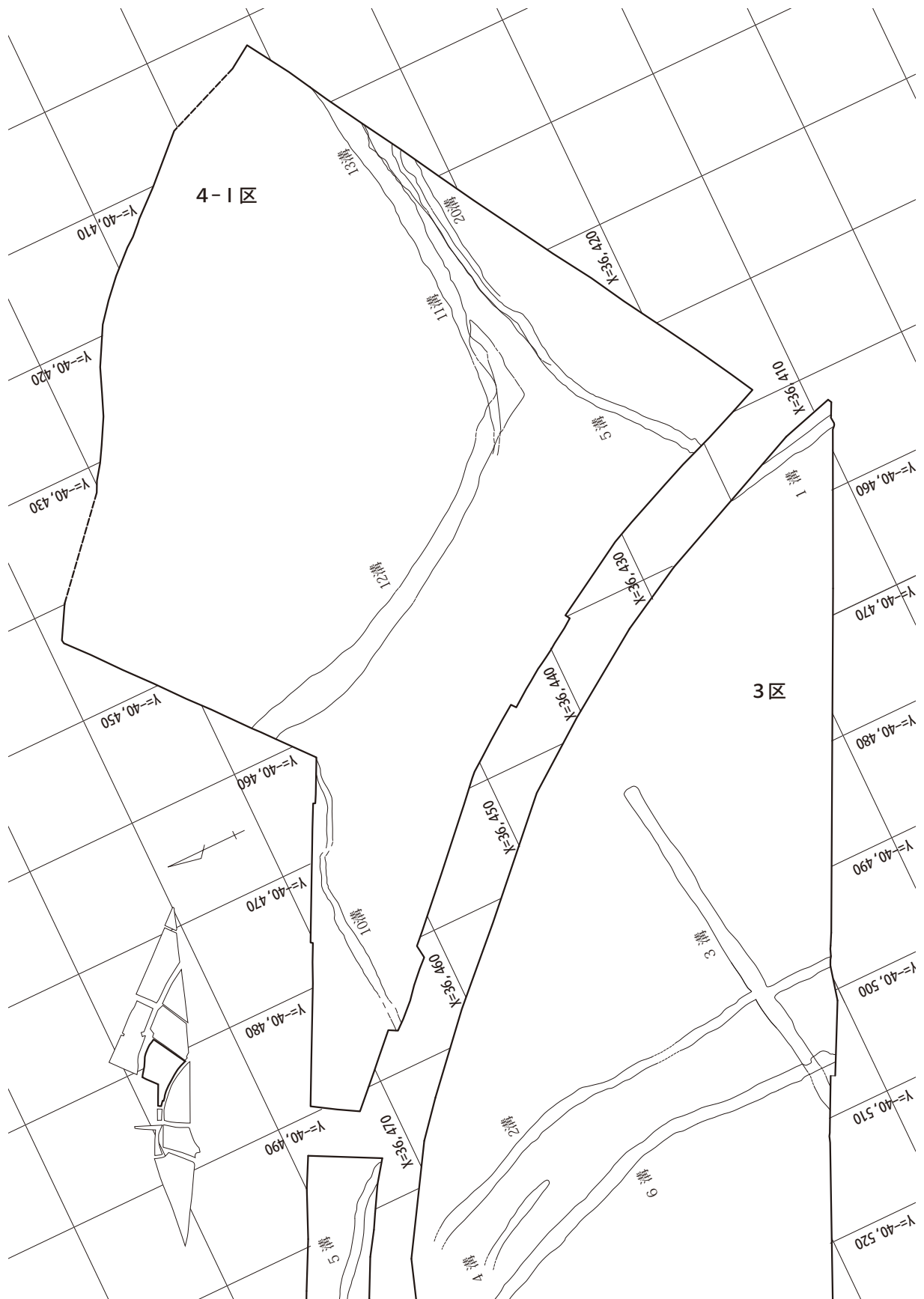
所見 15号溝が埋没していく過程で整備され、用水路として使用されていたものと考えられる。調査時に19号溝と呼称、調査された溝は本溝と同一遺構と考えられる。掘削時期は不詳である。

#### 4区11号溝（第497・501図、P L 80・138）

位置 435—410（東端）、435—445（西端）

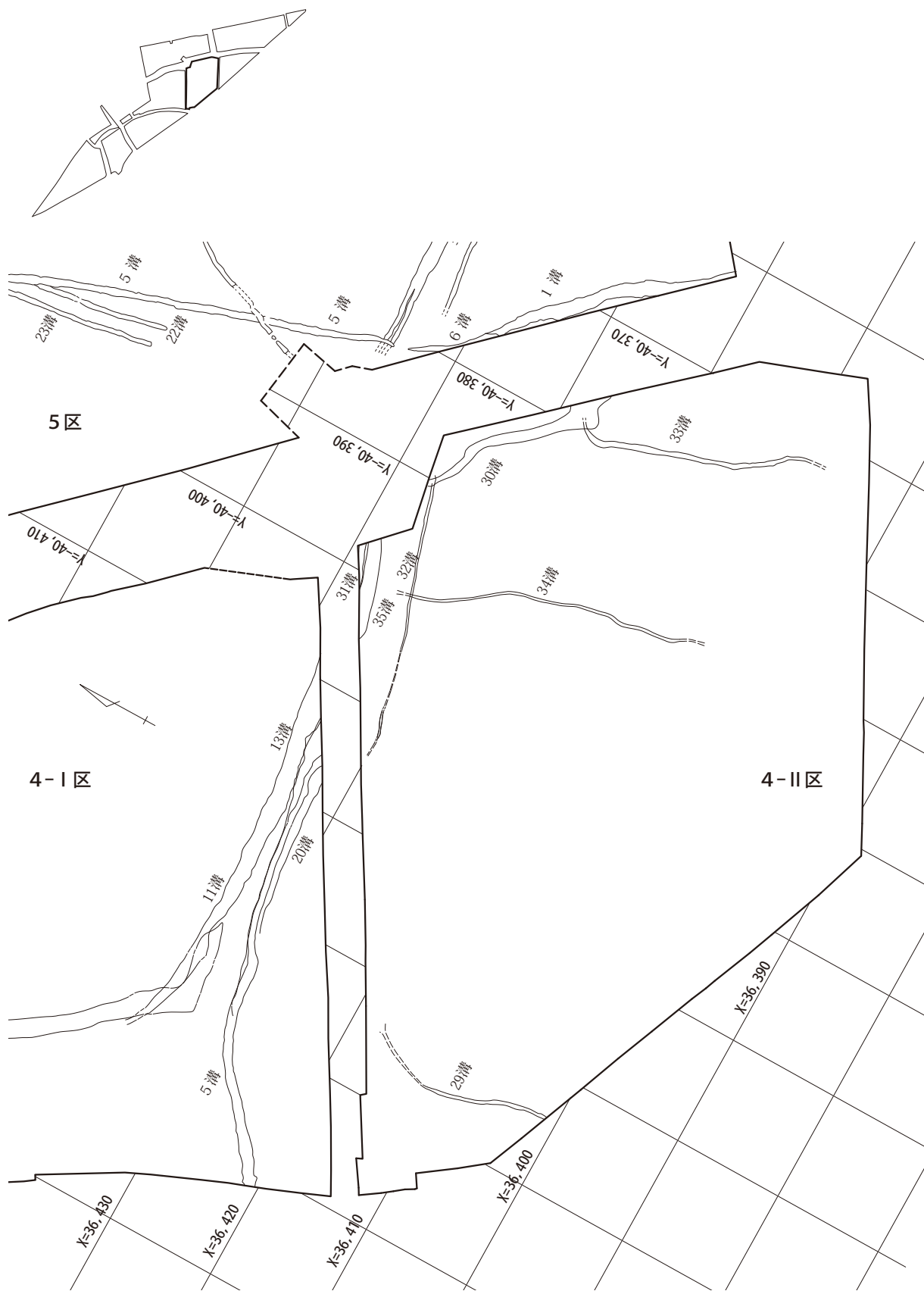
重複 12号溝に後出、13号溝に先出する。8号土坑とも重複する。

形状 4—Ⅰ区の南側から東側部分で検出した東西方向の溝である。東端は調査区域外におよんでいる。東側の4—Ⅱ区では31号・35号溝が検出されている。北側の立ち上がりは—425ライン以東で13号溝と重複している。西端は12号溝と重複する地点で行き先が不明瞭となってしまう。検出された走長は31.81mである。残存状態が不良であるため、断面形は判然としないところもあるが検出部分からは幅広い凸レンズ状と考えられる。その規模は、上幅1.36



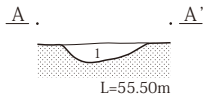
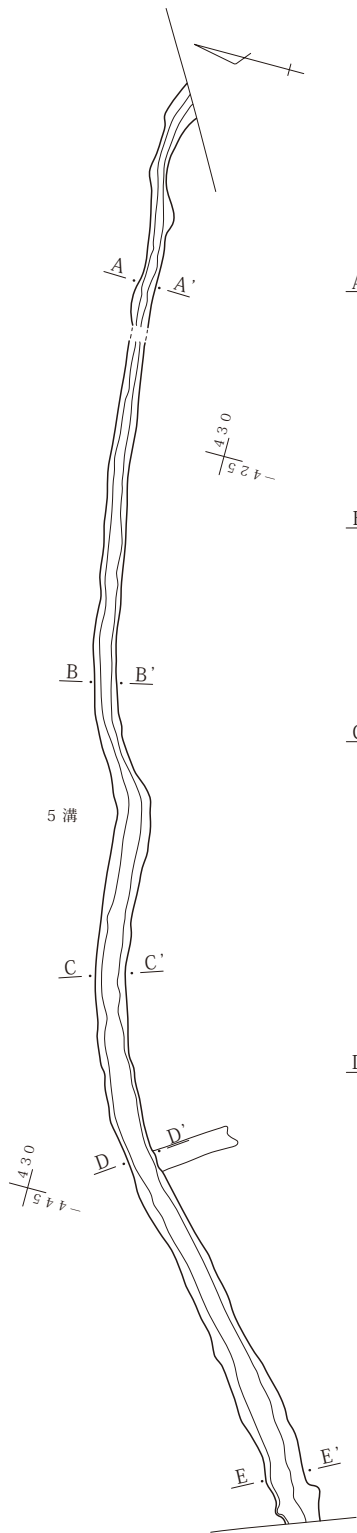
第494図 1面4-I区溝分布

0 1:500 20m

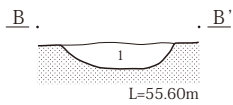


第495図 1面4-I区溝分布

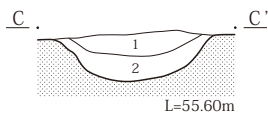
0 1:500 20m



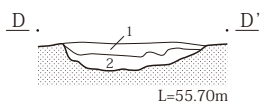
1 暗褐色土 やや砂質。白色軽石(径1mm)少量混入。



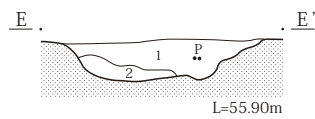
1 暗褐色土 やや砂質。白色軽石(径1mm)少量混入。



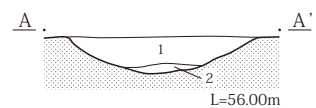
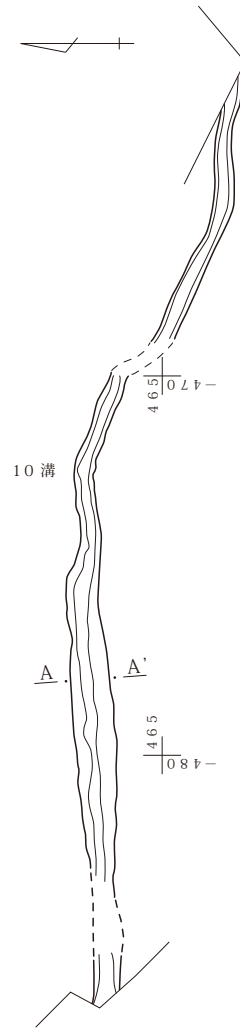
1 暗褐色土 やや砂質。白色軽石(径1mm)を均一に20%混入。  
2 暗褐色土 粘質。ロームブロック(径10~30mm)を均一に20%混入。



1 暗褐色土 粘質。ローム粒(径1~5mm)を均一に30%混入。  
2 黄褐色土 やや粘質。ロームブロック(径10~100mm)を均一に80%混入。

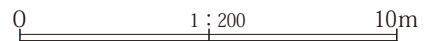


1 暗褐色土 粘質。ロームブロック(径10mm)を均一に10%混入。  
2 黄褐色土 粘質。ロームブロック(径10~50mm)を均一に80%混入。



1 暗褐色土 白色軽石・As-B混土ブロック少量混入。焼土粒極少量含む。  
2 褐色土 白色軽石極少量混入。砂質土多量に含む。

断面 = 1 : 40



第496図 1面4区溝 5溝10溝

から1.52m、下幅0.52から0.72m、深さ0.16mである。底面は西側から東側に向かって徐々に低くなっている。

走行方位 N—89°—E

埋没土 暗褐色土、灰褐色土が堆積している。流水の有無は確認されていない。

遺物 埋没土中から出土した須恵器椀2、土錘3・4、瓦1を資料化した。

所見 性格、掘削時期は不詳である。走向から見ると35号溝と同一遺構と考えられる。また、12号溝と同一遺構である可能性も考えられる。

#### 4区13号溝 (第497図、P L 80)

位置 435—405 (東端)、430—420 (西端)

重複 11号溝に後出する。

形状 11号溝に平行して検出された東西方向の溝である。東側の4—II区からは31号溝が検出されている。検出された走長は4.94mである。断面形は幅の狭い逆台形である。その規模は上幅0.34から0.44m、下幅0.18から0.28m、深さ0.02mを測る。

走行方位 N—82°—E

埋没土 浅間B混土を含む灰褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 資料化に足る遺物の出土は認められなかった。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 4区12号溝 (第497・501図、P L 80・138)

位置 430—435 (東端)、465—455 (北端)

重複 11号溝に後出する。

形状 4—I区の中央部分で検出された南北方向の溝である。430—440グリッド内で屈曲し、走向を東西方向に変える。検出された走長は44.06mである。北端は調査区域外におよんでいる。東端は上層からの削平を受けて掘り込みが確認できなくなっている。残存状態が不良であるため、断面形は判然としない。規模は上幅2.88から3.02m、下幅1.10から1.46m、深さ0.18mを測る。底面は北側から南側に向かって徐々に下がっている。

走行方位 N—82°—E

埋没土 浅間B混土を含む灰褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 埋没土中から須恵器杯1・2、椀3・4、灰釉陶器椀6、鉄釘7から9が出土している。

所見 南側で走向が屈曲することから区画溝の可能性が考えられる。掘削時期は不詳である。

#### 4区20号溝 (第498・501図、P L 80)

位置 430—415、420

重複 5号溝に後出する。

形状 東西方向の溝と考えられるが、5号溝と重複するため一部を検出したにとどまった。検出した走長は6.69mである。断面形は逆台形状を呈していたと考えられる。規模は、上幅1.02から1.52m、下幅0.35から0.95m、深さ0.25mである。

走行方位 N—81°—E

埋没土 砂粒を主体とした灰褐色土が堆積していた。流水があったものと考えられる。

遺物 須恵器甕の小破片1が出土している。

所見 5号溝が埋没した後、走向をほぼ等しくするように掘削された用水路である。掘削時期は不詳である。

#### 4区29号溝 (第498図、P L 80)

位置 400—430 (南端)、410—435 (北端)

重複 重複は認められない。

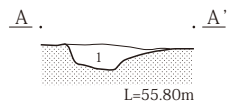
形状 4—II区西端部分で検出された南北方向の溝である。南端は調査区域外におよんでいる。北端は掘り込みが不明瞭になってしまっている。走向は緩やかに蛇行している。検出した走長は10.91mである。断面形は幅の狭い箱形を呈していたと考えられる。規模は、上幅0.20から0.40m、下幅0.12から0.26m、深さ0.18mを測る。底面の標高は北端で55.65m、南端で55.70mである。

走行方位 N—17°—W

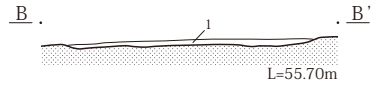
埋没土 浅間B混土を少量含む暗褐色土が堆積していた。

遺物 遺物は検出されなかった。

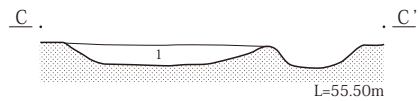
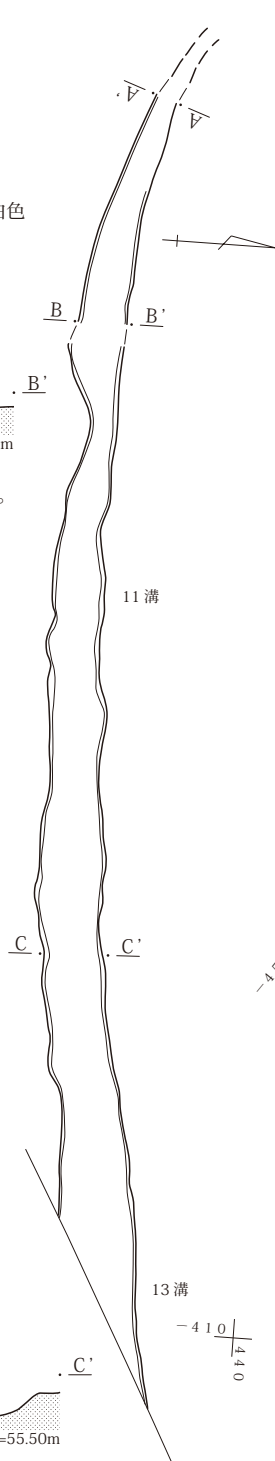
所見 性格、掘削時期は不詳である。



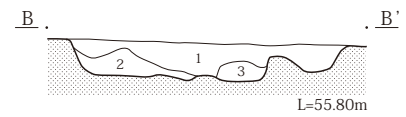
1 黄褐色土 砂質。砂が主体で、白色軽石(径1mm)微量混入。



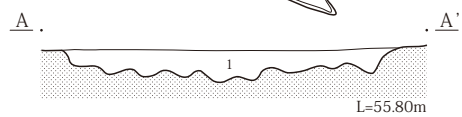
1 暗褐色土 やや砂質。As-B混土。



1 灰褐色土 砂質。ローム粒(径2mm)を均一に10%混入。白色軽石(径1mm)微量混入。小礫(径5mm)を少量混入。

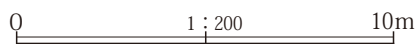


1 暗褐色土 やや砂質。白色軽石(径2~5mm)を均一に30%混入。黒色土のだま(径50~100mm)と砂(As-B混土)と軽石の混土。  
 2 うすい褐色土 粘質。白色軽石(径2~3mm)を均一に10%混入。黒色土のだま(径10~50mm)を20%混入。  
 3 暗褐色土 粘質。白色軽石(径1mm)を均一に10%混入。土器片少量混入。

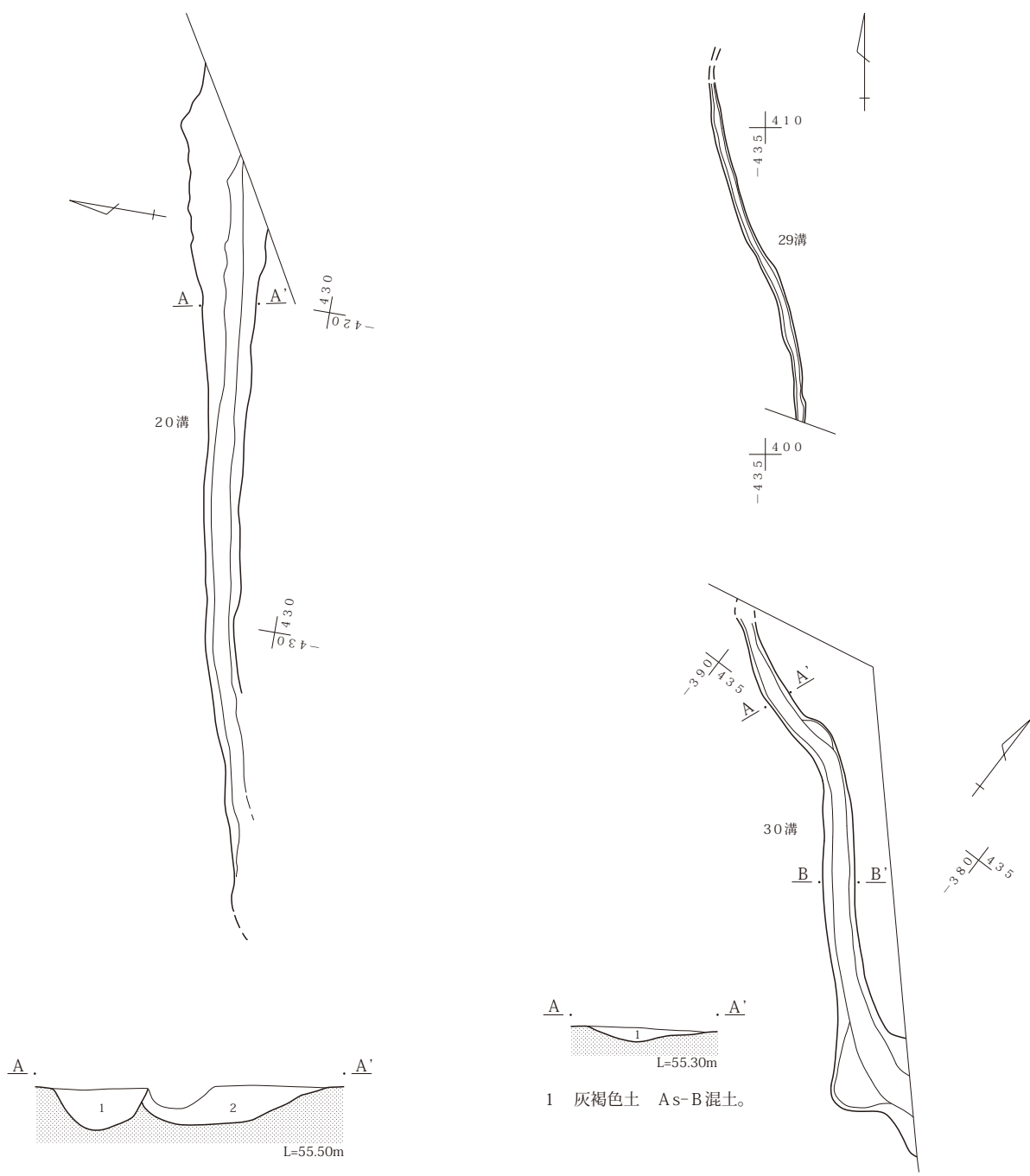


1 暗褐色土 やや砂質。白色軽石(径2~5mm)を均一に30%混入。黒色土のだま(径50~100mm)と砂(As-B混土)と軽石の混土。

断面 = 1 : 40



第497図 1面4区溝 11-13溝



- 1 灰褐色土 砂質。砂が主体(60%)で鉄分の沈着あり。白色軽石(径1mm)微量混入。
- 2 暗褐色土 埋没土。

A . . . A'  
L=55.30m  
1 灰褐色土 As-B混土。

B . . . B'  
L=55.30m  
1 黒褐色土 As-B混土。白色軽石極少量混入。  
2 灰褐色土 As-B混土。

断面 = 1 : 40  
0 1 : 200 10m

第498図 1面4区溝 20溝29溝30溝



#### 4区30号溝 (第498図、P L 80)

位置 425-375 (東端)、435-385 (西端)  
重複 32号・33号溝と重複する。  
形状 4-II区北側部分で検出された東西方向の溝である。両端とも調査区外におよんでいる。調査区境に沿って、緩やかに蛇行している。検出された長は16.05mである。断面形は浅い凸レンズ状を呈している。規模は、上幅0.64から1.22m、下幅0.22から0.38m、深さ0.16mである。幅は北方向から南方向に向かって徐々に広がっている。東端間近の南壁は大きく外側に膨らんでいる。流水の有無は確認できない。底面の標高は北端で55.22m、南端で55.07mである。  
走行方位 N-50°-E  
埋没土 上層に浅間B混土を含む黒褐色土が、下層に浅間B混土を含む灰褐色土が堆積していた。  
遺物 遺物は検出されなかった。  
所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 4区33号溝 (第499図、P L 81)

位置 405-370 (南端)、425-375 (北端)  
重複 30号溝と重複。  
形状 4-II区東側部分で検出された南北方向の溝である。検出された走長は20.48mである。全体的には直線的な走向であったが、北端は大きく東に彎曲し、その先は30号溝との重複で不明瞭になっている。南端は上層からの削平により掘り込みが確認困難となっている。断面形は逆台形状を呈していた。規模は上幅0.38から0.58m、下幅0.16から0.26m、深さ0.14mを測る。底面の標高は北端で55.16m、南端で55.08mである。埋没土の内容からは流水があった可能性が考えられる。  
走行方位 N-19°-W (北側)、N-37°-W (南側)  
埋没土 小礫を多量に混入する暗褐色土が堆積していた。  
遺物 遺物は検出されなかった。  
所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 4区32号溝 (第499図、P L 81)

位置 435-385 (東端)、430-410 (西端)

重複 30号・34号溝と重複。

形状 4-II区北側部分で検出された東西方向の溝である。走向はほぼ直線をなすが、東端は弱く屈曲し北側へ方向を変えていると考えられる。検出された走長は23.91mであるが、途中、430-400、405グリッド部分では掘り込みが約5.7m確認できなくなっていた。断面形は幅の狭い逆台形状を呈していたと考えられる。規模は、上幅0.32から0.40m、下幅0.06から0.12m、深さ0.08mを測る。流水の有無は確認されていない。

走行方位 N-72°-E

埋没土 浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。流水の有無が確認されていない。

遺物 遺物は検出されなかった。

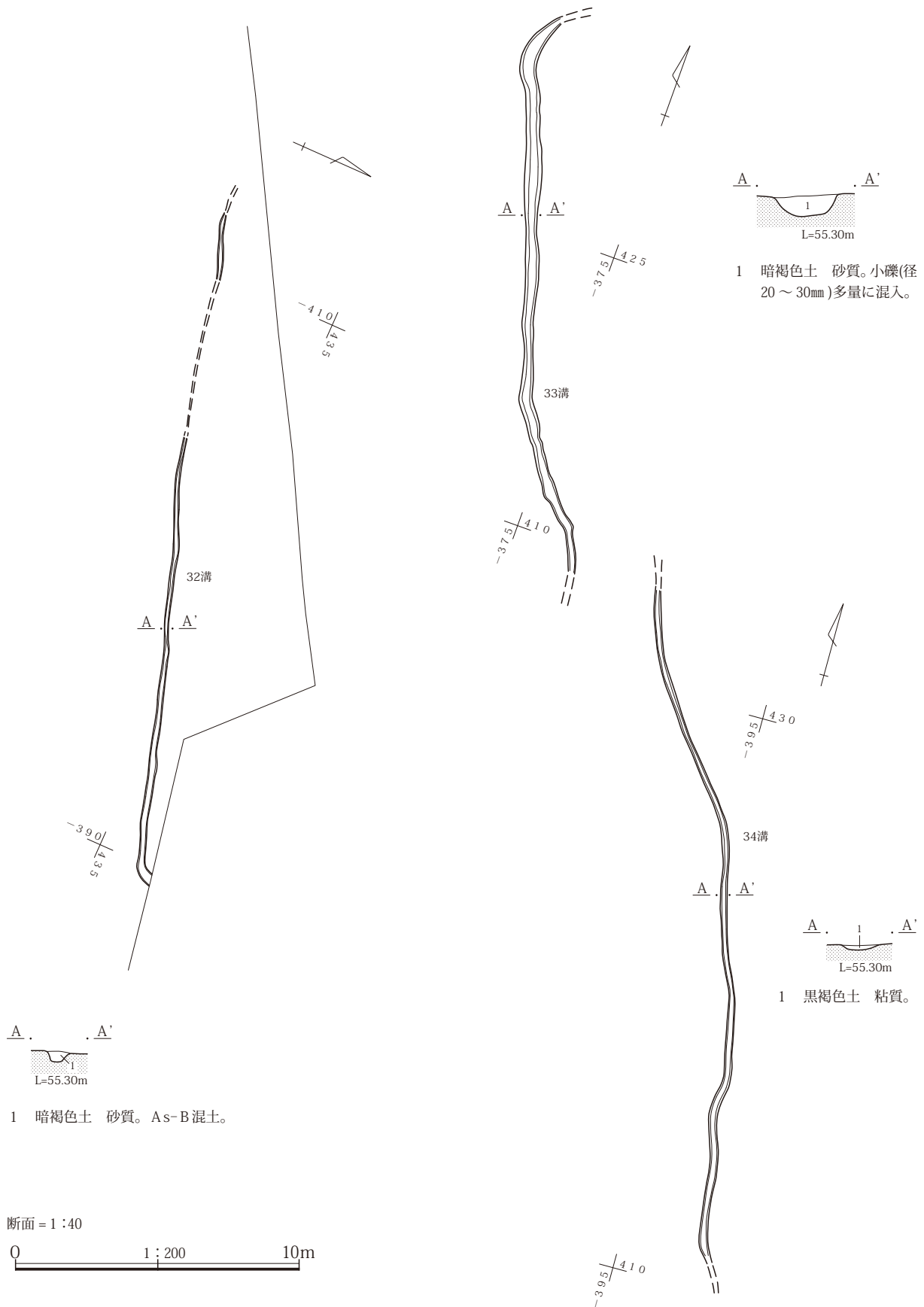
所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 4区34号溝 (第499図、P L 81)

位置 410-390 (南端)、430-395 (北端)  
重複 32号溝と重複している。  
形状 4-II区の中央部分からやや東側寄りで検出された南北方向の溝である。東側に位置する33号溝と同様の走向方向をとっている。途中、小さな蛇行部分も見られるが全体的には東側に張る弧状の走向をなしていた。検出された走長は24.67mである。断面形は浅い皿状をていしていた。規模は、上幅0.16から0.30m、下幅0.06から0.16m、深さ0.03mを測った。流水の有無は確認されていない。  
走行方位 N-30°-W (北側)、N-11°-W (南側)  
埋没土 黒褐色土が堆積していた。  
遺物 遺物は検出されなかった。  
所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 4区31号溝 (第500図、P L 81)

位置 435-395、400  
重複 重複は認められない。  
形状 4-II区北側隅で検出された東西方向の溝である。南側に本溝と平行するように35号溝が走っている。検出された走長は3.35mである。  
走行方位 N-67°-E  
埋没土 暗褐色土が堆積していた。流水の有無は確



第499図 1面4区溝 32-34溝

認められていない。

遺物 遺物は検出されなかった。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 4区35号溝 (第500・501図、P L 81・138)

位置 435-395、400

重複 重複関係は認められない。

形状 4-II区の北側部分で検出された東西方向の溝である。北側に位置する31号溝と平行するよう

に延びている。検出された走長さは9.13mである。

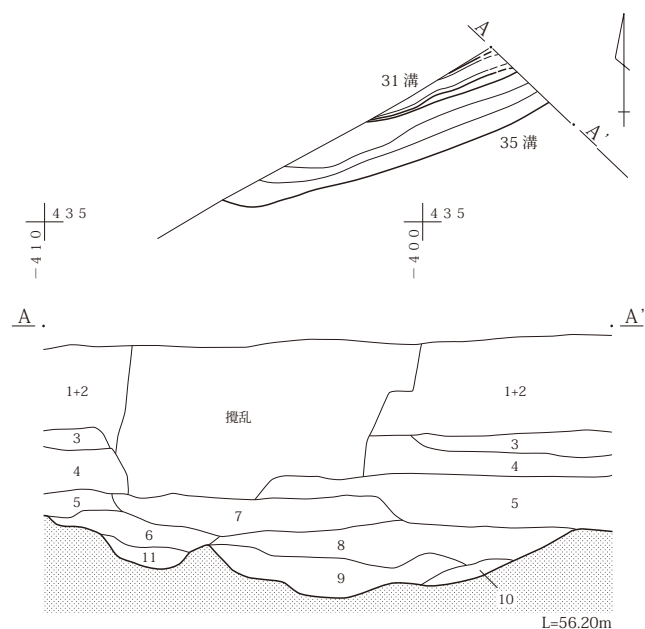
断面形は凸レンズ状を呈していたと考えられる。規模は上幅1.04から1.28m、下幅0.24から0.42m、深さ0.25mを測る。流水の有無は確認されていない。

走行方位 N-70° - E

埋没土 褐灰色土が堆積していた。

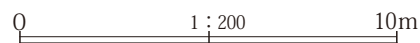
遺物 埋没土中から土師器埴1が出土している。

所見 性格、掘削時期は不詳である。



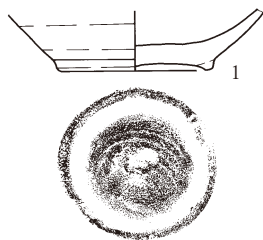
- 1 表土(盛土)
- 2 褐灰色土 粘質。(客土)
- 3 灰黄褐色土 粘質。ローム土・ロームブロック極少量混入。(客土)
- 4 褐灰色土 砂質。As-B混土层。ローム土・白色軽石極少量含む。
- 5 暗褐色土 砂質。As-B混土层。鉄分含む。ローム土・白色軽石極少量含む。
- 6 黒褐色土 やや砂質。As-B混土层。
- 7 暗褐色土 砂質。As-B混土。ロームブロック・褐灰色土ブロック含む。
- 8 暗褐色土 砂質。As-B混土。6層より黒味が強い。ローム土・白色軽石極少量混入。
- 9 褐灰色土 砂質。ローム土少量混入(35号溝)。
- 10 暗褐色土 砂質。ローム土・ロームブロック(径10mm前後)少量混入。縮まり有り。
- 11 暗褐色土 砂質。ローム土少量混入(31号溝)。

断面 = 1 : 40

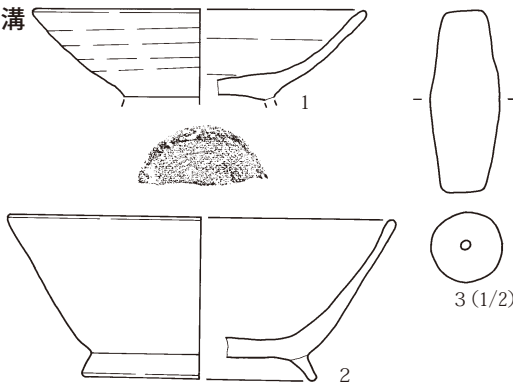


第500図 1面4区溝 31溝35溝

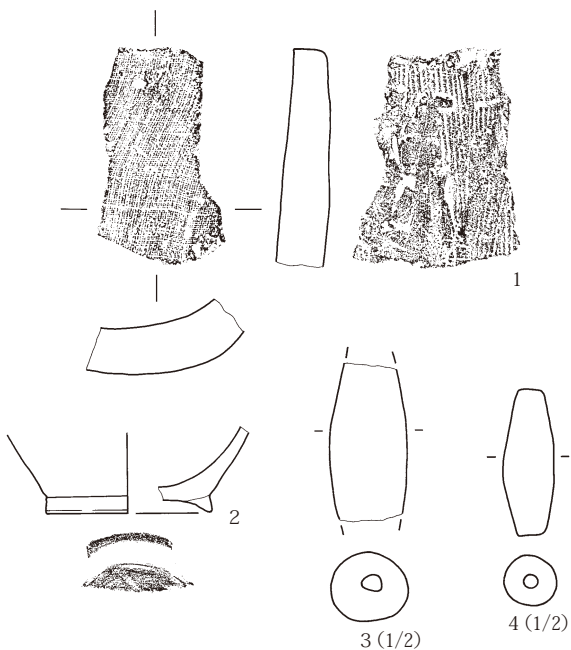
5号沟



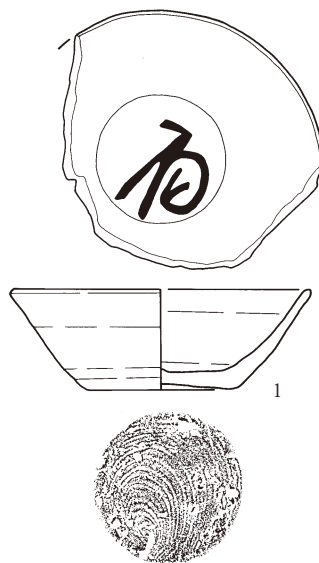
10号沟



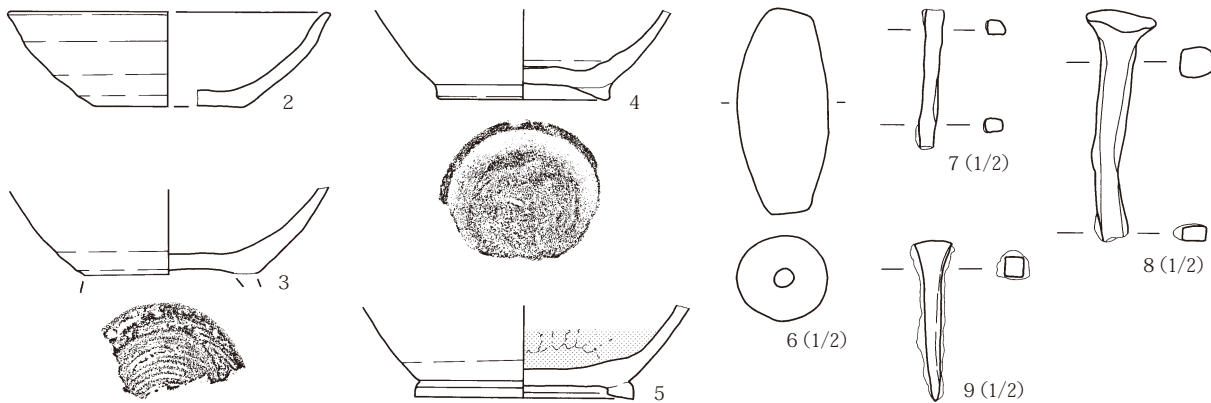
11号沟



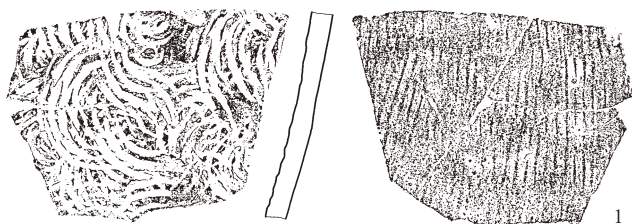
12号沟



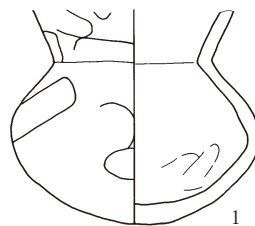
12号沟



20号沟



35号沟



第501图 1面4区沟出土遗物 5沟-35沟

0 1:3 10cm

## 5区の概要

5区1面では21条の溝が検出された。全体的な状況を見ると、調査区の中央部分を北西から南東方向に延びる旧地形の凹地に沿って北西から南東方向に延びる溝とこれを横断する溝が見られる。前者は15号、17号、19号、24号、25号がこれにあたる。後者は9号や12号である。これらとは別に4号、5号、8号、22号、23号溝などは、地形と関連性は希薄なようである。

また、1面では2面で掘削された溝の走向を踏襲するような形で掘削されている溝が確認されている。17号溝は2面18号溝の規模が縮小されたもので、全線が18号溝の埋没土中にあたる。25号溝は先の2面18号溝とほぼ同規模の溝であるが、18号溝の走向を東方向に平行して移動させたような掘り方である。

9号、16号、12号、13号などの東西方向の溝は、圃場整備事業前に東西方向の流路を取り、調査区東方向にある巖穴山古墳の北側から現在の矢田堀放水路に向かっていった用水路の前身にあたる可能性が考えられるが異同を特定できない。

24号、25号溝も圃場整備事業前の五ヶ村用水の流路のすぐ西側で走向を等しくして検出されており、五ヶ村用水の前身である可能性が考えられる。

南西部分で検出した1号溝は現道に沿った走向を取っていた。

### 5区1号溝（第503図、P L 81）

位置 420—360（南端）、435—375（北端）

重複 6号溝に先出する。

形状 調査区の南西部分、調査区の境界に沿うようにして検出された北西から南東部分に延びる溝である。走向は緩やかに蛇行するものの全体的には直線を指向している。北端は6号溝と重複しており、その先は調査区域外におよんだものと考えられる。検出された走長は22.24mである。断面形は原形時には逆台形状を呈していたものと考えられるが、検出時には底面が丸みを有していた。規模は、上幅0.44

から1.38m、下幅0.18から0.72m、深さ0.43mである。

走行方位 N—43° —W

埋没土 黒褐色土が堆積していた。小礫を含んでいるとの記録から流水があった可能性が考えられる。

遺物 土師器甕の破片が出土しているが、資料化するには足りなかった。

所見 用水路として掘削、使用されていたものと考えられる。掘削時期は不詳である。

### 5区6号溝（第503図、P L 82）

位置 435—375（南端）、440—380（北端）

重複 1号溝に後出する。

形状 調査区の南西部分、調査区の境界に沿うようにして検出された北西から南東部分に延びる溝である。南側は調査区外におよんでいる。北西端は幅が狭まり、掘り込みが浅くなり途切れている。延長線上、やや東側に5号溝が位置する。検出された走長は8.09mである。最大上幅は0.50m、同下幅は0.38mである。深さは0.14mである。

走行方位 N—34° —W

埋没土 浅間B混土を含む暗褐色土が上・中層に、浅間B軽石を含む砂粒を主体とする茶褐色土が堆積していた。流水があったことがうかがえる。

遺物 遺物は検出されていない。

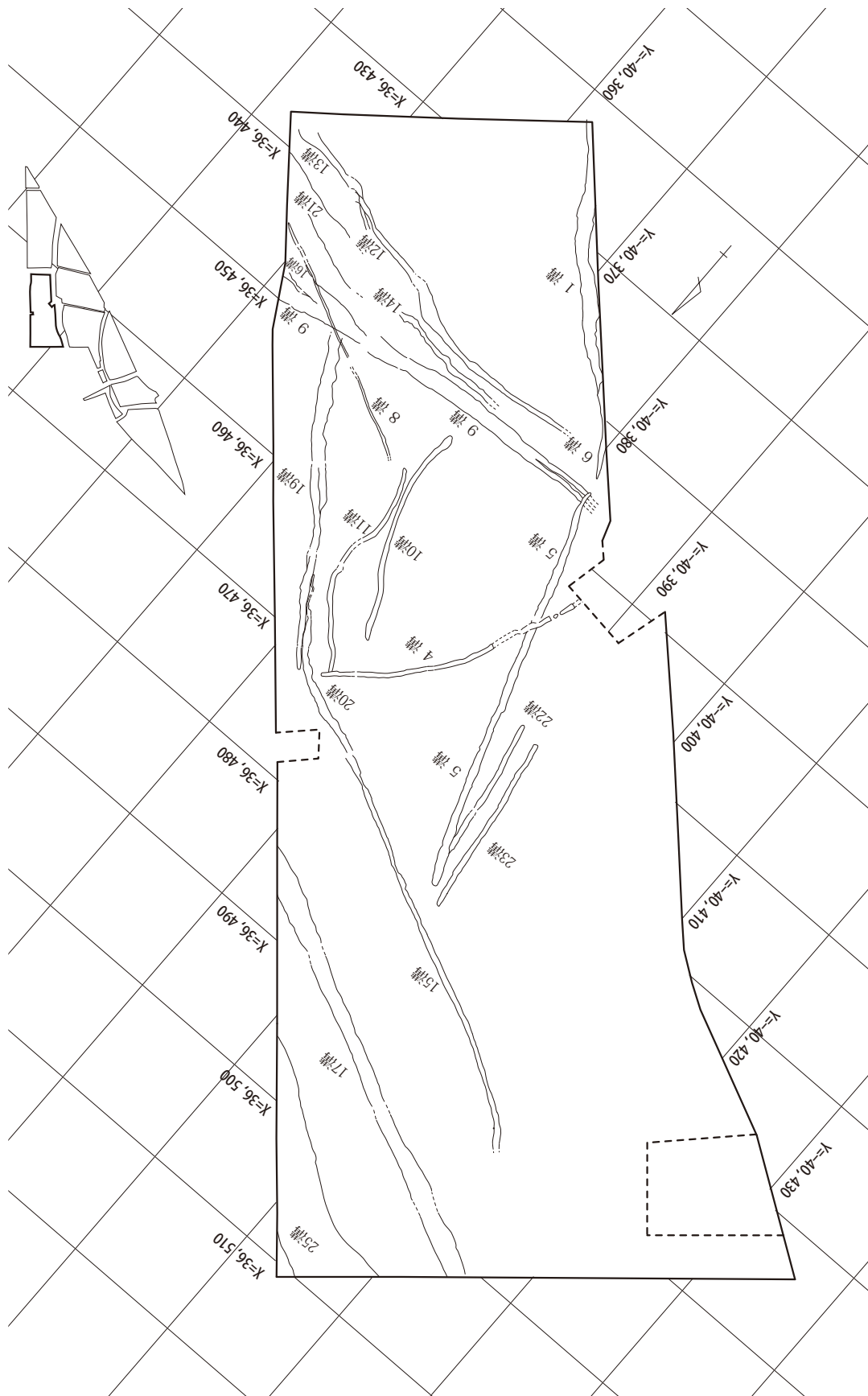
所見 用水路として機能していたものと考えられる。掘削時期は不詳である。

### 5区9号溝（第504図、P L 82）

位置 445—350（東端）、445—375（西端）

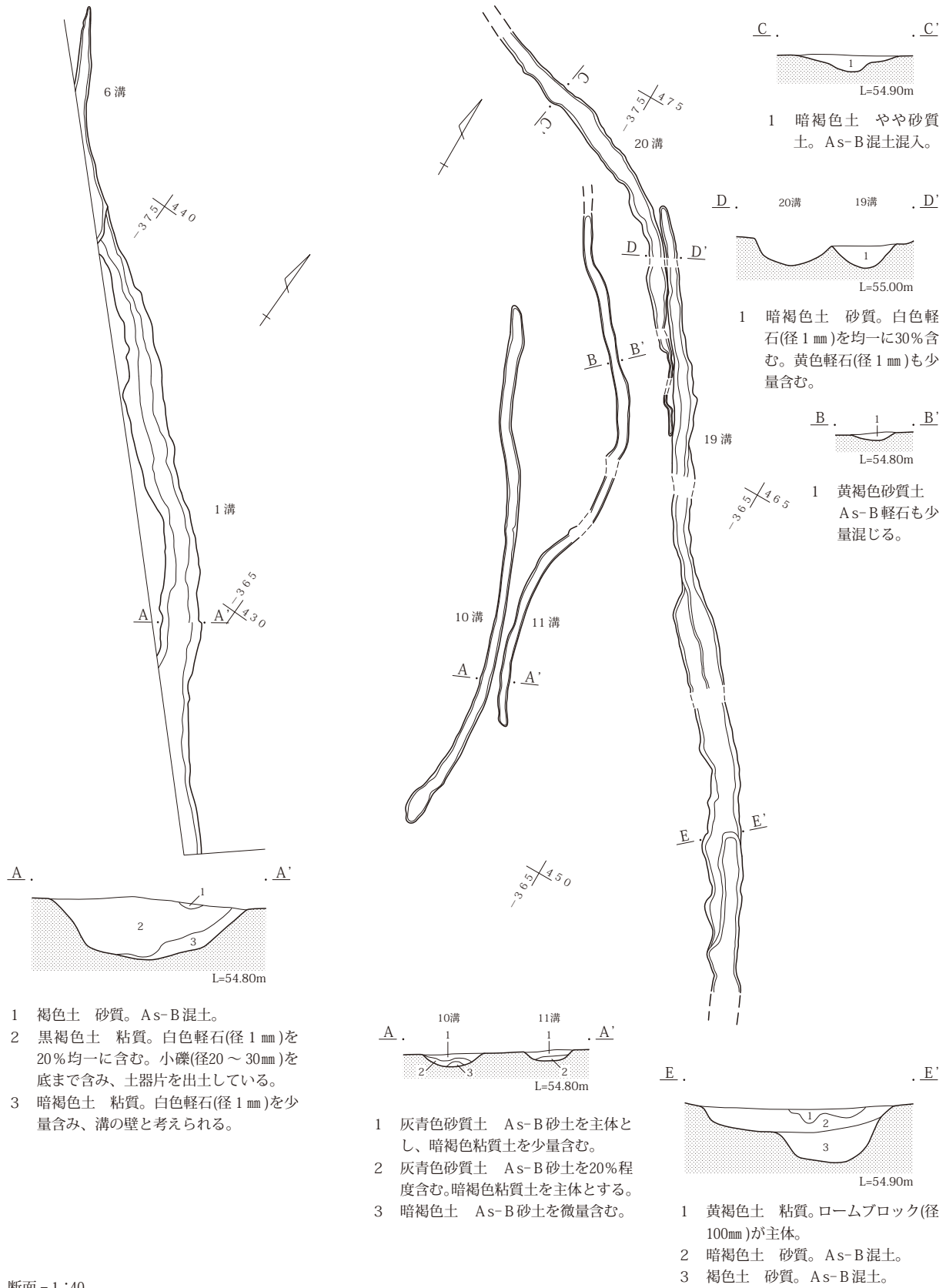
重複 5号・8号・16号・19号の各溝と重複する。

形状 調査区南側寄りで検出された東西方向の溝である。南側には本溝に平行するように16号溝が掘削されたため南側の立ち上がりは削平を受けて欠失していた。検出された走長は30.48mである。西端は5号溝と接するところで掘り込みが不明瞭になる。東端は調査区域外におよんでいる。断面形は皿状を呈していたと考えられる。幅は西端寄りで上幅



第502図 1面5区溝分布

0 1 500 20m



第503図 1面5区溝 1-20溝

0.78m、下幅0.28m、東端寄りで上幅1.18m、下幅0.78mである。深さは東端で約0.1mである。

底面の標高は西端で54.67m、東端で54.59mである。

走行方位 N-83° -E

埋没土 最下層に浅間B混土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区12号溝 (第504図、P L 82)

位置 440-360 (東端)、440-375 (西端)

重複 13号溝と重複する。前後関係は不詳である。

形状 9号・16号溝の南側に位置する東西方向の溝である。走向は西側部分がやや北側寄りの東西方向を向いていたものが、-360ラインの西側で南方向に向きを変え-350ライン付近で13号溝と重複するまで延びている。検出された走長は25.66mである。東西両端とも途切れている。規模は、上幅0.36から1.14m、下幅0.22から1.14m、深さは0.06mである。440-365グリッド内で大きく膨らんでいる他は総じて細い掘り込みであった。底面の標高は西端で54.74m、中頃で54.59m、東端で55.03mであった。

走行方位 N-84° -E (西側)、N-73° -W (中央部分)

埋没土 褐灰色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区13号溝 (第504図、P L 82)

位置 435-340 (東端)、440-350 (西端)

重複 12号溝と重複する。

形状 調査区の南東部分で検出された東西方向の溝である。検出された走長は9.11mである。断面の形状は凸レンズ状である。規模は、上幅0.24から1.10m、下幅0.18から0.76m、深さ0.09mである。

走行方位 N-54° -W (西側)、N-81° -W (東側)

埋没土 暗褐色土、暗灰褐色土が堆積していた。流

水の有無は確認されていない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区14号溝 (第504図、P L 82)

位置 440-360、365

重複 重複関係は認められない。延長線上に5区3号柵列がある。

形状 16号溝と12号溝の間に位置する東西方向の溝である。走向は小さな蛇行をくり返している。検出された走長は10.17mである。掘り込みは西端が-370ラインで、東端が-360ラインで途切れるように認められなくなっている。断面形は逆台形を呈していたと考えられる。規模は、上幅0.32から0.56m、下幅0.18から0.30m、深さ0.07mを測る。

走行方位 N-85° -E (西側)、N-66° -W (東側)

埋没土 小礫を少量含む暗灰色土が堆積していた。流水の有無は確認できない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区16号溝 (第504図、P L 82)

位置 445-355 (西端)、445-350 (東端)

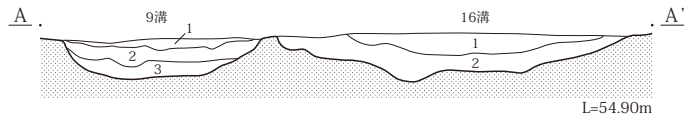
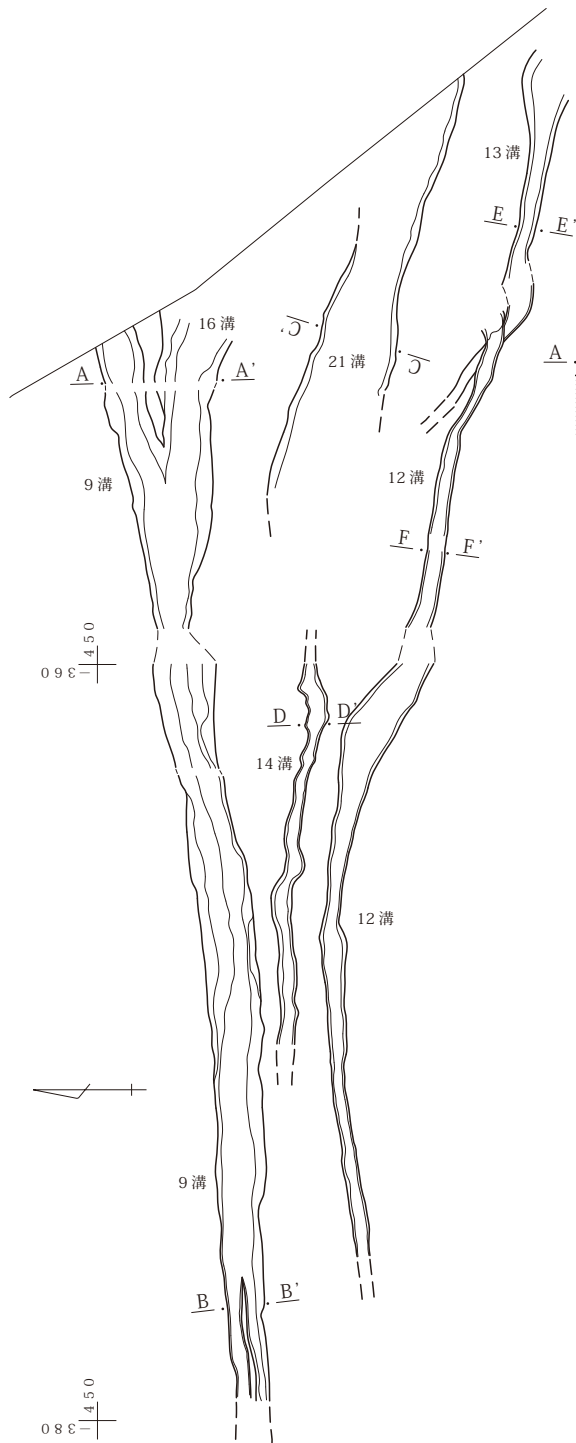
重複 5号・8号・9号・19号の各溝と重複する。

形状 調査時に3号溝と呼称された溝と同一遺構と考えて16号溝として報告する。9号溝とほぼ平行して掘削された東西方向の溝である。-375ラインから約1.2m西側で9号溝との重複が始まり、-403ラインで再び分離するまでは9号溝と同時に調査、掘り下げを行ってしまったため北側の立ち上がりを検出することはできなかった。検出された走長は4.24mである。断面形は凸レンズ状を呈していたと考えられる。幅は西端で上幅0.37m、下幅0.18m、東端で上幅1.48m、下幅1.05mである。深さは東端寄りで0.25mを測った。底面の標高は西端で54.66m、東端で54.68mである。

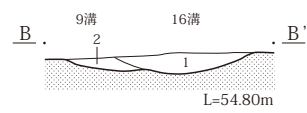
走行方位 N-80° -W

埋没土 浅間B混土を含む暗褐色土、暗灰褐色土が

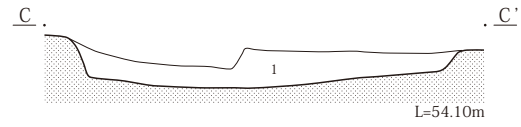




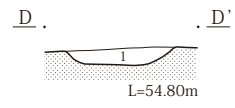
- 1 暗褐色土 粘質。砂質土。As-B混土含む。
- 2 暗褐色土 砂質土。As-B混土多く含む。小礫も極少量混じる。
- 3 明褐色灰色土 砂質土。As-B混土層。



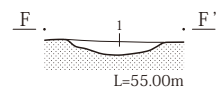
- 1 暗茶灰色砂質土
- 2 暗茶灰色砂質土 1層よりも暗茶味が多い。



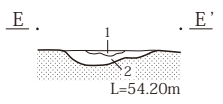
- 1 暗褐色土 ロームブロック少量混入。底部に薄く砂をかむ。



- 1 褐灰色土 砂質土。小礫(径15~20mm)少量混入。

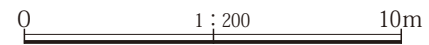


- 1 褐灰色土 粘質土。砂質土も極少量混入。

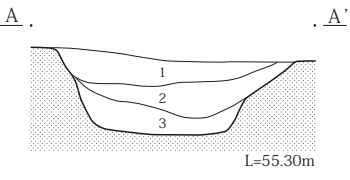
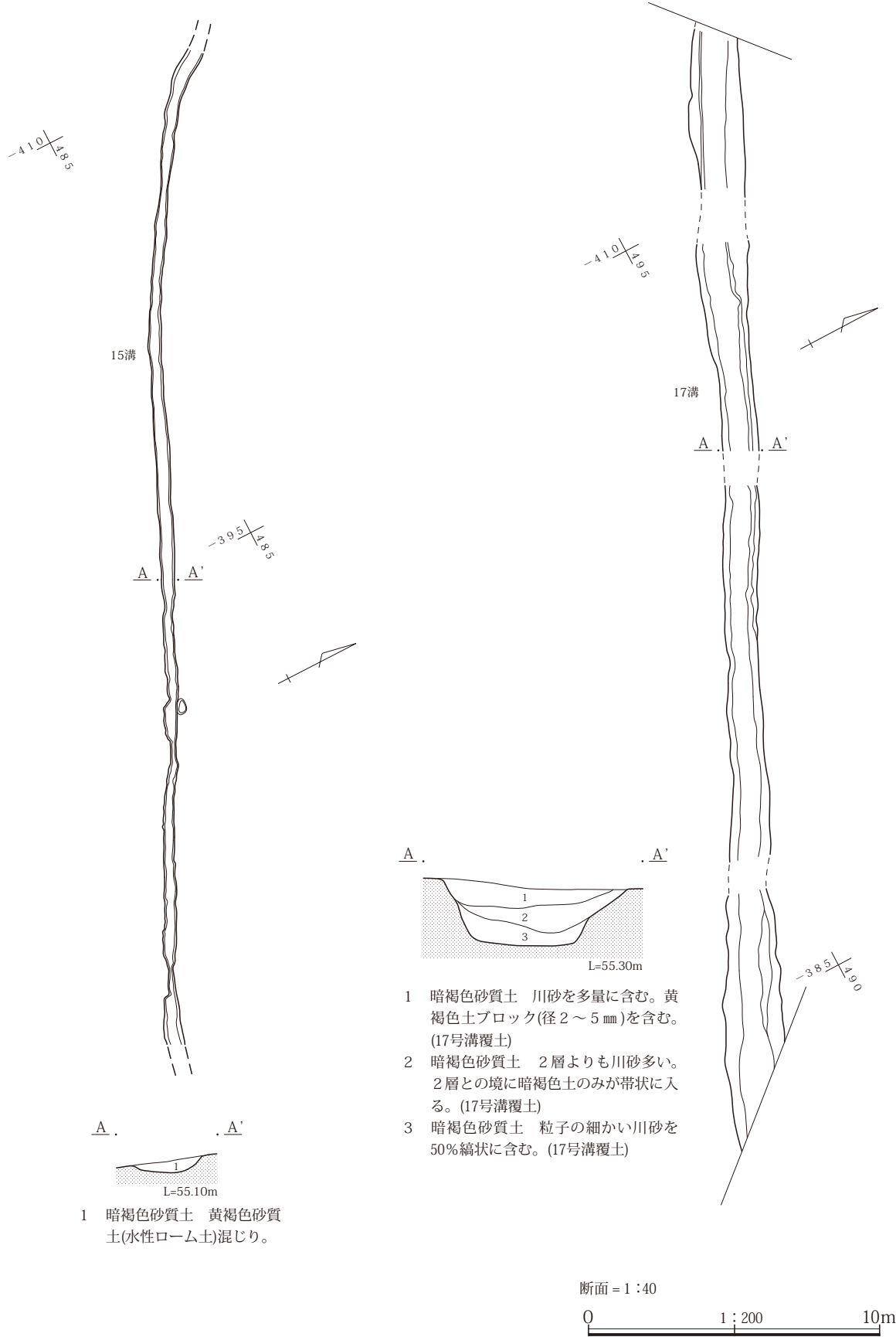


- 1 暗褐色土 白色軽石(径1mm前後)極々少量混入。
- 2 暗褐色土 白色軽石(径1~2mm)少量混入。ローム粒子極少量含む。締まり非常に有り。

断面 = 1 : 40



第504図 1面5区溝 9-16溝



- 1 暗褐色砂質土 川砂を多量に含む。黄褐色土ブロック(径2~5mm)を含む。(17号溝覆土)
- 2 暗褐色砂質土 2層よりも川砂多い。2層との境に暗褐色土のみが帯状に入る。(17号溝覆土)
- 3 暗褐色砂質土 粒子の細かい川砂を50%縞状に含む。(17号溝覆土)

- 1 暗褐色砂質土 黄褐色砂質土(水性ローム土)混じり。

断面 = 1 : 40  
 0 1 : 200 10m

第505図 1面5区溝 15溝17溝

堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 9号溝を掘り直したものと考えられる。性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区21号溝(第502図、P L 83)

位置 440-345、350

重複 重複関係は認められない。

形状 16号溝と13号溝の間に位置する東西方向の溝である。検出された走長は11.95mである。西端は試掘トレンチ部分で途切れ、それ以西では確認できなかった。東端は調査区域外におよんでいるがその手前で北側部分は攪乱を受けている。断面形は壁面の残存が不良であったため全体の様子を知ることができないが、底面は広い平坦を有していた。箱形を呈していた可能性も考えられる。規模は、上幅1.46から2.16m、下幅1.24から1.92m、深さ0.26mを測る。底面の標高には大きな変化は見られない。

走行方位 N-75° -W

埋没土 暗褐色土が堆積している。底面に砂粒が薄く堆積していることから流水、あるいは滞水があったことがうかがえる。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区4号溝(第506図、P L 82)

位置 455-385(南端)、470-370(北端)

重複 5号溝に先出する。

形状 調査区の中位で検出された南北方向の溝である。走向は西側に弧を描き、弓なりに彎曲する形状である。南端寄りには上層からの削平を受け、掘り込みの最深部のみが残存、途切れ途切れの検出状況である。検出された走長は42.83mにおよんだ。断面形は凸レンズ状を呈していた。規模は、上幅0.34から0.44m、下幅0.20から0.30m、深さ0.10mである。

走行方位 N-24° -E(南側)、N-47° -E(北側)

埋没土 浅間B軽石を含む黒褐色土が堆積してい

た。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区5号溝(第506図)

位置 445-380(南端)、475-390(北端)

重複 4号・22号溝に後出する。

形状 調査区中位で検出された南北方向の溝である。走向はほぼ直線である。南端の先に6号溝が位置している。検出された走長は34.96mである。両端とも掘り込みが浅くなり検出ができなくなり収束する形となっている。断面形は凸レンズ状を呈する。その規模は、上幅0.58から0.76m、下幅0.16から0.28mと大きな変化は見られない。深さは0.05mである。底面の標高は北端で54.67m、南端で54.69mであるが中程の460-385グリッド内が最も低く54.33mであった。

走行方位 N-19° -W

埋没土 浅間B混土を含む灰白色土あるいは灰青色土が堆積していた。流水の有無は確認できない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区22号溝(第506図、P L 83)

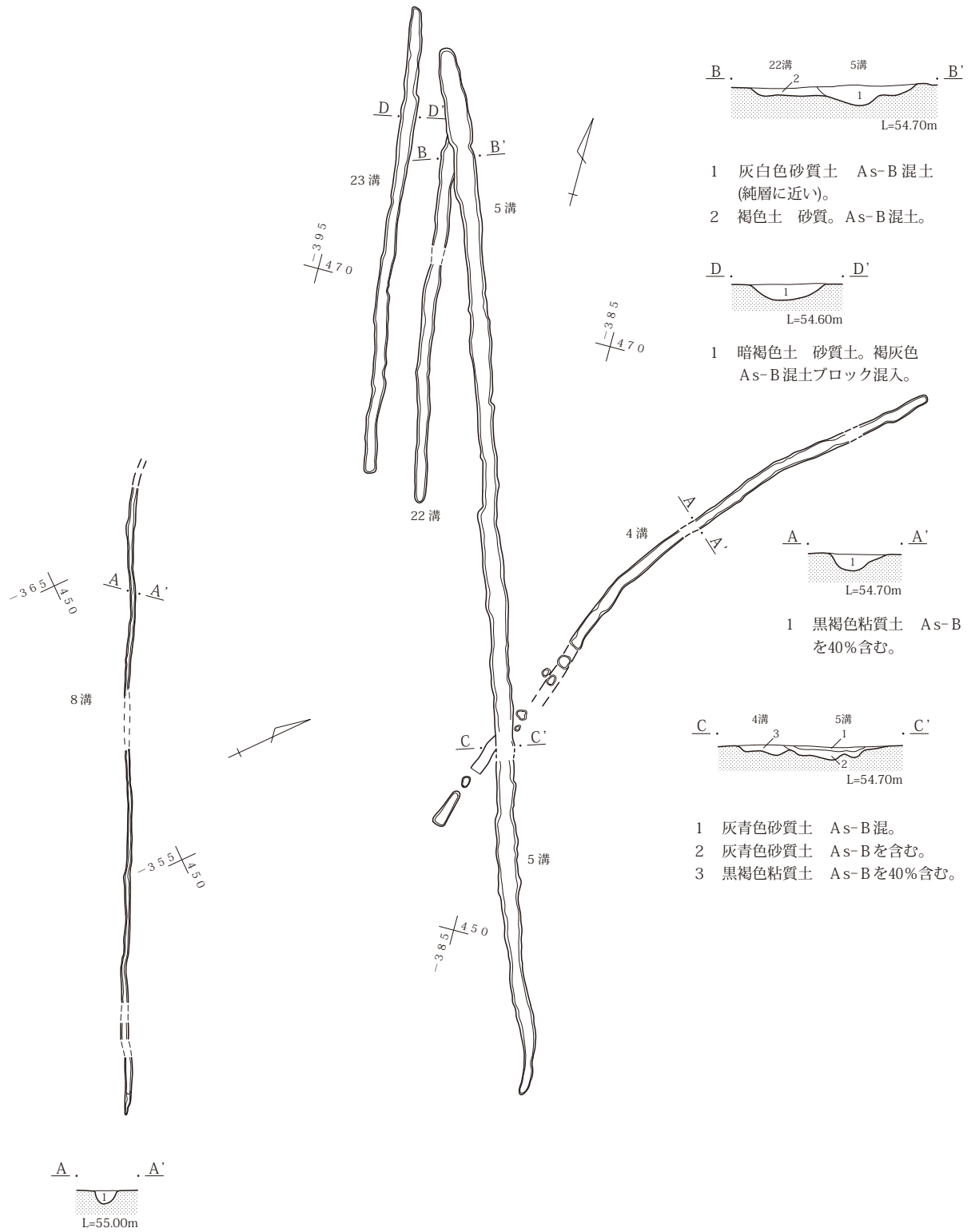
位置 460-385(南端)、470-390(北端)

重複 5号溝に後出する。

形状 5号溝の西側に位置する南北溝である。走向はほぼ直線的で、西側に位置する23号溝と平行している。その間隔は約15から16mである。検出された走長は11.88mである。掘り込みは浅く、最下部が残存、検出されたものと考えられる。横幅は全体をとおして大きな変化はない。その規模は、上幅0.32から0.48m、下幅0.22から0.34m、深さ0.05mを測った。底面の標高は北端で54.59m、南端で54.38mである。

走行方位 N-10° -W

埋没土 浅間B混土を含む褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。



第506図 1面5区溝 4-23溝

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。本溝と23号溝は、同時存在の関係、あるいは前後関係について確認することができないが一道路状遺構の幅員の両側に設置されたもの、あるいは区画の縁辺を画するもので、区画の変更に伴い平行移動するように掘り直された関係にあったものと考えられる。

#### 5区23号溝（第506図、P L 83）

位置 460—390（南端）、475—390（北端）

重複 重複関係はない。

形状 22号溝の西側に位置する南北方向の溝である。検出された走長は15.50mである。掘り込みは浅く、最下部が残存、検出されたものと考えられる。横幅は全体をとおして大きな変化はない。その規模は、上幅0.36から0.48m、下幅0.22から0.36m、深さ0.10mを測った。底面の標高は北端で54.69m、南端で54.41mである。

走行方位 N—8°—W

埋没土 浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。流水の有無は確認されていない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区8号溝（第506図、P L 83）

位置 440—345（東端）、450—365（西端）

重複 9号・16号溝と重複する。

形状 調査区南東部分で検出された東西方向の溝である。走向は直線的である。検出された走長は20.94mである。掘り込みは浅く、最下部が残存、検出されたものと考えられる。横幅は全体をとおして大きな変化は見られない。その規模は、上幅0.14から0.30m、下幅0.04から0.10m、深さ0.08mを測った。底面の標高は北端で54.79m、南端で54.67mである。一律ではないものの、底面は北端から南端に向かって下がっている。

走行方位 N—65°—W

埋没土 暗褐色土が堆積していた。流水の有無は確

認されていない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区10号溝（第503・507図、P L 83）

位置 445—365（南端）、465—375（北端）

重複 重複関係は認められない。

形状 調査区の東側中位で検出された南北方向の溝ある。走向は東側に弧を描いて彎曲している。検出された走長は18.58mである。断面形は凸レンズ状を呈する。掘り込みは浅く、最下部が残存、検出されたものと考えられる。その規模は、上幅0.54から0.66m、下幅0.22から0.30m、深さ0.09mである。底面の標高には大きな変化は見られない。

走行方位 N—27°—W（北側）、N—5°—W（南側）

埋没土 灰青色土、暗褐色土が堆積していた。浅間B軽石を混入する。流水の有無は確認されていない。

遺物 須恵器杯1・3・4、蓋2を資料化した。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区11号溝（第503図、P L 83）

位置 450—365（南端）、470—370（北端）

重複 重複関係は認められない。

形状 10号溝の東側で検出された南北方向の溝である。走向はS字状に彎曲している。検出された走長は18.90mである。掘り込みは浅く、最下部が残存、検出されたものと考えられる。その規模は、上幅0.36から0.48m、下幅0.18から0.28m、深さ0.07mである。

走行方位 N—37°—W（北側）、N—8°—E（南側）

埋没土 北側で黄褐色土が、南側で灰青色土が堆積していた。ともに浅間B軽石を混入している。流水の有無は確認されていない。

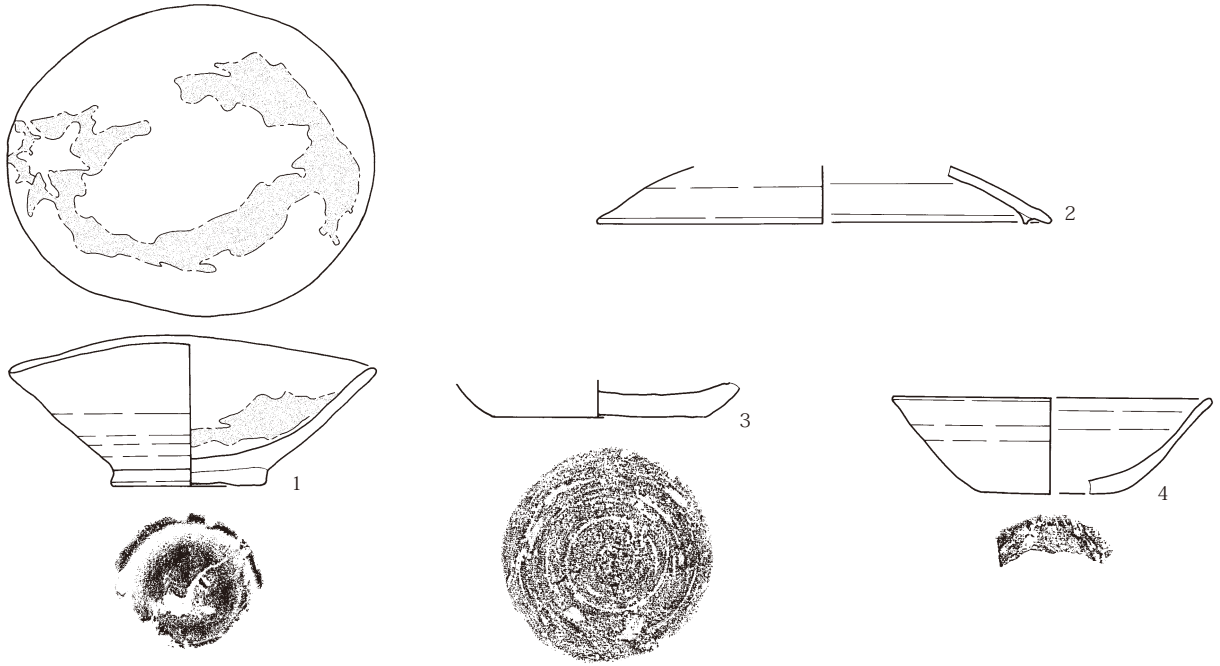
遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

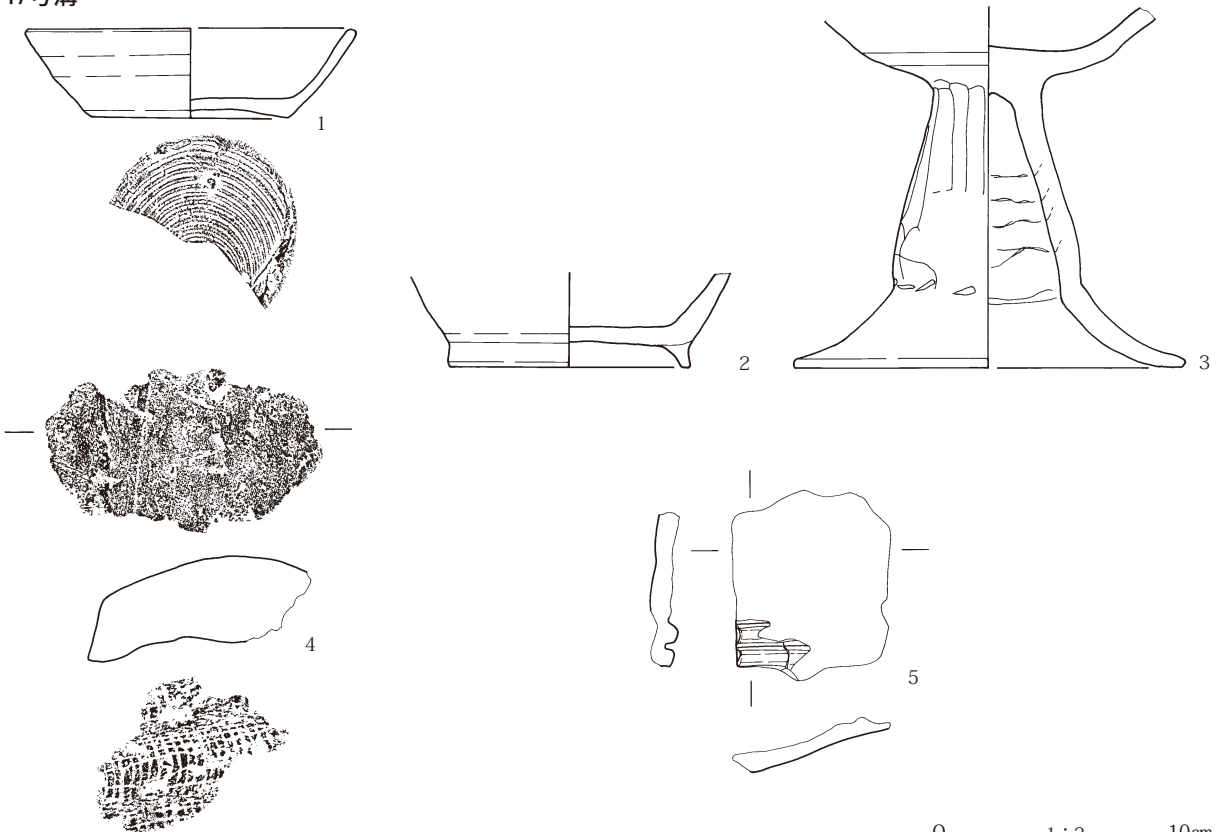
#### 5区19号溝（第503図、P L 84）

位置 445—355（南端）、470—370（北端）

10号沟



17号沟



0 1:3 10cm

第507图 1面5区沟出土遗物 10沟17沟

重複 2号溝に後出する。前後関係は不明であるが、15号溝とは実質的には重複関係にあったものと考えられる。

形状 11号溝の東側で検出された北西から南東方向に延びる溝である。北東から南西方向に向かって緩やかに傾斜する微地形の縁辺に、2面の2号溝の流路を踏襲して掘削されたものと考えられる。北西端は掘り込みが浅くなり確認できなくなって収束している。南東端は9号・16号溝と接した部分まで確認できたがそれ以南は不明瞭である。検出された走長は27.33mである。断面形の原形は逆台形を呈していたものと考えられるが、検出時の底面は丸みを有していた。幅は概して北側部分で狭く、460ラインから南側部分で広がっていた。南側の拡張は西壁の立ち上がりが緩くなったことによる。その規模は、上幅0.26から1.24m、下幅0.18から0.88m、深さ0.23mである。

走行方位 N—34°—W

埋没土 中・下層に浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。

遺物 なし。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区15号溝 (第505図)

位置 470—380 (東端)、490—410 (西端)

重複 2号溝に後出する。

形状 調査区の北東から東側部分で検出された溝である。走向は、北東から南西方向に向かって緩やかに傾斜する微地形の縁辺を確認面の等高線の流れに沿うようにして延びている。北西側は、西北西から東南東の方向に向かって延びていたものが南端寄りから南東方向に向きを変えて収束している。その先は19号溝と流路を等しくしていたものと考えられる。検出した走長は50.40mである。掘り込みは浅く、最下部が残存、検出されたものと考えられる。その規模は、上幅0.42から0.78m、下幅0.06から0.18m、深さ0.11mである。

走行方位 N—63°—W

埋没土 浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。流水の痕跡は確認されなかった。

遺物 土師器甕の破片1点が出土しているが資料化するには足りなかった。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 5区25号溝 (第508・509図、P L 84・138)

位置 495—390 (東端)、500—400 (西端)

重複 24号溝に先出する。

形状 調査区の北東部分で検出した東西方向の溝である。南側に17号溝が位置する。検出された走長は21.33mである。断面形は逆台形を呈していたと考えられるが、北側の立ち上がりは攪乱を受けて南側より60cm程低かった。残存した規模は上幅4.98から5.42m、下幅1.74から2.03m、深さ1.07mである。走行方位 N—58°—W

埋没土 上層に浅間B混土を含む暗褐色土が、中層に砂粒を少量混入する暗褐色土が、下層に褐灰色の砂粒が堆積していた。砂粒の混入状況から流水が有ったものと考えられる。

遺物 底面から五輪塔空風邪輪1が、埋没土中から青磁2、土師器甕3、高杯4が出土している。

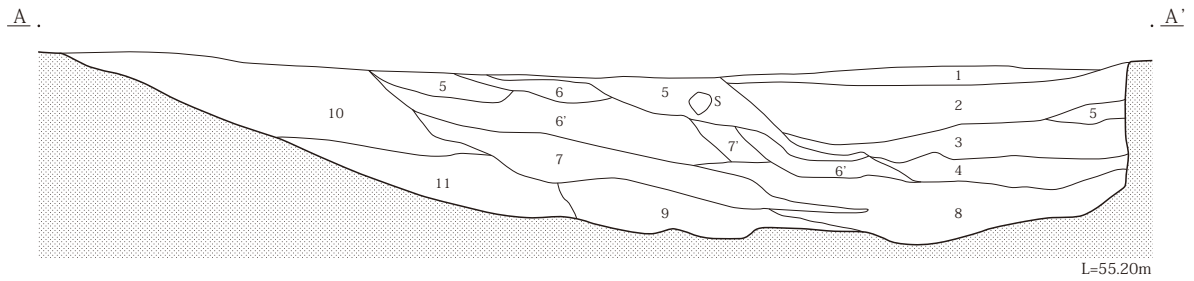
所見 用水路として機能していたものと考えられる。底面の標高は東端の方が高いが流水は西端から東端に向かっていたと考えられる。掘削時期は中世である。調査時には本溝が埋没した後、あるいは埋没する過程で掘直されものと考えられ、5区24号溝として認識されていたが、記録された平面図と断面図の整合性が確認できなかったことから24号溝の遺構としての認定を解いたものである。

#### 5区17号溝 (第505・507図、P L 84・138)

位置 485—380 (東端)、500—410 (西端)

重複 18号溝に後出する。

形状 調査区の北東部分で検出された東西方向の溝である。走向は2面で検出された18号溝の流路をほぼトレースするようにして直線的に延びていた。



- 1 暗褐色土 砂質。As-B 混土・ロームブロック(径5～10mm)少量混入。
- 2 黄暗褐色土 粘質。暗褐色土にロームブロック(径5～40mm)が均一に60%混入。ローム斑状。
- 3 にぶい黄橙色土 粘質。ロームブロック(径30～50mm)が主体で、暗褐色土のブロック(径10mm)が少量混入。
- 4 黄橙色土 粘質。ロームブロック(径50～100mm)が主体で、暗褐色土が少量混入。
- 5 暗褐色土 粘質。白色軽石(径1mm)少量混入。砂も少量混入。
- 6 灰黄褐色土 粘質。白色軽石(径1mm)少量混入。
- 6' 灰黄褐色土 粘質。砂がラミナ状に堆積。
- 7 灰褐色土 砂質。砂がラミナ状に堆積し、50%以上が砂。
- 7' 灰褐色土 粘質。粘土が主体の部分である。
- 8 礫層 小礫(径10～40mm)を主体にした礫層。
- 9 礫層 小礫(径5～10mm)が中心で礫(径150mm)が数個混入。
- 10 暗褐色土 やや粘質。ローム粒(径1mm)が20%混入。
- 11 褐灰色土(暗い) 粘質。ローム粒(径2～3mm)少量混入。

断面 = 1 : 40



第508図 1面5区溝 25溝



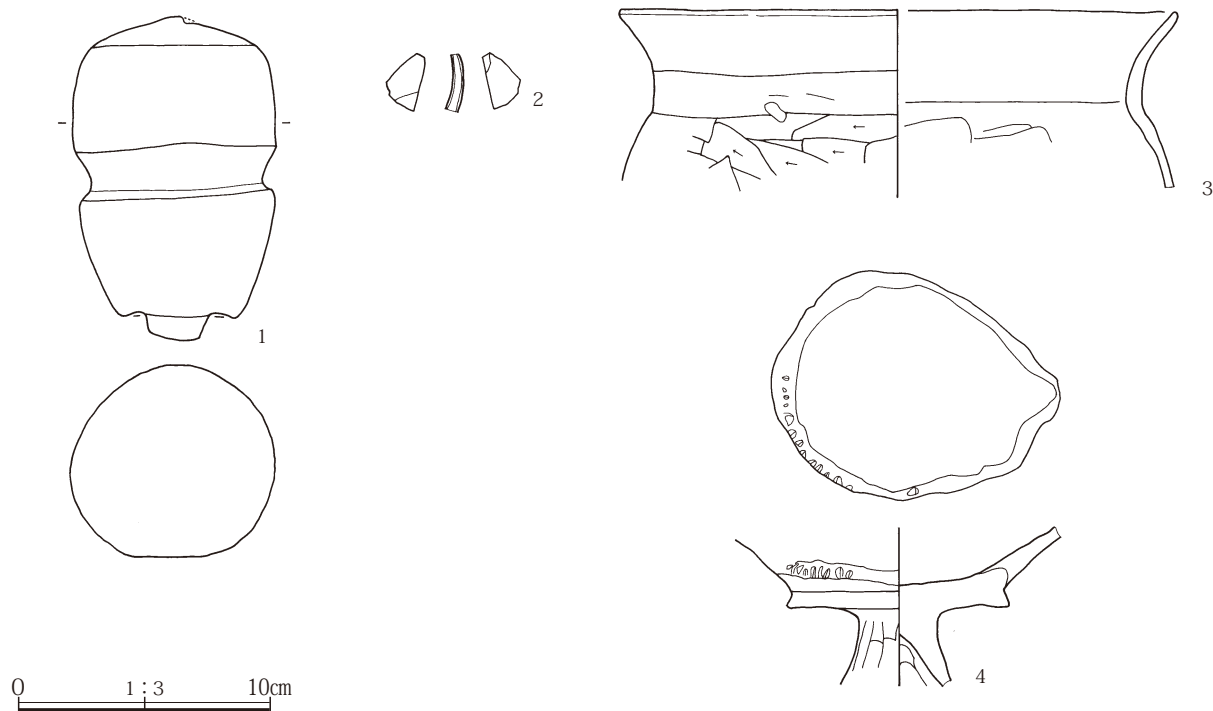
検出された走長は36.52mである。両端とも調査区域外におよんでいた。断面形は逆台形で底面から20から30cm上方に稜を有し、これより上位の壁面はさらに外傾を著しくして立ち上がっている。その規模は、上幅1.07から1.98m、下幅0.72から1.18m、深さ0.45mである。底面の標高は54.60から54.70m前後で大きな変化は見られなかった。

走行方位 N-64° -W

埋没土 暗褐色土が堆積、砂粒をラミナ状に含んでいた。流水があったことがうかがえる。

遺物 埋没土中から出土した須恵器杯1、椀2、土師器高杯3、瓦4、瓦塔5を資料化した。

所見 18号溝が完全に埋没した後にその流路に合わせるように掘削された用水路と考えられる。掘削時期は不詳である。



第509図 1面5区溝出土遺物 25溝

## 6区の概要

I区、II区の西側部分には2面調査時に検出された自然流路の名残が南東から北西方向に凹地となって残っていた。検出された8条の溝はいずれも凹地の東側に位置している。3号溝は東山道駅路の北側側溝を利用した溝である。

III区では南北方向の大溝、8号溝が検出された。

### 6区1号溝(第511図、P L 85)

位置 370-280(東端)、365-290(西端)

重複 重複関係は認められない。

形状 6-I・II区の南東部分から検出された東西方向の溝である。走向はわずかに弧を描いている。検出された走長は11.56mである。両端とも約20cmの高さを持って収束している。断面形は底面の幅が狭い逆台形が原形であったか。その規模は、上幅0.28から0.48m、下幅0.14から0.24m、深さ0.31mである。

走行方位 N-36°-E

埋没土 灰黄褐色土である。流水の痕跡は認められない。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

### 6区2号溝(第511・512・515図、P L 84・139)

位置 370-280(南端)、395-300(北端)

重複 3号溝と重複する。

形状 6-I・II区の中央から南東部分にかけて検出された溝である。全体的に見ると南西方向に弧を描いているが、走行方向は一定していない。北端寄りでは東方向に短く枝分かれしているが別遺構の重複かいなか不詳である。375-290グリッド内で北西から東方向へ屈曲している。両端とも調査区域外におよんでいる。検出した走長さは37.14mである。断面形は逆台形を呈していると考えられるが、V字形をなす部分もある。

走行方位 N-62°-W(南側)、N-27°-W(北側)

埋没土 暗褐色土が堆積していた。流水の痕跡は認められない。

遺物 埋没土中から出土した瓦1、硯2、鉄製古

銭3を資料化した。

所見 遺物の特徴から近世の掘削と考えられる。性格は不詳であるが区画溝の可能性があろうか。

### 6区3号溝(第511・512・515図、P L 139)

位置 375-280(東端)、375-315(西端)

重複 東山道駅路北側側溝・2号溝と重複する。

形状 6-I・II区の中央から南東部分にかけて検出された東西方向の溝である。走向は中位で緩やかに蛇行するものの全体的には直線を指向している。西端は調査区西側で検出された自然流路により削平を受けている。東端は調査区域外におよび、大道西遺跡に調査区におよんでいる可能性がある。380-320の交点から南東方向に約0.7mの地点で4号溝と合流している。検出された走長は35.86mである。断面形は逆台形を原形としていたと考えられるが、一部法面の中位に稜が見られる部分もある。その規模は、上幅1.12から1.74m、下幅0.18から0.90m、深さ0.61mである。

走行方位 N-83°-W

埋没土 上層から中層にかけては暗褐色土が堆積している。全体的ではないが最下層に砂礫が堆積している部分も認められた。流水があったことがうかがえる。

遺物 埋没土中から出土した遺物の中から須恵器短頸壺1、甕6、土師器甕2、壺4、甕5、高杯6から8、壺4、甕7・8を資料化した。

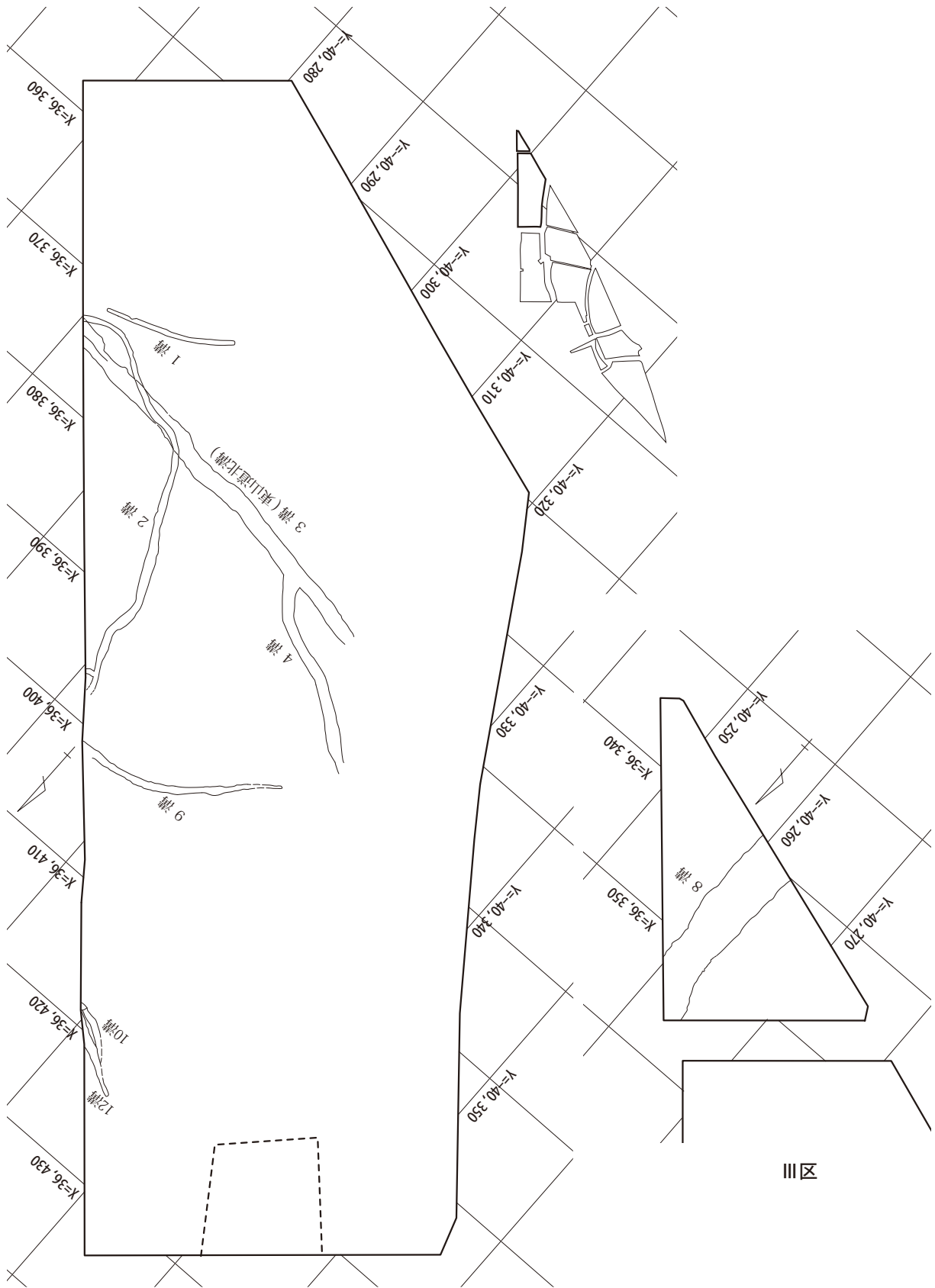
所見 本溝はその前身が東山道駅路北側側溝である。この掘り込みを利用して用水路として機能していた。使用時期については不詳である。

### 6区4号溝(第511・512図、P L 85)

位置 375-305(東端)、385-320(西端)

重複 3号溝と重複する。

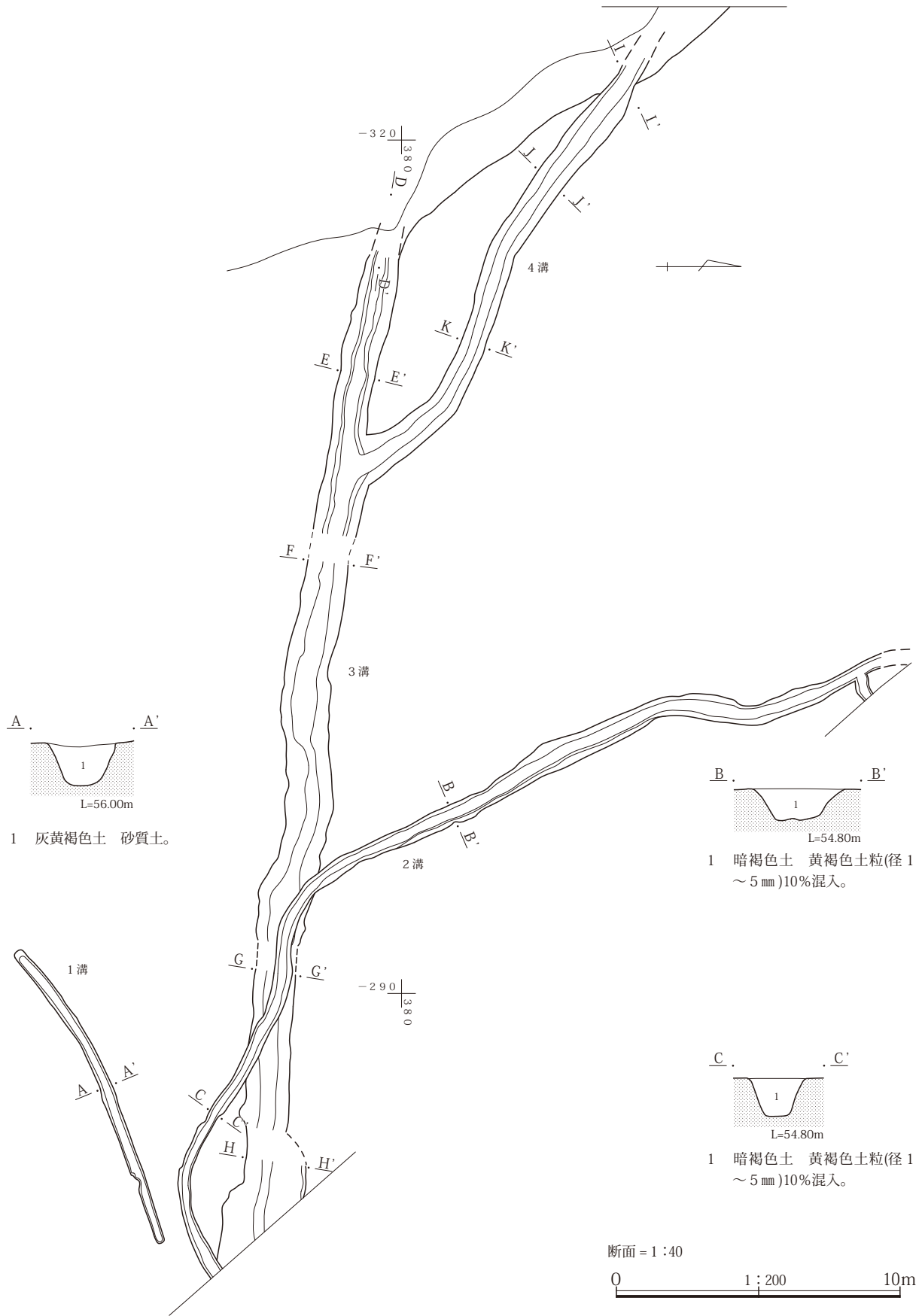
形状 6-I・II区の中央部分から検出された東西方向の溝で3号溝と合流している。西端は自然流路と重複してその先は不詳となる。検出された走長は17.33mである。断面形は逆台形状を呈していたと考えられる。その規模は上幅0.50から1.28m、下幅0.48から0.76m、深さ0.36mである。



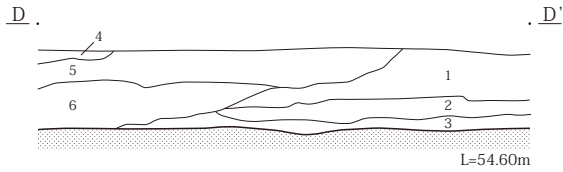
I・II区

第510図 1面6-I区6-II区6-III区溝分布

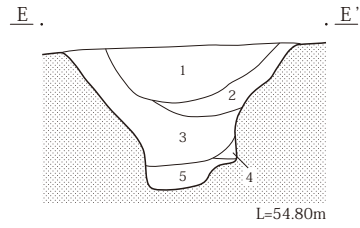
0 1:500 20m



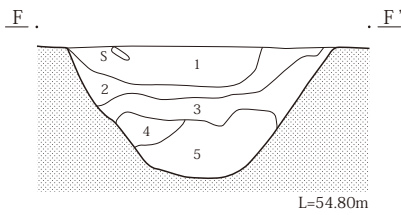
第511図 1面6区溝 1-4 溝



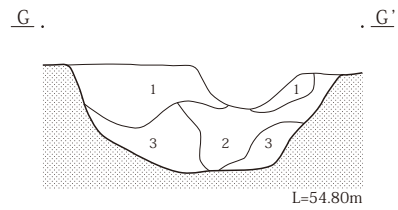
- 1 暗褐色土 灰色粘質土混入。(3号溝覆土)
- 2 暗褐色土 黄褐色土・灰色粘質土混入。(3号溝覆土)
- 3 暗褐色土 黄褐色土混入。(3号溝覆土)
- 4 暗褐色土 粘質土。(谷地部の覆土。3号溝を谷地が切る。)
- 5 暗褐色土 褐灰色土・砂質土混入。(谷地部の覆土。3号溝を谷地が切る。)
- 6 暗褐色土 砂質土・小礫混入。(谷地部の覆土。3号溝を谷地が切る。)



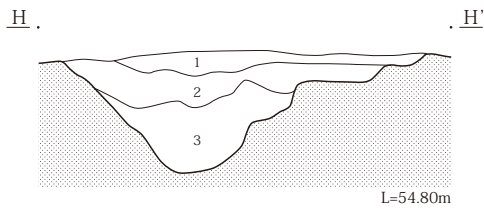
- 1 暗褐色土 黄褐色土10%混入。灰色粘質土5%混入。
- 2 暗褐色土 灰色粘質土10%混入。
- 3 暗褐色土 黄褐色土30%混入。灰色粘質土20%混入。
- 4 茶褐色砂質土
- 5 暗褐色土 黄褐色土40%混入。



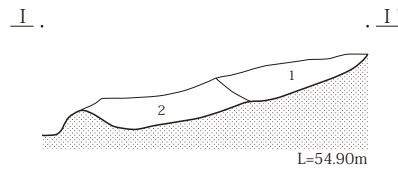
- 1 暗褐色土 黄褐色土10%混入。灰色粘質土5%混入。
- 2 暗褐色土 灰色粘質土10%混入。
- 3 暗褐色土 黄褐色土30%混入。灰色粘質土20%混入。
- 4 暗褐色土 礫(径10～30mm)多量混入。
- 5 砂礫層 暗褐色土10%混入。砂(径5～10mm)・礫(径10～20mm)で構成される。



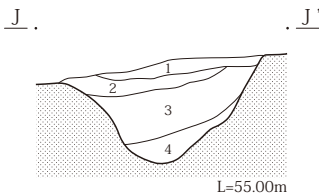
- 1 暗褐色土 黄褐色土粒(径1～2mm)20%混入。礫(径5～10mm)少量混入。
- 2 暗褐色土 灰色粘質土10%混入。礫(径5～10mm)少量混入。
- 3 暗褐色土 黄褐色土30%混入。礫(径5～10mm)少量混入。



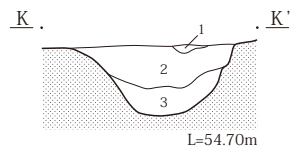
- 1 暗褐色土 黄褐色土10%混入。礫(径5～15mm)少量混入。
- 2 暗褐色土 灰色粘質土10%混入。礫(径5～10mm)少量混入。
- 3 暗褐色土 黄褐色土20%混入。灰色粘質土20%混入。礫(径10～15mm)少量混入。



- 1 暗褐色土 灰褐色砂質土多量に混入。ロームブロック(径10～20mm)少量含む。
- 2 暗褐色土 灰褐色砂質土多量に混入。ロームブロック・ローム粒少量含む。黒褐色土ブロックも少量含む。



- 1 暗褐色土 黄褐色土粒少量混入。
- 2 暗褐色土 灰褐色砂質土少量混入。
- 3 暗褐色土 灰褐色砂質土ブロック多量に混入。
- 4 暗褐色土 砂質土。ローム粒極少量混入。



- 1 暗褐色土 黄褐色土粒(径1～3mm)少量混入。
- 2 暗褐色土 灰褐色土30%混入。
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック(径5～10mm)少量混入。

0 1:40 1m

第512図 1面6区2-4溝断面

走行方位 N—37°—W(西側)、N—54°—W(東側)  
埋没土 上層に暗褐色土、下層に黄褐色土が堆積している。流水の有無は確認されていないが3号溝と合流することから流水があったものと考えられる。

遺物 土師器甕の破片1点が出土したが、資料化するには足らなかった。

所見 用水路として掘削された可能性が考えられる。掘削時期は3号溝と同時期であるが不詳である。

#### 6区9号溝(第514図、P L 85)

位置 400—300(東端)、390—315(西端)

重複 1号井戸に後出する。

形状 6—I・II区の中央から東側部分で検出された東西方向の溝である。走向は北西方向に弓を引いたように弧を描いている。検出された走長は18.47mであるが、南西端寄りの約4mは掘り込みがなくなり底面の痕跡が認められただけである。断面形は逆台形状を呈する。その規模は、上幅0.52から0.78m、下幅0.24から0.48m、深さ0.25mである。東側部分の底面の高さはほぼ変化がない。

走行方位 N—78°—E(東側)、N—49°—W(西側)  
埋没土 暗褐色土が堆積していた。流水の痕跡は確認できなかった。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 区画溝の可能性が考えられる。掘削時期は不詳である。

#### 6区10号溝(第514図、P L 85)

位置 415—315(東端)、420—320(西端)

重複 11号溝に後出する。12号溝と重複する。

形状 6—I・IIの北側部分から検出された。検出された走長は7.86mである。断面形は、浅い凸レンズ状であった。上層からの削平を受け、掘り込みの基底部分のみ検出した結果であろう。その規模は上幅0.59から0.74m、下幅0.31から0.50m、深さ0.09mである。

走行方位 N—83°—W

埋没土 暗褐色土が堆積していた。流水の痕跡は認められなかった。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 6区12号溝(第514図、P L 85)

位置 415—320(東端)、420—325(西端)

重複 10号溝と重複する。

形状 6—I・IIの北側部分から検出された溝である。南側に10号溝が位置する。東端は調査区域外におよんでいる。検出された走長は7.86mである。断面形は、浅い凸レンズ状であった。上層からの削平を受け、掘り込みの基底部分のみ検出した結果であろう。その規模は上幅0.68から0.82m、下幅0.10から0.68m、深さ0.09mである。

走行方位 N—63°—W

埋没土 暗褐色土が堆積していた。流水の痕跡は認められなかった。

遺物 遺物は検出されていない。

所見 性格、掘削時期は不詳である。

#### 6区8号溝(第513・516図、P L 85・139)

位置 335—260(南端)、355—260(北端)

重複 32号土坑と重複する。

形状 6—III区から検出された南北方向の溝である。調査区が狭小であったため、南北両端とも調査区域外におよんでいた。北端の延長は大道西遺跡の調査区内にいたっていると考えられる。検出された走長は16.29mである。断面形は逆台形状を呈していたと考えられる。底面近くに弱い稜が見られた。底面は水流の影響からか箇所、箇所幅が大きく異なり、丸底状になっていた箇所もあった。その規模は、上幅1.64から3.26m、下幅0.38から1.64m、深さ1.96mである。底面の標高は北端で52.73m、南端で52.38m、中位で52.21mである。

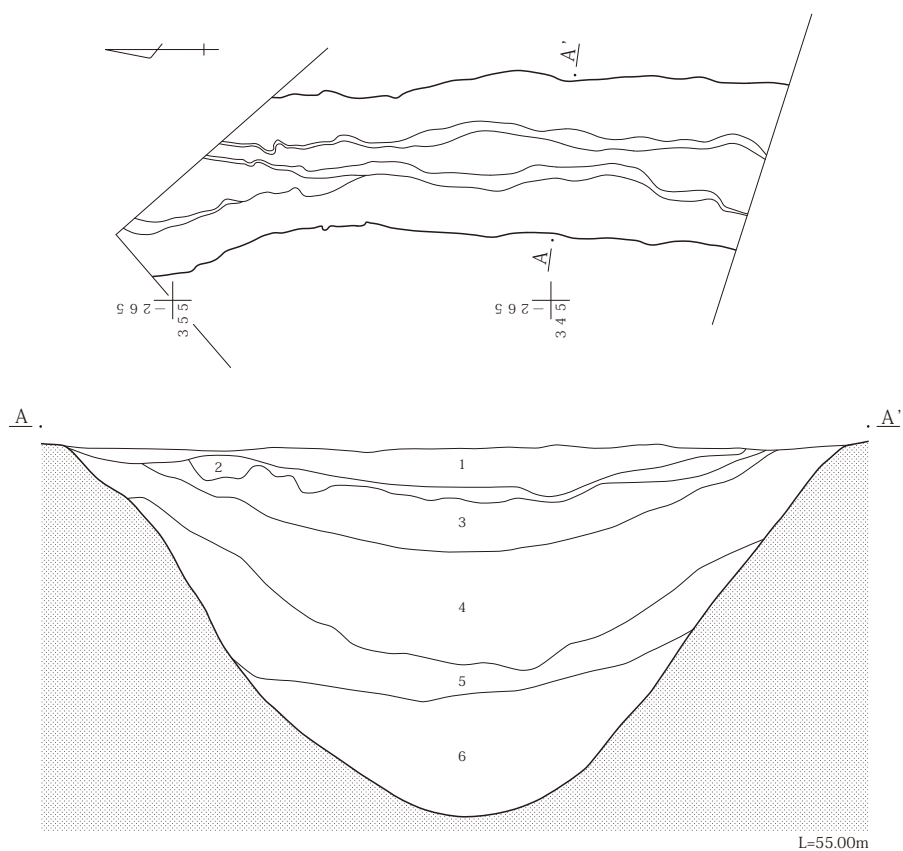
走行方位 N—4°—W

埋没土 最上位に浅間B混土を含む暗褐色土が堆積していた。中層から下層の各層には砂粒や小礫の混入が認められることから流水があったことが分かる。

遺物 埋没土中から出土した遺物の中から須恵器提瓶1、土師器壺2、小型壺3、高杯4から11、土師器甕12、埴輪13、石製紡錘車14を資料化した。

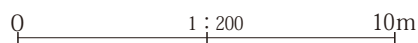
所見 圃場整備事業前に五ヶ村用水から分水を受けた用水路が流れていた部分である。大規模な用水

路で、長期間継続して維持されてきた溝と考えられる。その掘削時期は不詳である。

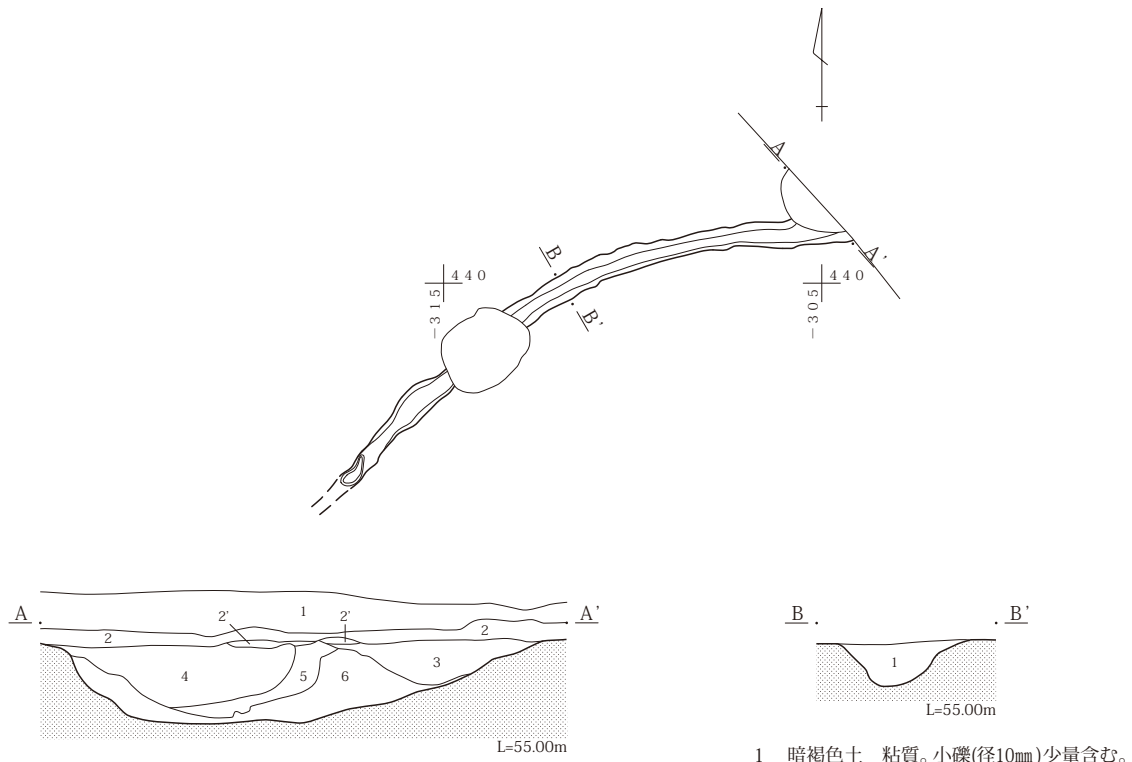


- 1 暗褐色土 As-B混土。(7号溝覆土)
- 2 暗褐色土 やや粘質。小礫(径10mm)を少量混入。白色軽石(径1mm)を微量混入。
- 3 褐色土 粘質。黄色軽石(径1~3mm)を少量混入。また中央部に砂層がある(20%)。
- 4 暗褐色土 粘質。小礫(径10~50mm)を均一に30%混入。土器が出土する。
- 5 7層に少量ロームブロックが混じる。
- 6 暗褐色土 砂礫。大きい礫を多量に含む。

断面 = 1 : 40

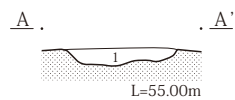
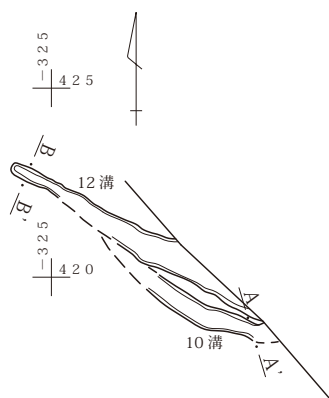


第513図 1面6区溝 8溝

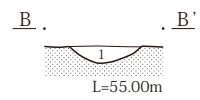


- 1 現耕作土
- 2 灰褐色土 黄褐色土ブロック80%混入。攪乱。
- 2' 灰褐色土 攪乱。
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック(径20mm)微量混じる。9号溝覆土。
- 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック(径15mm)少量混じる。35号土坑覆土。
- 5 4層よりも褐色味強い。黄褐色土粒(径5~10mm)5%混じる。35号土坑覆土。
- 6 褐色土 礫(径10mm)・砂混じる。黄褐色土ブロック(径5~10mm)10%混じる。35号土坑覆土。

1 暗褐色土 粘質。小礫(径10mm)少量含む。

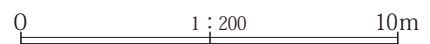


1 暗褐色土 黄褐色土粒(径0.1~1mm)微量混入。炭粒(径5mm程度)微量混入。10号溝覆土。



1 暗褐色土 黄褐色土ブロック(径5~10mm)少量混入。

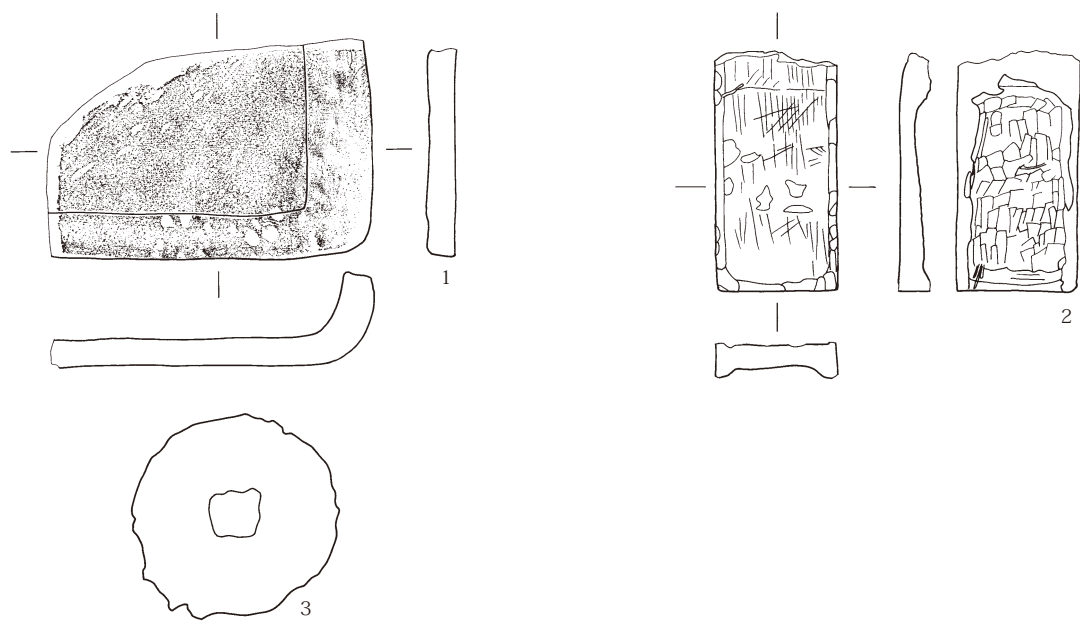
断面 = 1 : 40



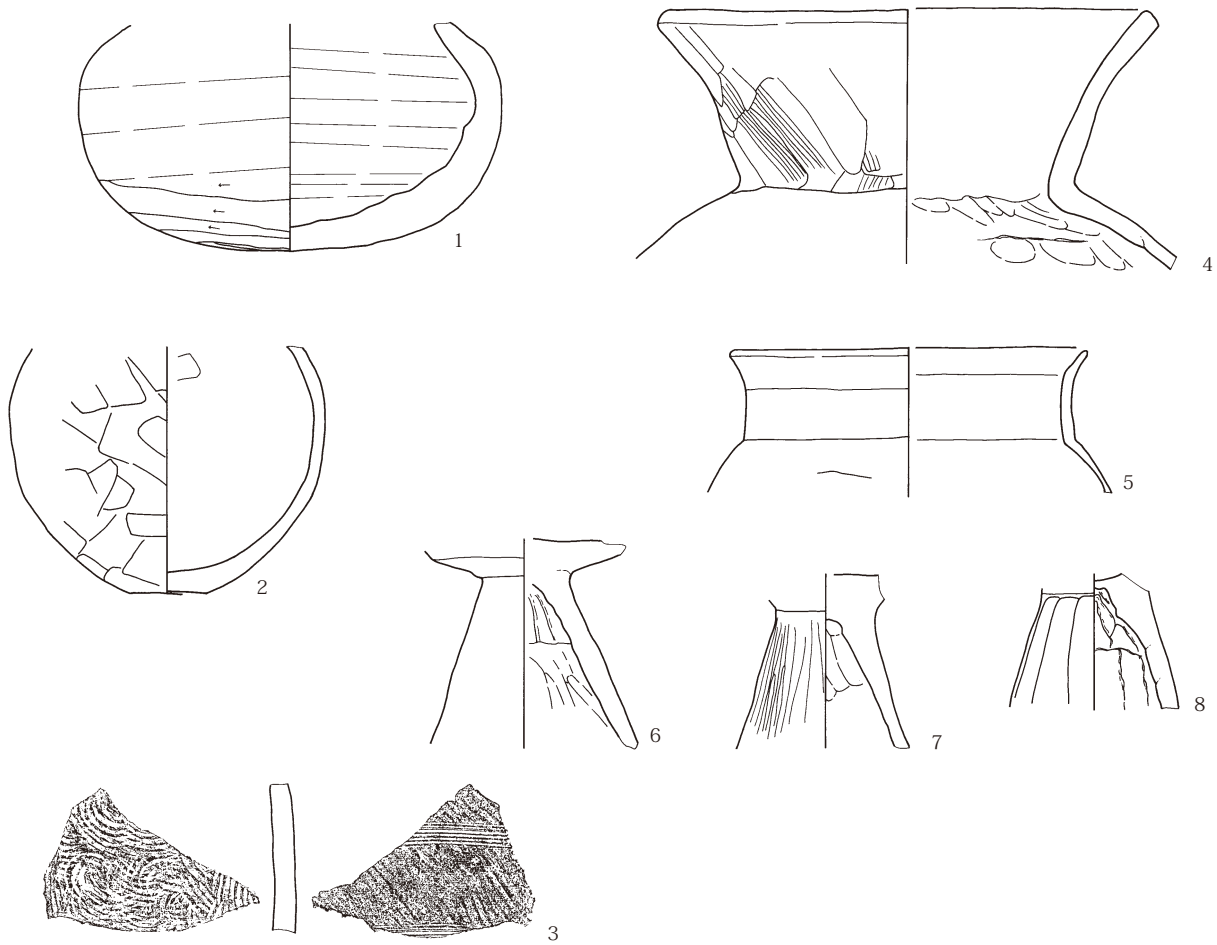
第514図 1面6区溝 9溝10溝12溝



2号沟

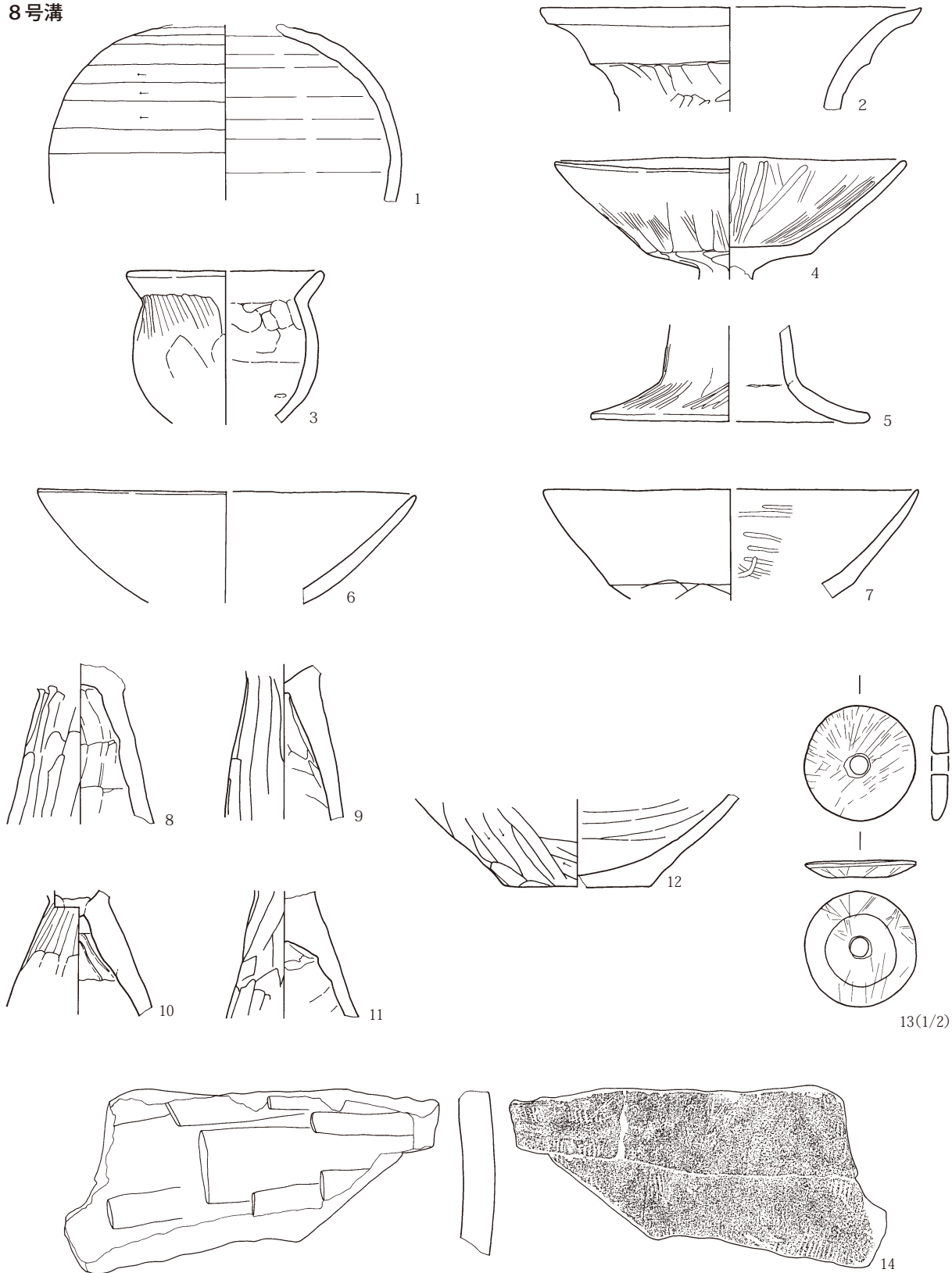


3号沟



第515图 1面6区沟出土遗物 2沟3沟

8号沟



0 1:3 10cm

第516图 1面6区沟出土遗物 8沟

## 7 遺構外出土の遺物

### (1) 陶磁器

1から23は中・近世の所産と考えられる陶磁器である。

1から8は青磁である。

1は1区の495ラインに設定したトレンチ出土の龍泉窯系の青磁碗である。外面、口縁部直下に線描の連弁文が施されている。2は4区375-345グリッド出土の龍泉窯系の青磁碗である。外面にヘラ彫りによる連弁の文様が見られる。3は4区出土である。外面に鎬蓮弁の文様が見られる。4は6区365-300グリッドの出土である。口縁部下半から高台部の破片である。外面に連弁文が見られる。5は4区430-450グリッド出土の龍泉窯系青磁碗である。削り出し高台、内面、みこみ部分に片彫りによる文様が見られる。6は4区385-355グリッド出土の龍泉窯系青磁碗である。内面に片彫りによる文様が見られる。7は6区360-315グリッド出土の龍泉窯系青磁碗である。8は出土地不詳の青磁碗である。

9から11は白磁である。

9は5区490-390グリッドの出土である。内面に櫛書文が見られる。10は1区475ラインに設定したトレンチ出土である。口縁部先端は外方に短く外反する。13は2区4トレンチの出土である。11は1区495ラインのトレンチ出土の白磁皿である。高台は切り込まれ足状を呈する。

12・13は1区495ラインのトレンチから出土した中国製の染付皿である。12は削り出しによる断面三角形の高台がつく。内面に染付が施される。13は高台が付くもので、外面の高台基部と高台内にそれぞれ2本ずつ横線が引かれている。内面に染付が施されている。

14から23は国産の陶磁器である。

14は4区390-380グリッドの出土である。器種は、水注の可能性が考えられ、胴部下位の破片である。中位を区画した突帯の下位には短冊状の線刻が施されている。器面には灰釉がかけられている。古瀬戸

で前I期に含まれる。

15は1区495ラインに設定したトレンチ出土の端反皿の口縁部破片である。釉薬がかかり、貫入が入っている。大窯1の時期である。

12・13は陶器である。12は削り出しによる断面三角形の高台がつく。内面のみこみ部分には二重円の区画内に草花文が描かれている。13も高台付きで、外面の高台基部と高台内にそれぞれ二本ずつ横線が引かれている。内面の見込みには花卉文が描かれている。

16は6区360-305・310グリッド出土の盤類である。器面には灰釉がかけられている。古瀬戸で後IからII期に含まれる。

17・18・20から23までは近世の所産と考えられる陶磁器である。17は1区、18・20・22が3区、21・23が4区、23は5区の出土である。

17は高台付の陶器茶碗である。外面には花卉の文様がある。18は3区435-525グリッド出土の陶器灯明皿の破片である。20は磁器碗である。小径。外面に草木文が描かれている。22は3区435・440-500グリッドの出土である。平底の火鉢と考えられる。焼成は軟質である。内外面とも火熱のためか剥離・摩耗が著しい。21は4区出土の磁器碗である。外面に草木文が描かれている。23は5区出土の磁器碗である。内面に文様が見られる。

### (2) 鉄砲玉

遺構外24は鉄砲玉で、2区4号トレンチから出土したものである。法量は直径1.6cm、重量23.8g、6.26匁である。器面の一部に打撃時に付いたと考えられる凹みが認められる。鉛製と考えられる。

### (3) 古銭

今回の調査においては中・近世の遺構が希薄であったこと、特に、墓の検出がなかったことから古銭の出土は2枚にとどまった。

遺構外25は淳化元寶である。3区460-500グリッドからの出土である。26は寛永通寶である。これは4区で表採されたものである。

(4) 砥石

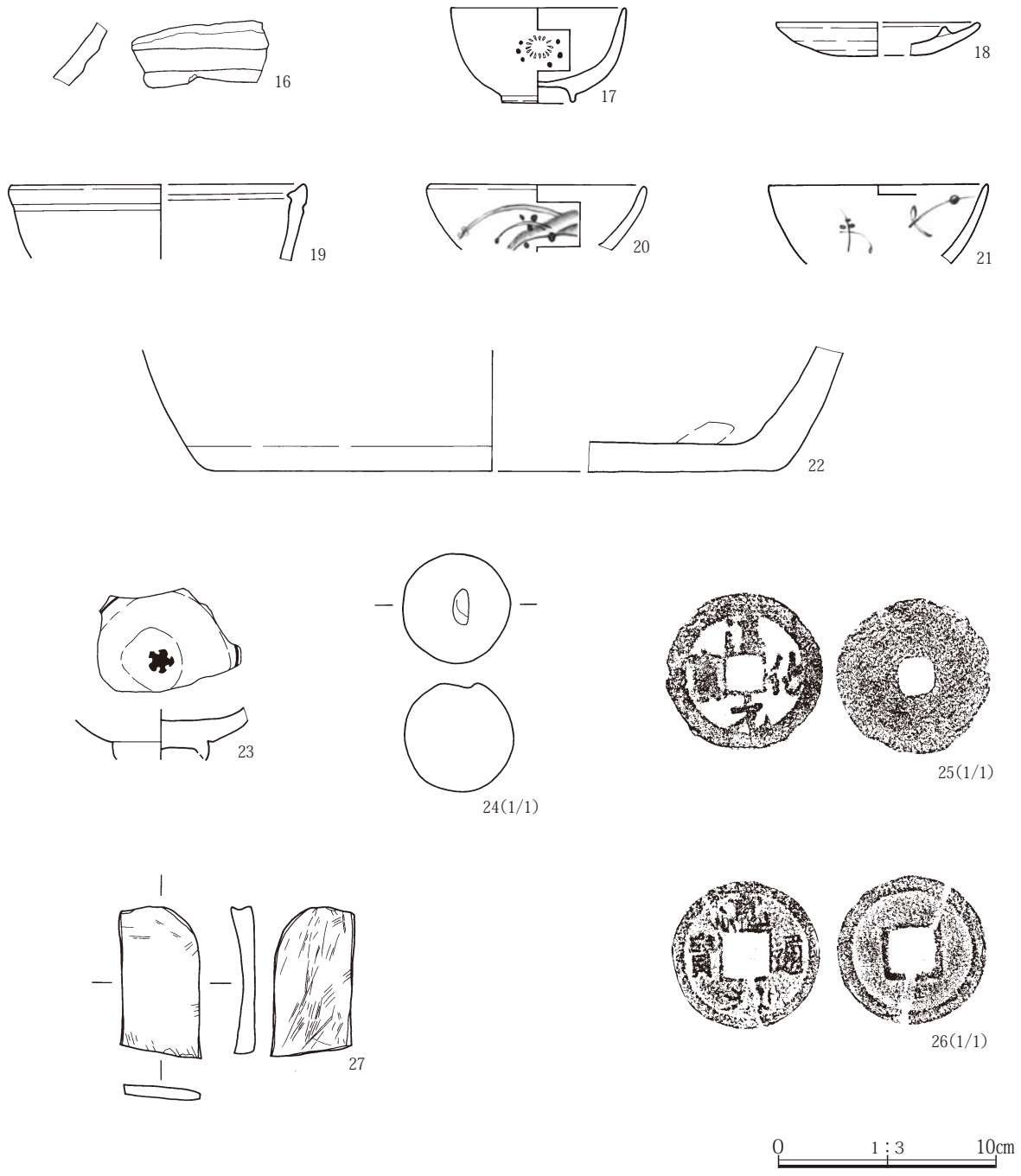
細かな線痕が見られる。

遺構外27は4区からの出土である。薄い板状を呈している。使用により全体が反り返ったような形状になっている。表裏に研面が見られる。表裏面とも



0 1:3 10cm

第517図 1面遺構外出土遺物 1 1-15



第518图 1面遺構外出土遺物 2 16-27

## 第3章 分析

※調査区の堆積土中にテフラが認められたことから、精確を期すために、その分析を古環境研究所に委託し、その結果は以下の通りである。

### 第1節 八ヶ入遺跡の土層とテフラ

#### 1. はじめに

群馬県域とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された地層の中には、赤城、榛名、浅間など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方さらには九州地方などの火山に由来するテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、層位や年代が不明な遺構や土層が検出された八ヶ入遺跡においても、地質調査を行って土層の層序を記載するとともに、テフラ検出分析と屈折率測定を行って指標テフラの検出同定を行い、遺構や土層の層位や年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、4区南北360ライン、4区ベルト3、6区大溝セクション2の3地点である。

#### 2. 土層の層序

##### (1) 4区南北360ライン

4区南北360ラインでは、亜円礫層（層厚10cm、礫の最大径228mm）の上位に、下位より暗灰色粘質土（層厚11cm）、灰色砂礫層（層厚8cm、礫の最大径28mm）、砂混じり灰色土（層厚21cm）、砂混じり灰褐色土（層厚4cm）、色調がとくに暗い暗灰色粘質

土（層厚4cm）、暗灰色粘質土（層厚7cm）、灰色粗粒火山灰層（層厚1cm）、暗灰色粘質土（層厚5cm）、円磨された白色軽石混じり桃白色シルト層（層厚2cm、軽石の最大径7mm）、白色軽石混じり灰色土（層厚4cm、軽石の最大径5mm）、白色軽石および砂混じり灰色土（層厚14cm）、暗灰色土（層厚8cm）、灰褐色砂質土（層厚7cm）、砂混じり灰色土（層厚16cm）が認められる（図519）。

##### (2) 4区ベルト3

4区ベルト3では、下位より灰色粘質土（層厚16cm以上）、黒泥層（層厚0.3cm）、灰色粗粒火山灰層（層厚2cm）、灰色粘質土（層厚24cm）、円磨された白色軽石混じり桃白色シルト層（層厚6cm、軽石の最大径10mm）、灰色土（層厚8cm）、白色軽石混じりで色調が暗い灰色土（層厚8cm、軽石の最大径6mm）、砂混じり灰色土（層厚14cm）、暗灰色土（層厚8cm）、灰褐色砂質土（層厚4cm）、暗灰色砂質土（層厚14cm）が認められる（図520）。

##### (3) 6区大溝セクション2

6区大溝セクション2では、亜円礫層（層厚20cm以上、礫の最大径116mm）の上位に、下位より層理が発達した灰色砂層（層厚12cm）、灰色シルトと砂の互層（層厚36cm）、灰色砂質シルト層（層厚18cm）、灰色砂層（層厚31cm）、砂混じり褐灰色土（層厚4cm）、灰褐色土（層厚6cm）、暗灰褐色土（層厚11cm）、灰褐色粗粒火山灰層（層厚6cm）が認められる（図521）。

### 3. テフラ検出分析

#### (1) 分析試料と分析方法

指標テフラの層位を明らかにするために、上述3地点において土層ごとあるいは厚さ約5cmごとに採取された試料のうち、20点を対象にテフラ検出分析を行った。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除去。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下で観察し、テフラ粒子の量や特徴を把握。

#### (2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を第13表に示す。4区南北360ラインでは、試料24～18、試料14、試料10を除く試料から軽石が検出された。試料16および試料15には、スポンジ状に比較的良く発泡した灰白色軽石（最大径1.1mm）が少量ずつ含まれている。試料10を除く試料13～6には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径4.1mm）が含まれている。この軽石は、とくに試料13に多く含まれている。軽石の斑晶には、角閃石や斜方輝石が認められる。試料4および試料2には、比較的良く発泡した淡褐色軽石（最大径1.8mm）が含まれている。とくに試料4に多くの軽石が認められる。この軽石の斑晶としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。

4区ベルト3では、試料26にスポンジ状に比較的良く発泡した灰白色軽石（最大径1.3mm）が少量含まれている。また試料23には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径3.8mm）が多く含まれている。軽石の斑晶には、角閃石や斜方輝石が認められる。試料17にも斑晶に斜方輝石や角閃石をもつ白色軽石が含まれているものの、粗粒（最大径14.2mm）で、比較的発泡が良い。試料4には、比較的良く発泡した淡褐色軽石（最大径1.8mm）が含まれている。とくに試料4に多くの軽石が認められる。この軽石の斑晶としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。

6区大溝セクション2の試料1には、比較的良く発泡した淡褐色軽石（最大径2.0mm）がとくに多く含まれている。この軽石の斑晶としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。

### 4. 屈折率測定

#### (1) 測定試料と測定方法

土層の観察やテフラ検出分析の結果、特徴的なテフラ粒子が認められた試料のうち、4区南北360ラインの試料13と試料4の2点について、位相差法（新井，1972など）をもとに開発された温度変化型屈折率測定装置（古澤地質調査事務所製作，MAIOT）によりテフラ粒子の屈折率の測定を行った。

#### (2) 測定結果

屈折率の測定結果を第14表に示す。4区南北360ラインの試料13に含まれる角閃石の屈折率（ $n_2$ ）は、1.672-1.686である。また4区南北360ラインの試料4に含まれる火山ガラスの屈折率（ $\gamma$ ）は1.526-1.532である。

### 5. 考察

4区南北360ラインの試料13に含まれるテフラは、軽石の岩相や角閃石の屈折率などから、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA，新井，1979，坂口，1986，早田，1989）に由来すると考えられる。したがって、試料13が採取されたテフラ層については、Hr-FAと考えられる。したがって、その下位の試料16や試料14に含まれる灰白色軽石は、層位や軽石の岩相などから、3世紀終末～4世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間C軽石（As-C，荒牧，1968，新井，1979，友廣，1988，若狭，2000）に由来すると考えられる。顕著な濃集層準が認められないことから、明確に言及することは難しいが、試料16付近にAs-Cの降灰層準があるのかも知れない。

4区南北360ラインの試料4に多く含まれるテフラは、軽石の岩相や火山ガラスの屈折率などから、

1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B, 荒牧, 1968, 新井, 1979）に由来すると考えられる。したがって、6区大溝セクション2において試料1が採取されたテフラ層については、As-Bと考えられる。4区ベルト3の試料23のテフラ層についても、含まれる軽石の特徴からHr-FAに同定される可能性が高い。また試料26に含まれる灰白色軽石は、As-Cに由来すると考えられる。一方、試料4付近に濃集する粗粒火山灰についてはAs-Bと考えられる。

なお4区南北360ラインおよび4区ベルト3で認められた、試料比較的粗粒の円磨された白色軽石を含む桃白色シルト層については、Hr-FAより上位で、As-Bより下位にあると考えられる。それらに含

まれる軽石については、色調や斑晶の組み合わせはHr-FAに似ているものの、より粗粒で発泡も良い。この軽石の起源については、さらに詳細な分析が必要である。

## 6. まとめ

八ヶ入遺跡において、地質調査、テフラ検出分析、屈折率測定を行った。その結果、下位より浅間C軽石（As-C, 3世紀終末～4世紀初頭）、榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA, 6世紀初頭）、浅間Bテフラ（As-B, 1108年）などのテフラ層やそれらに由来するテフラ粒子のほか、Hr-FAとAs-Bの間に層位のある洪水堆積物を検出することができた。

## 文献

- 新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎的研究。第四紀研究, 11, p.254-269.
- 新井房夫（1979）関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.157, p.41-52.
- 荒牧重雄（1968）浅間火山の地質。地団研専報, no.45, 65p.
- 坂口 一（1986）榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器。群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井 神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p.103-119.
- 早田 勉（1989）6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, p.297-312.
- 友廣哲也（1988）古式土師器出現期の様相と浅間山C軽石。群馬県埋蔵文化財調査事業団編「群馬の考古学」, p.325-336.
- 若狭 徹（2000）群馬の弥生土器が終わるとき。かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動く—古墳が成立する頃の土器の交流」, p.41-43.



第13表 テフラ検出分析結果

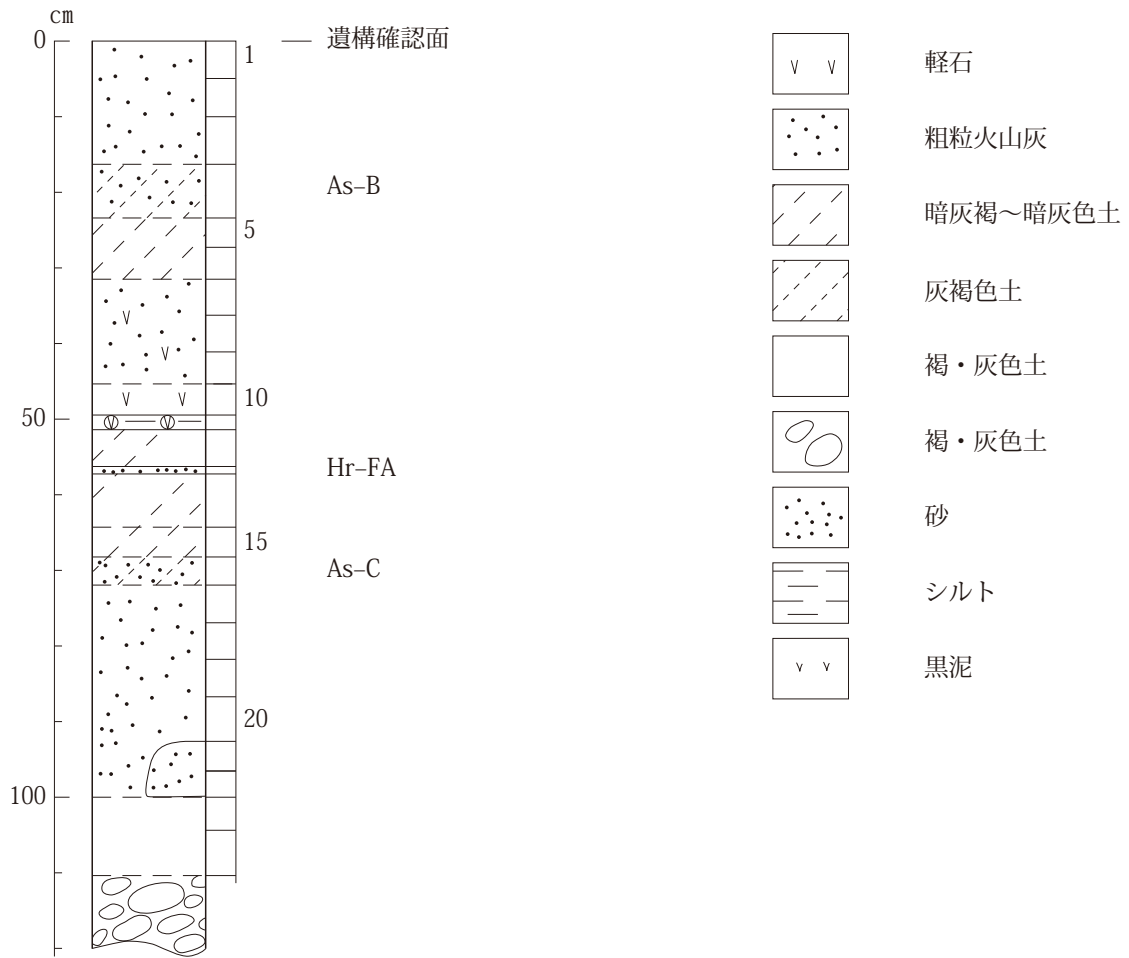
地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス		
		量	色調	最大径	量	形態	色調
4区南北360ライン	2	+	淡褐	1.4	++	p m	淡褐
	4	+++	淡褐	1.8	+++	p m	淡褐
	6	+	白	2.3	+	p m	白
	8	+	白	2	+	p m	白
	10	-	-	-	+	p m	白
	11	++	白	4.1	++	p m	白
	12	++	白	1.3	++	p m	白
	13	+++				p m	白
	14	-	-	-	-	-	-
	15	+	灰白	1.0	+	p m	灰白
	16	+	灰白	1.1	+	p m	灰白
	18	-	-	-	+	p m	白
	20	-	-	-	+	p m	白
	22	-	-	-	-	-	-
24	-	-	-	+	p m	透明	
4区ベルト3	4	++	淡褐	1.2	++	p m	白
	17	+++	白	14.2	-	-	-
	23	+++	白	3.8	++	p m	白
	26	+	灰白	1.3	+	p m	灰白
6区大溝セクション2	1	++++	淡褐	2	++++	p m	淡褐

++++：とくに多い，+++：多い，++：中程度，+：少ない，-：認められない。最大径の単位は，mm。bw：バブル型，p m：軽石型。

第14表 屈折率測定結果

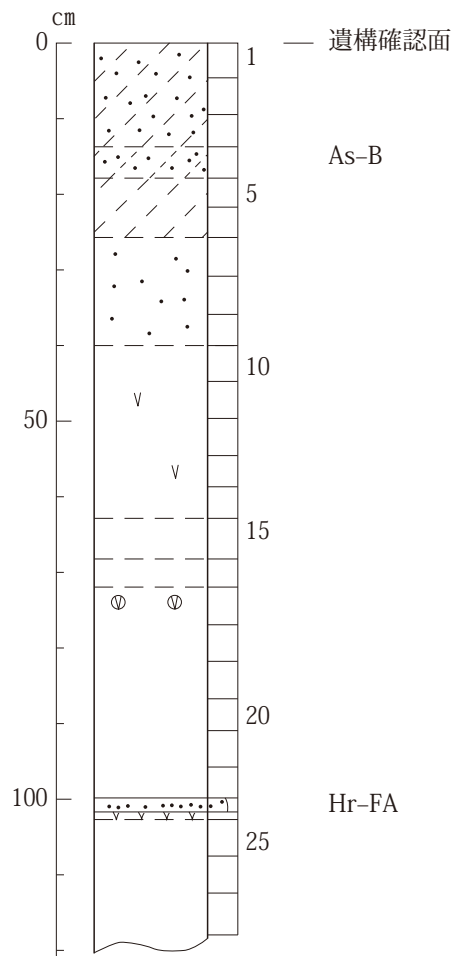
地点	試料	火山ガラス (n)	角閃石 (n2)
4区南北360ライン	4	1.526-1.532	-
4区南北360ライン	13	-	1.672-1.686

温度変化型屈折率測定装置 (MAIOT) による。



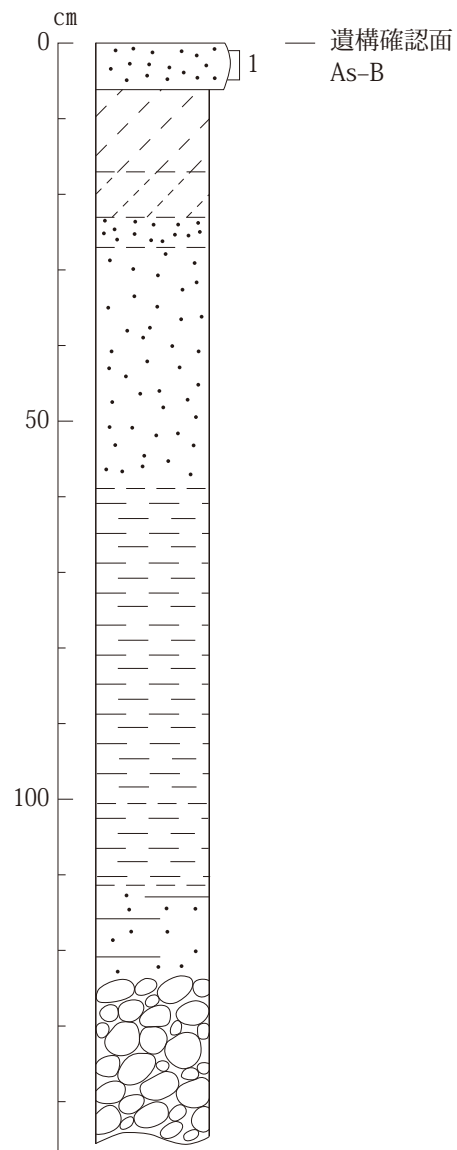
数字はテフラ分析の試料番号

第519図 4区南北360ライン土層柱状図・土層柱状図凡例



数字はテフラ分析の試料番号

第520図 4区ベルト3土層柱状図



数字はテフラ分析の試料番号

第521図 6区大溝セクション2土層柱状図

## 第2節 八ヶ入遺跡における

### プラント・オパール分析

※調査区の東寄り低地で黒色土が認められたことから、イネ栽培の可能性を把握するため、プラント・オパール分析を古環境研究所に委託し、その結果は以下の通りである。

#### 1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸（ $\text{SiO}_2$ ）が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査が可能である（杉山，2000）。

#### 2. 試料

試料は、4区ベルト3および6区大溝セクション2の2地点から採取された計4点である。試料採取箇所を分析結果図に示す。

#### 3. 分析法

プラント・オパール分析は、ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料約1gに対し直径約40 $\mu\text{m}$ のガラスビーズを約0.02g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550℃・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20 $\mu\text{m}$ 以下の微粒子除去
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成

#### 7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールを対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中のプラント・オパール個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10<sup>-5</sup>g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。イネ（赤米）の換算係数は2.94（種実重は1.03）、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、タケ亜科（ネザサ節）は0.48である。

#### 4. 分析結果

水田跡（稲作跡）の検討が主目的であることから、同定および定量はイネ、ヒエ属型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科の主要な5分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を第15表および第522図に示した。第523図に主要な分類群の顕微鏡写真を示す。

#### 5. 考察

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料1gあたり5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山，2000）。ただし、密度が3,000個/g程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。

(1) 4区ベルト3 As-B直下層（試料1、1'）について分析を行った。その結果、イネが3,700～3,800個/gと比較的高い密度で検出された。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考

えられる。

## (2) 6区大溝セクション2

As-B直下層(試料1、1')について分析を行った。その結果、両試料からイネが検出されたが、密度はいずれも1,500個/gと比較的低い値である。ただし、同層は直上をテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した可能性は考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近

辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。

## 6. まとめ

プラント・オパール分析の結果、4区ベルト3の浅間Bテフラ(As-B, 1108年)直下層では、イネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、6区大溝セクション2のAs-B直下層でも、稲作が行われていた可能性が認められた。

## 文献

杉山真二(2000)植物珪酸体(プラント・オパール). 考古学と植物学. 同成社, p.189-213.

藤原宏志(1976)プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)-数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法-. 考古学と自然科学, 9, p.15-29.

藤原宏志・杉山真二(1984)プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)-プラント・オパール分析による水田址の探査-. 考古学と自然科学, 17, p.73-85.

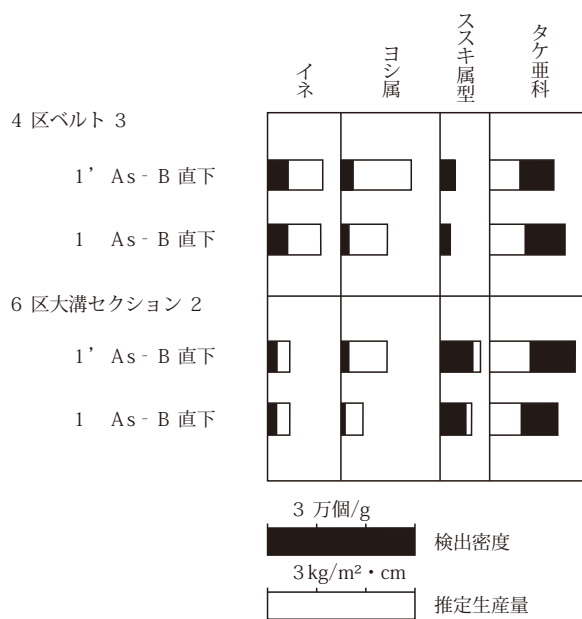
第15表 ハケ入遺跡におけるプラント・オパール分析結果  
 検出密度 (単位: ×100個/g)

分類群 学名		6区大溝セクション2		4区ベルト3	
		1'	1	1'	1
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	15	15	38	37
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	15	7	23	15
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	67	52	23	15
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	172	135	128	150

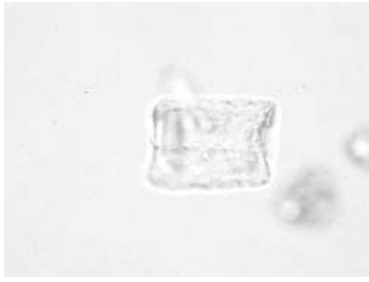
推定生産量 (単位: kg/m<sup>2</sup>・cm)

イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.44	0.44	1.10	1.10
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	0.95	0.47	1.42	0.95
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.84	0.65	0.28	0.19
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	0.83	0.65	0.61	0.72

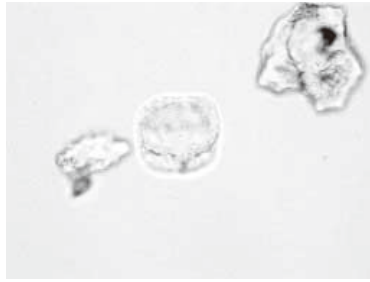
※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。



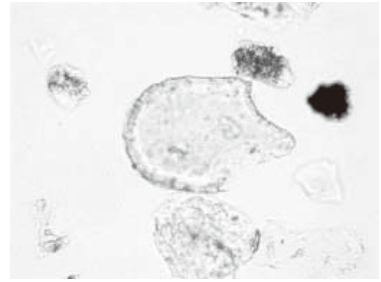
第522図 ハケ入遺跡におけるプラントオパール分析結果



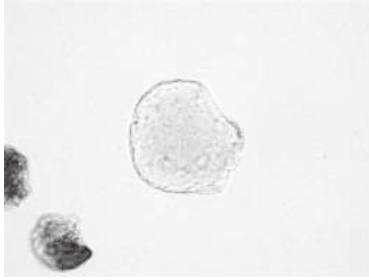
イネ(側面)  
6区大溝セクション2 1'



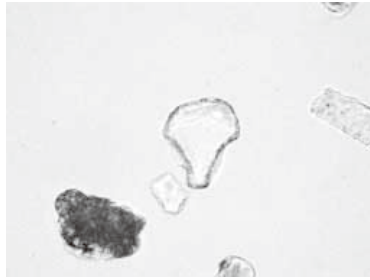
イネ(側面)  
4区ベルト3 1



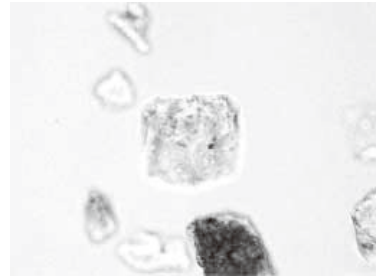
ヨシ属  
4区ベルト3 1'



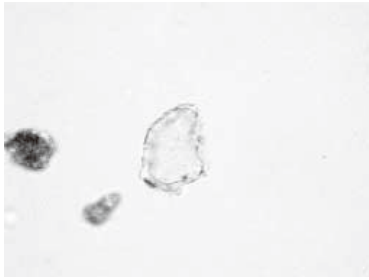
ヨシ属  
6区大溝セクション2 1'



スズキ属型  
4区ベルト3 1'



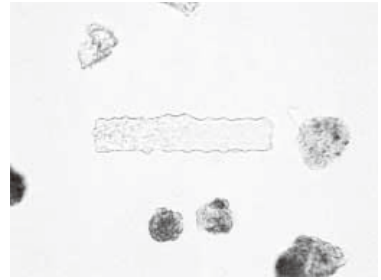
ネザサ節属  
6区大溝セクション2 1'



ミヤコザサ節属  
6区大溝セクション2 1



表皮毛起源  
4区ベルト3 1



棒状珪酸体  
6区大溝セクション2 1

————— 50 μm

第523図 植物珪酸体顕微鏡写真

## 第3節 八ヶ入遺跡出土の

### 馬歯・獣骨について

※ 4区の土坑から動物の角状を呈する遺物、5区の溝から馬の歯とみられるものが出土し、精確を期するために、これらの鑑定を宮崎重雄氏に依頼した。

#### ① 4区 46土坑

シカの角

井戸状の形状をした土坑のほぼ中心部から出土したもので、保存全長は5.5cmである。このシカは高熱を受けていて、亀裂が入っている。500～800°程度の熱で焼かれたものと思われる。土坑内で焼かれたのではなく、あらかじめ地所で焼かれたものを持ち込んでいる。

#### ② 5区 2号溝 No.1

ウマ下顎臼歯

すべて下顎臼歯で、上顎の歯は検出されない。

当初は下顎臼歯が左右とも揃って埋存していたものと思われるが、現在歯種確認できる歯は右下顎が第2前臼歯から第2後臼歯までの5本、左が第2前臼歯から第4前臼歯までの3本の計8本のみである。残りの歯は細片となって残存する。

別表に示す歯冠高、歯根の分岐状況から判断すると、このウマは壮令馬でも若い方で、6才～10才の年齢が推定される。臼歯の大きさや推定下顎歯列長（151.6mm）から判断して小型在来馬相当の大き

第16表 5区2号溝No.1馬歯 下顎臼歯計測値

	第2前臼歯	第3前臼歯	第4前臼歯	第1後臼歯	第2後臼歯	第3後臼歯
歯冠長	32	26	24.1	23.6	24	-
歯冠高	27.5	41.1	53.7	42.4	-	-
下後錘谷長	-	-	-	10	7.6	-
下内錘谷長	-	-	-	10.7	7.5	-
doubleknot長	14.5	15.6	15	13.2	-	-
下内錘幅	7.2	6.2	5.6	4.9	-	-
歯根分岐	-	-	開始	開始	-	-

単位：mm



5区2号溝馬歯No.1

右下顎左が「咽」、右が鼻先になる。

第524図 5区2号溝出土馬歯No.1写真



さと思われる。

**③ 5区 2号溝 No.2**

ウマ上顎臼歯

すべて上顎臼歯で、下顎の歯は確認されない。もとは上顎臼歯のすべての歯が存在していたと思われるが、現状では完存する歯はなく、どの歯も細かくバラバラに分離している。辛うじて歯種推定できる歯は左が5～6本、右が1本のみである。

歯から判断して小型～中型在来馬相当の若い牡令馬と思われる。

**④ 5区 18号溝 207**

ウマの下顎臼歯片である。1本分の歯片であるが、下顎臼歯であること以上の歯種判定はできない。

**⑤ 5区 18号溝 208**

ウマの歯の破片で、右上顎第2後臼歯と推定される。歯冠高は70.2mmあり、歯根はすでに分岐し始めている。4～5才の年齢が推定される。

④と⑤とは至近距離で出土していることから、同一個体である可能性も考えられる。

**⑥ 5区 18号溝 224**

ウマの臼歯10数片である。下顎の可能性のある歯片もあるが、歯種判定は極めて困難である。歯冠高43.5mmを計測する歯片もある。

④と⑤と本資料は出土地点が12mとかなり離れていて、同一個体である可能性は低い。

**⑦ 出土地不明 3-II**

ウマの歯で、下顎臼歯の破片である。歯冠高41.5mmを計測する。

参考文献

西中川駿編「古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究」平成2年度文部省科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書、1991年

林田重幸「日本在来馬の源流」『日本古代文化の探求・馬』社会思想社、215-26

## 第4章 調査成果と整理のまとめ

### 第1節 遺構と遺物

本遺跡では集石・住居・建物址・竪穴状遺構・掘立柱建物・土坑・ピット・溝・井戸・柵列など、多様な遺構が発見されている。全体の概要は2章1節で報告しているため、ここでは特徴あるものを挙げてみたい。

#### 1 遺構

##### (1) 東山道の推定延長方向

第525図は平成17年版の太田市地形図に、検出した東山道駅路南側側溝の位置を載せたものである。本遺跡で検出された南側側溝は、6-2区の微高地にのり、西側に延びてゆくと想定されるが、6区西辺沿いの自然流路（大溝）によって破壊され、検出されていない。検出範囲の東寄り度でW5度N、西寄り度でW8度Nの方位が測定され、西へ向かうに従ってゆるく北側へ湾曲すると考えられる。

このような延長方向が想定できるとすれば、菅ノ沢御廟古墳北側の現住宅の乗る平坦地、または本遺跡2区に東山道の西側延長部が想定できる。古代道路が直線的に設置される傾向があるという説に寄り掛かれれば、この付近を通過したと推定される。東山道を通すために丘陵末端を切断したというのは、推測の行き過ぎであろうか。丘陵末端を切断した時期を特定する根拠はないが、明治時代前半の陸軍の地図では、すでに切断された状態に見える（現代のほ場整備による切断—平坦地化や、宅地造成による平坦地化の可能性も残る）。

さらに西側への延長方向は、

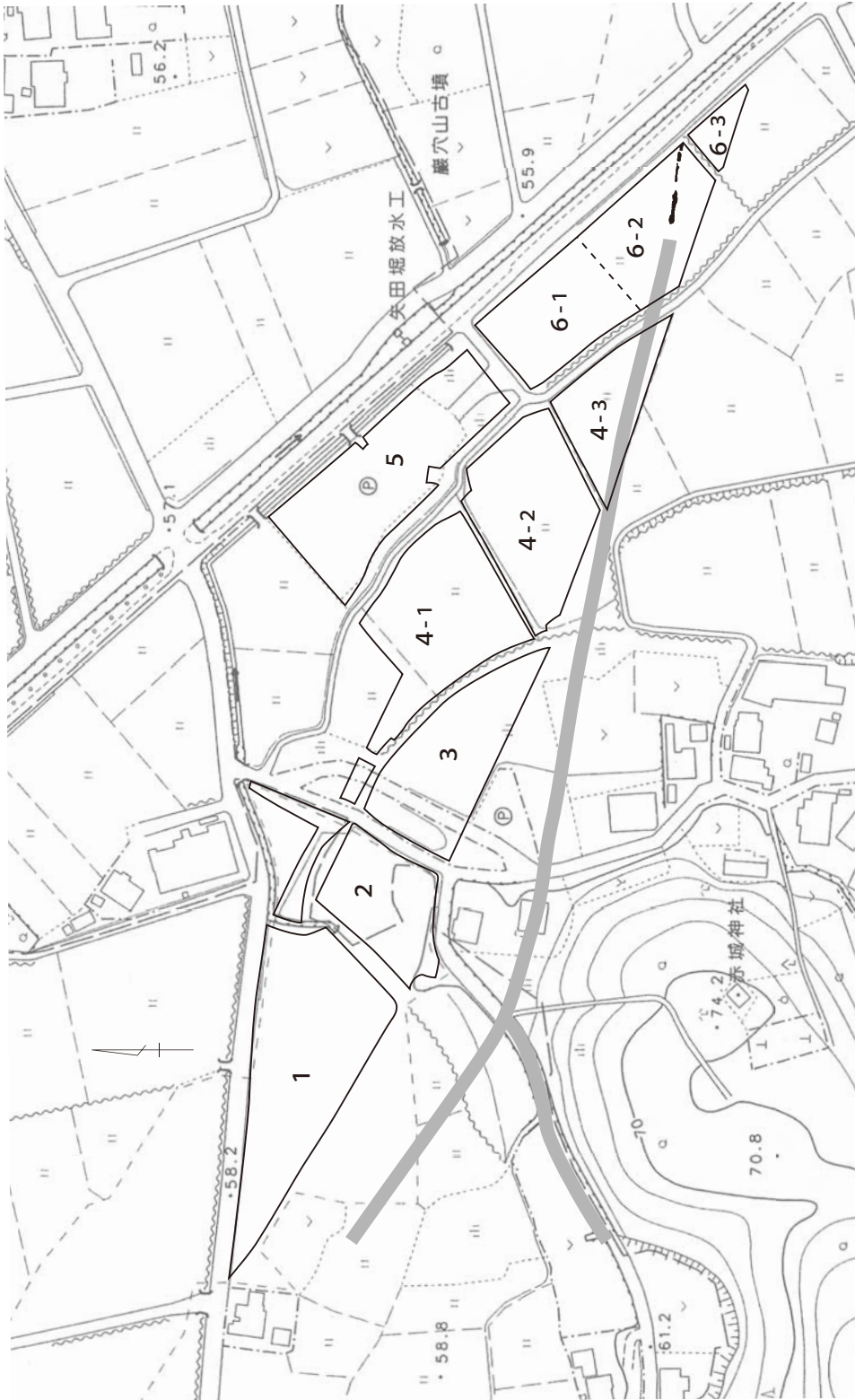
a 南西に曲がって菅ノ沢御廟山古墳の西側を通り、狭い谷筋をたどって括れ部を切通して強戸町へ向かう

b 北西に曲がって二の宮遺跡西側を通過し、古氷山田郡衙推定値へ至る経路の二つが想定可能だが、いずれも想像の範囲をでない。ただし、八ヶ入遺跡で検出した駅路の方向をそのまま直線的に延長すれば、緑町西側の丘陵に突き当たってしまい、道路を開削するのは困難に思える。

##### (2) 5区6区大溝

遺構報告のなかで「自然流路」とされている遺構は、調査着手時には人工の「大溝」と考えられていたが、その後調査の進行に伴って自然河川の一部とされたため、2章調査の記録では「自然流路」項目と記載されている。しかし、人工の水路の可能性もあることも言及されており、直線的な平面形状・平安時代遺物の多量出土、検出位置などを考え合わせると、人為的な水路と見た方が良いであろう。

この「大溝」は八ヶ入遺跡北西部から南東流した水の唯一の出口に相当し、この水路の設置によって北西部の排水が安定し、南東部への給水路ともなり得る位置にあり、遺跡の変遷を考えるうえで重要な遺構であろう。



第525図 東山道の推定延長方向

## 2 遺物

### (1) 須恵器大甕

6区2号建物址から須恵器大甕が出土している。復元口径44.4cm、体部最大径70.1cm、現存高77.0cmに復元される大型品で、にぶい褐色を呈する。人為的に埋められた状態ではなく、建物の性格も不明であるが、浅い凹みで発見されている。火処・柱穴も検出されていない。周囲には住居が検出されない時期の遺構・遺物である。用途・目的がにわかに想定できないが、底部を欠いているところに存在意味を考える端緒があると思われる。

### (2) 土錘

遺構外出土のものも含めて、本遺跡では259点の土錘を発見している。寸法や形状を基準としてA-Iの9種に分類されている。

古代の流路は不明であるが、現渡良瀬川との直線距離は2.3kmほどあり、やや遠く、5区6区で検出された「大溝」で使用された可能性がある。

### (3) 瓦塔

4片出土のうち、3片を掲載した。いずれも小片で、遺構外出土である。八ヶ入遺跡北西0.6kmに位置する小丸山遺跡から瓦塔が発見されているが、比較検討する機会がなかった(太田市史 通史編 原始古代)。県内では上西原遺跡の報告書で瓦塔出土遺跡が集成されており、勢多郡・佐佐群・新田郡・山田郡に多く出土しているという(上西原遺跡1999 群馬県教育委員会)。

### (4) 奈良三彩蓋

3区83号住居から奈良三彩小壺の蓋が出土している。出土記録では、床面から15cm浮いた状態である。本住居は他の出土遺物や住居の重複関係から、平安時代10世紀前半と考えられる。蓋は口径4.2cm、器高1.5cm、摘み径1.3cmに復元される。3区6号住居からも三彩壺蓋の摘みが出土しているが、小破片で

ある。県内の出土例では、薬壺型小型短頸壺が多いという研究がある(前掲、上西原遺跡)。出土遺跡は寺院遺跡が多く、その他一般集落・寺院隣接地、郡衙関連遺跡、古代東山道沿いの遺跡など、「古代寺院や中枢地、主要遺跡付近に多く見られる」とされている。奈良三彩を出土する遺跡の類目を調べる時間がなかったが、八ヶ入遺跡が古代幹線道路沿いの地域に位置することと併せ、この地域が古代において重要な地点であったことを窺わせる。

### (5) 製鉄関連遺物

本遺跡では、総重量で12kg近い重さの製鉄関連遺物が出土している。遺物観察によれば、炉壁・鍛冶炉壁・椀形鍛冶滓・流動滓・羽口・鉄塊系遺物等がみられる。

3区6号住居は8世紀後半ころの住居とみられ、鍛冶炉壁が出土している。端正な長方形を呈する掘り込みをもち、埋没土に焼土粒子や焼土ブロックを含んでいた。小鍛冶遺構の可能性はある。

3区7号住居は10世紀ころの住居とみられ、炉壁が出土している。6号住居より新しい。こちらの炉壁は流れ込みの可能性はある。

その他の製鉄関連遺物は溝出土やグリッド取り上げであり、検出した遺構との直接的な関連を想定できない。しかし、本遺跡の南側に位置する菅ノ沢I遺跡から何らかの必要があって持ち出されたものとするれば、製鉄遺跡との密接な関係が考えられる。想像をたくましくすれば、奈良時代には製鉄または小鍛冶を営んだ工人たちの集落だったのではないだろうか。

## 第2節 製鉄関連遺物

はじめに

八ヶ入遺跡では製鉄・鍛冶工程を直接示す遺構は検出されなかったが、1・3～6区の遺構外から製鉄に伴う滓や炉壁、鍛冶に伴う滓や羽口が出土した。滓は製鉄に伴う流動滓や炉内滓、鍛冶に伴う椀形鍛冶滓などが混在している。

本稿では、これまでの発掘調査から整理作業で明らかとなった八ヶ入遺跡の製鉄・鍛冶に関連する遺物の特徴や出土状況をまとめていきたい。

八ヶ入遺跡で出土した製鉄・鍛冶に関連する主な遺物は次頁に一覧で示した(第527図)。

### (1) 出土状況

八ヶ入遺跡で、出土した製鉄・鍛冶に関連する遺物は、1・3～6区の遺構外から出土した。1区では羽口、含鉄鉄滓、3区では炉壁、流動滓、炉内滓、鍛冶炉壁、羽口、椀形鍛冶滓、含鉄鉄滓、鉄塊系遺物、鍛造鉄製品、鑄造鉄製品、4区では炉壁、流動滓、炉内滓、羽口、椀形鍛冶滓、含鉄鉄滓、鉄塊系遺物、5区では羽口、椀形鍛冶滓、含鉄鉄滓、鉄塊系遺物、6区では鍛冶炉壁、羽口、椀形鍛冶滓、含鉄鉄滓が出土した。4区の出土量が6949.5gと最も多く、次に3区4,083.6gと続き、1区・5区・6区はそれぞれ164.9g、382.3g、285.9gと出土量が少ない。出土量の多い3区、4区では、鍛冶系の遺物に混ざって、炉壁、炉内滓、流動滓といった製鉄工程にみられる製錬系の遺物が混在している。3区、4区は、

第17表 各区出土の製鉄関連遺物出土量

遺物種類	1区	2区	3区	4区	5区	6区	小計g
炉壁			277.3	380.2			657.5
流動滓			65.0	65.0			130.0
炉内滓			51.1	51.1			102.2
鍛冶炉壁			122.9			65.8	188.7
羽口	10.2		144.3	386.0	87.0	112.1	739.6
椀形鍛冶滓			1,391.2	4,741.0	182.1	88.7	6,403.0
含鉄鉄滓	154.7		378.8	475.0	94.5	19.3	1,122.3
鉄塊系遺物			822.2	822.2	18.7		1,663.1
鉄製品			820.1	18.3			838.4
不明滓			10.7	10.7			21.4
合計g	164.9	0.0	4,083.6	6,949.5	382.3	285.9	11,866.2

本遺跡の中で最も遺構の密度が濃く、竪穴住居、ピット、土坑が集中している。本遺跡では、製鉄・鍛冶工程を示す遺構は検出されなかった。

各区の詳細な出土量の一覧は、本文中の第17表を参照していただきたい。

### (2) 金属器生産関連遺物の特徴

出土した製鉄・鍛冶関連の遺物は、羽口・椀形鍛冶滓といった鍛冶系の遺物に混ざって、炉壁・流動滓・炉内滓といった製錬系の遺物が混入している。前述したとおり、製錬系の遺物が出土しているのは3区・4区であるが、その遺物量は3区では、4083.6g中に製錬系が393.4g(炉壁277.3g、流動滓65.0g、炉内滓51.1g)と全体の9%、4区では、6949.5g中に製錬系が496.3g(炉壁380.2g、流動滓65.0g、炉内滓51.1g)と全体の7%を占める。

はじめに、本遺跡から出土した製錬系の遺物である炉壁、流動滓、炉内滓についての概要を示す。

本遺跡から出土した炉壁は小片で、胎土にはスサを多量に含む。No12は炉底塊付近の炉壁片で、炉底塊を取り出した際に付着した炉壁片である可能性が高い。流動滓は小片である。流動滓は流動性が高く、滓と生成鉄の分離が良好であったことがわかる。鍛冶系の遺物に混ざって流動滓が出土したことで、遺跡周辺に製鉄炉が存在したことをうかがわせる。

炉内滓は大型の木炭痕があり、製錬系の炉内滓であると判断した。炉内滓は小片である。

製錬系の滓は少ないが、炉内滓や炉底塊付近の炉壁に加えて流動滓が出土していることから、本遺跡近くに製鉄炉の存在を予想させる。



第526図 八ヶ入遺跡近傍の窯跡・製鉄遺跡1/1万) △窯跡, ▲製鉄跡, ○その他遺跡

ア△諏訪ヶ入遺跡, イ△八ヶ入窯跡, ウ△菅ノ沢Ⅱ遺跡, エ△菅ノ沢遺跡(菅ノ沢Ⅰ遺跡), オ△川西遺跡, キ△八幡Ⅳ遺跡, ク△八幡Ⅱ遺跡, ケ△八幡Ⅴ遺跡, コ△八幡Ⅲ遺跡, サ△狸ヶ入Ⅰ遺跡, シ△狸ヶ入Ⅱ遺跡, ス△辻小屋東窯跡, セ△辻小屋窯跡群, ソ△入宿Ⅰ遺跡, タ△入宿Ⅱ遺跡, ナ▲高太郎Ⅰ遺跡, ニ▲鍛冶ヶ谷戸遺跡, ヌ▲高太郎Ⅰ遺跡, ネ△高太郎Ⅲ遺跡, ノ△カニガ沢遺跡, ハ△堤入遺跡, ヒ△大長谷遺跡, フ△山去遺跡群, ホ▲峯山遺跡, Q○巖穴山古墳, R○菅ノ沢御廟古墳, S○今泉口八幡山古墳, △笹ヶ谷遺跡

『群馬・金山丘陵窯跡群Ⅰ』2007, 『同Ⅱ』2009, 駒澤大学考古学研究室及び『長手谷遺跡群発掘調査報告書』2002, 太田市教育委員会から引用・加筆した。

3 区		4 区			5 区		6 区
(製鉄)	(鍛冶)	(製鉄)	(鍛冶)	(鍛冶)			
炉壁	鍛冶炉壁办	炉壁	羽口	羽口	羽口		羽口
1	3	11	8	16	20		
流动滓	2	12	9	17	21		23
		5	13	18	24	椭圆形鍛冶滓(中・含鉄) 锈化 (△)	椭圆形鍛冶滓(中・含鉄) 锈化 (△)
		14	10	19	22		25
		15	特 L (☆)	锈化 (△)	鉄塊系遺物 L (●)		
		15	铁製品	椭圆形鍛冶滓(小・含鉄) 锈化 (△)			
		15	鍛造				
		15	鍛造				

第527图 製鉄関連遺物分類图

第18表 製鉄関連遺物の特徴

No.	遺物名	磁着度	メタル度	特徴など
1	炉壁	1	なし	胎土に5～7mmの礫やスサを含む。内面は強く滓化しタレを生じている。
2	流動滓	1	なし	青黒色。滓質は密。表面は流動性が高くタレが生じている。
3	鍛冶炉壁か	1	なし	胎土に2mmほどの礫やスサを含む。胎土は密で製鉄炉の炉壁と異なる性状で、他遺跡で出土する鍛冶炉壁と類似することから鍛冶炉壁の可能性があると考えた。内面に発泡はなく僅かな被熱面がある。上面上半に1.5×2cm程の平面台形状の窪みがある。下側面は平坦で接合痕の可能性が高い。
4	羽口	1	なし	羽口の先端部片。外面は黒色ガラス化。内面は赤色酸化。胎土には僅かなスサが混入されている。白色粒含む。
5	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	側面が全面破面。上面平坦で下面が椀形の形状から椀形鍛冶滓とした。下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。上面は平滑でタレが生じている。内面から錆が生じており鉄部が内在する。
6	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	側面が全面破面。上面平坦で下面が椀形の形状から椀形鍛冶滓とした。下面は一部炉床土が残存している。炉床土には1～2mm程の細かい礫が多く含まれている。上面は平滑でタレが生じている。
7	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	下部の一部以外は破面。上面平坦で椀形の形状から椀形鍛冶滓とした。下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。上面は平滑でタレが生じている。表面の褐色の錆化は酸化土砂によるものか。
8	椀形鍛冶滓	3	H(○)	右側破面。平面不整形円形。厚さ2cmとやや薄手。上面は木炭痕が散在し、下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。比重が低く滓質やや粗。
9	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	右側破面。平面不整形円形。厚さ2cmとやや薄手。上面は木炭痕が散在し、下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。比重が低く滓質やや粗。
10	鉄塊系遺物	4	特L(☆)	黒褐色。放射割れが激しく錆化が進んでいる。メタル度特L(☆)と高く金属鉄が多く残存している。滓部がほとんどなく鉄塊系遺物とした。酸化土砂に厚く覆われている。
11	炉壁	1	なし	胎土に大量のスサを含む。内面は強く滓化しタレを生じている。滓化面は約4cmと厚く製鉄炉の炉壁片か。
12	流動滓	1	なし	青黒色。滓質は密。表面は流動性が高くタレが生じている。
13	流動滓	1	なし	青黒色。滓質は密。表面は流動性が高くタレが生じている。流動性が高い。
14	流動滓	1	錆化(△)	青黒色。滓質は密。表面は流動性が高くタレが生じている。流動性が高い。下面は破面で厚さは5cm以上あり厚手。
15	炉内滓	2	錆化(△)	内部から錆が滲み出ており全体に鉄部が含有している。黒褐色。上面の大型の窪みは木炭痕か。
16	羽口	1	なし	羽口の先端部片。外面は黒色ガラス化。内面は赤色酸化。胎土には僅かなスサが混入されている。白色粒含む。
17	羽口	1	なし	羽口の体部から先端部片。外面の先端部側は僅かに灰色に還元。内面は赤色酸化。胎土には僅かなスサが混入されている。白色粒含む。外径約6cm。
18	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	平面小判状。2段気味。厚さ3cm。色調は黒褐色。滓質はやや密。上面は平滑でタレが生じている。下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。
19	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	平面不整形円形。厚さ3cmとやや厚手。色調は黒褐色。滓質は密。上面は平滑でタレが生じている。下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。
20	椀形鍛冶滓	2	錆化(△)	平面不整形円形。厚さ1.5cmとやや薄手。色調は黒褐色。滓質はやや粗。上面は平滑でタレが生じている。下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。
21	椀形鍛冶滓	3	錆化(△)	平面不整形円形。厚さ2cmとやや薄手。色調は黒褐色。粘土質溶解物主体。滓質は粗。内面から錆が生じており鉄部が内在する。上下面に木炭痕が観察できる。
22	鉄塊系遺物	4	L(●)	黒褐色。放射割れが激しく錆化が進んでいる。メタル度L(●)と高く金属鉄が多く残存している。滓部がほとんどなく鉄塊系遺物とした。
23	羽口	3	なし	羽口先端部片。外面は黒色ガラス化。被熱変色。胎土には僅かなスサが混入されている。
24	椀形鍛冶滓	3	錆化(△)	平面不整形円形。厚さ2.5cmとやや薄手。色調は黒褐色～紫紅色。粘土質溶解物主体。滓質は粗。上面は平滑でタレが生じている。下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。
25	羽口	1	なし	羽口の先端部片。外面は黒色ガラス化。内面は赤色酸化。胎土には僅かなスサが混入されている。白色粒含む。通風孔部が僅かに生きている。羽口の厚さは基部側で約2.5cm。



次に、本遺跡から出土した鍛冶系の遺物である羽口、椀形鍛冶滓についての概要を示す。

羽口は先端部の細片が多く、完形はない。内径は鍛冶用の羽口として一般的な直径2～3cmを測る。

椀形鍛冶滓は小～中型のものが多く見られ、厚さは厚手から薄手と様々である。表面に赤錆が浮かび上がっているものが多く、金属鉄が滓中に流れ込んだと考えられる。滓質は密である。

本遺跡は太田市東泉町・緑町に所在し、9世紀～10世紀の竪形炉を検出した菅ノ沢遺跡が北東約300mに位置する。菅ノ沢遺跡は太田市毛里田字今泉口に所在し、1968年から駒澤大学考古学研究室によって調査された遺跡である。倉田芳郎教授を中心とした調査団が組織され、綿密な調査が行われた。検出された3基の製鉄炉の調査は、我が国の古代製鉄遺跡研究の端緒といえるほどの重要な調査となっている。

近年の北関東自動車道建設に伴い、本遺跡の東西では二の宮遺跡・大道西遺跡、大道東遺跡が大規模に調査された(第3図参照)。菅ノ沢遺跡から丘陵一つ隔てた二の宮遺跡からの製鉄・鍛冶関連遺物はないが、菅ノ沢遺跡の谷地形の北東方向に位置する本遺跡、大道西遺跡、大道東遺跡の3遺跡では、鉄・鉄器生産に関わる遺物が検出されており、3遺跡と菅ノ沢遺跡の関連が予察される。菅ノ沢遺跡の調査では、製鉄炉3基のみの遺構の検出で、鍛冶工房などの検出はない。3遺跡では、鍛冶工房などの遺構の検出はなく、鉄・鉄器生産関連遺物はすべて遺構外からの出土であるが、菅ノ沢遺跡の竪形製鉄炉の操業とほぼ同時期の集落が検出されており、周辺での鍛冶工程が想定される。菅ノ沢遺跡から約600m

と3遺跡の中で最も離れた大道東遺跡では遺物量が7点と少ないが、ほぼ完形の厚手の椀形鍛冶滓や羽口片が出土しており、菅ノ沢遺跡から離れた遺跡でも本格的な鍛冶作業があったとみられる。

本報告である菅ノ沢遺跡に最も近い八ヶ入遺跡では、鍛冶系の遺物に加えて、炉壁片や炉内滓の小片、鉄塊系遺物などの製錬炉から取り出した滓混じりの生成鉄から滓を割り取る工程が想定できる遺物が出土した。大道東遺跡周辺でも本格的な鍛冶作業が想定できることから、最も近い集落で滓の割取りから鍛冶作業が行われ、製鉄炉から離れた集落でも鍛冶作業が行われたと考えることができる。

### (3) まとめ

遺物の分類・整理を進めていくと、本遺跡出土の滓は鍛冶行程で生じる滓が約9割を占めるが、1割程の製錬系の滓が含まれることが明らかになった。製錬系の滓はどれも小片であることから、滓の付着した生成鉄から鉄を割り取る行程で、取り除かれた滓の残存であると考えられる。また、遺跡地は9世紀から10世紀の竪形製鉄炉を3基検出した菅ノ沢遺跡の300m北東に位置し、菅ノ沢遺跡から最も近い集落の一つを検出している。遺跡地内から明確な鉄器生産を示す遺構は検出されていないが、鉄・鉄器生産に関連した遺物を整理することにより、菅ノ沢遺跡を中心とした古代鉄・鉄器生産の様相が少なからず明らかになってきた。

今後の周辺遺跡の調査や自然科学分析を含めた総合的な検討の機会を待ち、本調査が地域史及び古代鉄・鉄器生産解明の一助になればと思う。

### 引用・参考文献

飯島武次・穴澤義功「群馬県太田市菅ノ沢製鉄遺構」『考古学雑誌』55巻2号

駒澤大学考古学研究会「群馬県太田市菅ノ沢遺跡調査概報」『駒沢考古』駒澤大学考古学研究室

笹澤泰史2007「群馬県における古代製鉄遺跡の出現と展開」『研究紀要』25財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

村上恭通2007『古代国家成立過程と鉄器生産』青木書店

### 第3節 科学分析の目的と成果

#### 目的

調査区の東寄りの区域で、堆積土層中にテフラが認められたこと、及び黒色土が堆積していることからイネ栽培の可能性を把握するために科学分析を実施した。火山灰の同定は、土層堆積時期の年代把握に重要な要素となる。

また、プラントオパール分析は、堆積土中に残された植物遺存体を同定・定量することにより、堆積当時にイネが栽培されていたかどうかを判断する材料となる。

この分析のため、土壌サンプル（試料）を採取した位置を第528図に示す。4-Ⅲ区=ベルト3、4-Ⅲ区=南北360ライン、6-Ⅱ区大溝セクション2の3地点である。

#### 成果

##### 1 火山灰

4-Ⅲ区南北360ライン採取試料13に含まれていたテフラは、分析の結果、榛名火山噴出の榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA)に由来すると鑑定された。この下位の試料に含まれる灰白色軽石は、浅間C軽石(As-C)に由来するらしいが、「顕著な濃集層準が認められないことから」確定的ではないという。

また、4区360ライン試料4に含まれていたテフラは、浅間Bテフラ(As-B)に由来すると鑑定された。同じく、6区大溝(自然流路)土層断面2の試料1が採取されたテフラ層も、As-Bと鑑定された。

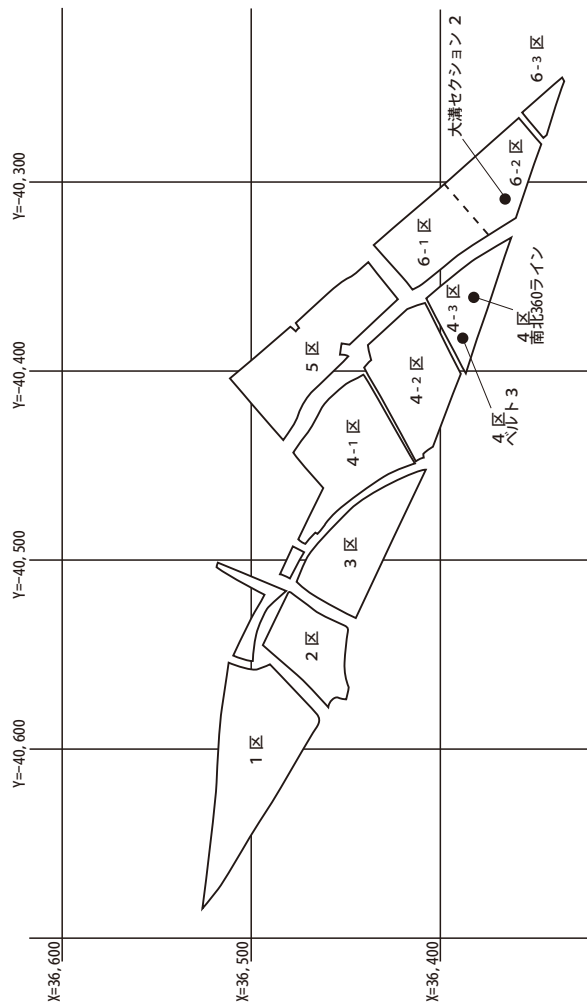
以上の分析結果は、下位からAs-C→Hr-FA→As-Bの順に堆積し、これまでのテフラ堆積順に比較して矛盾がなく、県内で検出されるテフラ堆積順に一致しており、信頼できる結果と考えられる。

##### 2 プラントオパール分析

植物珪酸体はガラス主成分の珪酸が蓄積し、植物が枯れた後も微化石(プラントオパール)となって土壌中に遺存するという。通常、試料1gあたり

5千個以上の密度で検出された場合に、稲作が行われた可能性が高いとされる。今回の分析では、判断基準を3千個/gとして検討された。

分析の結果、4-Ⅲ区ベルト3のAs-B直下の層で、イネが3,700～3,800個/gの密度で検出され、この層で稲作が行われていた可能性が高いと鑑定された。同じく、6-Ⅱ区大溝セクション2のAs-B直下層では、1,500個/gの密度でプラントオパールが検出されたが、栽培されていたという程の検出数ではなく、近隣での栽培の可能性があるという。



第528図 科学分析試料採取位置図

## 第4節 まとめ

ここでは水田耕作の可能性を指摘された未検出のAs-B下水田の範囲と、八ヶ入遺跡の住居群の変遷を追ってみたい。

### 1 微地形とAs-B下水田

3章2節のプラントオパール分析の結果によると、6区南西側の「大溝」(調査時に人工水路から自然河川へと認識が変更され、整理の過程で「自然流路」と命名された)は、その埋没土の最上位にAs-Bテフラが堆積しており、直下の試料の分析で水田耕作されていた可能性が認められた。しかし、調査では面的に水田面を検出していない。仮に平安時代の水田が広がっていたとすれば、どのような範囲が想定できるか、遺構の分布と標高、表土下の状況から推定したのが、第529図である。

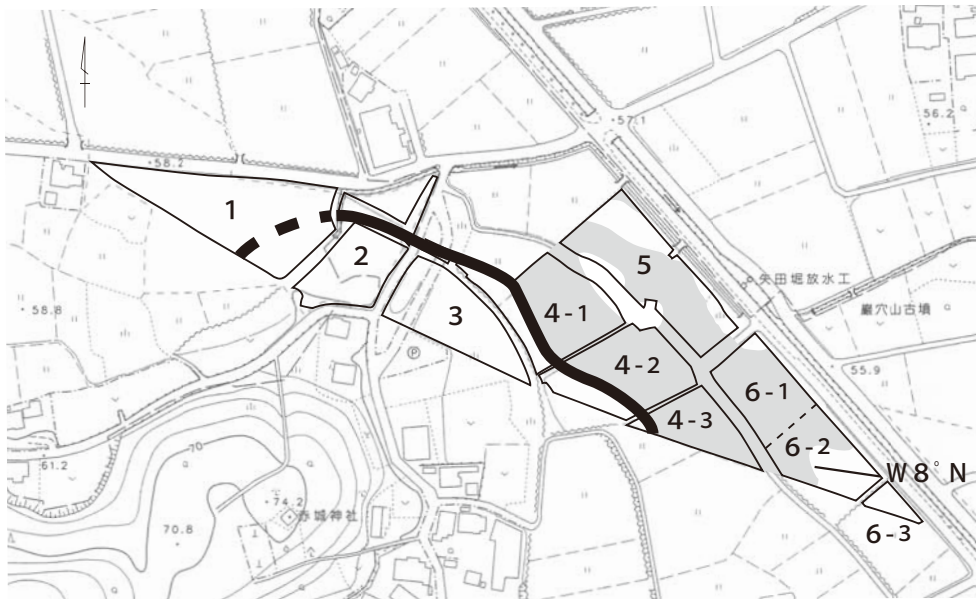
1区の遺構確認面の標高は56.50m-56.70mで、2区-6区の遺構確認面に比較して0.5-1.0m高いが、1区北側の二の宮遺跡の存在から推定すれば、1区西半部に水田が存在していた可能性がある。2区は菅ノ沢御廟古墳ののる金山丘陵末端の裾部が削平さ

れた可能性が高く、水田耕作に適さなかったと思われる。3区と4区西半部は微高地状を呈する地形で、住居が検出された区域であり、居住域である。4区東半部から5-6区西部には住居分布が少なく、低地と考えられる。6-2区・6-3区は低いながらもロームが確認された区域である。以上のことから、二の宮遺跡から八ヶ入遺跡の南東部に至る範囲に水田が想定され、2区の北側が半島状に突出してもっとも狭くくびれた地形を復元できる。

### 2 住居群の変遷

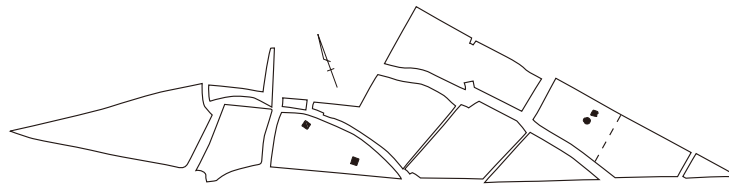
第19表は住居の存続時期、第530図は表をもとにして古墳時代から平安時代の住居分布を示したもので、奈良・平安時代住居は各世紀の前半と後半に分けている(時期認定は神谷佳明の協力を得た)。

古墳時代の二つの住居は3区にあり、当時もっとも安定した微高地であったと考えられる。その後、6世紀~7世紀の住居は検出されず、7世紀代に東山道駅路が設置され、8世紀半ば頃に廃絶された。6区1号・2号建物址を除き、約250年間にわたって竪穴住居が営まれなかったことになる。この無住居であった理由が何か、積極的な根拠に乏しい。周辺の後期古墳群の存在を考えれば、古墳造営を支え

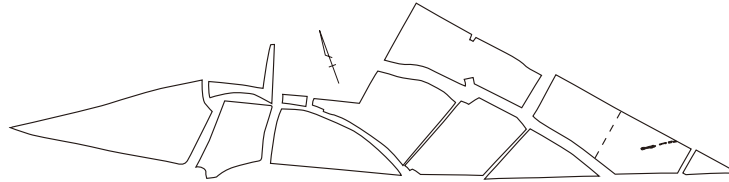


第529図 八ヶ入遺跡As-B下水田の推定図

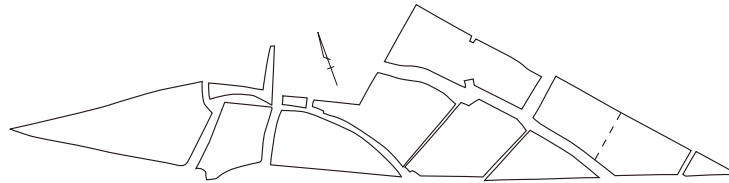




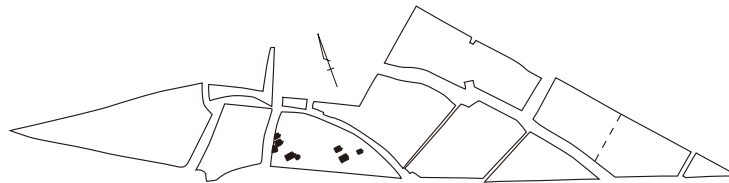
古墳時代5c中頃



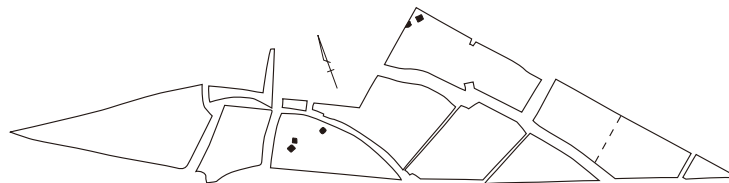
古墳～飛鳥時代6～7c



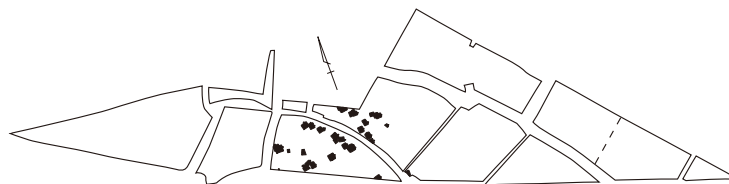
奈良時代8c前半



8c後半



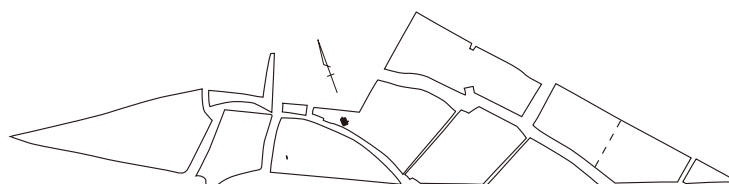
平安時代9c前半



9c後半



10c前半



10c後半

第530図 時期別住居分布図





区	番号	位置	平面形状	長軸方位	長軸cm	短軸cm	深さcm	出土遺物	重複関係	備考
3	29	455-490	不整形	N-45°-E	128	125	58	1・2・3		65住
3	30	460-490	長円形	N-75°-E	110	85	48	1～4		46住
3	31	435-505	不整形	N-18°-W	144	70	31			38住
3	32	450-485	長円形	N-22°-W	130	110	26	1		64住,65住,86土
3	33	455-485	長円形	N-16°-W	85	75	23			64住,65住,86土
3	34	460-495	長円形	N-78°-W	155	125	19	1～3		17住,30住,→33住,42土→,382P
3	35	470-500	長円形	N-28°-E	56	47	18			
3	36	440-505	長円形	N-0°	120	111	28			21住,275P,472P
3	37	460-500	長円形	N-66°-W	97	73	19	1		18住
3	38	455-500	長円形	N-88°-E	150	132	27	1～4		279P,280P
3	40	460-495	長円形	N-78°-E	54	35	23			16住
3	41	455-500	長円形	N-0°	125	115	47	1～3		
3	42	460-495	長円形	N-10°-W	100	55	29			17住,30住,33住,→34土
3	44	455-500	長円形	N-75°-E	90	75	47			233P
3	45	460-500	長円形	N-13°-E	130	89	17			18住,229P
3	47	450-500	円形	N-14°-W	120	115	12	1～3		48土→
3	48	450-500	長円形	N-14°-W	(133)	95	15	1・2		→47土,207土
3	49	455-500	長円形	N-16°-W	105	(65)	10			
3	50	435-495	長円形?	N-15°-W	97	(50)	14			
3	53	450-485	円形	N-83°-W	110	105	10			11住
3	56	455-495	長円形	N-28°-W	67	55	23			26土→
3	58	455-495	不整形	N-6°-E	50	35	23			
3	59	455-495	長円形	N-9°-E	76	50	25			
3	60	460-510	隅丸方形	N-7°-W	50	50	12			
3	61	460-510	長円形	N-13°-W	50	45	24			
3	62	455-485	不整形	N-75°-W	215	93	34			47住,49住
3	63	460-510	不整形	N-86°-W	60	40	27			
3	64	455-505	長円形	N-23°-W	63	63	18			74住
3	65	455-515	長円形	N-3°-E	112	70	11			
3	66	460-515	長円形	N-10°-W	130	70	20			
3	70	450-495	長円形	N-8°-W	85	67	27	1		
3	71	450-490	長円形	N-18°-W	95	60	35			
3	74	430-485	長円形?	N-4°-W	(65)	65	37			126P
3	75	430-485	長円形?	N-5°-W	140	(52)	23			
3	77	430-490	長円形	N-33°-E	122	80	14			
3	78	430-490	不整形	N-10°-W	130	65	16			
3	79	430-490	長円形	N-0°	234	200	24	1・2		
3	80	435-490	長円形	N-2°-W	(220)	215	28	1		
3	81	455-480	長方形	N-89°-E	98	60	25			→64住
3	82	460-510	円形	N-83°-W	70	67	22			127土→
3	83	445-510	円形	N-3°-W	50	50	43			66住→
3	85	450-490	円形	N-25°-W	110	108	54			11住→,130P→,69P
3	86	450-485	長円形?	N-0°	250	200	30	1		64住,65住,32土,33土,131P→,288P
3	87	480-500	円形	N-84°-E	63	58	21			
3	90	475-495	長円形	N-3°-W	72	45	12			
3	91	475-495	長円形	N-62°-W	200	152	19	1・2		
3	93	460-510	長円形	N-87°-W	65	49	48			
3	94	460-510	円形	N-63°-E	35	(32)	25			→95土
3	95	460-510	長円形	N-25°-W	62	60	49			94土→
3	96	460-510	長円形	N-77°-W	59	40	16			
3	97	460-515	長円形	N-46°-W	80	70	38			→56住
3	98	455-510	不整形	N-90°	126	102	52			156P,358P,359P
3	99	455-510	長円形	N-44°-W	77	42	34			74住→111土→,138P
3	100	450-510	不整形	N-43°-W	215	170	51	1～3		152P,153P,196P,439P,440P,456P
3	101	450-515	不整形	N-17°-W	82	78	45			177P,178P
3	103	450-515	長円形	N-72°-E	124	110	37			443P,444P
3	104	450-515	長円形	N-66°-E	90	85	37			
3	105	450-510	不整形	N-24°-W	80	75	32			61住,76住,150P,435P
3	106	445-510	長円形	N-13°-E	75	70	25			449P,450P
3	107	455-510	長円形	N-48°-W	80	40	28	1		
3	108	475-495	長円形	N-85°-E	110	60	44			
3	109	455-510	長円形	N-30°-W	60	40	37			469P
3	110	455-505	長円形	N-4°-W	95	89	40	1		141土
3	111	455-510	長円形	N-50°-W	(95)	55	41			74住→111土→99土
3	112	445-510	不整形	N-56°-W	80	75	45			114土→,390P
3	113	445-510	隅丸方形	N-20°-W	70	63	48			114土→
3	114	445-510	不整形	N-84°-W	105	80	27			→112土,→113土
3	115	455-510	長円形	N-23°-E	75	50	20			198P,448P
3	116	445-485	不整形	N-0°	62	55	20			
3	117	445-480	長円形?	N-33°-E	85	(45)	23			
3	118	445-480	長円形?	N-62°-E	125	(50)	24			51住
3	119	450-510	長円形	N-68°-E	100	60	47			61住,84住
3	120	450-505	長円形?	N-5°-E	(105)	65	27	1～3		75住
3	121	445-510	円形	N-16°-W	65	63	26	1		83住
3	122	445-510	長円形	N-3°-E	78	48	30			
3	123	445-505	長円形	N-10°-W	80	50	23	1		
3	124	455-515	長円形	N-12°-E	80	65	21			187P→











第23表 ピット一覧表

凡例 平面形状 円形・長円形・方形・長方形・隅丸方形・隅丸長方形・不整形  
 1<●<1.1=円・方形 1.1<●=長円・長方形  
 埋没土 A-暗褐色土 B-黒褐色土 C-黄褐色土 D-オリーブ色土 e x. A・A・B

中・近世

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	1	410-455	長円形	36	29	16	B			
3	2	410-455	長円形	26	21	13	B			
3	3	410-455	長円形	37	29	12	B			
3	4	415-455	円形	38	38	23	B			
3	5	415-455	円形	37	36	24	A			
3	6	415-460	隅丸長方形	26	21	14	A			
3	7	415-460	長円形	42	35	28	A			
3	8	415-455	不整形	30	26	20	B			
3	9	410-455	隅丸長方形	39	33	15	A			
3	10	410-455	長円形	35	29	24	A			
3	11	410-460	不整形	29	25	33	A・B			
3	12	415-460	不整形	45	43	21	A			
3	13	410-455	隅丸長方形	55	35	15	A			
3	14	415-460	長円形	45	34	21	A			
3	15	415-460	長円形	46	40	26	A			
3	16	415-460	長円形	34	30	15	A			
3	17	415-460	隅丸長方形	25	21	8	A			
3	18	415-460	円形	37	36	26	A			
3	19	415-465	隅丸方形	29	28	15	A			
3	20	415-465	隅丸長方形	47	43	17	A			
3	21	420-460	長円形	40	36	22	A			
3	22	420-455	隅丸方形	34	34	28	A	23P→		
3	23	420-455	隅丸長方形	33	28	23	A	→22P		
3	24	415-465	不整形	44	36	36	A			
3	25	415-465	長円形	38	34	10	A			
3	26	420-460	不整形	51	37	13	A	1号掘立		
3	27	420-460	隅丸方形	50	47	30	A			
3	28	415-460	円形	25	23	22	A			
3	29	420-465	長円形	33	25	13	A			
3	30	420-465	長円形	25	20	10	B			
3	31	420-465	長円形	54	38	45	A			
3	32	420-465	不整形	42	39	41	A			
3	33	420-465	不整形	36	33	27	A	3住		
3	34	415-465	長円形	51	46	23	A	1住		
3	35	415-470	不整形	39	29	19	A			
3	36	425-470	長円形	37	34	25	A			
3	37	425-470	隅丸方形	29	27	26	A			
3	38	425-470	長円形	(36)	34	21	A	→39P		
3	39	425-470	長円形	(37)	36	40	A	38P→		
3	40	425-470	隅丸方形	33	32	19	-	41P		
3	41	425-470	隅丸長方形	40	24	38		40P		A・灰黄褐色土
3	42	420-475	円形	29	29	20	A			
3	43	420-460	隅丸方形	24	23	17	B			
3	44	415-460	長円形	27	23	17	A			
3	45	415-460	不整形	34	24	18	A			
3	46	410-450	不整形	31	30	18	A			
3	47	410-450	長円形	30	24	13	A			
3	48	410-455	長円形	50	38	17	A			
3	49	410-455	隅丸長方形	37	29	12	A			
3	50	410-455	長円形	31	24	12	A			
3	51	410-455	隅丸長方形	27	23	18	A			
3	52	415-465	隅丸方形	32	30	11	A			
3	53	415-455	長円形	26	17	18	A			
3	54	415-455	隅丸方形	26	26	13	A			
3	55	420-460	不整形	27	25	19	A			
3	56	425-460	隅丸長方形	26	24	25	A			
3	57	420-460	隅丸長方形	28	26	10	A			
3	58	415-460	長円形	31	30	28	A	1住		
3	59	415-460	長円形	39	(30)	27	-	1住,→6土		
3	60	430-480	長円形	46	35	52	A	6住		
3	61	430-470	長円形	32	25	28	A	4住,→4土		
3	62	445-480	隅丸方形	44	43	40	A			
3	63	440-485	長円形	49	48	27	A			
3	64	440-485	長円形	36	35	67	A			
3	65	440-490	長円形	35	28	29	A			
3	66	440-490	長円形	45	39	30	A			
3	67	440-485	円形	40	39	13	A			
3	68	450-490	不整形	33	28	25	A	11住		
3	69	450-490	円形	40	37	35	A	11住,85土,130P		
3	70	460-510	長円形	32	24	11	A	11溝		
3	71	460-510	長円形	39	38	13	A	11溝		
3	72	465-510	長円形	41	39	7	A	11溝		
3	73	465-510	円形	35	34	13	A	11溝		

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	74	465-510	長円形	43	37	16	A		224P	
3	75	465-510	長円形	55	47	15	A			
3	76	460-510	長円形	47	34	13	A		225 P	
3	77	455-490	隅丸長方形	29	23	20	A			
3	78	460-495	円形	40	(38)	15	A		17住, 30住, 33住	
3	79	455-490	円形	47	(43)	19	A		16住	
3	80	440-485	長円形	49	38	31	A	須恵器杯1	213土	
3	81	460-490	不整形	64	32	37	A		16住	
3	82	460-495	長円形	22	20	18	-		30住, 33住	
3	83	455-500	不整形	35	32	35	A			
3	84	455-500	長円形	24	20	15	A		189土	
3	85	460-495	長円形	30	28	28	A		30住, 33住, 86土→	
3	86	460-495	不整形	35	(23)	25	A		30住, 33住, →85土	
3	87	455-500	隅丸方形	20	20	20	A			
3	88	455-500	不整形	35	32	45	A			
3	89	455-500	隅丸長方形	39	34	11	A		90 P →	
3	90	455-500	不整形	34	(22)	12	A		→89 P	
3	91	460-510	長円形	42	40	37	A		11溝	
3	92	455-505	長円形	45	38	37	A			
3	93	460-490	長円形	43	32	38	B		24住, 44住	
3	94	455-505	長円形	44	33	20	A			
3	95	455-500	隅丸方形	37	35	23	A			
3	96	460-500	長円形	27	22	22	A・B			
3	97	445-485	長円形	44	35	12	A・B			
3	98	445-485	隅丸長方形	30	27	22	A			
3	99	445-485	隅丸長方形	27	24	24	A			
3	100	455-495	隅丸方形	23	23	23	B			
3	101	455-495	長円形	35	31	20	A			
3	102	455-495	長円形	29	18	24	A			
3	103	455-495	隅丸長方形	21	18	23	A			
3	104	455-495	隅丸長方形	32	26	20	A		→26土	
3	105	455-495	長円形	19	17	35	-			
3	106	455-495	長円形	18	15	27	-			
3	107	455-495	長円形	19	15	20	-			
3	108	450-495	長円形	22	16	20	-			
3	109	450-495	長円形	21	18	23	-			
3	110	450-490	長円形	32	26	15	A		123 P, 124 P	
3	111	450-495	長円形	37	(32)	18	A		112P	
3	112	450-495	長円形	34	(26)	15	A		111P	
3	113	450-495	円形	25	24	19	-			
3	114	450-490	長円形	30	25	12	A			
3	115	450-490	長円形	32	25	9	A			
3	116	445-495	長円形	19	17	9	-			
3	117	460-510	長円形	27	25	25	A			
3	118	460-510	円形	26	25	17	A			
3	119	440-475	長円形	44	33	25	A		3住	
3	120	455-495	長円形	18	16	18	-			
3	121	450-495	長円形	27	22	13	A			
3	122	450-495	長円形	38	29	19	A			
3	123	450-490	円形	33	32	14	A		124P, 110 P	
3	124	450-490	円形	28	28	12	A		123P, 110 P	
3	125	435-480	長円形	40	34	17	A			
3	126	430-485	隅丸方形	27	25	19	A		→74土, 6住, 7住	
3	128	450-490	隅丸長方形	56	53	52	A		11住	
3	129	450-490	長円形	35	30	12	A		11住, 201土	
3	130	450-490	不整形	125	99	27	A	灰釉椀1	11住, →85土, 69 P	
3	131	450-485	長円形	37	29	27	A		→86土	
3	132	450-485	長円形	30	27	26	A			
3	133	475-495	不整形	60	45	27	A			
3	134	470-495	長円形	(50)	47	32	-			灰黄褐色土
3	135	470-495	長円形	48	37	44	-			褐灰色土
3	136	475-495	長円形	36	33	33	-			
3	137	455-510	長円形	43	35	46	A		442P	
3	138	455-505	円形	28	27	19	A		74住, 99土	
3	139	455-510	長円形	30	28	16	A			
3	140	455-510	隅丸長方形	32	29	16	A		204 P	
3	141	455-510	円形	33	31	16	A		370P	
3	142	455-510	長円形	29	23	15	A		361P	
3	143	455-510	長円形	30	22	9	A			
3	144	450-510	円形	39	38	18	A		436P	
3	145	445-515	円形	28	27	18	A			
3	146	450-510	長円形	39	33	21	A		76住, 437P	
3	147	460-520	長円形	41	40	9	A			
3	148	460-520	長円形	28	22	8	A	大刀1		
3	149	460-520	長円形	42	33	9	A			
3	150	450-510	不整形	35	27	17	A		61住, 105土	
3	151	455-510	隅丸方形	26	26	19	A		366P	

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	152	455-515	長円形	41	31	40	A		100土	
3	153	455-510	隅丸方形	26	25	18	A		100土	
3	154	455-510	長円形	31	27	18	A			
3	155	455-510	長円形	30	28	18	A		369P	
3	156	455-510	長円形	27	20	18	A		98土	
3	157	455-510	長円形	36	33	24	A		432P, 474P	
3	158	455-510	長円形	26	23	15	A			
3	159	455-510	長円形	28	27	19	A			
3	160	455-510	円形	35	32	28	A			
3	161	455-510	長円形	20	18	10	A			
3	162	460-510	長円形	42	41	23	A		408P	
3	163	460-510	長円形	26	25	21	A			
3	164	455-510	円形	26	25	19	A		406P	
3	165	455-510	長円形	26	23	19	A		407P	
3	166	455-510	長円形	35	28	27	A		414P	
3	167	455-510	長円形	21	19	18	A			
3	168	460-510	隅丸方形	42	40	14	A			
3	169	460-515	長円形	20	18	14	A			
3	170	455-515	円形	42	40	17	A			
3	171	455-515	長円形	35	32	10	A		222土	
3	172	455-515	長円形	32	26	23	A		404P	
3	173	460-515	長円形	32	24	13	A			
3	174	460-515	長円形	21	17	17	C			
3	175	460-515	長円形	30	24	12	C			
3	176	455-510	長円形	60	44	28	A		125土→	
3	177	450-515	隅丸方形	27	27	53	A		101土	
3	178	450-515	長円形	26	25	36	A		101土	
3	179	460-510	長円形	25	22	7	A			
3	180	465-510	長円形	43	37	19	A			
3	181	465-510	長円形	20	17	7	A			
3	182	465-515	長円形	37	31	27	A		183P→	
3	183	465-515	長円形	(47)	38	24	A		→182P	
3	184	465-515	円形	40	38	24	A		55住	
3	185	465-515	長円形	25	22	12	A			
3	186	465-515	長円形	37	36	23	A			
3	187	455-515	隅丸方形	24	25	11	A		→124土	
3	188	460-515	長円形	30	27	29	A		55住	
3	189	455-515	不整形	24	23	11	A		130土, 355P, 445P	
3	190	455-515	長円形	20	14	11	A			
3	191	455-515	隅丸方形	20	20	13	A			
3	192	455-515	長円形	34	29	16	A			
3	193	455-515	隅丸方形	26	25	13	A			
3	194	455-515	隅丸長方形	30	26	14	A			
3	195	455-510	長円形	27	25	12	A			
3	196	455-510	長円形	20	18	8	A		100土	
3	197	450-510	長円形	36	32	92	-		76住, 83住, 128土→	黒暗褐色土
3	198	455-510	長円形	23	22	17	A・B		115土, 448P	
3	199	450-515	長円形	27	22	15	A		82住	
3	200	450-515	隅丸方形	23	21	19	A		403P	
3	201	450-515	長円形	26	19	15	A		403P	
3	202	450-515	長円形	35	20	21	A			
3	203	450-515	長円形	34	27	20	A			
3	204	450-510	隅丸長方形	30	26	25	A		140 P, 371P	
3	205	450-510	隅丸長方形	31	23	13	A			
3	206	450-510	隅丸方形	23	22	16	A		84住	
3	207	465-505	長円形	53	43	37	A	須恵器碗1		
3	208	465-505	長円形	41	37	28	A			
3	209	465-500	隅丸長方形	31	27	49	A			
3	210	465-500	隅丸長方形	32	27	25	A		136土	
3	211	465-500	隅丸長方形	36	25	7	A		136土	
3	212	465-505	不整形	48	33	22	-			暗黄褐色土
3	213	460-515	隅丸方形	25	24	21	A			
3	214	455-515	円形	22	21	12	A		356P	
3	215	455-515	長円形	24	22	12	A		356P	
3	216	455-515	長円形	26	24	29	A		415P	
3	217	455-515	隅丸方形	21	20	21	A			
3	218	455-515	隅丸長方形	22	16	14	A			
3	219	455-515	長円形	24	19	11	A			
3	220	455-515	長円形	25	23	12	A		467P	
3	221	455-515	長円形	33	27	17	A		387 P	
3	222	470-505	長円形	32	28	24	A			
3	223	470-505	不整形	36	36	15	A			
3	224	465-505	不整形	45	44	16	A		74P	
3	225	460-505	長円形	46	39	12	A		76 P	
3	226	460-505	不整形	24	20	14	A		11溝	
3	227	460-505	長円形	24	19	20	A		11溝	
3	228	460-505	不整形	24	22	25	A		11溝	

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	229	460-500	隅丸方形	31	29	13	A		45土	
3	230	465-500	隅丸長方形	28	22	18	A			
3	231	445-505	長円形	29	22	42	A		86住, →140土, 313P	
3	232	455-500	長円形	21	19	11	A			
3	233	455-500	不整形	59	49	36	A		44土	
3	234	455-500	長円形	24	23	23	A			
3	235	455-495	長円形	38	33	23	A			
3	236	450-500	隅丸長方形	30	26	11	A			
3	237	450-495	長円形	20	18	9	A			
3	238	445-495	長円形	58	50	33	A			
3	239	430-490	隅丸長方形	34	29	20	A			
3	240	430-475	隅丸長方形	36	30	14	A			
3	241	430-475	隅丸方形	36	33	14	A			
3	242	430-475	長円形	30	27	19	A			
3	243	430-475	不整形	38	30	23	A			
3	244	430-470	長円形	34	30	11	A			
3	245	435-470	隅丸方形	27	26	16	A			
3	246	420-470	隅丸方形	26	26	11	A			
3	247	420-470	不整形	40	31	10	A			
3	248	420-475	長円形	32	25	11	A			
3	249	420-475	長円形	37	33	10	A			
3	250	420-475	不整形	44	(27)	29	A			
3	251	425-490	不整形	38	32	23	A			
3	252	425-495	隅丸長方形	22	18	16	A			
3	253	420-470	隅丸長方形	26	23	18	A			
3	254	420-465	不整形	45	33	28	A			
3	255	420-465	隅丸長方形	23	20	17	A			
3	256	415-460	長円形	25	21	10	A			
3	257	415-460	隅丸長方形	30	21	15	A			
3	258	415-460	隅丸長方形	35	30	15	A			
3	259	425-465	長円形	28	27	25	A			
3	260	430-470	長円形	28	24	17	A			
3	261	425-480	不整形	35	30	14	A			
3	262	425-480	隅丸長方形	33	26	32	A			
3	263	440-490	円形	26	25	18	A			
3	264	440-485	長円形	28	22	24	A			
3	265	440-485	隅丸方形	41	(39)	47	A		→266P	
3	266	440-485	長円形	32	28	39	A		265P→	
3	267	440-485	長円形	33	31	31	A			
3	268	440-485	長円形	28	25	11	A			
3	269	440-490	長円形	29	24	24	A			
3	270	440-490	隅丸方形	30	28	18	A			
3	271	440-495	円形	40	40	17	A		2号掘立	
3	272	435-490	不整形	42	(25)	30	A		15住	
3	273	430-490	隅丸長方形	48	33	44	A			
3	274	430-490	長円形	29	28	24	A			
3	275	440-505	長円形	30	30	27	A		21住, 36土	
3	276	455-505	隅丸方形	30	30	8	A		11溝	
3	277	455-505	長円形	39	35	30	A			
3	278	455-500	長円形	30	28	24	A		189土	
3	279	455-500	隅丸方形	31	31	35	-		38土	
3	280	455-500	円形	25	24	10	A		38土	
3	281	455-495	長円形	34	30	14	A			
3	282	455-500	長円形	28	24	17	A		17住	
3	283	455-495	不整形	30	25	33	A			
3	284	450-500	隅丸長方形	33	30	12	A			
3	285	450-485	円形	40	40	23	A		11住	
3	286	450-490	不整形	26	(18)	11	A		11住	
3	287	445-490	長円形	45	40	30	A			
3	288	450-485	長円形	32	25	29	A		86土	
3	289	455-505	長円形	40	36	26	A			
3	290	440-500	長円形	29	29	12	A			
3	291	440-500	長円形	40	33	19	A			
3	292	445-495	長円形	35	32	25	B			
3	293	440-495	不整形	30	18	13	B			
3	294	440-490	隅丸方形	27	26	8	A		2号掘立	
3	295	460-495	長円形	24	19	40	A			
3	296	435-500	長円形	48	38	19	A		297 P	
3	297	435-500	長円形	32	26	42	A		296 P	
3	298	455-500	長円形	24	21	26	A			
3	299	460-500	長円形	43	(25)	21	A		86住	
3	300	460-500	長円形	26	26	49	A			
3	301	460-500	長円形	21	16	11	A		44土	
3	302	460-500	長円形	30	21	22	A			
3	303	455-495	長円形	36	27	10	A		66住	
3	304	430-500	隅丸方形	25	25	31	A			
3	305	430-495	長円形	40	35	22	A			



区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	306	430-495	長円形	25	20	8	A			
3	307	430-495	長円形	20	19	23	A			
3	308	430-490	長円形	30	28	24	A			
3	309	430-490	長円形	34	29	31	A			
3	310	430-490	隅丸長方形	28	24	22	A			
3	311	425-490	長円形	29	28	28	A			
3	312	430-500	長円形	27	26	10	A			
3	313	445-505	長円形	49	34	45	A		86住, 140土, 231P	
3	314	445-490	隅丸長方形	29	26	18	A			
3	315	445-490	円形	33	33	3	A		2号掘立	
3	316	450-485	長円形	40	34	15	A		11住	
3	317	445-485	隅丸長方形	26	23	11	A			
3	318	435-490	長円形	36	36	22	A			
3	319	440-485	長円形	36	30	17	A			
3	320	445-485	長円形	34	(29)	11	A		→5住	
3	321	440-480	長円形	40	35	11	A			
3	322	445-480	円形	24	23	11	A			
3	323	440-475	長円形	24	20	28	A			
3	324	440-475	長円形	31	24	26	A			
3	325	445-485	長円形	31	30	10	A			
3	326	440-480	不整形	50	33	27	A		25住	
3	327	440-480	長円形	25	15	14	A			
3	328	435-480	長円形	36	33	14	A			
3	329	435-480	長円形	29	24	24	A			
3	330	440-480	長円形	39	34	40	A			
3	331	440-480	隅丸方形	28	27	17	A		3住	
3	332	450-480	隅丸長方形	37	30	26	A			
3	333	450-480	隅丸方形	32	30	37	A			
3	334	450-475	長円形	44	36	21	A			
3	335	440-470	長円形	24	20	12	A			
3	336	435-465	長円形	34	30	20	A			
3	337	435-465	隅丸方形	39	37	19	A			
3	338	440-485	長円形	33	30	9	A			
3	339	435-495	長円形	34	33	10	A			
3	340	430-495	長円形	45	41	30	A			
3	341	430-495	長円形	41	39	18	A			
3	342	455-495	長円形	41	30	17	A		16住	
3	343	455-495	長円形	33	32	14	A		16住	
3	344	455-495	長円形	36	32	15	A		16住	
3	345	455-490	長円形	38	36	22	A		16住	
3	346	455-500	長円形	24	23	26	A			
3	347	450-495	長円形	37	36	22	A		181土	
3	348	450-495	長円形	35	31	6	A			
3	349	440-480	長円形	30	25	25	A			
3	350	440-480	円形	32	31	18	A			
3	351	455-495	長円形	35	25	19	A		148土	
3	352	460-490	長円形	25	24	19	A		16住	
3	353	460-515	円形	17	17	17	A			
3	354	455-515	長円形	35	33	34	A			
3	355	455-515	円形	26	24	17	A		130土, 189P, 445 P	
3	356	455-515	長円形	32	25	36	A		214P, 215P	
3	357	455-515	長円形	34	25	26	A		387P	
3	358	455-510	長円形	25	23	20	A		98土	
3	359	455-510	長円形	18	18	10	A		98土	
3	360	455-510	長円形	29	28	14	A			
3	361	455-510	長円形	30	25	19	A		142P	
3	362	450-510	円形	25	25	18	A			
3	363	450-510	長円形	(32)	27	15	A		84住	
3	364	435-505	円形	40	38	25	A		40住	
3	365	455-510	隅丸方形	25	26	20	A		164P	
3	366	455-510	隅丸方形	24	24	16	A		151P	
3	367	455-510	隅丸方形	24	23	27	A			
3	368	455-510	隅丸長方形	34	31	20	A			
3	369	455-510	隅丸長方形	21	18	28	A		155P	
3	370	455-510	隅丸長方形	23	20	13	A		141P	
3	371	455-510	不整形	36	19	15	A		204P	
3	372	445-520	長円形	32	28	23	A			
3	373	445-520	隅丸方形	30	29	15	A			
3	374	445-520	長円形	32	25	26	A			
3	375	445-520	長円形	47	40	37	A		392P	
3	376	445-520	隅丸長方形	26	23	15	A			
3	377	440-520	長円形	33	32	23	A			
3	378	440-520	隅丸方形	47	47	17	A			
3	379	440-515	長円形	24	20	18	A		3号掘立	
3	380	445-520	不整形	35	32	23	A			
3	381	445-515	隅丸方形	24	22	17	A			
3	382	445-515	隅丸長方形	34	26	14	A		34住	

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	383	445-510	隅丸長方形	28	26	16	A		66住	
3	384	450-505	隅丸方形	29	28	13	B		84住	
3	385	450-505	隅丸長方形	26	23	12	B		139土	
3	386	455-515	隅丸方形	22	21	30	A			
3	387	455-515	隅丸長方形	18	15	13	A		221 P ,357P	
3	388	445-520	長円形	27	26	33	A			
3	389	445-520	長円形	34	27	39	A		475P	
3	390	445-510	長円形	38	34	24	A		112土	
3	391	440-525	長円形	37	26	48	A			
3	392	445-520	長円形	33	28	26	A		375 P	
3	393	445-520	長円形	37	29	44	A			
3	394	445-520	不整形	28	20	22	A		34住	
3	395	440-520	長円形	26	26	21	A		3号掘立	
3	396	440-520	長円形	27	26	19	A		3号掘立	
3	397	440-520	長円形	29	27	25	A		3号掘立	
3	398	440-520	長円形	27	27	32	A		3号掘立	
3	399	440-515	長円形	31	31	15	A		3号掘立	
3	400	440-515	長円形	35	31	28	A		3号掘立	
3	401	440-515	長円形	20	18	7	A		3号掘立	
3	402	445-520	長円形	27	22	11	A			
3	403	450-515	長円形	34	40	28	A		200P, 201P	
3	404	455-515	隅丸長方形	27	24	32	A		172P	
3	405	460-520	長円形	30	22	9	A		56住	
3	406	455-510	長円形	28	22	27	A		164P	
3	407	455-510	長円形	22	22	27	A		165P	
3	408	455-510	長円形	20	17	11	A		162P	
3	409	460-510	長円形	24	21	16	A			
3	410	465-510	隅丸長方形	31	27	14	A		55住	
3	411	445-520	長円形	39	38	46	A			
3	412	445-520	長円形	30	26	23	A			
3	413	460-510	長円形	19	16	11	A			
3	414	455-510	長円形	28	24	22	A		166P	
3	415	455-515	長円形	29	21	38	A		216P	
3	416	455-515	隅丸長方形	32	27	18	A		55住	
3	417	455-515	隅丸長方形	34	41	13	A		42住, 57住, 58住, 77住	
3	418	455-520	長円形	45	36	35	A		42住, 57住, 58住, 77住, 476P	
3	419	450-520	隅丸方形	35	35	11	A		58住, 77住	
3	420	455-520	円形	31	30	12	A		42住, 58住, 77住	
3	421	455-520	不整形	50	(30)	11	A		→240土	
3	422	440-515	長円形	37	35	33	A			
3	423	440-510	長円形	26	25	28	A			
3	424	445-515	長円形	20	18	14	A		68住, 69住	
3	425	440-515	隅丸方形	22	22	23	B			
3	426	440-520	長円形	35	30	15	B		3号掘立	
3	427	450-515	長円形	24	21	24	A			
3	428	440-515	長円形	31	28	26	A		225土, 3号掘立	
3	429	455-515	長円形	43	42	26	A		125土, 471P	
3	430	455-515	長円形	30	24	11	A		125土	
3	431	455-510	長円形	25	23	18	A			
3	432	455-510	長円形	21	17	20	A		157P, 474P	
3	433	460-515	長円形	30	28	16	A		55住	
3	434	450-510	長円形	22	20	21	A		61住, 76住	
3	435	450-510	長円形	27	27	33	A		76住, 105土	
3	436	450-510	長円形	34	31	35	A		144P	
3	437	450-510	隅丸方形	27	26	28	A		76住, 146P	
3	438	450-515	円形	21	21	23	A		100土	
3	439	455-510	長円形	18	16	23	A		100土	
3	440	455-510	長円形	21	19	14	A		100土	
3	441	455-515	長円形	28	27	23	A			
3	442	455-510	隅丸方形	29	28	34	A		137P	
3	443	450-515	長円形	22	22	21	A		103土	
3	444	450-515	隅丸方形	16	15	16	A		103土	
3	445	455-515	円形	20	19	14	A		130土, 189P, 355P	
3	446	460-510	長円形	16	14	14	A			
3	447	455-505	長円形	15	14	24	A		138土	
3	448	455-510	隅丸方形	28	27	31	A		115土, 198P	
3	449	445-510	円形	32	31	10	A		106土	
3	450	445-510	長円形	48	42	32	A		106土	
3	451	455-515	長円形	37	32	13	A			
3	452	455-510	長円形	38	33	14	A			
3	454	450-510	長円形	28	25	24	A		61住, 76住	
3	455	455-505	長円形	23	22	14	A		74住	
3	456	450-510	長円形	25	22	13	A		100土	
3	457	455-510	隅丸方形	25	23	16	A		61住, 76住	
3	458	455-505	隅丸長方形	30	25	20	A		74住, 84住	
3	459	450-505	長円形	36	29	13	A		74住, 84住	
3	460	450-510	円形	35	35	18	A		84住	

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
3	461	445-510	長円形	23	20	12	A		34住	
3	462	445-515	長円形	25	24	35	B		68住	
3	463	450-510	長円形	33	26	22	A			
3	464	450-510	長円形	33	25	22	A			
3	465	460-515	長円形	31	30	17	A			
3	466	445-505	長円形	47	30	19	A			
3	467	455-515	長円形	31	27	16	B		220P	
3	468	460-515	長円形	23	17	28	B		55住	
3	469	455-510	長円形	30	24	23	A		109土	
3	470	455-510	長円形	33	24	24	A		74住	
3	471	455-515	長円形	32	27	25	A		429P	
3	472	445-505	円形	36	34	41	A		36土	
3	473	445-505	長円形	29	24	18	A			
3	474	455-510	隅丸方形	19	19	16	B		157P, 432P	
3	475	445-520	長円形	26	20	28	A		389P	
3	476	455-520	隅丸長方形	28	24	26	A		42住, 57住, 58住, 77住, 418P	
3	477	445-505	長円形	24	23	16	A			
3	478	450-510	長円形	38	36	13	A		84住	
4	27	420-440	不整形	27	25	21	A			
4	28	425-445	不整形	25	21	23	A			
4	29	425-445	長円形	31	24	30	A			
4	30	425-445	不整形	28	22	49	A			
4	31	430-455	長円形	22	21	18	A			
4	32	425-450	長円形	39	25	33	-			
4	33	430-450	隅丸方形	19	18	20	A			
4	34	430-450	長円形	40	36	16	A			
4	35	430-450	不整形	22	21	20	A			
4	36	430-455	長円形	26	22	23	A			
4	37	430-455	長円形	26	21	20	A		22溝	
4	38	430-440	長円形	28	21	22	A		22溝	
4	39	435-450	長円形	58	50	29	A			
4	40	440-455	不整形	33	22	28	A			
4	41	440-455	隅丸方形	19	18	16	A			
4	42	450-465	長円形	58	46	22	A			
4	43	450-465	不整形	47	27	34	A			
4	44	450-465	円形	33	32	44	A			
4	45	450-465	長円形	25	16	12	A			
4	46	450-465	長円形	37	31	43	A			
4	47	455-465	長円形	36	31	35	A			
4	48	455-465	長円形	37	35	38	A			
4	49	450-465	不整形	41	29	22	A			
4	50	450-465	円形	21	20	12	A			
4	51	450-465	長円形	24	18	23	A			
4	52	450-465	不整形	40	32	16	A			
4	53	450-465	長円形	31	28	13	A			
4	54	445-465	長円形	47	43	39	A			
4	55	465-475	長円形	38	33	53	A		->6土	
4	56	465-475	長円形	43	40	54	A			
4	57	470-475	円形	37	37	37	A			
4	58	460-480	円形	25	23	23	A			
4	59	460-480	長円形	40	35	26	A			
4	60	470-475	長円形	40	36	46	A			
4	61	455-475	円形	43	40	33	A			
4	64	445-455	長円形	21	19	24	A			
4	65	445-455	長円形	27	24	15	A		17溝	
4	66	445-455	円形	28	27	19	A		17溝	
4	68	445-465	円形	42	41	44	A			
4	69	455-455	円形	33	31	29	A		15溝	
4	70	455-465	円形	35	34	14	A			
4	71	455-465	円形	41	38	20	A			
4	72	455-465	円形	27	25	10	A			
4	73	455-465	長円形	24	21	10	A			
4	74	460-470	長円形	29	24	13	-			
4	75	460-470	長円形	36	29	10	-			
4	76	460-470	長円形	45	32	10	-			
4	77	460-470	円形	30	28	13	A			
4	78	450-460	長円形	45	42	26	A		11住	
4	79	450-460	長円形	32	28	17	A		->1住	
4	80	450-465	長円形	33	23	29	-		->42土	
4	81	450-460	不整形	35	34	41	A			
4	82	450-460	長円形	37	27	47	-			
4	83	450-455	長円形	37	32	8	A			
4	84	450-455	長円形	36	31	8	A			
4	85	450-455	長円形	35	32	24	A			
4	86	445-455	長円形	25	22	21	A		26溝	
4	87	445-450	長円形	25	22	21	A		25溝	
4	88	450-455	円形	28	26	19	A			

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
4	89	450-455	円形	27	25	25	A			
4	90	450-455	長円形	32	28	20	A			
4	91	450-455	長円形	32	26	19	A			
4	92	455-445	長円形	29	25	26	B			
4	93	455-465	長円形	53	40	44	-			
4	94	455-465	円形	28	28	19	-	35土		
4	95	455-460	長円形	26	23	27	-			
4	96	455-460	長円形	29	27	31	-			
4	97	455-460	長円形	26	23	23	-			
4	98	455-460	長円形	39	34	30	-			
4	99	460-450	長円形	51	46	31	A			
4	100	465-450	隅丸長方形	42	38	14	A			
4	101	460-450	長円形	51	44	29	A			
4	102	460-445	長円形	37	34	21	A			
4	103	465-455	不整形	59	57	26	A			
4	104	450-440	長円形	25	21	19		66土→		B・A・褐灰色土
4	108	410-435	長円形	50	45	23	A			
4	109	415-430	長円形	51	45	30	B			
4	110	410-430	長円形	53	42	31	B			
4	112	405-430	長円形	42	29	21	B			
4	115	400-425	長円形	80	70	25	B			
4	116	400-425	長円形	53	41	24	B			
4	117	395-420	不整形	45	45	16	B			
4	118	395-420	長円形	29	28	16	B			
4	120	395-420	隅丸長方形	59	48	19	B			
4	121	405-430	長円形	25	24	10	B			
4	122	405-430	長円形	32	24	10	B			
4	123	400-425	長円形	26	26	11	B			
4	124	400-425	長円形	39	31	22	B			
4	125	395-425	長円形	58	31	34	B			
4	126	395-420	長円形	38	37	20	A			
4	127	395-420	長円形	39	31	25	B			
4	128	405-420	長円形	49	30	11	B			
4	129	400-420	不整形	52	45	37	A	130P→		
4	130	400-420	長円形	(34)	30	15	A	→129P		
4	131	400-420	長円形	38	35	32	A			
4	132	395-415	長円形	45	32	35	A			
4	133	395-415	不整形	40	25	28	A			
4	134	395-415	長円形	59	36	19	A			
4	137	395-410	長円形	42	26	33	A			
4	138	390-410	長円形	31	23	27	A	→76土		
4	139	390-410	不整形	52	46	61	A			
4	140	395-410	長円形	40	32	27	A	76土→		
4	141	395-415	不整形	32	28	37	-	75土		
4	142	395-425	不整形	34	28	11	B			
4	143	395-420	長円形	45	28	16	B			
4	144	415-430	長円形	35	35	55	A			
4	145	415-430	長円形	35	24	11	B			
4	146	415-430	長円形	46	35	18	B			
4	147	390-405	長円形	51	35	40	-	88土		
4	148	395-405	長円形	31	27	65	-	→85土		
5	1	490-405	長円形	35	33	33	-			
5	2	490-405	長円形	41	37	62	-			
5	3	490-405	長円形	36	31	46	A			
5	4	490-405	長円形	27	22	19	-			
5	5	495-395	長円形	22	20	40	-			
5	6	500-405	長円形	27	21	61	-			黒褐色粘質土
5	7	500-400	長円形	26	23	32	-			黒褐色粘質土
5	8	500-405	長円形	38	37	44	-			灰褐色粘質土
5	9	500-400	長円形	35	23	25	-			
5	10	500-405	長円形	32	(24)	40	-	11P→		暗褐色粘質土
5	11	500-405	長円形	29	(20)	37	-	→10P		暗褐色粘質土
5	12	495-400	長円形	36	29	52	-			暗茶褐色粘質土
5	13	500-405	長円形	51	49	56	A	高杯1～4		
5	14	500-405	長円形	26	21	30	-			暗褐色粘質土
5	15	495-395	長円形	32	25	54	-			
5	16	490-400	長円形	37	31	33	A			
5	17	490-390	長円形	27	23	59	-			
5	18	495-400	長円形	27	22	58	暗褐色粘質土			古墳時代中期か
5	19	495-395	長円形	25	22	40	-			
5	20	490-400	長円形	27	25	30	-			
5	21	500-405	長円形	27	24	61	-	22P		
5	22	500-405	不整形	26	(24)	41	-	21P		
5	23	495-400	長円形	44	30	65	D	18溝		
5	24	495-400	長円形	33	29	64	-	18溝		暗褐色粘質土
5	25	495-395	長円形	31	30	35	-			
6	1	350-275	長円形	34	29	21	-			暗褐色粘質土

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
6	2	355-285	長円形	42	40	68	A			
6	3	355-290	円形	35	33	54	A・B			
6	4	360-285	長円形	45	37	58	A			
6	5	355-280	長円形	39	35	28	B			
6	6	355-270	円形	28	27	23	B			
6	7	365-275	長円形	53	45	50	A			
6	8	355-270	長円形	36	30	22	A			
6	9	360-270	長円形	35	32	66	-			暗褐色粘質土
6	10	360-270	長円形	43	33	66	A			
6	11	360-270	長円形	31	(20)	35	C		12P	
6	12	360-270	長円形	32	(28)	35	C		11P	
6	13	355-265	長円形	26	25	29	B			
6	14	370-365	長円形	30	27	42	A			
6	15	370-305	長円形	42	37	47	B			
6	16	385-300	長円形	31	30	20	A			
6	17	375-365	長円形	38	26	33	A			
6	18	370-365	長円形	36	28	28	A			
6	19	360-280	長円形	34	30	38	B・A			
6	25	420-325	長円形	32	31	70	A		2号掘立	
6	26	420-325	長円形	31	30	43	A		2号掘立	
6	27	415-325	長円形	28	27	49	A			
6	28	415-320	長円形	57	40	55	A		2号掘立	
6	29	415-320	長円形	30	22	25	A		2号掘立	
6	30	420-325	長円形	34	31	48	A		2号掘立	
6	31	420-320	長円形	27	25	52	A		2号掘立	
6	33	410-315	長円形	31	27	42	A			
6	34	400-310	長円形	20	16	26	-			
6	35	400-310	長円形	21	20	28	-			
6	36	400-310	長円形	23	22	25	-			
6	37	400-315	長円形	27	17	30	-			
6	38	400-310	長円形	21	17	24	-			
6	39	400-315	長円形	23	19	22	C			
6	40	400-315	隅丸方形	26	24	26	-			

奈良・平安時代

区	番号	位置	平面形状	長軸cm	短軸cm	深さcm	埋没土	出土遺物	重複関係	備考
4	1	415-445	不整形	34	28	16	A・C			
4	2	415-450	長円形	33	25	21	A			
4	3	415-445	長円形	26	21	23	A			
4	4	415-410	長円形	32	27	24	A			
4	5	420-450	不整形	22	21	20	A・C			
4	6	425-450	長円形	23	20	14	A			
4	7	425-450	長円形	23	22	19	A			
4	8	430-450	不整形	51	36	42	A			
4	9	430-450	円形	28	26	27	A			
4	10	430-450	長円形	26	24	24	A			
4	11	430-450	長円形	26	18	11	A			
4	12	430-450	長円形	30	23	13	A			
4	13	430-450	長円形	30	23	23	C			
4	14	430-450	長円形	22	15	13	C			
4	15	430-450	長円形	25	22	26	C			
4	16	430-450	長円形	20	18	11	C			
4	17	435-450	不整形	38	32	26	D			
4	18	435-455	不整形	43	31	24	D			
4	19	435-455	不整形	48	48	51	A			
4	20	435-455	長円形	51	44	52	A・D			
4	21	435-455	長円形	46	34	49	A・D			
4	22	440-455	長円形	34	23	24	D			
4	23	440-455	長円形	37	35	35	D			
4	24	440-455	隅丸長方形	26	25	18	A			
4	25	435-455	不整形	66	34	48	A・D			
4	26	430-455	不整形	31	22	22	A			
4	62	440-460	不整形	27	26	27	-			A・灰C
4	63	445-455	円形	18	17	12	B			
4	67	440-450	長円形	27	22	6	B			
4	105	405-435	長円形	51	28	54	-			
4	106	405-425	長円形	40	37	40	B			
4	107	405-425	長円形	31	25	13	B			
4	111	405-430	長円形	50	38	21	B			
4	113	400-435	長円形	44	40	21	B			
4	114	400-425	長円形	38	33	10	B			
4	119	400-425	不整形	57	47	35	B			
4	135	395-420	隅丸長方形	45	35	36	B			
4	136	390-420	長円形	36	33	31	B			
6	20	340-260	長円形	39	29	36	B			
6	21	340-255	長円形	34	31	32	B			
6	22	340-255	長円形	(54)	50	13	A		→24土	
6	23	340-250	長円形	33	30	13	B			
6	24	340-255	長円形	34	26	16	B			





区	番号	種別	出土位置	部位・残存	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
4	12	深鉢	400-395	胴部破片	①細礫、粗砂②ふつ③赤褐	横位、楕円状の隆帯を施し、角押紋、C字状刺突を沿わせる。垂下平行沈線、C字状刺突によるモチーフを施す。楕円状区画内に波状沈線を施す。	勝坂式
4	13	深鉢	400-395	口縁部破片	①細礫、粗砂②ふつ③にぶい黄橙	キャリバー状の器形。角押紋を沿わせた隆帯を横位に施し、隆帯間に角押紋をV字状に施す。	阿玉台式
4	14	深鉢	405-395	口縁部破片	①粗砂②良好③橙	波状口縁。横位隆帯、角押紋を施す。	阿玉台式
4	15	深鉢	380-380	口縁部破片	①粗砂、金雲母②良好③橙	隆帯を垂下させ、平行沈線により楕円状区画、区画内に単節LR縄文を充填施紋する。	阿玉台式
4	16	深鉢	415-405	口縁部破片	①粗砂②ふつ③赤褐	波状口縁の突起。波頂部から隆帯を弧状に垂下させる。角押紋を施す。	阿玉台式
4	17	深鉢	5号溝	胴部破片	①粗砂、金雲母②良好③にぶい黄橙	隆帯によるモチーフを施し、結節沈線を沿わせる。	阿玉台式
4	18	深鉢	表土	胴部破片	①粗砂、金雲母②ふつ③にぶい黄褐	横位に隆帯を施し、角押紋、沈線を沿わせる。角押紋によるモチーフを描く。	阿玉台式
4	19	深鉢	400-395	胴部破片	①細礫、粗砂、金雲母②ふつ③にぶい赤褐	縦位隆帯、角押紋、沈線を施す。	阿玉台式
4	20	深鉢	410-400	胴部破片	①細礫、粗砂、金雲母②ふつ③明赤褐	蛇行隆帯を垂下させ、結節沈線を沿わせる。	阿玉台式
4	21	深鉢	405-420	胴部破片	①細礫、粗砂②ふつ③にぶい黄橙	帯状沈線により幾何学モチーフを描く。	称名寺Ⅱ式
4	22	深鉢	385-355	胴部破片	①細礫、粗砂②ふつ③橙	縦位沈線、多条の短沈線を施す。	堀之内1式
4	23	深鉢	14号溝, 430-440	胴部破片	①粗砂②ふつ③橙	内湾する器形。単節LR縄文を施し、横位2条の沈線をめぐらす。	後期後葉
4	24	深鉢	9号溝	口縁部破片	①粗砂②ふつ③浅黄橙	綾杉状沈線を施す	晩期後葉
4	25	深鉢	7号溝	口縁部破片	①粗砂②ふつ③にぶい黄褐	細かな条痕を施す。口唇部にも施紋。	晩期後葉
4	26	深鉢	表土	底部破片	①細礫、粗砂②ふつ③橙	底径8.5cm。残存部は無紋。	後期前葉
5	1	深鉢	485-400	胴部破片	①粗砂、繊維②ふつ③橙	単節RL縄文を横位施紋する。	黒浜式
5	2	深鉢	2号溝	胴部破片	①粗砂②ふつ③明赤褐	単節RL縄文を施す。	前期後葉
5	3	深鉢	465-365	口縁部破片	①粗砂②良好③明赤褐	角状押引紋をめぐらせて口縁部無紋帯を作出。単節RL縄文を縦位施紋し、波状沈線を施す。	五領ヶ台式
5	4	深鉢	7号溝	口縁部破片	①粗砂②良好③明赤褐	口唇部肥厚。平行沈線を横位、縦位に施す。	五領ヶ台式
5	5	深鉢	2号溝	口縁部破片	①粗砂②ふつ③にぶい黄橙	隆帯による楕円状区画を施す。	加曾利E3式
5	6	深鉢	15号溝	口縁部破片	①粗砂②ふつ③赤褐	隆帯を垂下、区画内に単節RL縄文を充填施紋する。	加曾利E4式
5	7	深鉢	485-410	口縁部破片	①細砂②ふつ③橙	口縁下に隆帯をめぐらす。	加曾利E4式
5	8	深鉢	31号溝	胴部破片	①細礫、粗砂②ふつ③橙	垂下沈線を施し、単節RL縄文を縦位充填施紋する。	加曾利E3式
5	9	深鉢	490-400	胴部破片	①細砂②ふつ③橙	隆帯により区画し、区画内に燃系紋Lを充填施紋する。	加曾利E3式
5	10	深鉢	500-410	胴部破片	①細砂②ふつ③灰褐	単節LR縄文を施し、沈線で区画して磨り消す。三叉紋を施紋。	安行3a式
6	1	深鉢	表土	胴部破片	①粗砂、白色粒②ふつ③にぶい黄橙	垂下沈線を施し、単節RL縄文を縦位充填施紋する。	加曾利E3式
6	2	深鉢	表土	口縁部破片	①粗砂②ふつ③浅黄橙	口縁が内折。横位沈線を施す。	称名寺Ⅱ式
6	3	深鉢	405-345	口縁部破片	①粗砂②ふつ③にぶい黄橙	口縁下に1条の沈線をめぐらせ、以下、帯状沈線による幾何学モチーフを描く。	堀之内1式
6	4	深鉢	表土	口縁部破片	①粗砂、白色粒②ふつ③橙	口縁下肥厚部に円形刺突。肥厚部下に沈線によるモチーフを描く。	堀之内1式
6	5	深鉢	1号建物址	胴部破片	①粗砂②ふつ③にぶい黄橙	沈線区画内に列点を充填施紋する。	堀之内1式
6	6	深鉢	表土	胴部破片	①粗砂②ふつ③にぶい黄橙	沈線により幾何学モチーフを描く。	堀之内1式
6	7	深鉢	380-325	底部破片	①細礫、粗砂②ふつ③明赤褐	器面摩擦激しく判然としないが、燃系紋を縦位施紋する。	加曾利E2式



第25表 縄文時代の石器観察表

No	調査区	分類	器種	石材	遺構・グリッド	遺物No	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)
1	4	石器	石鏃	チャート	G445-455		30	17	6	2.32
2	3	石器	石鏃	チャート		J-411	22	19	6	2.10
3	3	石器	石鏃	珪質頁岩	57号住居カマド		20	11	3	0.59
4	3	石器	石鏃	チャート	G455-485		20	13	4	0.85
5	1	石器	石鏃	チャート	475トレンチ		18	13	3	0.54
6	3	石器	石鏃	チャート		J-31	32	16	4	1.61
7	4	石器	石鏃	チャート	G405-390		32	14	4	1.58
8	4	石器	石鏃	チャート	G405-415		26	11	4	1.05
9	3	石器	石鏃	チャート	27号住居		22	16	5	1.04
10	3	石器	石鏃	黒色安山岩		J-30	19	15	4	1.19
11	3	石器	石鏃	黒曜石		J-475	22	15	5	1.05
12	4	石器	石鏃	チャート	G415-400		23	15	4	0.93
13	3	石器	石鏃	黒曜石		J-218	21	15	4	0.83
14	3	石器	石鏃	チャート		J-374	17	17	3	0.79
15	3	石器	石鏃	チャート		J-443	23	13	3	0.83
16	5	石器	石鏃	チャート	18号溝		23	13	4	0.88
17	3	石器	石鏃	チャート	55号住居		15	10	3	0.36
18	3	石器	石鏃	黒曜石		J-390	19	11	3	0.43
19	3	石器	石鏃	チャート	G465-510		16	13	3	0.59
20	3	石器	石鏃	チャート	9号溝		18	15	3	0.67
21	3	石器	石鏃	黒曜石		J-493	15	13	4	0.47
22	3	石器	石鏃	チャート	G455-515		26	15	5	1.43
23	5	石器	石鏃未製品	チャート		197	25	28	9	7.17
24	3	石器	石鏃未製品	チャート		J-491	27	20	8	4.08
25	3	石器	石鏃未製品	チャート		J-482	30	22	8	4.51
26	3	石器	石鏃未製品	黒曜石	68号住居	17	23	18	7	2.39
27	3	石器	石匙	黒色安山岩	G450-520		52	40	9	12.60
28	3	石器	石匙	チャート	75号住居カマド	10	69	28	10	18.68
29	4-II	石器	鋸歯状石器	チャート	2号竪穴状遺構		21	15	3	1.37
30	3	石器	尖頭器	黒色頁岩		J-371	38	24	6	5.26
31	4	石器	石鏃	チャート	G405-395		29	17	6	3.01
32	3	石器	楔形石器	チャート		J-235	18	26	7	3.45
33	3	石器	楔形石器	チャート			35	22	7	5.78
34	3	石器	楔形石器	チャート		J-481	38	24	12	12.46
35	3	石器	楔形石器	チャート		J-205	20	25	7	4.71
36	3	石器	楔形石器	チャート	42号住居		17	37	11	7.49
37	3	石器	楔形石器	チャート		J-368	38	30	11	12.50
38	4	石器	楔形石器	チャート	G380-395		37	76	13	29.80
39	3	石器	スクレイパー	黒色頁岩		J-457	82	59	19	89.04
40(2片接合)	3	石器	スクレイパー	黒色頁岩		J-379	44	49	11	23.96
40(2片接合)	3	石器	スクレイパー	黒色頁岩		J-392	29	52	12	21.64
41	3	石器	スクレイパー	黒色安山岩	84号住居	3	82	29	9	25.34
42	3	石器	スクレイパー	チャート	G440-520		25	32	5	4.23
43	3	石器	スクレイパー	チャート	G465-515		36	51	11	21.81
44	4	石器	スクレイパー	チャート	G370-335		40	54	10	21.18
45	3	石器	二次加工のある剥片	チャート	64号住居		41	30	13	14.70
46	4	石器	二次加工のある剥片	チャート	G385-390		38	39	10	14.76
47	4	石器	二次加工のある剥片	チャート	G385-345		50	73	16	51.70
48	3	石器	二次加工のある剥片	チャート	G430-465		49	33	10	20.03
49	4	石器	二次加工のある剥片	チャート	G390-385		33	53	5	11.10
50	4	石器	二次加工のある剥片	チャート			50	61	17	42.66
51	3	石器	石核	チャート	34号住居	48	46	55	22	52.81
52	4-I	石器	石核	チャート	21号溝		54	61	25	103.83
53	4	石器	石核	チャート	6号溝	5	53	34	27	37.09
54	5	石器	石核	チャート		190	50	83	42	219.32
55	5	石器	石核	黒曜石	一括		35	24	19	12.63
56	3	石器	石核	チャート	G440-515		50	44	27	69.90
57	5	石器	石核	チャート		200	41	85	32	135.54
58	3	石器	石核	黒色頁岩		J-251	115	97	73	1012.81
59	4	石器	石核	チャート	G370-335		38	34	15	26.35
60	4-I	石器	石核	黒色頁岩	18号溝		60	76	28	132.39
61	3	石器	石核	チャート	G445-520		63	67	17	98.93
62	5	石器	原石	黒曜石	表土		63	25	26	54.33
63	1	石器	原石	黒曜石	X-495ライトレンチ		28	19	13	7.62
64	3	石器	剥片	硬質頁岩		J-351	25	13	3	0.78
65	5	石器	剥片	硬質頁岩	18号溝		34	23	3	1.67
66	3	石器	剥片	硬質頁岩	49号住居		82	13	14	9.58
67	3	石器	剥片	チャート	G480-505		66	48	14	55.77
68	3	石器	剥片	チャート		J-365	30	20	7	3.39
69	3	石器	剥片	チャート	22号住居		24	30	6	4.96
70	5	石器	剥片	チャート		192	35	43	9	14.95
71	3	石器	剥片	黒色頁岩	37号住居		69	71	15	64.00
72	3	石器	剥片	チャート	36号住居	8	35	55	9	18.84
73	5	石器	剥片	チャート	G455-395		55	69	15	77.68
74	3	石器	剥片	黒曜石		J-395	43	16	8	5.64



No	調査区	分類	器種	石材	遺構・グリッド	遺物No	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)
151	3	礫石器	敲石	粗粒輝石安山岩		J-416	125	89	63	807.32
152	5	礫石器	敲石	粗粒輝石安山岩	13号溝		90	78	37	340.12
153	3	礫石器	敲石	粗粒輝石安山岩			114	85	46	380.91
154	4	礫石器	敲石	ホルンフェルス			160	67	49	760.95
155	5	礫石器	敲石	粗粒輝石安山岩	G490-420		160	87	66	1394.41
156	不明	礫石器	多孔石	粗粒輝石安山岩	不明		179	144	112	3296.07
157	4	礫石器	多孔石	粗粒輝石安山岩	G410-410		198	110	105	2113.05
158	4	礫石器	多孔石	金山石	5号溝	10	255	155	134	6100.00

第26表 弥生土器観察表

番号	区	種別	出土位置	部位・残存	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	3	甕	包	口縁部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③暗赤褐	口唇部面取り。外面に茎束状具による斜位条痕。内面は細い窠ないしは棒状具による横位なで。内面に長さ3.5mmの楕円形種圧痕1カ所。	条痕、器形、胎土の共通性から同一個体の可能性あり。
2	3	甕	包	口縁部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③暗赤褐	口唇部面取り。外面に茎束状具による斜位条痕。内面は細い窠ないしは棒状具による横位なで。	
3	3	甕	包	口縁部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③暗赤褐	口唇部面取り。外面に茎束状具による斜位条痕。内面は細い窠ないしは棒状具による横位なで。	
4	3	甕	445-520G	体部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③暗赤褐	外面に茎束状具による斜位条痕。内面は細い窠ないしは棒状具による横位なで。外面に煤付着。	
5	3	甕	包	体部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③暗赤褐	外面に茎束状具による斜位条痕。内面は細い窠ないしは棒状具による横位なで。外面下半に煤付着。	
6	3	甕	包	体部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③暗赤褐	外面に茎束状具による斜位条痕。内面は細い窠ないしは棒状具による横位なで。外面に煤付着。	
7	3	壺		口頸部片	①チャート、白色鉱物、石英 ②良好③黒褐	外面全体に斜縄文(LR)。口唇部に縄文原体の押捺。	
8	3	壺	450-415G	体部破片	①チャート、白色鉱物、石英 ②良好③黒褐	外面全体に斜縄文(LR)。7と同一個体と思われる。下半に被熱痕。	
9	3	壺	包	体部破片	①チャート、白色鉱物、石英 ②良好③黒褐	外面全体に斜縄文(LR)。	
10	3	甕	包	体部破片	①白色岩片、石英②良好③黒褐～橙	上位に縄文(LR)。外面上位に煤付着、内面下半にこげ痕。	
11	6	壺	7号溝	口頸部片	①片岩、白色岩片、赤色粒、輝石 ②良好③暗赤褐	口唇上面に面取り、肥厚した口縁外面に縄文(LR)。	
12	6	壺	7号溝	口頸部片	①白色岩片、赤色粒、輝石 ②良好③にぶい橙	肥厚した口縁外面に縄文(LR)。	
13	5	壺	2号溝	口頸部片	①白色岩片、赤色粒、輝石②良好 ③にぶい橙	肥厚した口唇外面に縄文(LR)。	
14	5	壺	2号溝	口頸部片	①石英、赤色粒、輝石②良好③橙	肥厚した口縁外面に縄文(LR)。頸部外面は横刷毛目のち縦研磨、内面は横研磨。	
15	3	無頸壺	38号住	口縁部破片	①チャート、輝石の祖～細砂 ②良好③にぶい橙	口縁外面に縄文(LR)。	
16	6	(甕)	7号溝	口縁部片	①チャート、赤色粒、石英、輝石 ②良好③橙	口唇上面に面取り、肥厚した口縁外面に縄文(LR)。	
17	6	甕	8号溝	口縁部片	①石英、白色岩片、輝石②良好 ③にぶい橙	口唇に面取り。口唇部と外面に縄文(LR)。	
18	3	甕	7号溝	口縁部片	①チャート、石英、輝石②良好 ③にぶい黄橙	口唇部と頸部以下に縄文(LR)	
19	3	(甕)	445-520G	口縁部片	①石英、白色鉱物、白岩片②良好 ③にぶい赤橙	粘土帯貼り付けによる口縁部外面に縄文(LR)。	
20	3	浅鉢	68号住	口縁部破片	①白色岩片、石英、輝石②良好③暗褐	外面に斜縄文(LR)。内面は粗い研磨。	
21	3	浅鉢	8号住	口縁部破片	①チャート、白色岩片、石英、輝石の細礫、粗砂②良好③橙	外面に縄文(R)を施し、口縁に沿って1条の沈線をめぐらす。	
22	3	浅鉢か甕	440-490G	口縁部破片	①片岩、白色岩片②良好③黒褐	口縁外面に縄文(LR)、口縁下に茎束状具による横線文を施す。内面は粗い研磨。	
23	4	壺	405-395G	頸部破片	①石英、赤色粒多い②良好③明橙	粘土帯貼り付けによる口縁付近外面に2条平行沈線による菱形文を描き、窠先で刺突を充填する。	
24	6	壺	7号溝	頸部破片	①石英、白色岩片、輝石②良好 ③にぶい橙	縄文(LR)を地文に、多条沈線による菱形ないし三角形の文様を描く。内面は削り。	
25	6	壺	7号溝	肩部片か	①石英、白色岩片、輝石、パミス ②軟調③にぶい橙	縄文(原体不明)を地文に、多条沈線による菱形ないし三角形構成の一部と思われる文様を描く。内面はなで。	
26	6	壺	7号溝	胴部片	①石英、白色岩片、輝石②良好 ③にぶい橙	複数条の平行沈線を施す。文様構成は不明。	
27	4	壺	7号溝	肩部破片	①石英、白色岩片、輝石②良好③赤橙	縄文(LR)を地文のうえに、3条以上の平行沈線による横線を巡らす。	
28	6	壺	7号溝	肩部破片	①石英、白色岩片、輝石②良好③赤橙	沈線で方形区画文を描き、内区	
29	6	壺	3号溝	肩部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好 ③灰褐	縄文(LR)か地文に複数条の平行沈線で縦横に区画し、内区に楕円形刺突を充填する。	
30	6	壺	3号溝	肩部破片	①石英、輝石②良好③にぶい橙	沈線間に縄文(LR)充填、下位に弧状沈線を描き、空隙部を楕円形刺突で充填する。内面なで。	
31	6	壺	6号土坑	肩部破片	①チャート、石英、赤色粒、輝石 ②良好③にぶい橙	横位の多条沈線と縦位の無文帯で方形区画を構成し、内区を縄文(LR)で充填する。筒形土器の可能性あり。	
32	6	壺	8号溝	胴部破片	①チャート、石英、赤色粒、輝石 ②良好③黄橙	縄文(L)を地文に、浅い多条沈線による横線文帯、下位に三角文を描いて内区に刺突を充填。内面はなで。	
33	3	壺	25号住	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好 ③にぶい黄橙	縄文(L)を地文に、浅い沈線による横線文帯、上位に刺突を充填。内面はなで。	
34	3	壺		胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好 ③にぶい黄橙	縄文(L)を地文に、浅い沈線による横線と3条ほどの縦線で方形区画を構成し、内区に刺突を充填。内面はなで。	
35	6	壺	7号溝	肩部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好 ③にぶい赤橙	浅い沈線で菱形文を描き、内区に刺突を充填する。32と同一個体の可能性あり。	
36	3	壺	435-485G	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好 ③にぶい黄橙	縄文(L)を地文に、2条(以上)の沈線による波状ないし山形文を描き、刺突を充填する。	
37	6	壺	7号溝	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③赤橙	縄文(L)を地文に、浅い沈線による横線文帯、上位に刺突を充填。内面はなで。	
38	3	壺	6号住	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③黄橙	縄文(L)を地文に、浅い沈線による横線文帯、上位に刺突を充填。内面はなで。	
39	6	(甕)	7号溝	頸部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③橙	3条の平行沈線で波状文と横線文をめぐらす。	
40	3	壺	28号住	胴部破片	①白色岩片、石英、輝石②良好③黒褐	上位は無文帯、縄文地文に連繋文の一部と思われる横沈線を施す。内面なで。	

番号	区	種別	出土位置	部位・残存	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
41	3	壺	7号住	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③灰黄褐	縄文(L)を地文に、3条の平行沈線で波状文めぐらし、上位に刺突を充填する。36と同一個体の可能性あり。	
42	5	壺	18号溝	胴部破片	①石英、白色岩片、輝石②良好③赤橙	縄文(LR)を地文に、上から波状沈線、刺突列、4条沈線の横線文、窺状具先端による刺突列の順で横位文様帯をめぐらす。	
43	4	(壺)	8号溝	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③暗赤褐	縄文(RL)縦位施文による地文に、細い3条平行沈線で山形文をめぐらす。	
44	6	壺	7号溝	胴部破片	①白色岩片、石英、輝石②良好③橙	縄文(L)を地文に、浅い多条沈線による横線文帯をめぐらす。	
45	6	壺	8号溝	胴部破片	①石英、白色鉱物、白岩片②良好③にぶい橙	沈線による大振りな「U」字状文様、胴下半に沈線区画による横位縄文帯。	
46	6	(壺)	380-320G	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③にぶい橙	磨り消し縄文帯(LR)による横線と波状文を上下にめぐらす。内面削り。天地逆の可能性あり。	
47	6	壺	7号溝	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③にぶい橙～灰褐	磨り消し縄文帯(LR)による曲線構成の文様を描く。内面削り。	
48	6	壺	3号溝	胴部破片	①石英、赤色粒、白岩片②良好③暗褐	磨り消し縄文(LR)による楕円文と曲線構成の文様を描く。内面へらなで。	
49	6	壺	7号溝	胴部破片	①石英、白色岩片、輝石②軟調③灰黄橙	沈線による楕円形文を重ねる。	
50	6	壺	7号溝	胴部破片	①石英、輝石、赤色粒多い②良好③灰～橙	縄文(RL)を充填した弧線文帯をめぐらす。内面なで。	
51	5	壺	7号溝	胴部破片	①石英、輝石、赤色粒多い②良好③灰～橙	縄文(LR)を充填した弧線文帯をめぐらす。	
52	6	壺	8号溝	胴部破片	①赤色粒の細砂②良好③灰黄	縄文(LRR?)を充填した帯縄文。内面なで。	
53	6	(壺)	7号溝	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石、白岩片②軟調③橙	縄文(LR)を縦横に施文して地文とし、細い沈線で重四角文を描く。筒形土器の可能性あり。	
54	6	(壺)	7号溝	頸部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③橙	細沈線で方形区画文を描き、内区を横沈線で充填する。外区には櫛状具による直線文を垂下する。筒形土器の可能性あり。	
55	6	壺	7号溝	肩部破片	①石英、赤色粒、輝石、白岩片②良好③にぶい橙	縄文(LR)を全体に施文。一部原体末端の押捺がみられる。	
56	4	壺か甕	6号溝	胴部破片	①チャート、白色岩片の細礫、粗砂②良好③黒褐	縄文(L)を施文。内面なで。	
57	3	壺か甕	8号住	胴部破片	①チャートの細礫、輝石多い②良好③灰橙	縄文(R?)を施文。	
58	3	壺か甕	8号住	胴部破片	①チャートの細礫、輝石多い②良好③灰橙	縄文(R?)を施文。57と同一個体の可能性高い。	
59	6	蓋か浅鉢	6ピット	体部破片	①赤色粒細礫、石英②良好③にぶい橙	沈線による横線および工字状と推測される文様を描く。縄文(LR)帯に赤彩。内面は剥離。	
60	3	壺	7号住	肩部破片	①石英、赤色粒、白色岩片、輝石②良好③にぶい橙	幅の狭い櫛歯具(5歯)で横線文を複数帯めぐらす。内面なで。	
61	3	壺	6号住	肩部破片	①石英、赤色粒、白色岩片、輝石②良好③にぶい橙	幅の狭い櫛歯具(5歯)で横線文を複数帯めぐらす。内面なで。60と同一個体の可能性高い。	
62	3	(鉢)	33号住	口縁部破片	①チャートと赤色粒の細礫多い②良好③にぶい橙	幅広の折り返し口縁を貼り付け、口唇上面に面取り。内面削り。	
63	3	甕	6号溝	口縁部破片	①チャート、白色岩片の細礫、粗砂②良好③にぶい橙～灰褐	口唇と口縁外面に縄文(LR)。頸部に櫛歯横線文か糜状文をめぐらす。内面研磨。	
64	3	壺か甕	460-500G	胴部破片	①チャート、白色岩片の細礫、粗砂②良好③黒褐	目の粗い櫛歯具(4歯)による波状文を重ねる。内面なで。64と同一個体の可能性高い。	
65	3	壺か甕	550-400G	胴部破片	①チャート、白色岩片の細礫、粗砂②良好③黒褐	目の粗い櫛歯具(4歯)による波状文を重ねる。内面なで。	
66	4	(壺)	9号溝	胴部破片	①石英、赤色粒、輝石②良好③浅黄橙	細い沈線による斜格子か鋸歯文を描く。内面なで。	
67	3	(甕)		底部破片	①チャート、石英、赤色粒、輝石②良好③にぶい橙	外面横削り。木葉痕。縁部がやや摩滅。	
68	3	(甕)		底部破片	①チャート、石英、赤色粒、輝石②良好③にぶい橙	木葉痕。縁部がやや摩滅。67と同一個体の可能性高い。	
69	5	(甕)		底部破片	①チャート、白色岩片の細礫、粗砂②良好③黒褐～橙	木葉痕。縁部がやや摩滅。	
70	3	(筒型土器)	8号住	底部破片	①チャート、白色岩片の細礫、粗砂②良好③灰褐	木葉痕。4カ所に磨り消し縄文による方形構成の区画文を描く。	





番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
37	埴輪円筒	460-420	小片	厚2.0	①粗砂②酸化③明赤褐	外面撫で、内面刷毛目。凸帯。	
38	埴輪円筒?	375-360	破片	厚2.4	①粗砂②酸化③橙	器表荒れ。	
39	石製品 剣形模造品		略完	長2.8幅1.7厚0.4 孔径0.1重2.2g	滑石		
40	石製品 有孔模造品		剣型品の 茎か	長(4.5)幅2.6厚0.6 重12.3g孔径0.3	蛇紋岩	一端割れ。	
41	石製品剣型品		剣型品の 切先か	長10.6幅3.5厚1.5 重82.6g	滑石		
42	ガラス製勾玉		1/2	長(0.7)幅(0.45)厚0.4	ガラス		
43	ガラス小玉		完形	長1.0幅0.9厚0.7重0.9g	③濃いブルー		
44	ガラス小玉		完形	長1.0幅1.0厚0.75重1.0g	③濃いブルー		

### 奈良・平安時代

#### 3区4号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床下3cm	底部破片	底径7.8	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部回転篋削り。	
2	須恵器杯	床直	底部破片	底径7.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部回転篋削り。	
3	須恵器椀	貯蔵穴内 (床下8cm)	底部破片	底径8.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り後、高台貼り付け。割れ口も含め器面磨耗。	
4	須恵器椀	床直	底部破片	底径7.2	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り後、高台貼り付け。	
5	土師器台付甕	竈内	脚部破片	底径8.3	①粗砂②酸化③明赤褐	外：横撫で。内：横撫で。	
6	須恵器蓋	埋没土中	摘み部破片	摘み部径3.4	①細砂②還元③灰	轆轤成形。摘み部貼り付け。摘み部撫で。	
7	須恵器椀	床上11 ～13cm	口縁部破片	口径(14.1)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。轆轤目を強く残す。内面磨耗。焼成不良。	
8	須恵器蓋	床上4cm	口縁部1/5	口径(16.9)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。天井部回転篋削り。	
9	土師器甕	床直～ 床上5cm	口縁～胴部 破片	口径(19.8)	①粗砂②酸化③赤褐	外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。胴部斜位の篋削り。内：口縁部横撫で。胴部篋撫で→撫で。	
10	土師器甕	埋没土中	口縁部破片	口径(19.8)	①粗砂②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部撫で。	
11	土師器甕	竈内、 埋没土中	底部破片	底径3.8	①粗砂②酸化③橙	外：縦位の篋削り。内：撫で。内面磨耗。	

#### 3区6号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上2cm	口縁～底部 2/3	口径12.4底径7.0 器高3.8	①粗砂、細礫、白色粒②還元 ③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部回転篋削り。器形歪んでいる。	
2	須恵器杯	床上23cm	口縁～底部 1/3	口径(13.0)底径(6.7) 器高3.5	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り。内外面磨耗。	
3	須恵器杯	床上3cm	底部破片	底径8.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部回転篋削り。	
4	須恵器杯	周溝内 (床下6cm)	底部破片	底径6.3	①粗砂、中礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。糸切り粗雑。	
5	須恵器椀	埋没土中	底部破片	底径8.0	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
6	須恵器盤	埋没土中	底部破片	底径(13.0)	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形。底部外面は回転篋撫で後高台貼り付け。内面磨耗。焼成不良。	
7	須恵器甕	埋没土中	口縁部破片		①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形。天井部寄りに篋削り。端部に横撫で。	
8	土師器甕	床上4cm	口縁～胴部 1/5	口径20.0	①粗砂②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。胴部縦位の篋削り。内：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	
9	土師器甕	床直～床 上27cm、 一部竈内	口縁～底部 2/3	口径(20.0)底径7.9 器高14.1	①粗砂、金雲母、赤色粘土粒 ②酸化③明赤褐	丸底。外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。胴部斜位の篋削り。内：口縁部横撫で。胴部撫で。	
10	土師器甕	床直	口縁部破片	口径(22.0)	①粗砂②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部篋撫で。	
11	土師器甕	床上8cm	口縁部破片	口径(20.0)	①粗砂、金雲母②酸化 ③明赤褐	外：口縁部横撫で。肩部横位、斜位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部横位の篋撫で。	
12	土師器台付甕	竈内(床直 ～床上18cm)	脚部欠ほぼ 完形	口径10.3	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	外：口縁部、脚部横撫で。胴部斜位の篋削り。内：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	
13	土師器甕	竈内(床下 7cm～床上 13cm)	底部破片		①粗砂②酸化③明赤褐	外：斜位の篋削り。内：篋撫で。	
14	須恵器壺	埋没土中	底部破片	底径(15.0)	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形。外：底部際撫で。内：撫で。	
15	鉄製品刀子			長6.7幅1.2厚0.4重5.0g			
16	奈良三彩 小壺蓋		壺蓋の摘み	摘み径1.4	胎は土師質で軟 酸化、 軟質 オリーブ灰	小壺蓋の摘み	

#### 3区25号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.6底径7.9 器高3.9	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部全面回転篋削り。器面磨耗。	
2	須恵器杯	床直～ 床下4cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.1底径8.8 器高3.3	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部回転篋削り。内面の轆轤痕顕著。内面炭素吸着。	
3	須恵器杯	床上2cm、 床下4cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.7底径8.3 器高3.4	①粗砂～中礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部2/3回転篋削り。内面の轆轤痕顕著。	
4	須恵器杯	床上5cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.5底径7.6 器高3.7	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部全面回転篋削り。	
5	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/3	口径(13.2)底径(7.5) 器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り。	
6	須恵器盤	床下3cm～ 床上3cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径22.7底径14.2 器高3.3	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り後、高台貼り付け。	
7	石製品紡錘車	床上2cm	ほぼ完形	径4.6厚1.3孔径0.8	蛇紋岩	上面には円周状に1条、側面、底面には放射状に線刻を施す。	

#### 3区34号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上8cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.3底径7.3 器高3.9	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り。	
2	黒色土器杯	床上 29.30cm	口縁～底部 3/4	口径12.7底径7.2 器高4.6	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部2/3回転篋削り。内面黒色処理、横位の篋磨き。	
3	黒色土器杯	床上6cm	体部～底部 破片	底径(7.4)	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り。内面黒色処理、横位の篋磨き。	
4	黒色土器杯	床上 35.43cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.9底径7.6 器高4.7	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内面黒色処理、横位の篋磨き。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
5	須恵器杯	床上40cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.7底径7.3 器高4.1	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り。	
6	須恵器杯	床上 38.39cm	口縁～底部 2/3	口径12.6底径7.6 器高3.5	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り。	
7	須恵器杯	床上 12.18cm	口縁～底部 2/3	口径12.7底径7.5 器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓削り。	
8	須恵器杯	床上47cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.0底径8.0 器高3.3	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り後、周縁部回転窓削り。	
9	須恵器杯	床上50cm	口縁～底部 完形	口径11.8底径7.4 器高3.7	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り。	
10	須恵器杯	床上8cm	口縁～底部 3/4	口径18.0底径9.5 器高7.5	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形、右回転。底部回転窓削り。内外面とも磨耗。	
11	須恵器杯	床上6.7cm	口縁～底部 1/3	口径(12.3)底径(8.6) 器高3.1	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り後、周縁部回転窓削り。	
12	須恵器杯	床上 44.50cm	口縁～底部 2/3	口径(11.6)底径8.0 器高3.4	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部窓おこし。	
13	須恵器杯	床上20cm	口縁～底部 3/4	口径12.4底径7.3 器高3.4	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り。	
14	土師器甕	床上43cm	口縁～胴部 破片	口径(20.0)	①粗砂②酸化③明赤褐	緩い「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の窓削り。内：口縁部横撫で。胴部窓撫で。	
15	須恵器椀	床直、 床上33cm	口縁～底部 3/4	口径11.1底径8.2 器高5.0	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓削り後、高台貼り付け。	
16	須恵器盤	床上15cm	底部破片	底径(12.4)	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形。底部回転窓削り後、高台貼り付け。	
17	須恵器蓋	床上3cm	天井部破片	摘み部径4.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。天井部回転窓削り。環状摘み貼り付け。	
18	須恵器蓋	床上58cm	天井部破片	摘み部径4.7	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。天井部回転窓削り。環状摘み貼り付け。器面磨耗。	
19	須恵器蓋	床上53cm	天井部破片	摘み部径2.8	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。天井部回転窓削り。ボタン状摘み貼り付け。	
20	須恵器蓋	床上52cm	口縁～ 天井部2/3	口径(11.3) 摘み部径2.2器高2.5	①粗砂②白色粒②還元 ③暗青灰	轆轤成形、右回転。天井部回転窓削り。ボタン状摘み貼り付け。	
21	須恵器蓋	床上30cm	口縁～ 天井部2/3	口径(14.8) 摘み部径3.4器高3.0	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。天井部回転窓削り。ボタン状摘み貼り付け。器面磨耗。	
22	須恵器双耳杯	床上19cm	口縁～耳部 破片	口径(14.3)	①粗砂②赤黒色土粒②還元 ③灰	轆轤成形。耳部貼り付け。耳部は窓削りによる面取り成形。	
23	土師器甕	床上18cm	口縁～胴部 破片	口径(20.2)	①粗砂②酸化③赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位横・斜位の窓削り。内：口縁部横撫で。胴部窓撫で。	
24	女瓦	床上9cm	破片		①粗砂②還元③にぶい黄橙	外：平行叩き目。内：布目痕。	
25	女瓦	床上48cm	破片		①粗砂②還元③暗青灰	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
26	土師器甕	床上 35～51cm	口縁～胴部 1/5	口径22.1	①粗砂②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位横位の窓削り。内：口縁部横撫で。胴部窓撫で。	
27	土師器台付甕	住居外	脚部破片	底径10.6	①粗砂②酸化③赤褐	外：胴部下位斜位の窓削り。内：胴部下位撫で。脚部内外面横撫で。	

3区43号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	口縁～底部 ほぼ完形	口径16.8底径9.6 器高6.0	①粗砂②還元③赤黒色土粒 ②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓削り。器面磨耗著しい。	
2	須恵器椀	床直	体部～底部 1/4	底径9.8	①粗砂②還元③にぶい黄	轆轤成形。底部回転窓削り後、高台貼り付け。外面炭素付着。	
3	須恵器杯	床直	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.2底径7.4 器高3.8	①粗砂②中礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転窓削り。外面体部下位回転窓削り。器面磨耗著しい。	
4	須恵器杯	床上 13.14cm	口縁～底部 1/4	口径(14.5)底径8.2 器高4.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部回転窓削り。器面磨耗著しい。	
5	女瓦	埋没土中	破片	厚1.3	①粗砂②還元③橙	外：櫛歯状工具による縦位の撫で。内：布目痕。	
6	女瓦	床上6cm	破片	厚1.7	①粗砂②還元③暗青灰	外：櫛歯状工具による縦位の撫で。内：布目痕。	
7	男瓦	床上8cm	破片	厚1.6	①粗砂②還元③暗青灰	外：櫛歯状工具による縦位の撫で。内：布目痕。	
8	女瓦	床上13cm	破片	厚1.5	①粗砂②還元③暗青灰	外：櫛歯状工具による縦位の撫で。内：布目痕。	

3区54号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器甕		口縁～底部 ほぼ完形	口径14.4底径7.1 器高16.6	①粗砂②酸化③橙	轆轤調整。外面底部際横位の窓削り。底部は静止糸切り。	
2	須恵器杯	床直	口縁～底部 完形	口径13.0底径7.2 器高3.8	①粗砂②還元③灰褐	轆轤成形、右回転。底部回転窓削り。内外面に炭素物付着。	
3	土師器甕		口縁～胴部 破片	口径(18.0)	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。胴部上位横位の窓削り。内：口縁部横撫で。胴部窓撫で。	

3区57号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床上3cm	口縁～体部 破片	口径(14.6)	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。体部下位横位の窓削り。内：口縁部横撫で。	
2	須恵器杯	床上25cm	口縁～体部 破片	口径(12.2)	①粗砂②酸化③浅黄	轆轤成形。	
3	土師器甕	床下6cm	口縁部破片	口径(18.7)	①粗砂②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位横位の窓削り。内：口縁部横撫で。胴部窓撫で。	
4	土師器甕	床上2cm	口縁部破片	口径(19.4)	①粗砂②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位横位の窓削り。内：口縁部横撫で。胴部窓撫で。	

3区76号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床上15cm	口縁～底部 破片	口径(12.8)	①粗砂②酸化③赤褐	口縁が緩く内湾。外：口縁部横撫で。体部下位～底部手持ち窓削り。内：横撫で。	
2	須恵器杯	床上23cm	口縁～底部 破片	口径(12.2)底径(7.0) 器高3.5	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部回転窓削り。	
3	黒色土器杯	床上 18～31cm	体部～底部 破片	底径(9.0)	①粗砂②酸化③暗赤褐	轆轤成形、右回転。外：体部下位回転窓削り。内：横・斜位の磨き。黒色処理。底部回転窓削り。	
4	土師器高杯	床上 16～32cm	口縁～体部 破片	口径(13.6)	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で→横位の磨き。体部横位の窓削り。内：横撫で→斜位の磨き。	
5	須恵器皿	床上40cm	口縁～底部 破片	口径(13.1)底径(6.8)	①粗砂②還元③橙	轆轤成形、右回転。底部回転窓切り後、高台貼り付け。	
6	土製品土錘	埋没土中	破片	孔径0.6	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		



## 3区1号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	P1内 (床下28cm)	口縁~底部 4/5	口径12.3底径5.0 器高3.8	①粗砂②還元③褐灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内外面磨耗。特に底部外面磨耗。	
2	土師器甕	竈内	口縁~胴部 破片	口径(17.0)	①粗砂②酸化③橙	緩いコの字状口縁。外：口縁部横撫で。胴部横位篋削り。内：口縁部横撫で。胴部撫で。	

## 3区3号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	底部破片	底径7.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。糸切り粗雑。	
2	須恵器杯	床直	底部破片	底径(7.6)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
3	須恵器杯	床上2cm	口縁~底部 破片	口径(11.9)底径(5.8) 器高3.1	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。焼成むら。	
4	須恵器皿	床直	口縁部破片	口径(12.7)底径(5.6)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。	
5	石鍾	床直	ほぼ完形	長6.4幅4.7厚2.0 重100.79g	ホルンフェルス	最大長部よりややずれて溝を擦り切る。溝はやや蛇行する。裏面は剥離面多い。	

## 3区5号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上27cm	口縁~底部 1/2	口径12.6底径7.0 器高3.3	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。糸切り粗雑。内面磨耗。	
2	須恵器杯	床上2cm	口縁~底部 1/4	口径(13.4)底径6.7	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内外面炭素吸着。	
3	須恵器杯	床上19cm	口縁~底部 ほぼ完形	口径12.6底径5.5 器高3.6	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
4	須恵器杯	床上8cm	口縁~底部 完形	口径12.7底径6.0 器高3.8	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
5	須恵器杯	床上5cm	口縁~底部 完形	口径12.0底径6.0 器高3.8	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。炭素吸着。	
6	須恵器杯	床上17cm	口縁~底部 1/2	口径13.8底径7.0 器高3.4	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内外面炭素吸着。	
7	須恵器杯	床直	口縁~底部 2/3	口径(12.3)底径7.0 器高3.6	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り。外面墨書「山」?	
8	須恵器杯	床直	口縁~底部 3/4	口径12.6底径5.8 器高3.7	①粗砂、白色粒②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。糸切り粗雑。	
9	須恵器杯	床直~ 床上3cm	口縁~底部 1/3	口径(12.4)底径6.0 器高4.0	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。底部からの立ち上がり部分器形著しく歪んでいる。炭素吸着。	
10	須恵器杯	床上24cm	口縁~底部 1/3	口径(12.6)底径(6.4) 器高4.0	①粗砂、細礫②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。炭素吸着。	
11	須恵器杯	床直	口縁~底部 1/4	口径(13.0)底径(6.9) 器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
12	須恵器杯	床上39cm	口縁~底部 1/4	口径(13.1)底径6.3 器高3.2	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
13	須恵器杯	床上13cm	口縁~底部 1/3	口径13.1底径6.2 器高3.9	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。外面の轆轤目強い。内面磨耗。	
14	須恵器杯	埋没土中	口縁~底部 1/4	口径(14.2)底径6.8 器高3.7	①粗砂②半還元③にぶい赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
15	須恵器杯	床上11cm	口縁~底部 1/4	口径(12.4)底径(5.4) 器高3.5	①粗砂②還元で燻し焼成 ③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内外面とも磨耗、炭素吸着。	
16	須恵器杯	床上13cm	底部破片	底径6.3	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内外面とも磨耗。	
17	黒色土器杯	埋没土中	底部破片	底径6.5	①粗砂②還元③橙	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内面磨き。3住竈内と接合。	
18	須恵器杯	床上15cm	口縁~底部 高台欠4/5	口径12.5底径7.5	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り後、高台貼り付け。高台剥落後も使用か。	
19	須恵器杯	床上17cm	口縁~底部 破片	口径(9.0)底径(5.2) 器高2.7	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部回転篋削り。	
20	須恵器杯	床上9cm	底部破片	底径7.5	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。12住と接合。	
21	須恵器椀	埋没土中	口縁~底部 高台欠1/4	口径(15.4)底径(7.5)	①粗砂②還元で燻し焼成 ③暗灰	轆轤成形。底部回転糸切り後、高台貼り付け。高台剥落。炭素吸着。	
22	須恵器椀	埋没土中	口縁~底部 破片	口径(13.2)底径(6.4) 器高5.7	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
23	須恵器椀	床上14cm	底部破片	底径(7.9)	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形。底部回転糸切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
24	須恵器椀	床上7cm	体部~底部 破片	底径(8.5)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
25	須恵器椀	床上28cm	体部~底部 破片	底径(7.5)	①粗砂、細礫②半還元 ③にぶい赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
26	須恵器椀	床上7cm	底部破片	底径(11.3)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転篋削り後、高台貼り付け。	
27	須恵器椀	床上5cm	体部~底部 1/3	底径8.0	①粗砂~中礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
28	須恵器椀	床直	口縁~底部 高台欠2/3	口径(17.6)底径11.0	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。内外面轆轤痕顕著。高台欠損後も使用か。	
29	須恵器椀	床上34cm	口縁部破片	口径(19.0)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。外面轆轤痕顕著。	
30	須恵器皿	床上6cm	口縁~底部 3/4	口径12.7底径6.7 器高2.5	①粗砂②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。内面磨耗、炭素吸着。	
31	須恵器皿	床上9cm	口縁~底部 3/4	口径(12.7)底径6.8 器高2.5	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。外面轆轤痕顕著。内面磨耗。	
32	須恵器蓋	埋没土中	口縁部破片	口径(13.0)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。天井部回転篋削り。	
33	須恵器鉢	床上 2~11cm	口縁部破片	口径(28.0)	①粗砂②半還元③灰赤	受け口口縁。轆轤成形。	
34	土師器甕	床上20cm	口縁部破片	口径(16.4)	①粗砂、細礫②還元③明赤褐	口縁下に1条の凹みがあめぐる。外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部撫で。	
35	土師器甕	床上18cm	口縁部破片	口径(18.8)	①粗砂、赤色粒②還元 ③明赤褐	「コ」の字口縁で、口縁部に稜をもつ。外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部篋撫で。	
36	土師器甕	床上32cm	口縁部破片	口径(15.6)	①粗砂②還元③橙	「コ」の字口縁で、口縁下に1条の凹線があめぐる。外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部篋撫で。	
37	土師器甕	床上6cm	口縁部破片	口径(19.8)	①粗砂②還元③暗赤褐	外：口縁部横撫で。肩部横位の篋削り。内：口縁部横撫で。肩部撫で。	
38	土師器甕	床上6cm	底部破片	底径4.7	①粗砂②還元③明赤褐	外：縦位の篋削り。内：篋撫で。	



3区11号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床直	口縁～底部 1/3	口径(11.0)底径(6.0) 器高3.9	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。体部指押さえ。内：横撫で。	
2	土師器杯	床直～ 床上4cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径11.6底径6.0 器高4.0	①粗砂、金雲母②酸化③橙	外：口縁部横撫で。体部上半指押さえ、下半は成形時の面を残す。 内：横撫で。底部砂底。	
3	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/2	口径11.0底径(5.7) 器高3.0	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。外面轆轤痕顕著。	
4	須恵器碗	床直～ 床上4cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.3底径6.4 器高5.0	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗、歪む。	
5	須恵器碗	床直	底部破片	底径6.4	①粗砂②酸化③赤褐	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
6	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 破片	口径(11.4)底径(5.6) 器高3.3	①粗砂②酸化③にぶい橙	轆轤成形、右回転。外面轆轤痕顕著。	
7	須恵器碗	床下2cm	底部破片	底径6.4	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
8	須恵器碗	床上3cm	体部～底部 破片	底径(6.6)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部回転系切り後、高台貼り付け。外面轆轤痕顕著。	
9	須恵器碗	床直～ 床上4cm	口縁～底部 1/2	口径14.2底径(6.7) 器高5.1	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
10	須恵器大甕	貯蔵穴内	底部破片	底径(11.0)	①粗砂～中礫②還元③暗青灰	轆轤成形。	
11	土製品土鍾	埋没土中	完形	長3.3幅0.9孔径0.4	①粗砂②酸化③橙	小型。細身。	

3区12号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	口縁～底部 完形	口径12.5底径6.8 器高3.2	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
2	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 2/3	口径13.4底径8.0 器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
3	須恵器杯	床上26cm	口縁～底部 2/3	口径(12.0)底径6.4 器高3.6	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。系切り粗雑。	
4	須恵器杯	床下2cm	口縁～底部 2/3	口径12.6底径6.0 器高4.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。5住と接合。	
5	須恵器杯	床下8cm	口縁～底部 1/3	口径(12.6)底径(6.6) 器高3.5	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
6	須恵器杯	床下3cm	底部破片	底径6.4	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
7	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/3	口径(13.0)底径(7.0) 器高4.1	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
8	須恵器杯	床下6cm	底部破片	底径6.2	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
9	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/3	口径(12.0)底径(7.0) 器高3.3	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
10	須恵器杯	床下4cm～ 床上12cm	口縁～底部 2/3	口径13.0底径7.0 器高3.5	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
11	須恵器杯	床直	口縁～底部 3/4	口径13.0底径6.8 器高3.5	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。	
12	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/4	口径13.2底径(8.0) 器高3.0	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。	
13	須恵器杯	竈内 (床下15cm)	口縁～底部 破片	口径(13.0)底径(6.0) 器高4.0	①粗砂②酸化③にぶい黄橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。	
14	須恵器片口碗	床上2cm	口縁～底部 完形	口径14.0～15.5 底径8.0器高5.8	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。内面轆轤痕を顕著に残す。器形著しく歪む。	
15	須恵器碗	埋没土中	底部破片	底径(7.6)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
16	須恵器盤	床上 26～36cm	底部破片	底部(12.8)器高(2.0)	①粗砂、細礫②酸化③浅黄	轆轤成形、右回転。底部匏削り後、高台貼り付け。	
17	須恵器皿	竈内 (床下2cm)	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.8底径6.8 器高2.2	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
18	須恵器蓋	床上7cm	天井部破片	摘み部径4.0	①粗砂②半還元③にぶい橙	轆轤成形、右回転。天井部回転匏削り。摘み部貼り付け。	
19	須恵器蓋	埋没土中	口縁部破片	口径(14.8)	①粗砂、白色粒②還元③暗青灰	轆轤成形。	
20	土師器甕	埋没土中	口縁部破片	口径(16.0)	①粗砂、細礫②酸化③赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部上位撫で。	
21	土師器台付甕	埋没土中	脚部片	底径(11.8)	①粗砂②酸化③赤褐	内外面横撫で。	
22	土師器甕	埋没土中	口縁部破片	口径(14.8)	①粗砂、細礫②酸化③にぶい赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部上位撫で。	
23	土師器甕	埋没土中	口縁部破片	口径(13.4)	①粗砂②酸化③暗赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：横撫で。	
24	須恵器壺	埋没土中	口縁部破片	口径(16.0)	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	外：横撫で。内：口縁部横撫で。頸部撫で。	
25	須恵器大甕	床上19cm	胴部破片		①粗砂②還元③灰	外：平行叩き目。内：あて具痕跡。	

3区14号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	口縁～底部 1/3	口径(12.7)底径5.1 器高4.3	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。器面炭素吸着。	
2	須恵器杯	床上22cm	体部～底部 破片	底径5.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。	
3	須恵器杯	床上4cm	体部～底部 破片	底径5.1	①粗砂②酸化③浅黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。	
4	須恵器壺	床上13cm	胴部破片		①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。	
5	須恵器碗	埋没土中	口縁～体部 破片	口径(13.7)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。	
6	須恵器碗	床上22cm	底部破片	底径(6.4)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。	

3区15号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上5cm	口縁～底部 3/4	口径12.7底径6.4 器高3.8	①粗砂、白色粒②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
2	須恵器杯	床上5cm	口縁～底部 1/2	口径(12.7)底径(6.5) 器高3.6	①粗砂、白色粒②半還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
3	須恵器杯	床上5cm	口縁～底部 1/4	口径(11.4)底径(6.0) 器高3.0	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
4	須恵器皿	床上12cm	口縁～底部 破片	口径(13.2)底径(7.1)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	



## 3区21号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	竈内、埋没土中	口縁～底部1/4	口径(11.8)底径5.4器高3.7	①粗砂・金雲母②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。体部指押さえ。底部際横位の篋削り。内：横撫で。底部外面篋削り。	
2	須惠器杯	埋没土中	底部破片	底径(6.5)	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
3	須惠器碗	埋没土中	口縁～体部破片	口径(14.2)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。割れ口含め器面磨耗。	
4	須惠器碗	床上3cm	底部破片	底径6.7	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。成形著しく粗雑。	
5	須惠器碗	床上3cm	底部破片	底径(5.7)	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
6	須惠器羽釜	竈内	胴部破片		①粗砂・細礫②還元③灰	轆轤成形。外：縦位の篋削り。内：篋撫で。	
7	土製品土鍾	床上6cm	破片	幅2.4孔径0.5	①粗砂②酸化③にぶい赤褐		
8	土製品土鍾	埋没土中	1/3	孔径0.6	①粗砂②酸化③黒褐		
9	土製品土鍾	埋没土中	完形	長4.2幅1.0孔径0.3	①粗砂②酸化③橙		
10	土製品土鍾	床上11cm	完形	長4.2幅1.1孔径0.35	①粗砂②酸化③橙		
11	土製品土鍾	床上4cm	3/4	胴1.1孔径0.4	①粗砂②酸化③橙		
12	女瓦	床上10cm		厚2.9	①粗砂～中礫②還元③灰	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
13	鉄製品釘			長4.6幅0.6厚0.55重4.0g			

## 3区22号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	埋没土中	口縁～底部破片	口径(12.7)	①粗砂・細礫②酸化③明赤褐	外：口縁部横撫で。底部手持ち篋削り。内：横撫で。	
2	須惠器杯	床上36cm	口縁～底部完形	口径12.8底径5.8器高4.3	①粗砂②還元③灰黄・明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。29住と接合。	
3	須惠器杯	床上34cm	口縁～底部3/4	口径12.2底径4.7器高4.3	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
4	須惠器杯	床上5～26cm	口縁～底部2/3	口径12.8底径7.8器高3.4	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、周縁部回転篋削り。	
5	須惠器碗	床直	口縁～底部1/3	口径(14.4)底径(6.6)器高5.7	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
6	須惠器杯	床上2cm	口縁～底部1/2	口径12.7底径5.6器高4.4	①粗砂②酸化③にぶい黄橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。	
7	須惠器碗	床下3cm	口縁～底部2/3	口径13.7底径6.4器高5.4	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
8	須惠器碗	床上12cm	口縁～底部2/3	口径13.7底径5.9器高5.9	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。内外面炭素吸着。	
9	須惠器碗	床直	口縁～底部2/3	口径13.8底径6.8器高5.3	①粗砂・細礫②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
10	須惠器碗	床上8cm	体部～底部1/4	底径6.4	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
11	須惠器碗	床上15cm	口縁～体部破片	口径(13.7)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。外面体部下位に細かな人為的剥離痕が見られる。	
12	須惠器碗	床下6cm～床直	口縁～底部1/3	口径(13.8)底径(6.7)器高5.8	①粗砂・細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
13	須惠器蓋	床上8cm	天井部破片	摘み部径3.3	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。摘み部貼り付け。	
14	須惠器蓋	埋没土中	口縁部破片	口径(25.1)	①粗砂・細礫②還元③灰白	轆轤成形。	
15	土師器甕	埋没土中	口縁部破片	口径(10.8)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横・斜位の篋削り。胴部中位縦位の篋削り。内：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	
16	土師器台付甕	床下3cm	胴部～脚部破片		①粗砂②酸化③明赤褐	外：胴部下位縦位の篋削り。内：篋撫で。脚部内外面横撫で。	
17	土製品紡錘車	床上20cm	3/5	径(6.0)厚1.4孔径(0.8)	①粗砂②酸化③橙	土製。篋撫で。	
18	土製品紡錘車	床上16cm	1/3	径(4.7)厚1.5孔径(0.9)	①粗砂②酸化③明黄褐	土製。篋撫で。	
19	女瓦	埋没土中	破片		①粗砂②還元③暗青灰	外：平行叩き目。内：布目痕。	
20	女瓦	埋没土中	破片		①粗砂・細礫②還元③灰黄	外：撫で。内：布目痕。	
21	鉄製品釘			長10.2幅0.8厚0.7重16.2g			
22	鉄製品釘			長7.6幅0.7厚0.7重9.3g			
23	土製品土鍾	床上22cm	完形	長4.8径1.9孔径0.4	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
24	土製品土鍾	埋没土中	ほぼ完形	径1.8孔径0.4	①粗砂・細礫②酸化③橙		
25	土製品土鍾	床上28cm	1/2	径2.6孔径0.7	①粗砂～中礫②還元③にぶい赤褐		
26	土製品土鍾	床上9cm	完形	長3.8径1.3孔径0.3	①粗砂②酸化③橙		

## 3区24号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯	床直、床下20cm	口縁～底部2/3	口径13.2底径6.5器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
2	須惠器杯	竈内(床上5cm)	口縁～底部1/3	口径(12.6)底径(6.3)器高4.4	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
3	須惠器杯	床上16cm	口縁～底部2/3	口径(13.7)底径6.5器高4.2	①粗砂・細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
4	須惠器杯	床上8～15cm	口縁～底部1/3	口径(13.0)底径(6.1)器高4.0	①粗砂・細礫②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。外面轆轤痕顕著。内面磨耗。	
5	須惠器杯	床上6cm	口縁～底部1/3	口径12.1底径5.8器高4.3	①粗砂・細礫②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器形歪んでいる。16住と接合。	
6	須惠器杯	床上9cm、掘り方	体部～底部1/3	底径6.0	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。系切り粗雑。	
7	須惠器杯	埋没土中、掘り方	底部破片	底径(9.0)	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。底部外面炭素吸着。	
8	須惠器杯	埋没土中、掘り方	底部破片	底径6.0	①粗砂・白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。系切り粗雑。16住竈内、17住と接合。	
9	須惠器杯	竈内	底部破片	底径(7.0)	①粗砂・細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。系切り粗雑。	
10	須惠器杯	竈内	口縁～底部破片	口径(13.0)底径(6.0)器高3.2	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
11	須惠器杯	床下17cm	口縁～底部1/4	口径(12.8)底径(6.0)器高4.6	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
12	須惠器碗	埋没土中	口縁部破片	口径(11.7)	①粗砂・細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
13	須恵器椀	埋没土中、 竈内	口縁～体部 破片	口径(13.7)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。	
14	須恵器椀	竈内 (床上21cm)	口縁～体部 破片	口径(15.0)	①粗砂②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。16住と接合。	
15	須恵器椀	埋没土中	口縁～体部 破片	口径(14.8)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。	
16	須恵器片口椀	床下23cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径(13.3)14.7 底径6.8器高5.2	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
17	須恵器椀	床上17cm	体部～底部 破片	底径(6.1)	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。高台接地面磨耗。	
18	須恵器椀	床上22cm	底部破片	底径(7.9)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
19	須恵器椀	埋没土中	口縁～底部 破片	口径(14.0)底径(7.1) 器高(6.7)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部高台貼り付け。外面轆轤痕顕著。高台接地面磨耗。	
20	土師器甃		口縁部破片	口径(20.4)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。頸部に指頭痕を顕著に残す。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
21	土師器甃		口縁部破片	口径(14.0)	①粗砂②酸化③橙	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
22	土師器甃		口縁～胴部 破片	口径(21.7)	①粗砂②酸化③橙	「コ」の字口縁で、口縁下に1条の凹線をめぐらす。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り、胴部中位縦位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
23	土師器甃		口縁～胴部 破片	口径(14.2)	①粗砂②酸化③赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
24	土師器甃		口縁～胴部 破片	口径(19.0)	①粗砂②酸化③橙	「コ」の字口縁で、口縁部に稜をもち、口縁下に1条の凹線をめぐらす。外：口縁部横撫で。胴部上位指押さえ、横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
25	土師器甃	床下6cm～ 床上23cm	口縁～胴部 2/3	口径19.3最大径22.8	①粗砂②酸化③橙	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。胴部中位斜位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。44住と接合。	
26	土師器甃		口縁～胴部 破片	口径(21.0)	①粗砂②酸化③橙	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
27	土師器甃		口縁～胴部 破片	口径(20.6)	①粗砂②酸化③橙	「コ」の字口縁で、口縁部に稜をもち、口縁下に1条の凹線をめぐらす。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
28	土師器台付甃	床上17cm	胴部～底部 破片		①粗砂②酸化③暗赤褐	外：斜位の匏削り。内：撫で。脚部内外面横撫で。	
29	土師器甃		胴部～底部 破片	底径4.1	①粗砂②酸化③橙	外：縦位の匏削り。内：匏撫で。	
30	土師器甃		胴部～底部 破片	底径(4.4)	①粗砂②酸化③暗赤褐	外：縦位の匏削り。内：匏撫で。	
31	土製品土錘		ほぼ完形	長7.1径3.1孔径0.6	①粗砂、細礫②酸化③にぶい 黄橙		
32	土製品土錘		1/2	径2.1孔径0.6	①粗砂②酸化③黒褐		
33	土製品土錘		完形	長4.9径2.4孔径0.7	①粗砂②酸化③にぶい橙		
34	土製品土錘		1/2	径2.4孔径0.5	①粗砂②酸化③暗灰		
35	土製品土錘		完形	長4.7径2.0孔径0.5	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
36	鉄製品鐵茎か			長2.8幅0.5厚0.5重1.2g			

### 3区27号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上4cm	底部破片	底径(6.5)	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
2	須恵器椀	貯穴内 (床下10cm)	体部～底部 破片	底径6.4	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。内外面とも磨耗。高台欠損後も使用か。	
3	須恵器椀	床直	口縁～底部 1/3	口径(13.4)底径(6.0) 器高3.9	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。外面轆轤痕顕著。	
4	須恵器椀	床直	口縁～体部 破片	口径(14.4)	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。内外面磨耗。	
5	土師器甃	床上3cm、 12cm	口縁部破片		①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	

### 3区29号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床上33cm	口縁～底部 1/3	口径(12.8)底径(5.7) 器高4.0	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。体部中位横位の匏削り。指押さえ。底部際斜位の匏削り。内：横撫で。底部手持ち匏削り。底部外面匏削り。	
2	須恵器杯	床上28cm	口縁～底部 1/4		①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
3	須恵器杯	床上10cm	口縁～底部 1/3	口径(12.8)底径7.9 器高3.5	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部丁寧な回転匏削り。	
4	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/2	口径11.8底径(5.2) 器高4.1	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
5	須恵器杯	床上16cm	口縁～体部 破片	口径(14.0)	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。外面轆轤痕顕著。	
6	須恵器椀	床上19cm	体部～底部 破片	底径(6.4)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
7	須恵器蓋	掘り方	口縁部破片	口径(15.4)	①粗砂、赤黒色粘土粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。天井部外面匏削り。	
8	須恵器皿	床上38cm	体部～底部 破片	底径6.8	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。貼り付け粗雑。	
9	鉄製品鐵			長6.1幅3.0厚0.6重13.7g			
10	土製品土錘	床上36cm	ほぼ完形	長4.8径1.3孔径0.4	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
11	土製品土錘	埋没土中	完形	長4.6径2.0孔径0.4	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		

### 3区30号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	竈内	底部破片	底径(9.0)	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形。底部周縁部匏削り。中心部に指頭痕が見られる。	
2	土師器椀	床上4cm	底部破片	底径6.6	①粗砂、雲母②酸化③明赤褐	外：体部下位～高台部横撫で。内：指押さえ。高台部横撫で。	
3	須恵器椀	床上10cm	底部破片	底径(6.8)	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
4	須恵器盤	掘り方	底部破片	底径(12.4)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
5	土製品土錘	床上2cm	ほぼ完形	長5.0径2.4孔径0.6	①粗砂②酸化③浅黄		
6	土製品土錘	掘り方	完形	長4.5径2.5孔径0.5	①粗砂②酸化③明赤褐		



番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
20	女瓦	床上13cm	破片	厚3.2	①粗砂②中礫③酸化④橙	外:縦位の撫で。内:布目痕。36住竈内と接合。	
21	土製品土鉢	床上17cm	完形	長7.2径2.6孔径0.6	①粗砂②酸化③橙		
22	土製品土鉢	竈内(床直)	完形	長3.8径1.0孔径0.25	①粗砂②酸化③橙		
23	土製品土鉢	床上4cm	完形	長4.7径1.2孔径0.25	①粗砂②酸化③橙		
24	土製品土鉢	床上26cm	完形	長4.1径1.4孔径0.25	①粗砂②酸化③赤褐		
25	土製品土鉢	竈内	完形	長4.1径1.2孔径0.3	①粗砂②酸化③明赤褐		
26	土製品土鉢	床上20cm	1/2	径1.6孔径0.4	①粗砂②酸化③橙		
27	土製品土鉢	竈内	1/2	径1.2孔径0.25	①粗砂②酸化③橙		

### 3区40号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上4cm、 床下3cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.3底径6.0 器高3.6	①粗砂②還元③黄灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内面磨耗。墨書、釈文？	
2	須恵器杯	床上4.6cm	口縁～底部 1/2	口径12.7底径6.0 器高4.0	①粗砂②中礫③還元④暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
3	須恵器碗	床上16cm	体部～底部 1/4	底径7.6	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。器面磨耗。21住と接合。	
4	土師器甕	床上4.9cm、 竈内	口縁～胴部 破片	口径18.0	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁で、口縁下に稜をもつ。外:口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内:口縁部横撫で。胴部撫で。	
5	石製品紡錘車	床上3cm	ほぼ完形	径5.1厚1.6孔径0.9	ホルンフェルス	表裏面剥離著しい。	
6	土製品土鉢	埋没土中	破片	孔径0.6	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		

### 3区42号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器碗	床直	口縁～底部 2/3	口径(16.8)底径10.1 器高7.0	①粗砂②還元③オリブ灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。内外面とも磨耗。	
2	須恵器杯	床上12cm	口縁～底部 3/4	口径13.0底径6.3 器高3.6	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
3	須恵器杯	床上10cm	口縁～底部 1/3	口径(13.5)底径7.0 器高3.8	①粗砂②半還元③浅黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
4	須恵器杯	床上 7.25cm	口縁～底部 1/3	口径(16.4)底径9.4 器高4.6	①粗砂、細礫、赤黒色土粒 ②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗顕著。	
5	須恵器杯	床上7cm	口縁～底部 1/2	口径(13.2)底径7.0 器高3.7	①粗砂、細礫②半還元 ③にぶい黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
6	須恵器蓋	床上10cm	口縁～ 天井部1/5	口径(13.4)	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形。天井部回転匏削り。器形歪んでいる？	
7	土師器甕	床上5cm	口縁～胴部 1/3	口径20.0	①粗砂②酸化③明赤褐	緩い「コ」の字口縁。口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。中位斜位の匏削り。下位縦位の匏削り。内:口縁部横撫で。胴部撫で。器面磨耗。	
8	土師器甕	竈内(床上 8～20cm)	胴部～底部 1/5	底径3.4	①粗砂②酸化③明赤褐	外:胴部下位縦位の匏削り。ほぼ全面に溶解土付着。内:撫で。おそらく飯と同一個体。	
9	土師器甕	床上5cm、 竈内 (床上13cm)	口縁～胴部 破片	口径(19.7)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外:口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。器面に溶解土付着。内:口縁部横撫で。胴部撫で。	
10	土師器甕	竈内 (床上10cm)	胴部～底部 破片	底径4.6	①粗砂②酸化③明赤褐	外:縦位の匏削り。底面匏削り。内:匏撫で。	
11	女瓦	埋没土中	破片	厚1.3	①粗砂②還元③橙	外:櫛歯状工具による縦位の撫で。内:布目痕。	
12	女瓦	埋没土中	破片	厚1.3	①粗砂②還元③暗青灰	外:縦位の撫で。内:布目痕。	
13	鉄製品鎌			重64.0g		柄と刃部とのなす角度124°	

### 3区44号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上20cm	口縁～底部 1/3	口径(13.7)底径5.6 器高4.5	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。外面轆轤痕顕著。内面に炭素吸着。	
2	須恵器碗	竈内	口縁～底部 1/4	口径(15.0)底径(6.5)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
3	須恵器碗	床上23cm	体部～底部 1/4	底径(6.2)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
4	須恵器蓋	竈内	口縁部破片	口径(19.4)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。	
5	土師器甕	竈内 (床上7cm)	口縁～胴部 破片	口径(20.8)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁で、口縁下に稜をもつ。外:口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。下位縦位の匏削り。内:口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
6	土製品土鉢	1土	ほぼ完形	長6.4径2.7孔径0.6	①粗砂②酸化③黒褐	炭素吸着。	

### 3区45号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床直	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.1底径5.5 器高3.5	①粗砂、金雲母②酸化③橙	外:口縁部横撫で。体部上位指押さえ。体部中位～下位斜位の匏削り。内:横撫で。底部匏削り。	
2	土師器杯	調査区外	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.2底径5.5 器高4.0	①粗砂②酸化③橙	外:口縁部横撫で。体部上位指押さえ。体部中位～下位斜位の匏削り。内:横撫で。底部匏削り。	
3	土師器杯	竈内 (床下2cm)	口縁～底部 1/3	口径(12.6)底径5.0 器高3.6	①粗砂、赤色粘土粒②酸化③橙	外:口縁部～体部上位横撫で。体部中位～下位指押さえ。内:横撫で。底部撫で。	
4	須恵器杯	竈内 (床下4cm)	口縁～底部 1/3	口径(10.0)底径(4.4) 器高3.3	①粗砂②酸化③黒褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。炭素吸着。	
5	須恵器杯	竈内 (床下4cm)	口縁～底部 ほぼ完形	口径11.5底径5.8 器高3.3	①粗砂②酸化③黒褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗。	
6	須恵器杯	床上6cm	口縁～体部 破片	口径(12.6)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。	
7	須恵器碗	埋没土中	底部破片	底径7.2	①粗砂、細礫②酸化③にぶい赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。高台部接地面磨耗。	
8	須恵器耳皿	床直	口縁～底部 3/4	口径(10.6)底径4.8 器高4.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転か。底部高台貼り付け。割れ口も含め磨耗。	
9	土師器甕	掘り方	口縁部破片	口径(13.1)	①粗砂②酸化③橙	外:口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内:口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
10	土師器甕	床上3cm	口縁部破片	口径(13.7)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外:口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内:口縁部横撫で。胴部撫で。	
11	土師器甕	床直	底部破片	底径(5.4)	①粗砂②酸化③明赤褐	外:縦位の匏削り。内:匏撫で。	
12	土師器土釜	床上2cm	口縁～胴部 破片	口径(20.6)	①粗砂、細礫②酸化③明黄褐	口縁が短く外反する。外:口縁部横撫で。胴部縦位の匏削り。内:口縁部横撫で。匏撫で。	



番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
13	土師器甕	床上5cm	口縁部破片	口径(20.8)	①粗砂②酸化③暗赤褐	「コ」の字口縁で、口縁下に稜をもつ。外：口縁部横撫で。内：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	
14	須恵器甕	床直	底部破片		①粗砂～中礫②還元③灰		
15	女瓦	床上7cm	破片	厚1.3	①粗砂、細礫②還元③灰黄	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
3区46号住居							
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上7cm	体部～底部破片	底径(4.8)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
2	須恵器碗	床上5cm	底部破片	底径(6.6)	①粗砂、細礫②酸化③橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
3	須恵器碗	竈内	口縁～体部破片	口径(13.2)	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形。	
4	須恵器碗	床上13cm	底部破片	底径(4.2)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部回転系切り後、高台貼り付け。高台は剥落。	
5	灰釉陶器碗	床直	底部破片	底径(7.8)	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
6	土師器甕	床上3cm	口縁～胴部破片	口径(20.5)	①粗砂、金雲母②酸化③明赤褐	頸部の狭い縷い「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。胴部中位縦位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	
7	女瓦	床下9cm	破片	厚1.5	①粗砂～中礫②還元③灰黄	外：縦位の撫で。側面付近に1条の沈線が入る。内：布目痕。側面に合わせ口を成形。	
8	土錘	床上12cm	ほぼ完形両端部欠損	径1.9孔径0.4	①粗砂②酸化③明赤褐		
3区47号住居							
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器碗	床上12cm	口縁～体部破片	口径(14.7)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。内面磨耗。	
2	須恵器碗	床上6cm	口縁～底部1/3	口径(14.0)底径(6.4)器高6.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。内面磨耗。	
3	須恵器碗	床上17cm	口縁～底部1/4	口径(14.7)底径6.3器高6.2	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面、高台接地面磨耗。	
4	須恵器杯		口縁部片	口径(13.0)	①粗砂を含む②還元③灰黄	墨書 体部内面に墨書「西か」	
5	須恵器門面硯	埋没土中	脚部破片	底径(13.9)	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形。縦位2条の沈線、透かしを入れる。	
6	土師器甕	床上7cm	口縁部破片	口径(19.7)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁で、口縁下に稜をもつ。外：口縁部横撫で。胴部上位指押さえ。横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	
7	須恵器大甕	床上3cm	胴部破片		①粗砂～中礫②還元③灰	外：撫で。内：叩き目。	
8	土製品土錘	床上19cm	ほぼ完形	長3.2径2.3孔径0.6	①粗砂②酸化③橙	欠損後も割れ口を再調整して使用か。	
9	土製品土錘	床上14cm	1/3	孔径0.6	①粗砂②酸化③黒褐		
10	土製品土錘	床上13cm	破片		①粗砂②酸化③黒褐		
3区48号住居							
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床下9cm	体部～底部破片	底径5.8	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。炭素吸着。	
2	須恵器碗	床下8cm、貯穴内	口縁～底部2/3	口径(13.6)底径6.0	①粗砂②酸化③黒	轆轤成形。底部高台貼り付け。炭素吸着。高台欠損後も使用している。	
3	須恵器碗	床直	口縁～底部2/3	口径(12.9)底径5.8器高5.5	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
4	須恵器碗	床下5cm	体部～底部1/2	底径6.0	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。高台欠損後も使用か。	
5	須恵器碗	床上4cm	体部～底部破片	底径6.0	①粗砂、白色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。高台接地し内面磨耗。	
6	土製品土錘	埋没土中	破片	孔径0.5	①粗砂②酸化③橙		
7	鉄製品釘			長3.3幅0.5重1.4g			
3区49号住居							
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上7cm	口縁～底部完形	口径13.0底径6.2器高3.7	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。口縁部先端に炭化物付着。	
2	須恵器杯	床上6cm	口縁～底部完形	口径12.0底径5.8器高3.3	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。炭素吸着。	
3	須恵器杯	床上5cm	口縁～底部ほぼ完形	口径12.3底径6.0器高3.8	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。内面に焼成時の重ね焼きの痕跡有り。	
4	須恵器杯	床下4cm	口縁～底部完形	口径12.6底径6.2器高4.2	①粗砂、細礫②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
5	須恵器碗	床上6.9cm	口縁～体部破片	口径(15.7)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。	
6	須恵器碗	床上5cm	口縁～体部破片	口径(13.0)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。	
7	土製品土錘	床上8cm	完形	長4.0径1.9孔径0.4	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
8	土師器甕	床直	口縁～底部ほぼ完形	口径20.2底径3.5器高28.4	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。中位斜位の匏削り。下位縦位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	
9	石製品紡錘車	床直	完形	径5.5厚1.2孔径1.0	蛇紋岩	全体的に研磨されて平滑である。	
10	須恵器大甕	床上17cm	破片		①粗砂、細礫②還元③青灰	外：平行叩き目。内：当て具痕。	
3区51号住居							
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器碗	床直、竈内(床直)	体部～底部1/2	底径7.1	①粗砂～中礫②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。轆轤内外面顕著。	
2	須恵器碗	竈内(床下2.8cm)	口縁～底部ほぼ完形	口径14.4底径7.4器高5.7	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
3	須恵器皿	竈内(床下8cm)	口縁～底部ほぼ完形	口径13.9底径6.2器高3.0	①粗砂、細礫②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。炭素吸着。器面磨耗。	
3区52号住居							
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	掘り方	底部破片	底径(7.8)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、周縁部回転匏削り。	
2	須恵器杯	掘り方	口縁～底部破片	口径(11.2)底径(6.0)器高(3.3)	①粗砂、細礫②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部周縁回転匏削り。	
3	土師器甕	埋没土中	底部破片	底径(4.0)	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	外：縦位の匏削り。内：撫撫で。	

## 3区53号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯		底部破片	底径(5.4)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	

## 3区55号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	竈内	口縁～底部 3/4	口径13.0底径5.4 器高4.2	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗顕著。	
2	須恵器杯	竈内	口縁～底部 破片	口径(12.9)底径(5.0) 器高(4.5)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。器面磨耗顕著。	
3	須恵器杯		底部破片	底径(7.2)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。外面底部際横位の篋削り。底部回転糸切り後、周縁部回転篋削り。	
4	須恵器 短頸壺蓋		口縁～ 天井部1/2	口径(12.4)器高3.7 摘み部径2.7	①粗砂、細礫②還元③灰白	轆轤成形、右回転。天井部回転篋削り。摘み部貼り付け。	
5	土師器鉢か		底部破片	底径(9.0)	①粗砂②酸化③橙	外：横位の篋削り。内：撫で。底部篋削り。	
6	土師器甕		底部破片	底径(6.0)	①粗砂②酸化③橙	外：横位の篋削り。内：篋撫で。底部篋削り。	
7	石製品砥石		破片	長14.2幅9.8厚6.0 重1130g	粗粒輝石安山岩	棒状礫。研磨により断面不整六角形を呈する。研面の幅は3.5～4.0cmで平滑な面である。	

## 3区56号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 破片	口径(13.3)底径(8.0) 器高3.5	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形。底部回転篋削り。	
2	須恵器椀	埋没土中	底部破片	底径(8.0)	①粗砂②酸化③にぶい黄橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
3	土製品土鍾	竈内 (床上4cm)	完形	長5.3径2.2孔径0.6	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		

## 3区58号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上18cm	口縁～底部 完形	口径12.8底径5.7 器高4.0	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
2	須恵器杯	床下5cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.4底径6.9 器高3.8	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗。	
3	須恵器杯	竈内 (床上13cm)	口縁～底部 1/2	口径(13.5)底径6.5 器高3.8	①粗砂②還元③オリーブ灰	轆轤成形。底部回転篋削り。器面磨耗。糸切り粗雑。	
4	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 1/4	口径(13.8)底径(7.5) 器高3.3	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部回転篋削り。	
5	須恵器杯	床上 13.22cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.2底径6.5 器高3.8	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗。	
6	須恵器皿	床上24cm	口縁～底部 1/2	口径(13.6)底径(7.3) 器高2.8	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
7	須恵器椀	床上9cm	底部破片	底径6.6	①粗砂、細礫②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
8	須恵器椀	埋没土中	口縁～底部 破片	口径(11.8)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。器形は歪んでいる。内外面火だすきに炭素吸着。	
9	須恵器双耳杯	床上 17.18cm	口縁～底部 ほぼ完形 耳部欠損	口径18.5底径10.6 器高7.2	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部高台貼り付け。耳部2箇所貼り付け。器面磨耗。耳部欠損後も使用か。	
10	土師器台付甕	床上3cm、 貯蔵穴内	胴部～脚部 破片	底径8.5	①粗砂②酸化③赤褐	外：縦位の篋削り。内：撫で。脚部内外面横撫で。	
11	須恵器小型壺	床上16cm	口縁～胴部 破片	口径(6.0)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。	
12	女瓦	床上33cm	破片	厚1.3	①粗砂②還元③暗青灰	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
13	女瓦	床上4cm	破片	厚1.6	①粗砂②還元③にぶい黄橙	外：櫛歯状工具による縦位の撫で。内：布目痕。	
14	鉄製品釘	埋没土中		長4.3幅1.1厚0.9重9.5g			

## 3区61号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上11cm	底部破片	底径(6.0)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部回転糸切り。	
2	須恵器杯	床上12cm	底部破片	底径(6.0)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部回転糸切り。	
3	須恵器椀	床上15cm	口縁～底部 完形	口径13.3底径6.5 器高5.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
4	土師器甕	床上17cm	口縁～胴部 破片	口径(16.0)	①粗砂②酸化③赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位横位の篋削り。中～下位縦位の篋削り。 内：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	
5	土師器甕	床上 12～17cm				器面磨耗。	
6	男瓦	竈内 (床下4cm)	破片	厚2.0	①粗砂②還元③暗青灰	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
7	女瓦	竈内 (床上4cm)	破片	厚1.8	①粗砂②還元③暗青灰	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
8	女瓦	竈内 (床上4cm)	破片	厚1.9	①粗砂②還元③にぶい黄橙	外：櫛歯状工具による縦位の撫で。内：布目痕。	

## 3区62号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀	床上12cm	底部破片	底径6.8	①粗砂～中礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
2	土製品土鍾	床上2cm	完形	長5.2径2.5孔径0.7	①粗砂～中礫②酸化③橙		

## 3区64号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	黒色土器杯	床上11cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.8底径6.7 器高5.1	①粗砂②半還元③にぶい黄橙	轆轤成形、右回転。底部手持ち篋削り。内：横位の磨き。黒色処理。	
2	須恵器杯	床上11cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.6底径6.2 器高4.0	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。底面やや磨耗。	
3	須恵器杯	床下3.4cm	口縁～底部 3/4	口径12.3底径5.7 器高4.0	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。轆轤目弱い。	
4	須恵器杯	床上14cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.6底径6.0 器高4.2	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
5	須恵器杯	床上11cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.3底径5.5 器高4.1	①粗砂～中礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗。器面の一部に炭化物付着。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
6	須恵器杯	床直	口縁～底部 3/4	口径12.5底径5.6 器高3.8	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。器面磨耗。	
7	須恵器杯	竈内(床直 ～床下14cm)	口縁～底部 1/3	口径(12.4)底径5.3 器高4.1	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
8	須恵器杯	床上11cm	口縁～底部 1/3	口径(13.2)底径(5.0) 器高3.7	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。内面磨耗。	
9	須恵器椀	5土内	口縁～底部 破片	口径(14.3)底径6.2 器高5.3	①粗砂②還元で焼し焼成③黒	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
10	須恵器椀	1土内 (床下21cm)	口縁～底部 3/4	口径(14.8)底径7.4 器高5.9	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。轆轤目弱い。	
11	須恵器椀	床上13cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.3底径6.6 器高5.3	①粗砂、細礫②還元③灰白	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。内湾気味に立ち上がる。器内薄く、重量軽量。高台断面特徴的。	
12	須恵器椀	床上15cm	口縁～底部 2/3	口径13.7底径6.5 器高6.4	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
13	須恵器椀	竈内 (床上9cm)	口縁～底部 1/4	口径(15.1)底径(7.3) 器高(5.2)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
14	須恵器椀	5土内 (床下13cm)	口縁～底部 1/2	口径(13.9)底径(6.0) 器高5.6	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
15	須恵器椀	5土内 (床下18cm)	口縁～底部 1/2	口径(14.2)底径(6.1) 器高6.4	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。	
16	須恵器皿	床直	口縁～底部 ほぼ完形	口径13.3底径6.8 器高3.3	①粗砂、黒色粒②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
17	土師器台付甃	床下4cm	胴部～脚部 破片	底径(10.0)	①粗砂、赤色粘土粒②酸化 ③黄橙	外：胴部中位斜位の匏削り。下位縦位の匏削り。内：撫で。脚部内外面横撫で。	
18	須恵器双耳杯	埋没土中	耳部破片	長2.7幅4.5	①粗砂②還元③灰	匏削りによる成形→撫で。	
19	緑釉陶器椀	埋没土中	口縁部破片		①細砂粒②還元③	轆轤成形。口縁～体部施釉。軽量。	
20	須恵器鉢	埋没土中	口縁部破片		①粗砂②還元③青灰	轆轤成形。外面に自然釉かかる。	
21	須恵器大甍	床下2cm	頸部～胴部 破片		①粗砂、細礫②還元③暗青灰	外：頸部横撫で。胴部撫で。内：頸部横撫で。胴部当て具痕。	
22	須恵器大甍	床上15cm	胴部破片		①粗砂②還元③灰	外：平行叩き目。自然釉かかる。内：撫で。	
23	石製品砥石	床下土坑	完形の 可能性有り	長9.1幅8.3厚6.9 重530.83g	粗粒輝石安山岩	断面六角形状で、それぞれ6面が平坦な磨り面となる。端部に2条の溝状磨り面がある。	
24	土製品土鍾	床上10cm	完形	長4.8径2.3孔径0.6	①粗砂、細礫②酸化③橙		
25	土製品土鍾	埋没土中	完形	長3.3径2.1孔径0.4	①粗砂②酸化③浅黄		
26	土製品土鍾	埋没土中	破片		①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
27	土製品土鍾	5土内	ほぼ完形	径1.8孔径0.4	①粗砂②酸化③橙	炭素吸着。	
28	土製品土鍾	床下4cm	完形	長4.0径2.2孔径0.4	①粗砂②酸化③にぶい黄	一部に炭素吸着。	
29	土製品土鍾	床上15cm	完形	長3.3径2.1孔径0.4	①粗砂②酸化③浅黄	一部に炭素吸着。	
30	鉄製品刀子	床上8cm	小刀の切先	長9.5幅2.4厚0.5重18.6g		両刃?大きめの刀子か。	
31	鉄製品釘	掘り方	略完形	長6.1幅0.5厚0.6重5.1g			

### 3区65号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上14cm	体部～底部 破片	底径(9.6)	①粗砂②半還元③にぶい赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、周縁部回転匏削り。内面磨耗。	
2	須恵器杯	床下2cm	底部破片	底径(7.0)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
3	須恵器杯	埋没土中	口縁～底部 破片	口径(11.8)底径(6.2) 器高(3.3)	①粗砂、細礫②還元③青灰	轆轤成形。底部回転糸切り。	
4	須恵器蓋	床上8cm	口縁～ 天井部破片		①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形。天井部回転匏削り。	
5	須恵器大甍	床上5cm	胴部破片		①粗砂、細礫②還元③暗青灰	外：平行叩き目。内：当て具痕。	
6	土鍾	埋没土中	完形	長5.3径2.7孔径0.6	①粗砂②酸化③黒	炭素吸着。	
7	土鍾	埋没土中	完形	長4.2径1.9孔径0.5	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
8	土鍾	埋没土中	完形	長4.3径2.0孔径0.5	①粗砂②酸化③にぶい黄橙		
9	鉄製品鐵	床上3cm	茎一部欠	長10.6幅3.7厚0.7重19.8g			

### 3区66号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯		底部破片	底径7.0	①粗砂、細礫②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り。	
2	須恵器蓋		口縁～ 天井部1/4	口径(13.8)	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。天井部回転匏削り。	
3	土鍾	P2内	完形	長4.1径1.1孔径0.2	①粗砂②酸化③橙		

### 3区68号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀	床直	口縁～底部 2/3	口径(13.5)底径5.5 器高5.8	①粗砂、細礫②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
2	須恵器椀	床下5cm～ 床上2cm、 一部竈内	口縁～底部 高台欠損	口径13.4底径5.2	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部回転糸切り後、高台貼り付け。高台欠損後も使用か。	
3	須恵器椀	床下5cm、 竈内 (床上5cm)	体部～底部 1/3	底径6.4	①粗砂、細礫②半還元 ③にぶい黄橙	轆轤成形。底部高台貼り付け。高台欠損後も使用か。破損後炭素吸着。	
4	須恵器椀	竈内(床直 ～床下5cm)	口縁～底部 1/2	口径(14.3)底径6.2 器高5.9	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転糸切り後、高台貼り付け。炭素吸着。器面磨耗。	
5	灰釉陶器皿	床上15cm	口縁～底部 1/3	口径(14.1)底径(6.1) 器高2.5	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形。外面体部下位～高台施釉。70住と接合。	
6	須恵器甗	床上 5.11cm	底部破片	底径(15.3)	①粗砂、細礫②還元③灰白	轆轤成形。高台貼り付け。底部内面に自然釉。69住竈内と接合。	
7	灰釉陶器壺		胴部～底部 片	底径(12.0)	①細砂②還元③灰色	上半部欠。外面に釉流れあり。高台外端は接地しない。	
8	須恵器羽釜	床上3cm	胴部破片		①粗砂～中礫②酸化③橙	轆轤成形。鈔貼り付け。	
9	須恵器大甍	床上9cm	胴部破片		①粗砂、細礫②還元③灰	外：平行叩き目→撫で。内：当て具痕。内面磨耗。	
10	女瓦	床直	破片	厚1.7	①粗砂、細礫②酸化③橙	外：縦位の撫で。内：布目痕。側面に合わせ口。	

## 3区69号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器甕	竈内(床直)	口縁~胴部 破片	口径(17.4)	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	緩い「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。中位斜位の匏削り。下位縦位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部撫で。68住と接合。	
2	土師器甕	竈内(床直 床下2cm)	口縁部破片	口径(18.3)	①粗砂、細礫②酸化③明赤褐	緩い「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
3	土製品土鍾	埋没土中	破片	孔径0.25	①粗砂②酸化③赤黒	炭素吸着。	

## 3区70号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器椀	床8cm	底部破片	底径(5.8)	①粗砂②酸化③にぶい赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。炭素吸着。器面磨耗。	
2	須惠器椀	床3cm	体部~底部 破片	底径(6.2)	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
3	須惠器椀	床9cm	口縁~底部 1/2	口径(14.0)底径6.0	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。高台欠損後も利用か。69住竈内と接合。	
4	土師器台付甕	床下2cm	脚部破片		①粗砂②酸化③赤褐	内外面横撫で。	
5	土師器甕	床上 10.11cm	口縁~胴部 破片	口径(19.6)	①粗砂②酸化③赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部撫で。69住竈内と接合。	
6	土師器甕	埋没土中	底部破片	底径3.8~5.1	①粗砂②酸化③明赤褐	外：縦・斜位の匏削り。内：匏撫で。底部砂底。68住と接合。	
7	須惠器羽釜	床上10cm	胴部破片		①粗砂、細礫②還元③灰白	轆轤成形。鈐貼り付け。	
8	須惠器大甕	床下3cm	頸部破片		①粗砂②還元③暗青灰	櫛歯状工具による平行線紋、麻状紋を横位施紋。	
9	女瓦	床上9cm	破片	厚1.2	①粗砂、細礫②酸化③にぶい黄橙	外：縦位の撫で。内：布目痕。	
10	鉄製品刀子	床上9cm		長6.2幅1.5厚6.6重6.6g			

## 3区71号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯	掘り方	底部破片	底径7.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
2	須惠器杯	埋没土中	口縁~底部 1/3	口径(12.0)底径4.8 器高4.0	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。器面磨耗。	
3	土師器椀	床上2cm	底部破片	底径5.8	①粗砂②酸化③橙	内：匏撫で。高台部内外面横撫で。	
4	須惠器椀	掘り方	口縁~底部 破片	口径(13.7)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。	
5	須惠器双耳杯	埋没土中	耳部破片	長2.2幅3.1	①粗砂、細礫②還元③灰	匏削りによる面取り成形。	
6	土師器甕	床上6cm	口縁~胴部 破片	口径(20.9)	①粗砂②酸化③明赤褐	緩い「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。中位縦位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
7	土師器甕	床下5cm~ 床上2cm	口縁~胴部 破片	口径(20.0)	①粗砂、細礫②酸化③橙	口縁下に稜をもち、凹線を1条めぐらす。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の匏削り。中位斜位の匏削り。下位縦位の匏削り。内：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	
8	土製品土鍾	掘り方	ほぼ完形	径2.2孔径0.5	①粗砂②酸化③橙		

## 3区72号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床上8cm	口縁~底部 ほぼ完形	口径12.3底径9.2 器高3.8	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。体部横位の匏削り。内：横撫で。底部手持ち匏削り。器面磨耗。	
2	土師器杯	竈内	口縁~底部 破片	口径(10.8)	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。体部中位中5mm程の工具による撫で。下位指押さえ。内：横撫で。	
3	須惠器杯	床直	口縁~底部 ほぼ完形	口径12.3底径6.0 器高3.9	①粗砂、細礫②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
4	須惠器杯	床上 12~14cm	口縁~底部 ほぼ完形	口径13.5底径7.0 器高3.7	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
5	須惠器杯	床上 4~18cm	口縁~底部 ほぼ完形	口径12.2底径5.3 器高4.1	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
6	須惠器杯	床上14cm	口縁~底部 3/4	口径(12.9)底径6.5 器高3.6	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。底部周縁磨耗。	
7	須惠器杯	床上12cm	口縁~底部 3/4	口径13.0底径5.5 器高3.9	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
8	須惠器杯	床上 12.14cm	口縁~底部 3/4	口径11.9底径5.8 器高4.2	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
9	須惠器杯	床上13cm	口縁~底部 3/4	口径12.8底径5.8 器高3.7	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
10	須惠器杯	床上 13~21cm	口縁~底部 2/3	口径12.7底径5.5 器高3.8	①粗砂②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
11	須惠器杯	床上10cm	口縁~底部 1/2	口径(12.4)底径5.5 器高4.0	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
12	須惠器杯	床上11cm	口縁~底部 2/3	口径12.8底径6.0 器高3.7	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。内面磨耗。	
13	須惠器杯	床上 16~20cm	口縁~底部 2/3	口径13.0底径6.3 器高3.9	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。破損後炭素吸着。	
14	須惠器杯	床上 4.13cm	口縁~底部 2/3	口径13.0底径5.7 器高4.1	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。系切り粗雑。	
15	須惠器杯	4土内	口縁~底部 1/3	口径13.2底径(6.2) 器高3.9	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
16	須惠器杯	4土、 P1内	口縁~底部 破片	口径(12.9)底径(7.0) 器高3.6	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
17	須惠器椀	床上28cm	口縁~底部 1/3	口径(14.7)底径(6.7) 器高5.7	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
18	須惠器皿	床上8cm	口縁~底部 完形	口径12.5底径6.2 器高3.2	①粗砂②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
19	須惠器皿	床上6cm	口縁~底部 完形	口径13.1底径6.7 器高2.7	①粗砂②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。内面磨耗。	
20	須惠器皿	床直	口縁~底部 完形	口径12.6底径6.0 器高2.8	①粗砂②酸化③明赤褐	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。高台接地面磨耗。	
21	須惠器皿	床上14cm	口縁~底部 ほぼ完形	口径13.1底径5.9 器高2.8	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
22	須惠器皿	床上14cm	口縁~底部 1/2	口径(13.5)底径6.7 器高2.9	①粗砂、細礫②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部高台貼り付け。器面磨耗。	
23	須惠器盤	床上16cm	底部破片	底径(13.2)	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り、周縁回転匏削り後、高台貼り付け。	



番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
3	奈良三彩小壺の蓋		1/4	口径(4.2)摘み径1.3 器高(1.5)	①精良,生地色淡黄②暗緑灰 ③酸化,軟質	緑釉・透明釉、胎は土師質で軟。	
4	女瓦	床上20cm	破片	厚2.0	①粗砂②還元③暗青灰	外：縦位の刷毛目。内：布目痕。内外面端部鑿削り。	
5	瓦	床上12cm	破片	厚1.6	①粗砂②還元③暗青灰	外：縦位の刷毛目。内：布目痕。	
6	鉄製品釘か			長3.3幅0.7厚3.6重3.6g			

### 3区84号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	掘り方内	底部破片	底径(7.0)	①粗砂・細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転鑿削り。	
2	須恵器椀	床上3cm	口縁部破片	口径(13.6)	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。	

### 3区85号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	掘り方	口縁～体部 破片	口径(13.2)	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形。外面に墨書「木」。	
2	須恵器杯	掘り方	口縁～体部 破片	口径(11.6)	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形。内面墨書「」不明。	
3	須恵器杯	1号土坑内	口縁～底部 ほぼ完形	口径12.6底径6.0 器高3.3	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部回転鑿削り。器面磨耗	
4	須恵器杯	1号土坑内	口縁～底部 1/2	口径13.6底径(5.5) 器高4.4	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。底部回転系切り。	
5	須恵器杯	1号土坑内	口縁～底部 破片	口径(11.6)底径(5.1) 器高3.5	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形。底部回転系切り。器形著しく歪む。	
6	須恵器杯	1号土坑内	口縁～底部 破片	口径(13.1)底径(7.0) 器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部回転系切り。器面磨耗。	
7	須恵器椀	掘り方	体部～底部 破片	底径(7.0)	①粗砂②還元③灰	轆轤成形。底部高台貼り付け。器面磨耗。	

### 3区86号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上17cm	口縁～底部 3/4		①粗砂②半還元③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。墨書「」。	
2	須恵器杯	床上5cm	底部破片	底径(8.0)	①粗砂②還元③灰白	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、周縁部回転鑿削り。	
3	須恵器椀	床上 4～17cm	口縁～底部 ほぼ完形	口径14.3底径5.8 器高5.6	①粗砂～中礫②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。器面磨耗。	
4	土師器甕	床上16cm	口縁～胴部 破片	口径(19.4)	①粗砂②酸化③明赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位の鑿削り。内：口縁部横撫で。胴部撫で。	

### 4区1号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	埋没土中	口縁部片	口径(18.4)	①砂粒②酸化③明赤褐	体部外面非回転削り。二次火熱か。	
2	須恵器杯	床直～ 床上4cm	底部片	底径6.4	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底回転系切り。二次火熱。	
3	須恵器杯	床上22cm	口縁部片	底径6.2器高(3.1)	①砂粒②酸化③橙	外底回転系切り。	
4	須恵器椀	床直	1/2	口径(13.0)	①砂粒②還元③灰白	外底回転系切り後高台貼付け。	
5	須恵器椀	床上15cm	底部		①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転系切り後高台貼付け。	
6	須恵器椀	埋没土中	底部片	口径(14.6)	①砂粒②酸化③橙	内外面器表荒れ。二次火熱か。	
7	須恵器杯	掘り方	口縁部片	口径(15.8)	①砂粒②酸化③明赤褐	内外面回転撫で。	
8	土師器甕	床下7～ 床上15cm	底部欠	口径(16.0)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	頸部外面強い横撫で。	
9	土師器甕	床直～床 上12cm	底部欠	口径18.4	①砂粒含②酸化③褐	頸部外面強い横撫で。	
10	土師器甕	埋没土中	口縁部片	長6.7幅5.1厚3.2		外面口唇部直下に凹線。	
11	石製品砥石	床上7cm	略完	長8.5幅6.4厚5.2重 136.3g	砥沢石	5面利用。	
12	石製品 磨石か?	床下16cm		長8.5幅6.4厚5.2 重452.6g	溶結凝灰岩	先端部敲打痕。	
13	鉄製品釘	埋没土中		長4.5幅1.05厚0.5重5.6g			
14	鉄製品刀子		切っ先欠	長6.2幅1.1厚0.4重5.0g			

### 4区2号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上12cm	略完	口径12.4底径5.6 器高4.8	①砂粒②還元③浅黄	外底右回転系切り。	
2	須恵器杯	床上 10～20cm	1/2	口径12.1底径5.6 器高3.8	①砂粒②還元③褐灰	外底右回転系切り。	
3	須恵器杯	床上18cm	底部片	底径5.2	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転系切り、摩滅。	
4	須恵器杯	床上19cm	底部片	底径7.0	①白色粒子②還元③にぶい赤橙	外底右回転系切り。	
5	土師器?杯	床上1cm	口縁部片	口径(13.6)	①砂粒含②酸化③橙	強い二次火熱、フクレ。	
6	須恵器椀	籠掘り方	口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②還元③灰白	器表荒れ。	
7	須恵器椀	床上6cm	略完	口径14.2底径6.6 器高3.8	①砂粒②酸化③橙	口縁部一部欠-古い割れ口、体部外面非回転削り。	
8	須恵器椀	床下15cm	1/3	口径(14.0)底径6.7 器高6.9	①砂粒②還元③褐灰	体部外面にひび割れ。	
9	須恵器椀	不明	口縁部欠	底径6.2	①砂粒②酸化③橙	外底右回転系切り後高台貼付け。二次加熱か。	
10	灰釉陶器皿	床上 12～21cm	口縁部片	口径(14.2)現存高2.1	①精良②還元③灰白	小片。	
11	灰釉陶器 椀or皿	床上1cm	1/4	口径(14.2)底径(7.0) 器高2.9	①精良②還元③明褐灰	内底摩滅。	
12	須恵器耳皿	床下3cm	完形	口径9.0×6.5 底径4.0器高3.2	①砂粒②還元③灰褐	外底右回転系切り。	
13	土師器甕	床上 10～14cm	口縁部片	口径(21.7)	①砂粒②酸化③明赤褐	体部外面非回転削り。	
14	土師器甕	床直～ 床上13cm	口縁部-体部	口径(21.5)現存高16.1	①砂粒含②酸化③明赤褐	体部外面非回転削り。	
15	土師器甕	床上11cm	口縁部片	口径(19.8)	①砂粒②酸化③明赤褐	頸部外面に接合痕。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
16	土師器甕	床上10cm	口縁部片	口径(22.6)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	頸部「コ」の字。	
17	土師器甕	床上23cm	口縁部片	口径(19.8)	①砂粒②酸化③にぶい橙	頸部「コ」の字。	
18	須恵器甕	床直	体部片		①白色粒子②還元③オリブ黒	内外面摩滅、割れ口5箇所擦っている、内面同心円当てに具痕+平行叩き目。転用されたか。	
19	土製品土鍾	床上6cm	完形	長5.9口径0.5重22.5g	②酸化③橙		
20	土製品土鍾	床上22cm	1/2	長6.6幅2.4口径0.6重14.2g	①砂粒②酸化③黒褐		

#### 4区3号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床下20cm	1/6	口径(13.0)	①砂粒②還元③灰黄褐	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯	床直	1/5	口径(11.8)	①砂粒②還元③灰白	外底右回転糸切り。	
3	須恵器椀	床上14cm	底部欠	口径(13.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	高台欠。	
4	須恵器杯	床直	口縁部片	口径(14.2)	①精良②酸化③にぶい橙	内外面回転撫で。	
5	須恵器杯	床直	口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②還元③黄灰	内外面回転撫で。	
6	須恵器杯	埋没土中	口縁部片	口径(13.6)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	内外面回転撫で。	
7	須恵器杯	埋没土中	口縁部片	口径(12.8)	①白色粒子②還元③灰	内外面回転撫で。	
8	須恵器椀	貯蔵穴内(床下9~12cm)	2/3	口径(14.6)底径6.4器高5.6	①砂粒②酸化③にぶい橙	内面黒色だが磨きなし。二次火熱か。	
9	須恵器椀	床下1cm~貯蔵穴内(床下14cm)	1/6	口径(13.0)底径(6.5)器高6.4	①砂粒②還元③灰白	歪み。	
10	須恵器椀	床上3~5cm	1/5	口径(17.8)底径6.4器高5.8	①砂粒②還元③黄灰	内外面器表荒れ。	
11	土師器台付甕	床下1号土坑内	台脚部	底径(9.0)	①砂粒②酸化③赤褐	内外面横撫で。二次火熱か。	
12	土師器甕	床下2cm	口縁部片	口径(21.2)	①砂粒②酸化③橙	内外面器表荒れ。	
13	土師器甕	床上2~3cm	口縁部片	口径(20.9)	①砂粒②酸化③橙	頸部外面強い横撫で。	
14	石製品砥石	床直	完形	長9.5幅4.5厚4.1重139.5g	砥沢石	5面使用。	
15	土製品土鍾	床上17cm	完形	長4.7幅2.4口径0.3重18.9g	②酸化③橙	両端細い。	

#### 4区4号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床下1号土坑内	1/2	口径(13.0)底径4.8器高5.3	①砂粒②酸化③浅黄橙	外底右回転糸切り、内外面器表荒れ。二次火熱か。	
2	須恵器杯	床直	底部欠	口径12.8	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り。	
3	須恵器椀	床上18cm	1/2	口径14.2底径(6.3)	①砂粒②還元③浅黄	高台欠。	
4	須恵器椀	床下16~床上2cm	1/2	口径12.6底径6.2器高5.6	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。二次火熱。	
5	須恵器椀	床上5~8cm	1/5	口径(15.2)底径(7.2)器高7.0	①砂粒②還元③にぶい褐	外底回転糸切り後高台貼付け。	
6	須恵器椀	床上6cm	底部欠	底径7.7	①砂粒②酸化③浅黄橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。二次火熱。	
7	須恵器椀	床上6cm	口縁部欠	底径5.9	①砂粒②還元③灰白	内外面器表荒れ。	
8	灰釉陶器椀	床上9~10cm	口縁部片		①精良②還元③灰白	小片接合、釉厚い。	
9	土師器甕	床直	口縁部片	口径(20.0)	①砂粒②酸化③明赤褐	頸部外面凹線2本。	
10	土師器甕	床上4cm	口縁部片	口径(19.6)	①砂粒②酸化③にぶい橙	口唇部凹線。	
11	鉄製品釘?	埋没土中		長5.2幅0.8厚0.8重6.2g		曲がっている。	
12	鉄製品棒状品	床直	破片	重6.7g			
13	鉄製品刀子	埋没土中		長3.4幅1.4厚0.5重3.7g		刀身。	

#### 4区5号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	埋没土中	口縁部片	口径(12.6)底径(8.2)器高3.9	①砂粒②還元③にぶい黄褐	右回転糸切り。	
2	須恵器杯	埋没土中	底部片	底径(6.0)	①砂粒②還元③にぶい黄褐	右回転糸切り。	
3	須恵器杯	床直	底部片	底径5.3	①砂粒②酸化③灰黄褐	右回転糸切り。	
4	須恵器杯	床上8cm	口縁部片	口径(14.8)	①砂粒②酸化③にぶい褐	7mm大の小石含む。内外面回転撫で。	
5	須恵器蓋	床直	天井部片		①砂粒②還元③灰黄	天井部外面回転削り。	
6	須恵器甕	床下4cm	底部	底径17.7	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	外底撫で 体部境削り、酸化焼成。内面当て具痕あり。	
7	土師器甕	床上3cm	口縁部片	口径(21.2)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	頸部外面に凹線。	
8	鉄製品刀子	埋没土中		長5.1幅1.3厚0.3重4.3g			

#### 4区6号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	底部片	底径(7.0)	①砂粒②還元③黄灰	右回転糸切り。	
2	須恵器杯	埋没土中	口縁部片	口径(15.8)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内面器表荒れ。	
3	須恵器椀	床下2cm	口縁部片	口径(13.2)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面回転撫で。	
4	須恵器椀	埋没土中	口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ。	
5	須恵器椀	床上5cm	口縁部片	口径(16.6)	①砂粒②酸化③にぶい褐	内外面回転撫で。	
6	須恵器椀	床下3cm	底部	底径5.8	①白色粒子②還元③黄灰	回転糸切り後高台貼付け。	
7	須恵器椀	床上10cm	1/5	口径(13.6)底径5.9器高6.2	①砂粒②酸化③にぶい黄褐	内外面器表荒れ。	
8	須恵器椀	床上7cm	底部片	底径(6.7)	①砂粒②酸化③にぶい褐	回転糸切り後高台貼付け。	
9	須恵器椀	床上2cm	底部	底径5.8	①砂粒②酸化③にぶい橙	回転糸切り後高台貼付け。	
10	須恵器椀	床上6cm	底部片	底径6.5	①砂粒②酸化③橙	回転糸切り後高台貼付け。高台剥げ。	
11	土師器甕	床直	口縁部片	口径(18.0)	①砂粒②酸化③橙	口縁部強い横撫で。二次火熱か。	
12	構築材?埴か	床直	破片		①砂粒②酸化③明赤褐	粘土板状。	
13	須恵器甕	床下12~床上5cm	体部片		①白色粒子②還元③黄灰	外面撫で、内面平行叩き後撫で。	

## 4区9号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床直	1/2	口径(12.4)底径4.4 器高4.4	①砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ。	
2	須恵器杯	床上5cm	小片	口径(12.9)底径(8.5) 器高3.75	①砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ、外底回転削り?	
3	須恵器杯	床上6cm	底部片	底径5.6	①砂粒②還元③灰	右回転系切り。	
4	須恵器碗	床直～ 床上4cm	1/8	口径(15.0)底径(7.0) 器高5.2	①砂粒②還元③黄灰	内外面器表荒れ、小片。	
5	灰釉陶器碗 or皿	床上8cm	底部片	底径(6.2)	①砂粒②還元③灰白	内底摩滅。	
6	須恵器壺	床上4cm	肩部片		①砂粒②還元③黄灰	内外面回転撫で。	
7	石製品砥石	床上3cm		長7.4幅6.1重261.8g	粗粒輝石安山岩	5面使用。	

## 4区11号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上11cm	1/2	口径5.0	①砂粒②酸化③にぶい褐色	右回転系切り。	
2	須恵器杯	床下2～ 床上5cm	1/2	口径11.8底径4.7 器高4.6	①砂粒②還元③にぶい黄	右回転系切り。	
3	須恵器碗	床上4cm	体部片	口径(14.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	内外面器表荒れ。	
4	須恵器杯	床上2cm	底部	底径6.7	①砂粒②酸化③明赤褐	右回転系切り。	
5	須恵器壺?	床上11cm	底部片	口径(17.0)	①砂粒②還元③灰黄	外底回転削り。高台剥げ。	
6	石製品紡錘車	床上23cm	完形	幅4.1器高1.2孔径0.9 重35.6g	蛇紋岩		

## 4区12号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上2cm	1/6	口径(12.2)底径(5.9) 器高3.9	①砂粒②還元③にぶい橙	二次火熱。	
2	須恵器杯	床上7cm	1/6	口径(13.7)底径5.0 器高4.2	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底右回転系切り。	
3	須恵器杯	埋没土中	口縁部片	口径(13.6)	①砂粒②酸化③にぶい褐色	内外面回転撫で。	
4	須恵器杯	竈内	口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	内外面回転撫で。	
5	須恵器杯	床上3cm	底部片	底径(7.0)	①砂粒②還元③灰	外底回転削り。硬い。	
6	須恵器杯	床上5cm	口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ。	
7	須恵器碗	床上6cm	口縁部片	口径(14.4)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面回転撫で。	
8	須恵器碗	床上 5～8cm	1/2	口径(14.0)底径(6.2) 器高(6.7)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底回転系切り後高台貼付け。高台剥げ。	
9	須恵器碗	床下2 ～床上7cm	底部	底径6.0	①砂粒②酸化③橙	外底右回転系切り後高台貼付け。	
10	土師器甕	床直	口縁部片	口径(19.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	体部上位強い横削り。	
11	土師器台付甕	床上3cm	脚台部1/3	底径(12.8)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面横撫で。二次火熱。	
12	須恵器甕	床直～ 床上8cm	口縁部片	口径(37.4)	①白色粒子②還元③灰	内外面回転撫で。	
13	鉄製品鐵茎か	竈内		長2.4巾0.4厚0.4重1.0g		断面方形。	
14	鉄製品紡錘車	床下4cm		長4.3幅4.3厚0.5重22.1g		軸あり。	

## 4区13号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	埋没土中	口縁部片	口径(13.5)現存高4.1	①砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ、小片。	
2	須恵器碗	床上2cm	底部片	底径(7.0)器高(2.2)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	外底右回転系切り後高台貼付け。	
3	土師器甕	貯蔵穴内	口縁部片	口径(18.0)	①砂粒②酸化③にぶい橙	頸部内面突出。	甕?

## 4区14号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器杯	床下3cm	底部欠	口径(11.5)	①砂粒②酸化③橙	外面非回転削り・撫で。	
2	須恵器杯	床上 10～14cm	底部片	口径(12.2)底径5.6 器高3.9	①砂粒②還元③黒褐	外底右回転系切り。	
3	須恵器杯	貯蔵穴内	1/4	口径(12.8)底径4.6 器高4.0	①砂粒②還元③灰黄	外底右回転系切り。	
4	須恵器杯	床上3cm	3/4	口径11.5底径6.0 器高3.5	①砂粒②還元③灰黄	外底右回転系切り。	
5	須恵器碗	床上10cm	底部片	底径(6.8)	①砂粒②還元③灰黄褐	外底回転系切り後高台貼付け。	
6	須恵器碗	床上 11～13cm	1/4	口径(14.0)底径7.0 器高6.0	①砂粒②還元③灰黄褐	外底右回転系切り後高台貼付け。	
7	須恵器碗	床直	底部片	底径5.9	①砂粒②還元③灰黄	外底回転系切り後高台貼付け。	
8	須恵器碗	床上 11～14cm	体部片	口径(13.6)	①白色粒子②酸化③にぶい黄橙	内外面器表荒れ。	
9	灰釉陶器碗	埋没土中	口縁部片	口径(14.8)	①精良②還元③灰白	小片。	
10	土師器甕	床上4cm	体部片	口径(17.6)	①砂粒②酸化③橙	二次火熱。	
11	土師器甕	床上 2～3cm	体部片	口径(19.3)	①砂粒②酸化③橙	体部外面非回転削り。	
12	土師器甕	床下4cm	口縁部片	口径(19.6)	①砂粒②酸化③橙	頸部強い横撫で。	
13	土師器甕	床上3cm	体部下半 底部欠		①砂粒②酸化③にぶい赤褐	外面縦削り。	
14	土師器甕	貯蔵穴内	底部片	底径5.4現存高9.1	①砂粒②酸化③赤褐	体部の一部くぼむ。	
15	須恵器甕	床上4cm	体部片		①砂粒②還元③灰	内面当て具痕後撫で。	
16	須恵器甕	床上4cm	底部片	底径(17.8)	①砂粒②還元③浅黄 ②酸化③にぶい黄橙	底部近くに孔1。内面黒。	
17	土製品土錘	床上6cm	略完	長6.8幅2.7孔径0.6 重44.7g		大きめ。	
18	土製品土錘	埋没土中	略完	長6.0幅2.0孔径0.5 重19.6g	②酸化③にぶい黄橙		
19	鉄製品刀子	床上6cm		長9.2幅1.4厚0.5重10.4g		曲がっている。	
20	鉄製品刀子	埋没土中	茎欠	長8.2幅1.05厚0.45			
21	鉄製品棒状品	埋没土中		長6.8幅0.7厚0.5重3.5g		頭部欠損。	



## 4区15号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯	床上6cm	底部片	底径(4.6)器高(2.5)	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り。	
2	須惠器杯	床上10cm	底部片	底径4.8器高(1.3)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り。	
3	須惠器杯	床上4cm	底部片	底径(5.5)器高(1.7)	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
4	須惠器杯	埋没土中	口縁部片	口径(12.7)器高(3.9)	①砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ。	
5	須惠器椀	床直	底部片	底径6.4器高(2.5)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	小片。	
6	須惠器椀	掘り方	底部片	底径(9.8)器高(2.7)	①砂粒②還元③灰黄	二次火熱か。	
7	須惠器椀	床直	底部片	底径(7.1)器高(2.1)	①砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ。	
8	土師器小型甕	床上 2～24cm	口縁部片	口径(12.3)器高(4.0)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。	
9	土師器甕	貯蔵穴内 (床下5 ～7cm)	口縁部片	口径(22.5)器高(13.2)	①砂粒②酸化③にぶい橙	口唇部凹線。二次火熱。	
10	土師器甕	貯蔵穴内 (床下9cm) 床下9～ 床上6cm	底部欠	口径(17.8)器高(16.7)	①砂粒②酸化③赤褐	頸部外面強い横撫で。	
11	須惠器鉢	床直～ 床上11cm	体部片		①砂粒②還元③にぶい黄	体部外面下位刺突痕。羽釜か。	
12	土製品土鍾	埋没土中	一部欠	長5.2幅2.5孔径0.5 重29.8g	②酸化③にぶい褐	両端欠。	

## 4区18号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯	埋没土中	1/6	口径(13.7)底径(6.0) 器高3.6	①砂粒②還元③灰黄褐	外底摩滅、右回転糸切り。	
2	須惠器椀	床直	底部1/2	底径(6.3)	①砂粒②酸化③にぶい褐	外底右回転糸切り後高台貼付け。高台剥げ。	
3	須惠器杯	竈掘り方	底部片	底径5.2	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り。高台剥げ?	
4	須惠器杯	埋没土中	1/4	口径(13.8)	①砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ。	
5	須惠器杯	埋没土中	口縁部片	口径(13.6)	①白色粒子②還元③灰	内外面横撫で。	
6	須惠器椀	床上15cm	底部片	底径(6.6)	①白色粒子②還元③暗灰黄	内外面器表荒れ。	
7	須惠器椀	竈内 (床上6cm)	1/3	口径(13.9)底径6.3 器高4.5	①砂粒②酸化③にぶい黄	器表荒れ。高台剥げ。	
8	須惠器椀	床直	3/4	口径14.8底径6.4 器高6.3	①砂粒②酸化③橙	外底右回転糸きり後高台貼付け。歪みあり。	
9	須惠器椀	竈内 (床上21cm)	底部片	底径(5.9)	①砂粒少量②酸化③にぶい褐	内外面横撫で。	
10	須惠器椀	床下6～ 床上6cm	1/2	口径(16.0)底径(7.1) 器高6.1	①白色粒子②還元③黄灰	内面細かい穴。	
11	須惠器椀	床下3～ 床上7cm	1/2	口径(14.0)底径(6.8) 器高6.1	①砂粒②還元③灰	外底回転糸切り後高台貼付け。	
12	灰釉陶器椀	床直	底部片	底径6.2	①精良②還元③灰白	内外面横撫で。内底摩滅。	
13	土師器甕	埋没土中	口縁部片	口径(20.9)	①砂粒②酸化③明赤褐	体部外面非回転削り。	
14	土師器甕	埋没土中	口縁部片	口径(14.2)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	小片。	
15	須惠器甕	竈内、 埋没土中	体下部片		①白色粒子②還元③黄灰	大型甕の破片、内外面丁寧な撫で。	
16	土師器甕	床直	1/4	口径(30.9)底径(13.8) 器高18.8孔径(9.6)	①砂粒②酸化③褐	鉢形、内面撫で、外面削り。	
17	須惠器羽釜	埋没土中	口縁部片	口径(25.0)	①砂粒②酸化③灰	内外面横撫で、小片。外面黒。	
18	土製品土鍾	床上6cm	略完	長7.4幅2.9孔径0.6 重41.4g	②酸化③浅黄	大きめ。	
19	土製品土鍾	埋没土中	略完	長4.3幅1.5孔径0.3 重7.7g	②酸化③にぶい黄橙		
20	土製品土鍾	埋没土中	略完	長4.5幅2.5孔径0.5 重22.2g	②酸化③にぶい橙		
21	土製品土鍾	埋没土中	1/2	長5.8幅(2.2)孔径(0.6) 重15.8g	②酸化③橙		
22	平瓦	埋没土中	小片	長(6.7)幅(4.3)	②酸化③赤褐	凹面布目、凸面撫で。	
23	鉄製品釘	埋没土中		長4.9幅0.95厚0.7重7.9g		断面方形。	
24	石製品砥石	埋没土中	一部割れ	長6.2幅3.1厚1.5 重34.1g	砥沢石	3面使用。	
25	鉄製品釘か	床上4cm		長6.2幅1.0厚1.0重16.5g		断面方形。	
26	鉄製品釘	埋没土中		長3.4幅0.6厚0.5重4.0g		断面方形。	

## 4区19号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯	床直	1/3	口径(12.6)底径5.7 器高4.2	①砂粒②酸化③赤褐	外底右回転糸切り。	
2	須惠器杯	竈内	底部片	底径(4.3)	①砂粒②還元③褐灰	外底右回転糸切り。	
3	須惠器杯	床下2cm	口縁部片	口径(12.7)	①砂粒②酸化③にぶい橙	口縁部玉縁状。小片。	
4	須惠器椀	床上 6～7cm	底部欠	口径(13.6)	①砂粒②還元③にぶい橙	外底回転糸切り後高台貼付け。高台剥げ。	
5	須惠器椀	床下 1号土坑内	底部片	底径(6.4)	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底回転糸切り後高台貼付け。	
6	須惠器椀	掘り方、 埋没土中	底部片		①砂粒②還元③褐灰	高台剥げ。	
7	須惠器甕	床上18 ～22cm、 埋没土中、 竈内	体部片		①白色粒子②還元③褐灰	内外面回転撫で。	
8	須惠器蓋	床直	1/2	口径(14.2)摘み径5.6 器高5.6	①白色粒子②還元③褐灰	天井部外面自然釉。	
9	石製品砥石	床上8cm	完	長8.0幅3.3厚さ1.5 重57.4g	砥沢石		

## 4区20号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀	床上5cm	口縁部片	口径(13.8)器高(2.9)	①砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ。小片。	
2	須恵器椀	床上10cm	口縁部片	口径(13.6)器高(3.2)	①砂粒②酸化③にぶい褐	内外面器表荒れ。小片。	
3	須恵器杯	床上30cm	1/5	口径(12.0)底径(5.4)器高3.6	①白色粒子②還元③灰	外底回転糸切り。	
4	須恵器杯	床上20cm	底部片	底径(4.9)器高(2.0)	①白色粒子②還元③にぶい褐	外底回転糸切り。小片。	
5	須恵器杯	床上18cm	口縁部片	口径(13.5)器高(4.5)	①砂粒②還元③灰白	内外面器表荒れ。	
6	須恵器椀	床上25cm	底部片	底径(8.1)器高(3.3)	①砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ。	
7	須恵器椀	床上6cm	口縁部片	口径(14.6)器高(4.0)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	内外面器表荒れ、口縁部内湾。	
8	土製品土錘	床直	略完	長6.5幅3.0孔径0.7重44.8g	②酸化③にぶい黄橙	大きめ。	

## 4区22号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上20cm	1/3	口径13.0底径5.8器高4.5	①白色粒子②還元③灰白	外底右回転糸切り、高台なし。	
2	須恵器椀	貯蔵穴内(床下6cm)、 竈内	底部片	底径(6.8)	①砂粒②酸化③橙	外底回転糸切り。高台剥げ。	
3	土師器甕	貯蔵穴内(床下22～ 床上17cm) 竈内	底部欠	口径19.0	①砂粒②酸化③橙	体部中位に粘土付着。	
4	土師器甕	竈内(床上4～20cm)	底部欠	口径18.8	①砂粒②酸化③橙	外面二次火熱。	
5	土師器甕	床下9～14cm、 貯蔵穴内、 竈内	口縁部片	口径(17.8)	①砂粒②酸化③橙	口唇部に凹線。	
6	土師器甕	貯蔵穴内(床直～ 床上9cm)	口縁部片	口径(19.0)	①砂粒②酸化③橙	体部薄い。	
7	土師器甕	床下7cm	底部片	底径4.3	①砂粒②酸化③明赤褐	外面縦筋切り。	
8	石製品紡錘車	床上2cm	略完	径4.7厚1.5孔径0.8重47.9g	蛇紋岩	× の刻み?	

## 4区24号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	竈内	略完	口径12.4底径5.4器高3.9	①白色粒子②還元③灰	口縁部玉縁状、外底右回転糸切り。外底摩滅。	
2	須恵器杯	床下22～ 床上2cm	1/6	口径(12.6)底径5.4器高4.0	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り。内外面摩滅。	
3	須恵器杯	床上9～28cm	略完	口径12.5底径5.0器高3.8	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り。	
4	須恵器杯	床上11～34cm	1/6	口径(12.2)底径(4.4)器高3.9	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り。	
5	須恵器杯	貯蔵穴内(床下2～ 10cm)	底部片	底径5.8	①白色粒子②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り。内面摩滅。	
6	須恵器椀	床上3cm	1/3	口径(14.2)底径6.8器高6.4	①白色粒子②酸化③橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。二次火熱。	
7	須恵器椀	竈内(床上3～4cm)	1/4	口径(14.1)底径6.6器高5.8	①白色粒子②酸化③にぶい黄橙	外底撫で。	
8	須恵器椀	床上4～17cm	底部片	底径(8.0)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底撫で。	
9	須恵器椀	床下2cm	底部片	底径6.2	①砂粒②酸化③褐	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
10	須恵器椀	床上12cm	底部片	底径6.1	①砂粒②還元③にぶい黄	内外面器表荒れ。	
11	須恵器椀	床下9～ 床上24cm	底部片	底径6.5	①砂粒②酸化③黒褐	外底右回転糸切り後高台貼付け。二次火熱?	
12	須恵器椀	床直	底部片	底径6.2	①砂粒②還元③にぶい褐	内外面器表荒れ。	
13	須恵器椀	床上5cm	体部片	口径(14.6)	①砂粒②還元③にぶい橙	外面オリーブ黒。高台剥げ。	
14	須恵器椀	床上8cm	底部片	底径(5.4)	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り後高台貼付け。器表荒れ。	
15	灰釉陶器椀	床上9～19cm+12溝	1/4	口径(14.0)底径6.8器高4.7	①砂粒少量②還元③灰白	内面摩滅。	
16	須恵器長頸壺	床上18cm	口縁部片	口径(10.8)	①白色粒子②還元③灰	内外面回転撫で。体部以下不明。	
17	土師器甕	竈内(床下4～ 床上3cm)	口縁部片	口径(19.8)	①砂粒②酸化③にぶい橙	頸部外面に凹線。	
18	土師器甕	床上19cm	口縁部片	口径(20.0)	①砂粒②酸化③橙	内外面器表荒れ。	
19	土製品土錘	床上21cm	略完	長6.0幅3.0孔径0.6重38.5g	②酸化③にぶい黄橙	両端細い。	
20	土製品土錘	床上18cm	略完	長5.3幅2.4孔径0.7重32.8g	②酸化③にぶい橙		

## 4区25号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上10～19cm	1/5	口径(13.8)底径(6.4)器高4.6	①白色粒子②還元③灰オリーブ	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯	床上14cm	1/6	口径(11.2)底径(5.0)器高3.3	①白色粒子②還元③暗褐	外底右回転糸切り。	
3	須恵器杯	床上1cm	底部欠	口径(12.2)	①砂粒②還元③暗灰黄	外底剝離、内外面器表荒れ。	
4	須恵器椀	床上5cm、 貯蔵穴内(床下9～ 床上5cm)	一部欠	口径14.0底径6.6器高5.6	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
5	須恵器椀	床上4～9cm	2/3	口径14.4底径6.4器高6.2	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
6	須恵器椀	床上 24～28cm	1/5	口径(13.8)底径(6.3) 器高(6.0)	①砂粒②還元③灰	内外器表黒色。	
7	須恵器椀	床上25cm	1/4	口径14.6底径(6.6) 器高4.3	①砂粒②酸化③にぶい橙	外面二次火熱。	
8	須恵器椀	床下土坑 1内(床下 1～4cm)、 貯蔵穴内 (床上2cm)	口縁部欠	底径7.0	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
9	須恵器杯	床上 14～22cm	底部欠	口径(19.6)	①砂粒②酸化③にぶい黄褐	内外面器表荒れ。	
10	須恵器杯	床上13cm	底部欠	口径(9.8)	①砂粒②酸化③にぶい黄褐	内外面器表荒れ。	
11	須恵器蓋	床上10cm	摘み	摘み径2.7	①細砂粒②還元③灰	内外面横撫で	
12	須恵器甕	床上10cm	底部片	底径(12.2)	①砂粒②還元③灰白	内底指頭撫で	
13	石製品砥石	床上15cm	略完	長6.0幅5.2厚さ1.2 重72.7g	砥沢石	3面使用,孔径0.4。	

#### 4区26号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床上4cm	略完	口径13.5底径6.8 器高4.2	①砂粒②還元③黄灰	外底右回転糸切り	
2	須恵器杯	床下 2～4cm	略完	口径12.5底径6.0 器高4.0	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り	
3	須恵器杯	床下2～ 床上3cm	略完	口径13.0底径6.6 器高4.6	①白色粒子②還元③暗灰黄	外底右回転糸切り	
4	須恵器椀	床下2cm	略完	口径(16.0)底径6.6 器高6.1	①白色粒子②還元③浅黄	外底回転糸切り後高台貼付け。歪みあり。	
5	須恵器椀	床直	1/4	口径(14.5)底径7.0 器高6.1	①砂粒②還元③灰白	内外面器表荒れ。底部ヒビ。	
6	土製品土錘	床上6cm	略完	長8.1幅3.0孔径0.5 重51.8g	①砂粒②酸化③浅黄橙	大きめ。	
7	鉄製品釘	埋没土中		長2.6幅1.6厚0.7重4.8g			
8	須恵器大甕	床上4cm	体部片		①精良②還元③表面灰、内部 暗紫	外面器表荒れ、内面当て具痕。	

#### 4区27号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	床下3cm	1/2	口径(14.6)底径6.0 器高4.6	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯	床直	1/5	口径(14.0)底径5.2 器高4.4	①砂粒②酸化③橙	外底右回転糸切り。	
3	須恵器杯	埋没土中	1/6	口径(14.0)底径(6.0) 器高3.0	①砂粒②還元③黄灰	外底右回転糸切り、内外面器表荒れ	
4	須恵器椀	貯蔵穴内 (床直～ 床上5cm)	底部欠	口径(16.0)	①砂粒②還元③黄灰	内外面回転撫で。	
5	須恵器杯	床下6cm	底部欠	口径(13.7)	①砂粒②酸化③明黄褐	内外面回転撫で。	
6	須恵器椀	床直	底部欠	口径(15.8)	①砂粒②還元③黄灰	内外面器表荒れ。	
7	須恵器椀	床下4cm	1/2	口径(16.0)底径(6.8) 器高6.8	①砂粒②還元③にぶい黄		
8	須恵器椀	床直+28住	底部片	口径(14.0)底径6.6 器高5.1	①砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ。	
9	須恵器椀	床直	1/6	口径(13.2)底径(6.2) 器高5.8	①砂粒②酸化③橙	内外面回転撫で。	
10	須恵器椀	住居内 土坑1内	底部	底径6.9	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
11	須恵器椀	貯蔵穴内	底部	底径6.1	①砂粒②酸化③にぶい褐	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
12	土師器甕	貯蔵穴内	口縁部片	口径(18.7)	①砂粒②酸化③橙	二次火熱か。	
13	鉄製品不明			長5.8幅0.8厚0.45重3.7g		茎か、断面方形。14と同一か？	
14	鉄製品不明			長5.8幅0.9厚0.35重3.5g		茎か、断面方形。	
15	鉄製品不明			長3.6幅1.0厚0.35重2.7g		曲がっている。刀子か？	
16	鉄製品釘	埋没土中		長4.8幅0.45厚0.6重2.9g		曲がっている。	

#### 4区28号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	住居内 土坑2内 (床直)	1/3	口径(12.6)底径(6.0) 器高3.4	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯	床上6cm	底部片	口径(6.0)	①砂粒②還元③灰白	外底右回転糸切り。	
3	須恵器杯	床上6cm	底部欠	口径(14.2)	①砂粒②還元③黄灰	内外面器表荒れ。	
4	須恵器椀	床上4cm	底部	底径7.2	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
5	須恵器椀	床上6cm	底部片	底径(5.9)	①砂粒②酸化③橙	高台剥げ二次火熱か。	
6	鉄製品紡錘車	床上6cm		重21.8g			

#### 5区1号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器甕	竈内	体部下位 ～底部1/2	底径3.8	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底一方の削り。	

#### 5区2号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯	埋没土中	底部片	底径(6.0)	①砂粒②還元③灰白	外底右回転糸切り。	
2	須恵器蓋	床上3cm	摘み	摘み径4.6	①砂粒②酸化③にぶい橙	高台か？	
3	須恵器甕	床上5cm	体部片		①砂粒②還元③灰	外面平行叩き目、内面同心円当て具痕。	

#### 6区1号住居

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器甕	埋没土中	口縁部片		①砂粒②還元③灰	櫛状工具の波状紋。	

## 3区1号掘立柱建物

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯		底部片	底径(5.2)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底回転糸切り。	
2	須惠器碗		底部片	底径(5.9)	①砂粒②還元③灰黄	器表荒れ。	
3	須惠器碗		底部片	底径(8.1)	①白色粒子②還元③褐灰	器表荒れ。	

## 3区2号掘立柱建物

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯		底部片	底径(6.3)	①白色粒子②還元③灰	外底回転糸切り。	
2	須惠器杯		1/4	口径(11.4)底径(5.8) 器高3.9	①砂粒②還元③灰黄	外底右回転糸切り。	
3	須惠器杯		1/6	口径(12.0)底径(6.4) 器高3.6	①細砂粒②還元③灰オリーブ	回転糸切り。	
4	須惠器杯		略完	口径12.7底径5.6 器高4.0	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転糸切り。	
5	須惠器杯		1/2	口径(12.2)底径5.9 器高3.5	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
6	須惠器杯?		底部欠	口径(12.6)	①砂粒②還元③黄灰	内外面器表荒れ。高台有り?	
7	須惠器杯		底部片	底径(5.4)	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	

## 3区3号掘立柱建物

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯		底部片	底径(6.0)	①砂粒②還元③褐灰	外底右回転糸切り。	
2	瓦平瓦?		破片		①白色粒子②還元③灰	布目あり。	

## 3区2号竪穴

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯		4/5	口径13.4底径7.0 器高3.3	①砂粒②還元③明赤褐	内底キズ、外底右回転糸切り。二次火熱。	
2	須惠器杯		底部片	底径7.0	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底回転糸切り後撫で。	

## 3区1号土坑

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須惠器杯		底部1/2	底径(6.0)	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
2	鉄製品織・ 刀子の茎?			長7.2幅0.6厚0.3重4.7g			

## 3区2号土坑

1	須惠器杯		底部1/6	底径(6.7)	①細砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
---	------	--	-------	---------	-----------	-----------	--

## 3区5号土坑

1	須惠器杯		2/3	口径12.1底径6.3 器高3.6	①砂粒②還元③灰黄褐	外底回転削り。	
2	須惠器杯		1/5	口径(11.8)底径(7.0) 器高3.8	①砂粒②還元③灰黄褐	外底平坦。	

## 3区6号土坑

1	土師器甕		口縁部	口径(13.5)	①砂粒②酸化③明赤褐	体部外面削り、薄い。	
---	------	--	-----	----------	------------	------------	--

## 3区10号土坑

1	須惠器碗		口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②還元③灰白	二次火熱。	
2	須惠器杯		底部片	底径(5.0)	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り。	
3	須惠器杯		1/3	口径(14.0)底径6.2	①砂粒②還元③灰白	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
4	須惠器碗		口縁部片	口径(16.0)	①砂粒②酸化③橙	二次火熱。	

## 3区27号土坑

1	須惠器杯		2/3	口径(12.8)底径5.0 器高3.9	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底右回転糸切り、内外面に漆。	漆
---	------	--	-----	------------------------	--------------	-----------------	---

## 3区28号土坑

1	須惠器皿		口縁部片	口径(11.8)	①白色粒子②還元③灰	高台欠。	
---	------	--	------	----------	------------	------	--

## 3区29号土坑

1	須惠器碗		底部1/3	底径(7.4)	①砂粒②還元③灰黄褐	二次火熱。	
2	土師器甕		口縁部1/2	口径(11.6)	①砂粒②酸化③にぶい橙赤褐	体部内面撫で。	
3	土製品土錘		1/2	長2.8幅0.7重1.5g 孔径0.3	②酸化③にぶい赤褐	一端割れ。	

## 3区30号土坑

1	須惠器杯		1/4	口径(13.6)底径(5.0) 器高(4.5)	①砂粒②還元③灰黄	外底回転糸切り。	
2	須惠器碗		1/6	口径(14.8)底径(6.1) 器高5.6	①砂粒②酸化③にぶい褐	高台端割れ。	
3	土製品土錘		略完形	長5.6幅2.8重31.2g	②酸化③にぶい黄橙		
4	鉄製品釘か			長4.3幅0.85厚0.8重8.1g 孔径0.7			

## 3区32号土坑

1	須惠器杯		底部1/2	底径6.0	①白色粒子②還元③灰	外底回転削り。	
---	------	--	-------	-------	------------	---------	--

## 3区34号土坑

1	須惠器杯		略完形	口径10.8底径5.0 器高3.2	①砂粒②酸化③橙	外底右回転糸切り。	
2	須惠器碗		1/4	口径(13.5)底径(7.0) 器高5.5	①砂粒②還元③灰黄褐	高台貼付け。	
3	須惠器碗		1/2	口径(13.7)底径(7.0) 器高5.2	①砂粒②還元③にぶい黄橙	内面器表剥離。	

## 3区37号土坑

1	須惠器碗		底部1/3	底径(9.0)	①砂粒②還元③灰黄	底部厚い。	
---	------	--	-------	---------	-----------	-------	--

## 3区38号土坑

1	須惠器碗		完形	口径12.6底径6.0 器高3.7	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り、歪みあり。	
2	土師器杯		1/6	口径(12.9)	①砂粒②酸化③橙	内外面器表荒れ。	
3	土師器杯		1/4	口径(13.0)	①砂粒②酸化③橙	外面器表荒れ、二次火熱。	
4	土師器甕		口縁部・体部 上位	口径(19.0)	①砂粒②酸化③赤褐	口唇部に凹線。	

## 3区41号土坑

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀		底部1/2	底径(7.0)	①砂粒②還元③灰黄	外底回転系切り後高台貼付け。	
2	土製品土鍾		完形	長7.1幅3.0重54.5g 孔径0.6	②酸化③にぶい黄橙	大型。	
3	土製品土鍾		完形	長4.6幅2.6重28.2g 孔径0.8	②酸化③にぶい黄橙		

## 3区47号土坑

1	須恵器椀		底部	底径8.2	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	体部打欠きか、外底回転系切り後高台貼付け。割れ口古い。	
2	灰釉陶器椀		底部	底径5.8	①白色粒子②還元③灰白	内底平滑。	
3	土製品土鍾		1/2	長4.2幅2.6重22.7g	②酸化③にぶい黄橙		

## 3区48号土坑

1	須恵器杯		口縁部片	口径(12.8)底径(6.6) 器高(3.0)	①砂粒②還元③灰	内外面回転撫で。	
2	土師器台付甕		脚台部	底径8.7	①砂粒②酸化③明赤褐		

## 3区49号土坑

1	須恵器杯		1/8	口径(13.4)底径(5.8) 器高(3.7)	①砂粒②還元③灰	外底右回転系切り。	
---	------	--	-----	----------------------------	----------	-----------	--

## 3区70号土坑

1	須恵器椀		底部1/2	底径(8.6)	①砂粒②還元③灰白	内底摩滅。	
---	------	--	-------	---------	-----------	-------	--

## 3区79号土坑

1	土師器杯		略完形	口径14.3底径8.8 器高4.3	①砂粒②酸化③橙	外底非回転削り後撫で、内面磨きあり。	
2	土師器杯		略完形	口径13.5器高4.2	①砂粒②酸化③明赤褐	外底非回転削り。	

## 3区80号土坑

1	土製品土鍾		完形	長6.4幅2.8重43.7g 孔径0.6	②酸化③にぶい橙		
---	-------	--	----	-------------------------	----------	--	--

## 3区86号土坑

1	須恵器椀			底径8.2	①砂粒②還元③灰	器表荒れ。	
---	------	--	--	-------	----------	-------	--

## 3区91号土坑

1	土製品土鍾		2/3	長4.4幅2.2重11.2g 孔径0.65	②酸化③にぶい黄橙	潰れた状態。	
2	石製品砥石		完形	長5.8幅3.2器高1.5 重55.6g	砥沢石	4面使用。	

## 3区100号土坑

1	須恵器杯		底部片1/4	底径(6.5)	①細砂粒②還元③灰黄	内底に漆か、左回転系切りに見える。パレット?	
2	須恵器椀		底部1/2	底径(8.2)	①砂粒②還元③灰黄	器表荒れ。	
3	須恵器蓋		口縁部欠	摘み径4.0	①白色粒子②還元③灰黄褐	天井部外面回転削り後撫で。	

## 3区107号土坑

1	須恵器杯		2/3	口径(12.6)底径5.0 器高3.6	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底非回転削り。	
---	------	--	-----	------------------------	--------------	----------	--

## 3区110号土坑

1	石製品砥石		略完	長5.3幅3.0厚1.8 重61.6g	砥沢石	4面使用。	
---	-------	--	----	------------------------	-----	-------	--

## 3区120号土坑

1	須恵器杯		1/3	口径(13.6)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	椀か。	
2	須恵器杯		1/3	口径(13.6)	①砂粒②還元③灰	椀か。	
3	土師器小型甕		口縁部片	口径(12.2)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	頸部強い横撫で。	

## 3区121号土坑

1	須恵器椀		底部	底径7.1	①砂粒②還元③灰白	右回転系切り。	
---	------	--	----	-------	-----------	---------	--

## 3区123号土坑

1	須恵器杯		口縁片	口径(11.2)	①砂粒②還元③黄灰	椀か。	
---	------	--	-----	----------	-----------	-----	--

## 3区136号土坑

1	土製品土鍾		完形	長3.4幅2.2重13.8g 孔径0.4	①細砂粒②酸化③淡黄		
---	-------	--	----	-------------------------	------------	--	--

## 3区141号土坑

1	須恵器杯		完形	口径12.4底径5.0 器高4.2	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転系切り。	
2	須恵器杯		完形	口径12.4底径5.3 器高4.4	①砂粒②還元③黄灰	外底右回転系切り。	
3	須恵器杯		完形	口径12.8底径5.2 器高4.7	①砂粒②還元③黄灰	外底右回転系切り。	
4	須恵器杯		完形	口径12.9底径5.1 器高4.7	①砂粒②酸化気味③にぶい黄橙	内外面煤?、外底右回転系切り。	
5	須恵器椀		完形	口径14.2底径6.6 器高6.9	①砂粒②還元③黄灰	内面煤?、外底右回転系切り後高台貼付け。	
6	須恵器椀		完形	口径14.4底径5.5 器高6.0	①砂粒②還元③黄灰	煤付着、外底回転系切り後高台貼付け。	
7	須恵器椀		完形	口径13.8底径5.9 器高6.2	①砂粒②還元③黄灰	歪み。	
8	須恵器椀		高台欠	口径(14.5)底径6.7 器高(5.5)	①砂粒②還元③黄灰	二次火熱。	
9	須恵器甕		口縁部片	口径(20.0)	①白色粒子②還元③黄灰	体部以下欠。頸部外面カキ目か。	
10	須恵器壺		1/5	底径(13.4)	①白色粒子②還元③黄灰	口縁部欠。	

## 3区145号土坑

1	須恵器杯		1/3	口径(11.8)底径(5.5) 器高3.5	①細砂粒②還元③浅黄	右回転系切り。	
---	------	--	-----	--------------------------	------------	---------	--

## 3区148号土坑

1	須恵器杯		1/2強	口径13.2底径7.2 器高3.6	①砂粒②酸化気味③にぶい黄橙	右回転系切り。	
2	土製品土鍾		完形	長6.5幅2.3重29.3g 孔径0.5	②酸化③暗灰黄		

## 3区157号土坑

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器甕		体部片		①白色粒子②還元③灰	内面同心円叩き、外面平行叩き後撫で。	

## 3区186号土坑

1	須恵器碗		2/3	底径8.4	①細砂粒②酸化③にぶい赤褐	外底回転削り。	
---	------	--	-----	-------	---------------	---------	--

## 3区244号土坑

1	須恵器蓋		摘み	摘み径3.0	①砂粒②還元③灰白	天井部外面右回転削り。	
---	------	--	----	--------	-----------	-------------	--

## 3区250号土坑

1	須恵器杯		底部	底径6.4	①砂粒②還元③褐灰	外底回転削り。	
2	須恵器蓋		摘み欠	口径18.0	①砂粒②還元③灰	天井部外面回転撫で。	

## 4区1号土坑

1	須恵器杯		底部片	底径5.0	①白色粒子②還元③灰白	外底右回転糸切り。	
---	------	--	-----	-------	-------------	-----------	--

## 4区6号土坑

1	須恵器碗		1/5	口径(15.8)底径(8.4)器高6.1	①砂粒②還元③灰黄	器表荒れ。	
2	土師器小型甕		口縁部片	口径(12.4)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	口唇部薄い。	
3	須恵器碗		底部1/2	底径6.6	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
4	土製品土鍾		完形	長4.5幅1.8重13.3g孔径0.4	②酸化③橙		

## 4区16号土坑

1	須恵器皿		1/3	口径(13.2)底径6.1器高(3.4)	①砂粒②還元③浅黄	高台割れ。	
2	須恵器杯		1/4	口径(12.6)底径(6.0)器高3.9	①砂粒②還元③にぶい黄	外底回転糸切り。	
3	土師器台付甕		接合部片		①砂粒②酸化③橙	脚部厚い。	
4	土師器甕		口~胴上部片	口径(15.8)	①砂粒②酸化③明赤褐	口唇部に凹線。	

## 4区24号土坑

1	須恵器杯		底部1/2	底径6.0	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
---	------	--	-------	-------	------------	-----------	--

## 4区26号土坑

1	須恵器碗		底部2/3	底径7.8	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底回転糸切り痕わずか残。	
---	------	--	-------	-------	-------------	---------------	--

## 4区28号土坑

1	須恵器杯		3/4	口径11.8底径6.8器高4.0	①砂粒②還元③灰白	外底回転糸切り後撫で。	
2	須恵器杯		口縁部片	口径(11.8)	①砂粒②還元③灰	小片。	

## 4区29号土坑

1	土師器杯		口縁部片	口径(14.6)	①砂粒②酸化③にぶい橙	体部外面非回転削り。	
2	須恵器碗		1/4	口径(13.6)底径(8.4)器高4.2	①砂粒②還元③灰白	浅い。	
3	須恵器蓋		摘~体上部片	摘径2.6	①砂粒②酸化③橙	天井部外面回転削り。	

## 4区31号土坑

1	須恵器杯		口縁部片	口径(14.0)	①砂粒②酸化③橙	小片。	
2	瓦平瓦		破片	縦(8.0)横15.3厚1.3	①砂粒②酸化③橙	布目、一端イキ。	

## 4区33号土坑

1	須恵器杯		1/5	口径(11.8)底径(5.0)器高5.0	①白色粒子②還元③灰	底部茶色。	
---	------	--	-----	----------------------	------------	-------	--

## 4区44号土坑

1	須恵器杯		底部1/2	底径7.2	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
---	------	--	-------	-------	------------	-----------	--

## 4区46号土坑

1	須恵器杯		1/2	口径12.0底径5.4器高3.9	①砂粒②還元③灰白	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯		2/3	口径14.0底径6.6器高4.6	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
3	須恵器杯		1/4	口径12.4底径5.8器高4.3	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
4	須恵器杯		1/3	口径(10.6)底径5.4器高3.9	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
5	須恵器杯		1/3	口径(12.0)底径(5.6)器高3.8	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
6	須恵器杯		1/3	口径(12.2)底径6.0器高4.6	①砂粒②還元③灰白	外底右回転糸切り。	
7	須恵器杯		1/4	口径(13.4)底径(6.0)器高3.8	①砂粒②還元③灰	外底回転糸切り、内外面器表荒れ。	
8	須恵器杯		1/4	口径(13.0)底径(6.8)器高4.4	①砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ。	
9	須恵器杯		1/5	口径(11.6)底径(6.0)器高4.1	①砂粒②還元③灰	外底回転糸切り。	
10	須恵器碗		底部片	底径(7.0)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	内外面器表荒れ。	
11	須恵器碗		底部	底径6.8	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	外底回転糸切り後高台貼付け。	
12	須恵器皿		1/3	口径(12.4)底径(6.7)器高(2.9)	①細砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。	
13	土師器甕		1/6	口径(12.6)	①砂粒②酸化③明赤褐	口唇部凹線。二次火熱か。	
14	土師器小型甕		口縁部	口径(11.0)	①砂粒②酸化③橙	体部外面削り。二次火熱か。	
15	土師器台付甕		脚台部	底径9.6	①砂粒②酸化③橙	内外面横撫で。二次火熱。	
16	土師器甕		底部	底径10.3	①砂粒②酸化③橙	外底非回転削り。須恵器か。	
17	須恵器不明		把手	長7.2厚1.6	①砂粒②還元③褐灰	把手略完、本体から剥離。	
18	須恵器壺		底部片	底径(12.8)	①白色粒子②還元③灰	内底自然釉。	
19	須恵器甕		口縁部片		①白色粒子②還元③灰	外面自然釉。	
20	須恵器甕		口縁部片		①白色粒子②還元③暗い灰	外面波状紋。	
21	須恵器甕		口縁部1/6	口径48.0	①白色粒子②還元③灰	内外面回転撫で。	
22	土製品土鍾		略完	長3.4幅0.6孔径0.2重1.6g	②酸化③橙	細い。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
23	土製品土鍾		完形	長3.9幅1.5孔径0.4 重7.3g	②酸化③にぶい橙		
24	土製品土鍾		略完	長4.2幅2.4孔径0.5 重17.4g	②酸化③橙		
25	土製品土鍾		完形	長4.7幅2.7孔径0.7 重25.1g	②酸化③褐灰		
26	土製品土鍾		完形	長5.6幅2.95孔径0.6 重42.5g	②酸化③にぶい橙	大きめ。	
27	土製品土鍾		完形	長6.8幅2.95孔径0.7 重40.6g	②酸化③にぶい褐	両端細い。	
28	土製品土鍾		完形	長5.6幅2.7孔径0.7 重29.4g	②酸化③にぶい褐		
<b>4区55号土坑</b>							
1	須恵器杯		体下～底部 1/3	底径(6.0)	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
<b>4区62号土坑</b>							
1	須恵器杯		略完形	口径13.0底径5.4 器高4.6	①砂粒②還元③浅黄	口唇部玉縁状、外底右回転糸切り。	
<b>4区64号土坑</b>							
1	鉄製品刀子			長6.5幅1.2厚0.4重4.4g		茎曲がっている。鉄製品。	
<b>4区89号土坑</b>							
1	須恵器杯		3/4	口径13.0底径6.0 器高3.8	①砂粒②還元③灰黄	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯		1/6	口径(13.0)底径(5.6) 器高3.4	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
<b>5区18号土坑</b>							
1	土師器盃		1/3	口径(9.2)	①砂粒②酸化③赤褐	外底非回転削り。	
2	土師器高杯		脚部	口径(15.4)	①砂粒②酸化③明赤褐	内面削りあり。	
<b>5区22号土坑</b>							
1	須恵器杯		完形	口径13.0底径4.8 器高4.5	①砂粒②酸化③にぶい橙	右回転糸切り。	
2	須恵器椀		1/3	口径(14.4)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	底部欠。高台欠?	
3	須恵器杯		略完	口径12.6底径5.2 器高4.8	①砂粒②還元③灰黄褐	右回転糸切り。口縁部打欠きか。	
4	須恵器杯		1/2	口径(11.7)底径5.2 器高4.9	①白色粒子②還元③灰	右回転糸切り。	
5	須恵器椀		1/6	口径(13.1)底径(5.5) 器高5.5	①砂粒②還元③にぶい黄	内外面器表荒れ。	
6	土師器台付甕		脚部	底径(9.7)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。二次火熱。	
7	土師器甕		口縁部片	口径(12.0)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。	
8	須恵器壺		体部1/2	底径14.4	①砂粒②酸化③にぶい橙	内面工具痕、外底刺突痕。外面黒色。	
<b>5区24号土坑</b>							
1	須恵器杯		3/4	口径12.7底径(5.3) 器高4.5	①砂粒②酸化気味③にぶい橙	右回転糸切り。	
2	土師器小型甕		口縁部片	口径(10.8)	①砂粒②酸化③褐	炭化物付着。	
3	土師器甕		底部	底径(5.7)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外面非回転削り、内面撫で。二次火熱。	
<b>3区80号ピット</b>							
1	須恵器杯		1/5	口径(14.0)底径7.8 器高3.8	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
<b>3区130号ピット</b>							
1	灰釉陶器碗		1/2	口径13.2底径6.5 器高4.4	①白色粒子②還元③灰白	内底平滑。	
<b>3区148号ピット</b>							
1	鉄製品小刀の茎か			長9.5幅1.9厚0.5重26.3g		目釘孔あり。鉄製品。	
<b>3区207号ピット</b>							
1	須恵器椀		底部	底径10.1	①白色粒子②酸化③にぶい橙	高台内回転削り。	
<b>4区93号ピット</b>							
1	須恵器杯		1/3	口径(11.8)底径5.6 器高3.6	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
<b>4区98号ピット</b>							
1	須恵器椀		体下～底部 1/2	底径6.0	①砂粒②還元③灰白	器表荒れ。	
<b>5区13号ピット</b>							
1	土師器高杯		4/5	口径18.3底径15.2 器高15.7	①細砂粒②酸化③褐	脚部に膨らみあり、杯部直線的に開く。	
2	土師器高杯		脚部	底径13.8	①細砂粒②酸化③にぶい褐	脚部膨れる、内面指頭撫で。	
3	土師器高杯		杯部	口径(18.5)	①細砂粒②酸化③にぶい橙	内面放射状磨き。	
4	土師器高杯		杯部片	口径(17.8)	①砂粒②酸化③にぶい橙	外稜あり、内面放射状磨き。	
<b>3区7号溝</b>							
1	土師器甕		底部	底径4.0	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	内面工具圧痕、外面付着物多い。二次火熱。	
2	埴輪円筒		体部片		①砂粒②酸化③明赤褐	外面縦刷毛目、内面撫で。	
3	須恵器甕		底部片	器高1.8	①砂粒②還元③灰	外面平行叩き目、内面同心円当て具。	
4	土製品土鍾		略完	長7.5幅3.0重45.9g 孔径0.6	②酸化③灰黄褐	両端細い。	
5	土製品土鍾		略完	長5.3幅2.6重26.5g 孔径0.7	②酸化③褐灰		
6	土製品土鍾		一部欠	長4.3幅2.1重16.1g 孔径0.35	②酸化③にぶい黄橙		
7	須恵器杯		底部片	底径(6.8)	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
8	鉄製品釘			長5.6幅0.6厚0.5重3.8g			

## 3区8号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1a	鉄製品釘か			長2.7幅1.05厚0.7重4.9g			
1b	鉄製品釘か			長3.8幅0.85厚0.5重2.3g			

## 3区10号溝

1	須恵器杯		一部欠	口径12.6底径5.8 器高4.1	①白色粒子②還元③灰オリブ	外底右回転糸切り。	
2	土製品土錘		略完	長4.3幅2.6重26.7g 孔径0.7	②酸化③黒褐		

## 3区11号溝

1	須恵器杯		口縁部片	口径(12.6)底径(7.4) 器高(3.3)	①白色粒子②還元③灰	内外面回転撫で。	
2	須恵器杯		底部片	底径(5.6)	①砂粒②還元③灰	外底回転糸切り。	
3	須恵器杯		底部片	底径(7.6)	①砂粒②還元③灰黄	外底回転糸切り。	

## 4区2号溝

1	須恵器杯		完形	口径13.8底径6.5 器高4.2	①白色粒子②還元③にぶい黄橙	右回転糸切り。	
2	須恵器杯		略完	口径13.0底径7.4 器高3.6	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転糸切り後回転削り。	
3	須恵器杯		略完	口径12.8底径8.7 器高3.3	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転糸切り後回転削り。	
4	須恵器杯		略完	口径13.0底径7.0 器高4.0	①砂粒②還元③にぶい黄橙	右回転糸切り。	
5	須恵器杯		略完	口径12.4底径6.5 器高3.5	①白色粒子②還元③黄	外底回転糸切りか、器表荒れ。	
6	須恵器杯		1/3	口径12.0底径5.6 器高3.8	①砂粒②還元③灰	右回転糸切り。	
7	須恵器杯		1/5	口径(13.0)底径7.0 器高4.0	①砂粒②還元③灰白	右回転糸切り。	
8	須恵器杯		1/3	口径(13.2)底径6.2 器高4.3	①砂粒②還元③灰黄褐	器表剥落。	
9	須恵器碗		底部	底径7.0	①砂粒②還元③浅黄	器表黒色。	

## 4区6号溝

1	須恵器高杯 杯部?		杯部	口径(12.5)	①白色粒子②還元③灰白	外面回転削り。蓋か?。	
---	--------------	--	----	----------	-------------	-------------	--

## 4区14号溝

1	土師器杯		口縁部片	口径(11.6)	①細砂粒②酸化③灰黄褐	外面器表荒れ、内面横撫で。模倣杯。	
---	------	--	------	----------	-------------	-------------------	--

## 4区15号溝

1	須恵器杯		底部片	口径(12.4)底径(6.4) 器高3.6	①砂粒②還元③灰白	外底回転糸切り。	
2	須恵器杯		底部片	底径5.6	①白色粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
3	須恵器碗		底部	底径6.4	①白色粒②還元③灰	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
4	灰釉陶器壺		底部片	底径(6.4)	①砂粒②還元③灰白	外底回転糸切り後削り、体部下端に凹線。内底釉。	
5	須恵器碗		底部片	底径(6.8)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。二次火熱か。	

## 4区17号溝

1	須恵器杯		底部片	底径6.0	①砂粒②還元③黒褐	外底右回転糸切り。	
2	鉄製品釘or茎			長3.9幅0.55厚0.5重2.7g		断面方形。	

## 4区26号溝

1	瓦平瓦		破片	厚1.8	①砂粒②還元③明黄褐	凹面布目、凸面平行叩き目。不明突出部あり。	
---	-----	--	----	------	------------	-----------------------	--

## 4区36号溝

1	土師器杯		1/2	口径11.0	①砂粒②酸化③橙	外底非回転削り。	
2	須恵器 杯or高杯		杯部片	口径(14.0)	①精良②還元③灰	下位にカキ目あり、薄手、シャープ。小片。	
3	土師器 器台or高杯		脚部片	孔径0.6	①砂粒②酸化③橙	円形透かし1、二次火熱か。	

## 5区2号溝

1	須恵器杯		略完	口径12.8底径5.8 器高5.1	①細砂粒②還元③黄灰	外底右回転糸きり、内面付着物、漆か。	
2	須恵器杯		3/4	口径13.4底径8.0 器高3.6	①砂粒②還元③浅黄	外底右回転糸切り。	
3	須恵器杯		1/2	口径12.8底径7.7 器高3.7	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底右回転糸切り、体部内面に墨書。墨書、横棒に縦棒三本	
4	須恵器杯		1/3	口径(13.5)	①砂粒②酸化③にぶい橙	内外面器表荒れ。	
5	土師器杯		1/4	口径(10.0)	①砂粒②酸化③橙	外底非回転削り。	
6	土師器杯		1/6	口径(10.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底非回転削り。	
7	須恵器鉢		1/3	口径(26.0)底径13.3 器高18.3	①白色粒②還元③明黄褐	口縁部短く薄い。	
8	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③にぶい黄橙	脚部内面指頭撫で。二次火熱。	
9	鉄製品刀子		茎欠	長11.1幅1.3厚0.3重8.0g		刃区・棟区あり。	

## 5区7号溝

1	土師器小型壺		体部片		①細砂粒②酸化③明赤褐	体部外面非回転撫で。	埴
2	鉄製品釘?			長1.8幅0.35重0.7g			

## 5区18号溝

1	土師器杯		口縁部片	口径(13.9)	①砂粒②酸化③明赤褐	体部外面非回転削り。	
2	土師器杯		口縁部片	口径(12.8)	①砂粒②酸化③橙	内外面器表荒れ。	
3	須恵器杯		略完	口径14.0底径9.4 器高3.7	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底右回転糸切り後周縁のみ回転削り。	
4	須恵器杯		1/2	口径(12.9)底径(7.5) 器高3.6	①砂粒②還元③にぶい黄橙	内外面器表荒れ。	
5	須恵器杯		2/3	口径13.9底径6.1 器高4.1	①白色粒②還元③灰	内外面器表荒れ、外底回転糸切りか。	
6	須恵器杯		1/3	口径12.5底径6.8 器高3.4	①白色粒②還元③黄灰	体部下位くびれる、外底右回転糸切り。	



番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
7	須恵器杯		口縁～底部	口径(12.4)底径7.2 器高3.2	①砂粒②還元③褐灰	外底回転糸切り後回転削り。	
8	須恵器杯		略完	口径12.4底径5.3 器高4.5	①砂粒②還元③にぶい黄橙	内面黒色付着物、漆か、外面砂付着。漆パレット?	
9	須恵器杯		完形	口径12.9底径5.0 器高3.4	①砂粒②還元③灰オリーブ	外底右回転糸切り。1cm大の石。	
10	須恵器杯		1/4	口径12.7底径7.5 器高3.9	①白色粒②還元③褐灰	外底回転削り。	
11	須恵器杯		略完	口径12.5底径4.9 器高4.5	①白色粒②灰③還元	外底右回転糸切り。	
12	須恵器杯		1/4	口径11.9底径6.8 器高4.1	①砂粒②灰黄③還元	外底右回転糸切り。	
13	須恵器杯		1/2	口径(13.4)底径5.8 器高4.5	①砂粒②にぶい黄③還元	外底右回転糸切り。	
14	須恵器杯		1/2	口径(13.3)底径9.4 器高3.6	①砂粒②灰黄③還元	外底右回転糸切り。	
15	須恵器杯		1/2	口径(12.4)底径7.1 器高3.3	①砂粒②灰黄③還元	外底回転削り。	
16	須恵器杯		1/2	口径11.9底径6.7 器高4.1	①白色粒②褐灰③還元	歪みあり、外底回転糸切り後回転削り。	
17	須恵器碗		略完	口径14.4底径6.0 器高5.3	①砂粒②酸化③黒褐	外底右回転糸切り後高台貼付け。外底窪状の圧痕。	
18	須恵器碗		口縁部欠	底径5.8現存高3.5	①砂粒②還元③にぶい橙	口縁部打ち欠きか、外底回転糸切り後高台貼付け。	
19	須恵器碗		口縁部欠	底径7.5	①砂粒②還元③にぶい橙	内外面器表荒れ。	
20	須恵器碗		底部欠	底径6.1	①砂粒②酸化③明褐	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
21	須恵器碗		底部	底径9.0	①砂粒②還元③灰黄褐	外底回転削り後高台貼付け。	
22	須恵器碗		底部	底径8.1	①白色粒②還元③黄灰	外底回転糸切り後高台貼付け。	
23	須恵器碗		1/3	口径(14.4)底径6.1 器高(5.3)	①砂粒②にぶい黄橙③還元	器表荒れ、高台剥げ。	
24	須恵器 高台付皿		口縁部片	口径(13.6)	①白色粒②還元③灰	外底回転糸切り後高台貼付け。高台剥げ。	
25	須恵器蓋		口縁部片	口径(8.8)	①白色粒②還元③灰	内外面回転撫で。壺の蓋。	
26	須恵器蓋		口縁部欠		①砂粒②にぶい黄③還元	天井部内面回転撫で。	
27	須恵器蓋		1/5	口径(14.0)	①細砂粒②浅黄③還元	天井部外面回転削り。	
28	須恵器蓋		口縁部片	口径(18.7)器高(3.5)	①砂粒②灰白③還元	器表荒れ。	
29	土師器器台		杯部下位、 脚部欠		①砂粒②明褐③酸化	内底器表荒れ、杯部裾に突出部あり。	
30	土師器高杯		杯部欠	底径14.9	①砂粒②明赤褐③酸化	脚部上位は粘土帯巻き、下位は粘土組積上げ。製作法が残る。	
31	土師器高杯		杯・脚接合部		①砂粒②明赤褐③酸化	脚部内面縦撫で。	
32	土師器高杯		脚部上位		①砂粒②橙③酸化	脚部内面に粘土組積上げ痕、膨らみ形状。	
33	土師器高杯		脚部上位		①砂粒②赤③酸化	脚部内面縦撫で。	
34	土師器高杯		脚部上位		①砂粒②赤③酸化	内面に粘土組積上げ痕。	
35	土師器高杯		脚部上位		①砂粒②明赤褐③酸化	杯部凸接合。	
36	土師器高杯		脚部上位		①砂粒②明赤褐③酸化	内面に粘土組積上げ痕。	
37	土師器高杯		杯・脚接合部		①砂粒②明赤褐③酸化	杯底部円盤状。	
38	土師器高杯		杯部片	口径(18.2)	①砂粒②橙③酸化	器表荒れ。	
39	土師器高杯		杯部1/2	口径22.0	①砂粒②褐③酸化	内底磨き、杯部凸接合。	
40	土師器高杯		杯底部のみ		①砂粒②橙③酸化	器表荒れ、二次火熱。	
41	土師器高杯		脚部片	底径(14.7)	①砂粒②明赤褐③酸化	器表荒れ。	
42	土師器高杯		杯部片		①砂粒②明赤褐③酸化	内底器表荒れ。	
43	土師器高杯		杯部片		①砂粒②明赤褐③酸化	杯部上半接合部あり。	
44	土師器高杯		杯部片		①砂粒②橙③酸化	杯部凸接合。	
45	土師器罎		口縁部欠	最大径	①砂粒②にぶい橙③酸化	外面削り。	
46	土師器罎		口縁部欠	最大径	①砂粒②灰黄褐③酸化	内底指頭撫で。	
47	土師器罎		口縁部片	口径(10.0)	①細砂粒②明赤褐③酸化	頸部内面横削り。	
48	土師器罎		口縁部欠		①砂粒②明赤褐③酸化	やや扁平。	
49	須恵器壺		体部～底部 1/2	底径(10.0)器高(11.5)	①細砂粒②赤灰③還元	外面・内底自然釉あり。	
50	須恵器壺		頸部片		①細砂粒②黄灰③還元	内面器表荒れ。高杯脚部の可能性。	
51	須恵器壺		体部～底部 1/5	底径(13.8)	①細砂粒②灰オリーブ③還元	内外面に自然釉あり。	
52	須恵器壺		体部～底部 1/6	底径(12.6)	①白色粒②にぶい黄橙③還元	体部外面下位回転削り。	
53	土師器壺		口縁1/2	口径(23.8)	①砂粒②にぶい橙③酸化	口縁部強い横撫で。	
54	土師器甕		口縁部片	口径(14.6)	①砂粒②明赤褐③酸化	体部外面非回転削り、薄い。	
55	土師器甕		口縁部片	口径(15.4)	①砂粒②明赤褐③酸化	口縁部外面粘土折り返しか。	
56	土師器甕		3/4	口径(18.9)底径4.4 器高26.1	①砂粒②明赤褐③酸化	外面粘土付着、二次火熱、底部不整五角形、外底砂付き、体部下位接合痕。	
57	土師器甕		1/5	口径14.2	①砂粒②明赤褐③酸化	頸部内面指頭撫で。	
58	土師器甕		口縁部片	口径(22.4)	①砂粒②橙③酸化	外面頸部まで削り、薄い。	
59	土師器甕		口縁部～ 体部片	口径19.3	①砂粒②にぶい黄橙③酸化	外面体部横削り。	
60	土師器甕		口縁部片	口径(17.0)	①砂粒②赤褐③酸化	内外面器表荒れ。	
61	須恵器甕		口縁部片	口径(12.9)	①白色粒②灰③還元	内外面横撫で。	
62	須恵器甕		口縁部片	口径(23.5)	①白色粒②灰③還元	小片、厚手。	
63	須恵器甕		口縁部片	口径(22.0)	①白色粒②灰③還元	小片。	
64	須恵器盤		底部		①白色粒②灰白③還元	円盤状。高台なし。	
65	須恵器甕		体部片		①砂粒②灰白③還元	内外面丁寧な撫で、内面当て具痕あり。	
66	土製品土錘		完形	長5.8幅2.8重37.9g 孔径0.6	①砂粒②にぶい黄褐③酸化		

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
67	土師器不明		把手のみ	底径1.4厚1.3	①細砂粒②にぶい黄褐③酸化	本体不明、現存長3.8。	
68	鉄製品刀子			長7.7幅1.4 厚0.6重6.8g			
69	瓦平瓦		破片	縦(16.1)横(7.6)厚1.9	①砂粒②にぶい黄橙③還元、酸化気味	布目、一端イキ。	
70	瓦平瓦		破片	縦(10.1)横(8.8)厚1.6	①砂粒②にぶい黄橙③還元	布目、板状圧痕。	

5区26号溝

1	須恵器杯		底部欠	口径(13.0)	①砂粒②にぶい褐③還元	口縁部強い横撫で。	
---	------	--	-----	----------	-------------	-----------	--

5区31号溝

1	須恵器杯		2/3	口径13.0底径6.6器高4.2	①白色粒②灰③還元	外底右回転糸切り。	
2	須恵器杯		1/4	口径12.8底径4.8器高4.6	①砂粒②灰白③還元	外底右回転糸切り。	
3	須恵器杯		底部片	底径(9.0)	①砂粒②灰白③還元	器表荒れ、外底右回転糸切り後削り。	
4	須恵器碗		底部	底径5.7	①砂粒②灰白③還元	内外面器表荒れ。	
5	土師器高杯		脚部		①砂粒②橙③酸化	内面に粘土紐接合痕あり。	
6	土師器高杯		杯部		①砂粒②橙③酸化	杯部外面指頭撫で。	

5区32号溝

1	土師器高杯		脚部		①砂粒②明赤褐③酸化	外面縦磨き、内面粘土紐接合痕。	
---	-------	--	----	--	------------	-----------------	--

6区13号溝

1	土師器壺?		口縁部片	口径(14.2)	①砂粒②明赤褐③酸化	鉢形か。	
---	-------	--	------	----------	------------	------	--

6区15号溝

1	須恵器杯		1/4	口径(12.8)底径(7.6)器高(3.4)	①砂粒②明赤褐③酸化	外底回転削り。	
2	青磁碗		小片		①精良②オリブ灰③還元	外面連弁文様、釉厚い。	

6区自然流路

1	須恵器杯		一部欠	口径13.0底径8.0器高3.4	①白色粒子②還元③灰黄褐	外底回転糸切り後回転削り。	
2	須恵器杯		2/3	口径12.7底径7.6器高3.7	①砂粒②還元③オリブ黒、灰黄	外底右回転削り。	
3	須恵器杯		2/3	口径(12.7)底径7.5器高3.5	①砂粒②酸化気味③にぶい黄	外底右回転糸切り後周縁削り。	
4	須恵器杯		2/3	口径(13.3)底径5.8器高4.0	①白色粒子②還元③にぶい黄	内底に付着物、外底右回転糸切り。	
5	須恵器杯		完形	口径12.6底径5.7器高4.7	①砂粒②還元③オリブ黒	外底右回転糸切り。	
6	須恵器杯		一部欠	口径12.0底径6.2器高3.5	①白色粒子②還元③にぶい橙、灰黄	内底に付着物、外面器表荒れ。	
7	須恵器杯		一部欠	口径12.7底径8.1器高3.6	①白色粒子②酸化③明褐	内外面器表荒れ。	
8	須恵器杯		略完	口径12.5底径5.0器高4.7	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り、内外面器表荒れ。	
9	須恵器杯		2/3	口径12.7底径4.2器高4.3	①砂粒②還元③灰黄褐	外底右回転糸切り。	
10	須恵器杯		2/3	口径12.2底径5.5器高3.8	①白色粒子②還元③灰	外底右回転糸切り。	
11	須恵器杯		2/3	口径(13.0)底径5.8器高4.9	①砂粒②還元③オリブ黒、にぶい黄橙	外底右回転糸切り。	
12	須恵器碗		3/4	口径13.4底径5.7器高6.9	①砂粒②還元③にぶい黄	外底右回転糸切り後高台貼付け。	
13	須恵器杯		一部欠	口径15.0底径7.2器高5.6	①砂粒②還元③灰黄褐	内底に付着物、外底回転糸切り。高台剥げか。	
14	須恵器皿		完形	口径13.6底径7.2器高2.9	①砂粒②還元③オリブ黒	内面に付着物、外底右回転糸切り後高台貼付け。内面漆か。	
15	須恵器皿		3/4	口径13.1底径7.4器高3.0	①砂粒②還元③にぶい黄褐	内面に付着物、外底回転糸切り後高台貼付け。	
16	土師器台付甕		脚台部欠	口径11.7	①砂粒②酸化③橙	口縁部強い横撫で、体部非回転削り。	
17	瓦塔		小片	厚1.2	①砂粒②酸化③橙	柱間1間、内面撫で。	初層
18	瓦塔		屋根	厚1.2	①細砂粒②酸化③にぶい赤褐	軒部。	
19	瓦塔		破片	厚1.2	①砂粒②酸化③橙	初層隅部。	初層
20	土製品紡錘車		孔径(0.8)	径(4.9)厚1.5重17.0g	②酸化③褐	全面丁寧な撫で。	
21	鉄製品釘			長3.4幅0.95厚0.7	鉄製品		

遺構外

1	土師器杯		口縁～底部破片	口径(11.7)底径(8.0)器高3.0	①粗砂②酸化③橙	外：口縁部横撫で。内：横撫で。	
2	土師器杯		1/3	口径(12.0)底径4.5器高2.7	①砂粒②酸化③明赤褐	外底非回転削り。	
3	黒色土器碗		底部片	底径(7.8)	①砂粒②酸化③外面橙、内面黒	高台欠、内面磨き。内黒土器。	
4	土師器甕		1/6,底部欠	口径(19.8)器高(17.0)	①砂粒②酸化③にぶい褐	頸部外面強い横撫で、口唇部凹線。	
5	土師器甕		口縁部破片	口径(20.1)	①粗砂、細礫②酸化③暗赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上位横位寛削り。内：口縁部横撫で。胴部撫で。	
6	土師器甕		口縁～胴部破片	口径(18.3)	①粗砂②酸化③赤褐	外：口縁部横撫で。胴部上位斜位の寛撫で。内：口縁部横撫で。胴部寛撫で。	
7	土師器甕		底部欠	口径(18.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	二次火熱	
8	土師器甕		底部欠	口径(17.2)器高(7.5)	①砂粒②酸化③にぶい橙	口唇部外面凹線。二次火熱?	
9	土師器台付甕		口縁～脚部ばば完形	口径12.5	①粗砂②酸化③暗赤褐	「コ」の字口縁。外：口縁部横撫で。胴部上～中位横・斜位のは寛削り。内：口縁部横撫で。胴部寛撫で。脚部内外面横撫で。	
10	土師器台付甕		略完	口径12.7底径9.2器高16.1	①砂粒②酸化③明赤褐	体部中位以下二次火熱。	
11	須恵器杯		口縁～底部ばば完形	口径12.6底径6.3器高3.8	①粗砂、細礫②還元③灰白	輪轆成形、右回転。底部回転糸切り。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
12	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径10.1底径5.8 器高2.9	①粗砂、黒色粒②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
13	須恵器杯		口縁～底部 1/2	口径(12.6)底径7.6 器高3.8	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形。底部回転削り。	
14	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径12.5底径5.6 器高3.9	①粗砂～中礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
15	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径12.6底径5.5 器高3.8	①粗砂②還元③灰・橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
16	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径12.7底径6.0 器高4.1	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
17	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径13.0底径6.3 器高3.9	①粗砂②還元③灰・橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
18	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径12.2底径6.3 器高3.4	①粗砂、白色粒②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
19	須恵器杯		口縁～底部 3/4	口径12.5底径6.0 器高4.0	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
20	須恵器杯		1/2	口径13.8底径6.4 器高4.4	①砂粒②酸化③橙	右回転系切り。	
21	須恵器杯		口縁～底部 完形	口径11.9底径6.2 器高3.8	①粗砂、細礫②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
22	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径12.3底径6.4 器高3.7	①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
23	須恵器杯		口縁～底部 1/4	口径(10.8)底径(5.5) 器高3.5	①粗砂②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。	
24	須恵器杯		口縁～底部 1/2	口径13.5底径7.3 器高3.2	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り。外面轆轤痕顕著。	
25	須恵器杯		口縁～底部 1/3	口径(11.8)底径(7.2) 器高3.2	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、周縁部回転削り。	
26	須恵器杯		口縁～底部 破片	口径(11.7)底径(6.6) 器高3.3	①粗砂②還元③暗青灰	轆轤成形。底部回転削り。	
27	黒色土器杯		口縁～底部 破片	口径(11.4)底径(6.0) 器高4.1	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形。内：磨き。黒色処理。	
28	須恵器杯		口縁～底部 破片	口径(12.2)底径(6.0) 器高(3.3)	①粗砂②半還元③にぶい黄橙	轆轤成形、右回転。	
29	黒色土器杯		体部片	底径(7.0)	①内面黒色②酸化③橙内黒	外面墨書「代」か。	墨書
30	須恵器碗		口縁～底部 ほぼ完形	口径14.0底径5.8 器高5.9	①粗砂②酸化③にぶい黄褐	轆轤成形。底部高台貼り付け。	
31	須恵器鉢か?		底部片	底径9.8	①白色粒子②還元③黄灰	外底右回転系切り後回転削り。	
32	須恵器杯		口縁～底部 ほぼ完形	口径12.8底径8.4 器高4.5	①粗砂～中礫、黒色粒②還元③青灰	轆轤成形、右回転。底部回転削り。内面横位の磨き。	
33	須恵器碗		口縁～底部 1/2	口径(14.2)底径7.6 器高5.9	①粗砂②還元③灰・橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
34	須恵器皿		口縁～底部 4/5	口径14.2底径6.4 器高2.7	①粗砂②還元③灰黄	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
35	須恵器皿		口縁～底部 4/5	口径14.0底径8.8 器高2.2	①粗砂、細礫②還元③暗灰	轆轤成形、右回転。底部回転削り後、高台貼り付け。	
36	須恵器碗		口縁～底部 2/3		①粗砂、細礫②還元③灰	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
37	須恵器蓋		1/4	口径(16.8) 摘み径3.0器高3.4	①砂粒②還元③灰黄	天井部外面回転削り。	
38	須恵器蓋		口縁～ 天井部1/3	口径(17.2) 摘み径3.1器高3.9	①粗砂②半還元③にぶい橙	轆轤成形、右回転。天井部回転削り。摘み部貼り付け。	
39	須恵器高杯		脚部片		①白色粒子②還元③灰	内外面横撫で。	
40	須恵器皿		口縁～底部 3/4	口径12.3底径5.9 器高2.8	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
41	須恵器皿		口縁～底部 3/4	口径(12.6)底径5.6 器高2.9	①粗砂②酸化③橙	轆轤成形、右回転。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
42	須恵器大甕		胸部破片		①粗砂～中礫②還元③灰	外：撫で。内：叩き目。撫で。	
43	須恵器杯		略完	口径12.7底径5.8 器高4.0	①白色粒子②還元③黄灰	内外面器表荒れ、外底右回転系切り。	
44	須恵器杯		2/3	口径(13.0)底径6.1 器高4.4	①砂粒②還元③にぶい橙	外底右回転系切り。	
45	須恵器杯		1/2	口径(13.3)底径(8.8) 器高4.9	①白色粒子②還元③黒	外底非回転削り。	
46	須恵器杯		3/4	口径13.0底径6.6 器高3.7	①砂粒②酸化③明赤褐	外底右回転系切り。	
47	須恵器杯		1/2	口径6.5底径6.2 器高4.1	①砂粒②還元③灰白	右回転系切り	
48	須恵器杯		略完	口径13.0底径5.0 器高5.0	①砂粒②還元③浅黄	外底右回転系切り。	
49	須恵器杯		1/2	口径(13.3)底径5.4 器高4.9	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転系切り	
50	須恵器杯		1/6	口径(13.6)底径(5.0) 器高5.0	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底右回転系切り	
51	須恵器杯		1/2	口径(12.1)底径(6.1) 器高3.1	①白色粒子②還元③灰	外底右回転系切り	
52	須恵器杯		略完	口径12.8底径5.0 器高4.5	①砂粒②酸化③浅黄	外底右回転系切り。二次火熱?	
53	須恵器杯		1/6	口径(13.0)底径(6.2) 器高4.8	①白色粒子②還元③灰	内外面器表荒れ	
54	須恵器杯		2/3	口径(12.5)底径7.7 器高3.1	①細砂粒②還元③灰	内外面器表荒れ、外底回転削り?	
55	須恵器碗		1/5	口径13.8底径6.9 器高5.9	①砂粒②還元③灰白	外底右回転系切り後高台貼り付け、器表荒れ。	

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
56	須恵器椀		完形	口径14.8底径6.6 器高6.0	①砂粒②酸化③橙	右回転糸切り後高台貼付け,器表荒れ。二次火熱か。	
57	須恵器椀		完形	口径14.6底径7.0 器高6.3	①砂粒②酸化③にぶい褐	右回転糸切り後高台貼付け。二次火熱か。	
58	須恵器椀		1/6	口径(14.1)底径(7.5) 器高5.9	①砂粒②還元③灰	器表荒れ。	
59	須恵器椀		完形	口径13.3底径5.7器 高4.7	①白色粒子②還元③灰	小石を含む,内外面回転撫で。	
60	須恵器椀		略完	口径14.2底径5.1 器高5.0	①白色粒子②還元③灰白	内外面器表荒れ。	
61	須恵器椀		略完	口径14.0底径6.2 器高5.4	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外底回転糸切り後高台貼付け。	
62	須恵器椀		1/5	口径(14.4)底径6.2 器高5.8	①砂粒②酸化③にぶい橙	二次火熱か。	
63	須恵器甕		体部上位	器高(6.4)	①砂粒②還元③灰	提瓶か。	
64	土師質羽釜		口縁部片	口径(18.8)	①砂粒②酸化③橙	内外面横撫で。	
65	須恵器壺		体部~底部	底径8.7器高(13.4)	①白色粒子②還元③灰	外面・内底自然釉あり,外底回転糸切り後高台貼付け。	
66	須恵器甕		底部片	底径(16.0)	①砂粒②還元③灰白	外底摩滅,無調整か。	
67	須恵器耳皿		1/5	器高2.2孔径0.4	①白色粒子②還元③灰白	底部に孔。	
68	須恵器耳皿		1/3	口径(10.0)底径(5.6) 器高1.9	①砂粒②還元③灰	底部中央に孔,孔径0.4,器表荒れ。	
69	須恵器不明			長(9.1)幅3.7厚3.8	①砂粒②還元③灰白	取っ手または獣足。	
70	土師器不明				①細砂粒②酸化③明赤褐	取っ手部。	
71	須恵器杯		完形	口径12.8底径5.3 器高4.8	①砂粒②還元③明黄褐	外底右回転糸切り。	
72	須恵器杯		1/2	口径(12.2)底径7.1 器高4.6	①砂粒②還元③明褐灰	外底回転削り,内底ヒビ。	
73	須恵器杯		1/2	口径(12.6)底径7.1 器高4.6	①砂粒②還元③灰黄褐	外底回転削り,右か。	
74	須恵器杯		2/3	口径(13.0)底径5.0 器高4.4	①砂粒②にぶい橙③還元	外底右回転糸切り。	
75	須恵器椀		1/2	口径16.1底径7.2 器高7.3	①砂粒②酸化③にぶい橙	外底右回転糸切り後高台貼付け。二次火熱。	
76	須恵器短頸壺		略完	口径9.9底径8.1 器高9.2	①白色粒子②還元③黒褐	外底右回転糸切り,体部下位外面非回転削り。	
77	土師器羽釜		底部欠	口径(20.0)	①砂粒②酸化③にぶい赤褐	体部内面回転撫で,外面非回転削り。	
78	灰釉陶器皿		1/3	口径(13.8)底径(6.3) 器高2.3	①精良②還元③灰白	内底摩滅。	大原2
79	灰釉陶器皿		1/5	口径(12.4)底径 (16.5)器高2.4	①精良②還元③褐灰	内底摩滅。	大原2
80	灰釉陶器耳皿?		底部片		①細砂粒②還元③灰白	外底回転糸切り。小片。	
81	灰釉陶器折縁皿		1/2	口径(14.5)底径6.8 器高3.3	①精良②還元③灰白	内底摩滅。	光ヶ丘、古
82	灰釉陶器椀		1/2	口径12.1底径5.6 器高4.0	①精良②還元③灰白	内底に重ね焼き痕。	
83	灰釉陶器長頸壺		頸胴部片		①砂粒②還元③明褐灰	外面肩部釉厚い,口唇部欠。	大原2
84	灰釉陶器長頸壺		底部片	底径(8.3)	①砂粒②還元③灰白	体部外面下半回転削り。	大原2
85	灰釉陶器椀		底部片	底径8.1器高(1.6)	①精良②還元③灰白	内底摩滅。	
86	須恵器壺		底部片	底径(12.0)	①白色粒子②還元③灰白	内底自然釉	
87	灰釉陶器短頸壺		底部片	底径(12.2)	①砂粒②還元③灰白	内底撫で,釉あり。	大原2
88	灰釉陶器小瓶		底部片	底径(6.5)	①砂粒②還元③灰白	体部外面下端凹線。	
89	灰釉陶器長頸壺		頸胴部片		①砂粒②還元③明褐灰	外面肩部釉厚い。	大原2
90	灰釉陶器皿		1/4	口径(12.5)底径(6.5) 器高2.7	①精良②還元③灰白	底部薄い。	大原2
91	奈良三彩		口縁部小片			釉剥げ。近世菊皿の可能性。	
92	瓦平瓦		小片	厚1.9	①砂粒②還元③灰	砂粒を含む。凹凸面とも器表荒れ。	
93	瓦平瓦		小片	厚1.6	①砂粒②還元③にぶい橙	砂粒を含む。一端イキ。凹面布目,凸面刷毛目状。	
94	土師質,磚か			厚3.8	①細砂粒②酸化③橙	現存面は撫で。	
95	瓦平瓦		小片	厚1.5	①砂粒②還元③灰	砂粒を含む。凹面布目,凸面刷毛目状。	
96	瓦平瓦		小片	厚1.6	①砂粒②還元③灰	砂粒を含む。二端イキ。凹面撫で,凸面刷毛目状。	
97	瓦軒丸		瓦当	厚1.5-2.0	①細砂粒②酸化③にぶい橙	細砂粒を含む。3片接合。	蓮弁8
98	瓦平瓦		小片	厚1.6	①白色粒子②還元③灰	白色粒子を含む。凹面布目,凸面撫で。	
99	瓦平瓦		小片	厚1.6	①砂粒②還元③灰	砂粒を含む。二端イキ。凹面布目,凸面撫で。	
100	瓦平瓦		小片	厚2.1	①砂粒②還元③灰	砂粒を含む。凹面布目,凸面撫で	
101	瓦平瓦		小片	厚3.3	①小石含②還元③にぶい黄橙	小石を含む。凹面布目,凸面荒れ	
102	瓦平瓦		小片	厚1.2	①砂粒②還元③灰	砂粒を含む。凹面布目,凸面平行叩き目	
103	瓦平瓦		小片	厚1.5	①砂粒②還元③灰黄褐	砂粒を含む。凹面布目,凸面平行叩き目。一端イキ	
104	瓦平瓦		小片	厚2.7	①砂粒②還元③にぶい黄橙	砂粒を含む。凹面布目,凸面撫で	
105	瓦平瓦		小片	厚1.5	①砂粒②還元③灰	小片,凹面布目,凸面櫛目状,二端イキ。	
106	瓦平瓦		小片	厚1.4	①砂粒②還元③黒	凹面布目,凸面撫で。	
107	埴輪不明		2片接合		①砂粒②酸化③にぶい橙	砂粒を含む。撫で,一面は平坦,瓦塔内部の補強材か。	
108	土製品紡錘車		1/4	厚2.5重26.9g	②酸化③赤褐	側面に文様。	
109	土製品紡錘車		1/6	厚2.5重24.8g	②酸化③にぶい黄橙,赤褐	全面丁寧な撫で。	
110	土製品紡錘車		小片	厚1.3重8.9g	②酸化③褐	丁寧な撫で。	
111	土製品紡錘車		1/3	径(6.6) 厚1.0	①粗砂②還元③暗灰		
112	石製品紡錘車		略完	厚0.9孔径0.4径2.0-3.1	蛇紋岩	擦痕あり。	
113	土製品土錘		1/2	孔径0.4	②酸化③にぶい橙	長3.3幅1.7重4.7g	分類E

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
114	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③橙	長4.0幅1.2重5.1g	分類F
115	土製品土鍾		略完	孔径0.2	②酸化③にぶい褐	長3.4幅0.95重3.0g	分類F
116	土製品土鍾		一部欠	孔径0.25	②酸化③にぶい黄橙	長3.7幅1.3重5.1g	分類D
117	土製品土鍾		略完	孔径0.2	②酸化③橙	長3.8幅1.1重3.5g	分類C
118	土製品土鍾		一部欠	孔径0.55	②酸化③にぶい橙	長3.0幅1.1重2.8g	分類F
119	土製品土鍾		1/3	孔径0.3	②酸化③にぶい橙	長2.4幅0.95重2.2g	分類F
120	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③橙	長3.2幅1.1重3.9g	分類F
121	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③にぶい黄橙	長3.6幅0.9重2.1g	分類F
122	土製品土鍾		一部欠	孔径0.3	②酸化③にぶい橙	長4.25幅1.2重4.5g	分類F
123	土製品土鍾		一部欠	孔径0.25	②酸化③にぶい黄橙	長4.3幅1.6重6.2g	分類D
124	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③にぶい褐	長4.2幅1.6重8.1g	分類F
125	土製品土鍾		略完	孔径0.2	②酸化③橙	長3.7幅1.6重8.47g	分類F
126	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③にぶい黄橙	長4.5幅1.8重15.4g	分類B
127	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③にぶい褐	長4.3幅1.6重10.2g	分類C
128	土製品土鍾		略完	孔径0.35	②酸化③にぶい黄橙	長4.1幅1.8重12.4g	分類C
129	土製品土鍾		略完	孔径0.2	②酸化③明褐灰	長4.8幅1.8重14.4g	分類B
130	土製品土鍾		略完	孔径0.35	②酸化③にぶい黄褐	長4.65幅1.75重15.7g	分類B
131	土製品土鍾		1/2	孔径0.4	②酸化③にぶい黄橙	長4.5幅2.0重14.0g	分類C
132	土製品土鍾		一部欠	孔径0.4	②酸化③浅黄橙	長4.2幅1.9重12.3g	分類B
133	土製品土鍾		1/2	孔径0.5	②酸化③にぶい黄	長4.1幅2.0重14.3g	分類A
134	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③にぶい褐	長5.2幅2.1重16.3g	分類A-2
135	土製品土鍾		破片	孔径0.6	①粗砂②酸化③暗灰	長3.0幅1.9重4.65g	分類A
136	土製品土鍾		1/2	孔径0.3	②酸化③にぶい黄橙	長3.4幅1.9重6.1g	分類A
137	土製品土鍾		1/4	孔径0.6	②酸化③黒褐	長3.6幅2.3重12.0g	分類A
138	土製品土鍾		1/4	孔径0.4	②酸化③にぶい黄橙	長3.3幅2.1重6.5g	分類A-2
139	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③明褐灰	長3.3幅2.2重11.8g	分類B
140	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③にぶい黄橙	長4.3幅2.0重15.29g	分類C
141	土製品土鍾		略完	孔径0.65	②酸化③黒褐	長4.9幅2.2重19.1g 大きめ。	分類A-2
142	土製品土鍾		略完	孔径0.35	②還元③黄灰	長4.9幅2.0重19.4g 灰色系。	分類C
143	土製品土鍾		略完	孔径0.8	②酸化③にぶい黄橙	長4.7幅2.1重16.4g 大きめ。	分類C
144	土製品土鍾		略完	孔径0.45	②酸化③橙	長4.8幅1.9重14.1g	分類A-2
145	土製品土鍾		2/3	孔径0.5	②酸化③にぶい黄褐	長4.5幅1.8重13.8g	分類C
146	土製品土鍾		1/2	孔径0.6	②酸化③黄灰	長4.6幅2.3重10.8g 大きめ。	分類A-2
147	土製品土鍾		1/2	孔径0.6	②酸化③にぶい黄	長4.45幅2.2重11.2g	分類A
148	土製品土鍾		1/4	孔径0.7	②酸化③灰黄褐	長3.9幅2.7重13.2g	分類A
149	土製品土鍾		1/2	孔径0.5	②酸化③褐灰	長3.4幅2.3重10.9g	分類A
150	土製品土鍾		1/2	孔径0.5	②酸化③オリーブ黒	長3.3幅2.0重12.4g	分類C
151	土製品土鍾		略完	孔径0.9	②酸化③にぶい黄橙	長4.65幅2.2重20.2g	分類C
152	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③褐灰	長4.6幅2.1重20.0g	分類C
153	土製品土鍾		1/2	孔径0.5	②酸化③黒褐	長4.6幅2.3重18.8g	分類A
154	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.5幅2.5重29.8g 大きめ。	分類A-2
155	土製品土鍾		両端欠	孔径0.6	②酸化③にぶい褐	長4.6幅2.4重17.9g	分類A
156	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長4.9幅2.5重26.5g 大きめ。	分類A-2
157	土製品土鍾		略完	孔径0.8	②酸化③灰黄褐	長5.1幅2.3重22.7g	分類C
158	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③にぶい黄褐	長5.1幅2.0重26.5g	分類A-2
159	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③にぶい橙	長4.6幅2.5重24.6g	分類A-2
160	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③褐灰	長4.8幅2.2重19.2g	分類I
161	土製品土鍾		両端欠	孔径0.6	②酸化③橙	長4.7幅2.4重22.4g	分類A
162	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長5.2幅2.3重24.1g 大きめ。	分類A-2
163	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長4.9幅1.8重17.9g	分類C
164	土製品土鍾		一部欠	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長4.8幅2.5重29.1g	分類A
165	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③黒褐	長5.4幅2.2重22.7g	分類D
166	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③灰黄褐	長4.8幅2.1重18.1g	分類D
167	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.1幅2.0重16.1g	分類C
168	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③浅黄	長4.9幅2.4重21.4g	分類A-2
169	土製品土鍾		略完	孔径0.55	②酸化③橙	長5.9幅2.3重22.1g	分類H
170	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③にぶい橙	長4.1幅2.0重17.3g	分類C
171	土製品土鍾		略完	孔径0.55	②酸化③黒褐	長5.9幅2.3重23.7g	分類H
172	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③橙	長5.6幅2.5重30.6g	分類A-2
173	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③灰黄褐	長5.4幅2.3重24.7g	分類A-2
174	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③黒褐	長5.8幅2.4重28.5g 大きめ。	分類A
175	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③浅黄橙	長5.3幅2.6重25.6g	分類A
176	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長5.9幅2.8重37.9g 大きめ。	分類A-2
177	土製品土鍾		両端欠	孔径0.35	②酸化③橙	長6.9幅2.1重21.8g 大きめ。	分類A
178	土製品土鍾		1/4	孔径0.4	②酸化③橙	長5.2幅1.9重13.3g	分類C
179	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③にぶい褐	長4.9幅2.3重30.0g	分類B
180	土製品土鍾		完形	孔径0.6	①粗砂②酸化③橙	長6.1幅2.5重28.95g 側面に貫通する孔を穿つ。	分類A
181	土製品土鍾		一部欠	孔径0.35	②酸化③橙	長5.3幅2.1重20.9g	分類C
182	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長5.6幅2.5重29.4g 大きめ。	分類A-1
183	土製品土鍾		略完	孔径0.65	②酸化③にぶい橙	長5.7幅2.7重33.6g 大きめ。	分類A
184	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③黄灰	長6.7幅2.4重37.7g 大きめ。	分類A
185	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③にぶい黄	長5.8幅2.8重36.5g	分類A
186	土製品土鍾		両端欠	孔径0.7	②酸化③にぶい黄橙	長5.2幅2.7重30.7g 大きめ。	分類A
187	土製品土鍾		一部欠	孔径0.8	②酸化③にぶい黄褐	長6.9幅2.15重36.9g 大きめ。	分類A-2
188	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③灰白	長7.3幅3.2重51.9g 大きめ。	分類A-2
189	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③灰黄褐	長7.1幅2.5重42.9g 大きめ。	分類C
190	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長6.3幅2.1重50.3g 大きめ。	分類A-1

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
191	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③橙	長5.9幅2.9重45.4g 大きめ。	分類A
192	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③橙	長6.2幅2.95重42.4g 大きめ。	分類A-2
193	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③にぶい黄橙	長6.1幅3.0重40.9g 大きめ。	分類A-2
194	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③灰黄褐	長6.6幅2.95重44.0g 大きめ。	分類A-2
195	土製品土鍾		一部欠	孔径0.6	②酸化③灰黄褐	長5.7幅2.3重31.9g	分類A
196	土製品土鍾		一部欠	孔径0.7	②酸化③にぶい橙	長7.3幅2.95重43.7g 中央太い。	分類A-1
197	土製品土鍾		1/2	孔径0.6	②酸化③にぶい橙	長6.75幅2.7重19.7g	分類A
198	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③浅黄橙	長7.0幅3.0重43.0g 大きめ。	分類A
199	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③明褐灰	長5.5幅2.4重28.4g	分類A
200	土製品土鍾		略完	孔径0.6×0.8	②酸化③にぶい黄褐	長5.7幅2.8重37.3g 大きめ。	分類A
201	土製品土鍾		一部欠	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.2幅3.1重30.2g	分類A
202	土製品土鍾		一部欠	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長5.2幅3.4重37.8g 大きめ。	分類A
203	土製品土鍾		一部欠	孔径0.6	②酸化③にぶい黄橙	長6.1幅2.7重37.2g	分類A
204	土製品土鍾		完形	孔径0.6	②酸化③灰黄褐	長5.4幅2.6重23.8g	分類A
205	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③褐灰	長6.1幅2.4重26.3g	分類A
206	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③にぶい黄橙	長7.5幅2.2重32.6g	分類A-2
207	土製品土鍾		略完	孔径0.6	②酸化③にぶい黄橙	長6.6幅2.3重28.7g	分類A-2
208	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③にぶい橙	長5.7幅2.6重33.2g	分類A-2
209	土製品土鍾		1/2	孔径0.7	②酸化③にぶい褐	長5.1幅2.7重14.6g	分類A
210	土製品土鍾		完形	孔径0.6	②酸化③にぶい黄橙	長5.5幅2.1重17.3g	分類A-2
211	土製品土鍾		略完	孔径0.7	②酸化③にぶい褐	長4.6幅2.2重19.5g	分類C
212	土製品土鍾		完形	孔径0.55	②酸化③にぶい橙	長5.5幅2.55重24.0g	分類A-1
213	土製品土鍾		一部欠	孔径0.7	②酸化③橙	長5.5幅2.4重21.7g	分類A-2
214	土製品土鍾		一部欠	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.6幅2.2重25.8g	分類C
215	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.7幅2.1重18.0g	分類C
216	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③橙	長4.6幅2.0重13.8g	分類C
217	土製品土鍾		一部欠	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長4.8幅2.3重24.0g	分類B
218	土製品土鍾		一部欠	孔径0.4	②酸化③橙	長4.7幅2.2重21.0g	分類A
219	土製品土鍾		一部欠	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.1幅2.1重21.5g	分類A-2
220	土製品土鍾		1/2	孔径0.65	②酸化③黒褐	長4.45幅2.3重13.3g	分類A-1
221	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.0幅2.0重15.4g	分類A
222	土製品土鍾		完形	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長4.7幅1.9重18.0g	分類E
223	土製品土鍾		完形	孔径0.4	②酸化③浅黄橙	長3.9幅1.9重16.2g	分類E
224	土製品土鍾		完形	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長4.1幅2.0重15.6g	分類D
225	土製品土鍾		1/4	孔径0.65	②酸化③にぶい褐	長3.8幅2.2重9.2g	分類A
226	土製品土鍾		1/3	孔径0.65	②酸化③灰黄褐	長3.6幅2.2重7.8g	分類不明
227	土製品土鍾		一端欠	孔径0.45	②酸化③灰褐	長4.6幅1.9重13.0g	分類D
228	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③褐灰	長4.7幅1.9重16.3g	分類E
229	土製品土鍾		一部欠	孔径0.4	①砂粒②酸化③橙	長3.8幅1.7重7.5g	分類E
230	土製品土鍾		1/2	孔径0.5	②酸化③にぶい褐	長(3.8)幅2.4重22.4g	分類不明
231	土製品土鍾		両端欠	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長(5.2)幅2.2重21.2g	分類D
232	土製品土鍾		1/4	孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙	長(3.9)幅2.3重9.9g 縦割れ。	分類A
233	土製品土鍾		略完	孔径0.3	②酸化③にぶい黄橙	長4.1幅1.4重7.5g	分類F
234	土製品土鍾		略完	孔径0.2	②酸化③にぶい橙	長4.1幅1.3重6.0g	分類F
235	土製品土鍾		略完	孔径0.5	②酸化③にぶい橙	長4.5幅1.75重14.9g	分類C
236	土製品土鍾		略完	孔径0.35	②酸化③にぶい黄橙	長4.6幅1.5重8.7g	分類F
237	土製品土鍾		完形	孔径0.35×0.5	②酸化③にぶい黄橙	長5.6幅1.8重18.0g	分類E
238	土製品土鍾		1/2	孔径0.6	②酸化③にぶい褐	長4.7幅2.3重12.2g	分類A
239	土製品土鍾		完形	孔径0.4	②酸化③にぶい黄橙	長4.45幅1.8重14.0g	分類C
240	土製品土鍾		略完	孔径0.4	②酸化③にぶい橙	長3.75幅1.8重8.8g	分類E
241	土製品土鍾		1/2	孔径-	②酸化③にぶい黄橙	長3.7幅2.1重8.0g	分類B
242	土製品土鍾		一部欠	孔径0.4	②酸化③にぶい橙	長4.2幅1.5重9.7g	分類C
243	土製品土鍾		一部欠	孔径0.3	②酸化③橙	長3.2幅1.1重3.9g	分類F
244	土製品土鍾		一部欠	孔径0.35	②酸化③にぶい橙	長3.3幅1.25重4.4g	分類F
245	土製品土鍾		略完	孔径0.4×0.45	②酸化③にぶい黄橙	長3.6幅1.05重3.9g	分類F
246	土製品土鍾		一部欠	孔径0.3	②酸化③灰黄褐	長4.3幅1.5重9.4g	分類F
番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)		成・整形技法の特徴	備考
247	鉄製品紡錘車		略完	長19.3幅6.2厚0.6重39.0g		鉄製品。	
248	鉄製品釘			長5.7幅1.1厚0.5重7.3g		鉄製品。	
249	鉄製品鎌茎か			長6.1幅0.5厚0.55重3.1g		鉄製品。	
250	鉄製品釘か			長4.45幅0.9厚0.75重5.4g		鉄製品。	
251	鉄製品釘か			長4.7幅0.7厚0.6重3.3g		鉄製品。	
252	鉄製品釘か			長5.2幅1.0厚0.75重7.4g		鉄製品。	
253	鉄製品刀子		茎欠	長4.7幅1.2厚0.2重5.7g		刀身。鉄製品。	
254	鉄製品刀子		茎欠	長3.3幅0.9厚0.2重1.2g		刀身。鉄製品。	
255	鉄製品不明			長4.7幅1.2厚0.5重8.2g		刀子?鉄製品。	
256	鉄製品刀子茎?			長2.8幅1.0厚0.3重1.5g		鉄製品。	
257	鉄製品釘か			長4.4幅0.9厚0.5重8.6g			
258	鉄製品釘か			長5.5幅0.8厚0.6重3.7g		木質あり、断面方形。	
259	鉄製品釘			長5.2幅1.1厚0.6重6.6g		鉄製品。	
260	鉄製品鎌か			長9.4幅1.1厚0.5重11.9g		茎か。鉄製品。	
261	鉄製品釘か茎			長2.7幅0.7厚0.5重1.3g		鉄製品。	
262	鉄製品釘か茎			長2.9幅0.8厚0.9重2.7g		鉄製品。	
263	鉄製品鎌茎か			長3.6幅0.5厚0.7重9.1g		鉄製品。	
264	鉄製品釘か			長3.6幅0.8厚0.7重3.7g		鉄製品。	
265	鉄製品鎌茎か			長4.5幅0.6厚0.6重10.4g		茎か。鉄製品。	
266	鉄製品鎌		略完	長16.8幅2.0厚0.8重15.9g		鉄製品。	

267	鉄製品鎌			長8.5幅1.7厚0.6重9.1g	鉄製品。
268	鉄製品鎌か			長4.8幅2.5厚0.6重6.2g	鉄製品。
269	鉄製品鎌			長7.3幅2.4厚0.4重5.1g	先端欠。鉄製品。
270	鉄製品鉈か			長5.4幅2.3厚1.2重28.6g	錆フクレ著しい。鉄製品。
271	鉄製品釘			長7.3幅0.9厚0.6重5.8g	鉄製品。
272	鉄製品鎌か			長6.0幅3.2厚0.9重15.1g	鉄製品。
273	鉄製品鎌か			長6.6幅1.6厚0.9重13.0g	鉄製品。
274	鉄製品鎌茎か釘			長5.7幅0.9厚0.7重8.2g	鉄製品。

中・近世

3区1号井戸

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器甕		頸部片		①白色粒子②還元③灰	外面自然釉。	
2	土製品土鍾		略完	長5.5幅2.6重27.1g	①砂粒②酸化③にぶい橙		

5区3号土坑

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器高杯		脚部		①細砂②酸化③にぶい赤褐	外面縦ミガキ、内面粘土継接合痕。二次火熱か。	

3区1号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯		底部片	底径5.0	①白色粒②還元③灰白	内外面器表荒れ。	
2	須恵器甕		体部片		②灰③還元	外面平行叩き目後撫で、内面同心円当てて具。	

3区2号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀		略完	口径(12.9)底径8.2器高4.5	①白色粒②還元③灰白	外底右回転削り後高台貼付け。	
2	須恵器椀		底部片	底径(6.4)	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底右回転系切り後高台貼付け。	
3	須恵器長頸壺		底部片		①砂粒②還元③暗灰黄	高台欠、内外面回転撫で。	
4	灰釉陶器壺		体部下位	底径(5.7)	①精良②還元③灰白	内底に灰釉。	
5	鉄製品茎か			長3.2幅0.7厚0.6重2.1g			
6	須恵器双耳杯		耳部	厚0.7	①白色粒②還元③灰	本体なし。	
7	土師器埴		口縁部	口径(13.8)	①砂粒②酸化③橙	内面撫で、外面工具痕。	
8	古銭祥符元宝			外径2.1内径0.5厚0.1重2.5g			
9	土製品土鍾		略完	長3.2幅2.2孔径0.4重14.7g	②酸化③にぶい黄橙		
10	土製品土鍾		略完	長4.9幅2.0孔径0.4重22.7g	②酸化③灰黄褐		
11	土製品土鍾		略完	長5.8幅2.5孔径0.5重31.4g	②酸化③にぶい褐		

3区3号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器盤か		底部	底径(13.8)	①砂粒②還元③黄灰	外底右回転削り後高台貼付け。	
2	須恵器高台付皿		高台一部欠	口径(12.8)底径(6.6)	①細砂粒②還元③灰黄	内外面器表荒れ。	
3	土製品土鍾		1/4	底径1.3孔径0.5重6.9g	②酸化③黒褐	割れ口も黒色。	
4	鉄製品鎌茎か			長5.0幅0.6厚0.6重3.8g			
5	鉄製品鎌or刀子			長7.7幅1.5厚0.45重8.2g			

3区4号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	古銭宣和通宝(篆)			外径2.4内径0.75厚0.1重2.9g			銅製品。
2	古銭祥符通宝			外径2.4内径0.65厚0.1重3.3g			銅製品。

3区5号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土製品土鍾		略完	長4.3幅1.6孔径0.2重11.9g	②酸化③明黄褐		

3区6号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀		底部	底径6.4	①砂粒②還元③灰黄	回転系切り後高台貼付け。	
2	鉄製品釘or茎			長7.1幅1.2厚0.8重16.2g			
3	土製品土鍾		1/2	長4.2幅2.4孔径0.7重25.4g	②酸化③にぶい黄橙		
4	土製品土鍾		2/3	幅2.3孔径0.6重16.9g	②酸化③にぶい黄橙		
5	土製品土鍾		1/4	幅2.1孔径0.5重8.0g	②酸化③にぶい黄橙		
6	須恵器杯		1/2	口径(12.8)底径6.0器高3.6	①白色粒②還元③黄灰	外底右回転系切り。	
7	須恵器椀		底部片	底径6.0	①砂粒②還元③黄灰	回転系切り後高台貼付け。	
8	須恵器杯		1/4	底径5.0器高3.2	①砂粒②酸化③橙	外底右回転系切り。	
9	須恵器椀		底部	底径6.4	①砂粒②還元③灰黄	回転系切り後高台貼付け。	
10	黒色土器杯		体部片		①細砂粒②還元③浅黄	内面黒色、磨きあり。	
11	須恵器甕		体部片		①砂粒②還元③灰	外面格子叩き目、内面同心円当てて具。	
12	須恵器高杯		脚部		①白色粒②還元③灰オリーブ	杯部との接合部。	
13	須恵器門面靦		脚部片	底径14.8	①白色粒②還元③灰黄	長方形透かしをもつ、縦線刻みあり。	
14	須恵器双耳杯		耳部		①砂粒②還元③灰黄	本体なし。	
15	土師器甕		口縁部片		①砂粒②酸化③橙	頸部外面に強い横撫で。	
16	土師器甕		口縁部	口径(20.0)	①砂粒②酸化③にぶい橙	頸部外面に強い横撫で。	
17	瓦軒丸瓦		周縁部		①砂粒②還元③灰オリーブ	瓦当周縁部か。	
18	瓦		破片	厚1.7	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	外面刷毛目、内面撫で。	
19	灰釉陶器椀		底部片	底径(7.4)	①精良②還元③にぶい黄橙	内底摩滅、内外面灰釉。	
20	土製品紡錘車		1/4	上径5.4下径4.8厚2.6重18.6g	②酸化③橙		
21	土製品紡錘車		1/4	上径5.0下径3.4厚2.4重16.0g	②酸化③にぶい橙		
22	石製品巡方		1/2	長4.2幅3.5厚0.6重18.4g	斜長石岩?	裏面に2ヶ所糸通し穴残存。	

## 4区5号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀		底部	口径19.0器高6.3	①砂粒②酸化③にぶい橙	右回転糸切り。	

## 4区10号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器椀		1/4	口径(12.9)底径(5.8)	①砂粒②還元③灰白	外底回転糸切り後高台貼付け。高台剥げ。	
2	須恵器椀		1/4	口径(15.0)底径(8.4)器高6.4	①白色粒子②還元③灰黄褐	内外面器表荒れ。	
3	土製品土鍾		略完	長4.8幅1.8重16.0g孔径0.2	②酸化③にぶい黄橙	孔が細い。	

## 4区11号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	瓦平瓦		小片	厚1.9	①白色粒子②還元③灰	凹面布目、凸面平行叩き目。	
2	須恵器椀		1/5	底径(6.3)	①砂粒②酸化③にぶい褐	内外面器表荒れ。	
3	土製品土鍾		両端欠	長(4.2)幅2.0重15.3g孔径0.5	②酸化③にぶい橙		
4	土製品土鍾		略完	長3.9幅1.3重さ6.4g孔径0.3	②酸化③橙		

## 4区12号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯		1/2	口径(11.6)底径5.8器高4.0	①砂粒②還元③灰	外底右回転糸切り、内底墨書「得」。	墨書
2	須恵器杯		1/5	口径(12.4)底径(6.0)器高3.7	①白色粒子②酸化③明黄褐	内外面器表荒れ。	
3	須恵器椀		1/4	底径(6.8)	①砂粒②還元③灰黄褐	外底回転糸切り後高台貼付け。高台剥げ。	
4	須恵器椀		1/3	底径6.8	①砂粒②還元③浅黄	内外面器表荒れ。	
5	灰釉陶器壺		底部片	底径(8.2)	①精良②還元③灰白	内底釉あり。	
6	土製品土鍾		略完	長5.4幅2.4重さ27.3g孔径0.5	②酸化③にぶい黄橙		
7	鉄製品釘か茎			長3.7幅0.5厚0.4重8.3g			
8	鉄製品釘			長6.0幅0.8厚0.75重11.3g		断面方形。	
9	鉄製品釘か			長4.2幅1.2重4.4g			

## 4区20号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器甕		体部片		①砂粒②還元③灰	外面平行叩き目後撫で、内面同心円当て具痕。	

## 4区35号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器卍		口縁部欠	器高(8.3)	①細砂粒②酸化③にぶい黄橙	内外面器表荒れ。	

## 5区10号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯		完形	口径14.4底径5.8器高4.6-5.8	①砂粒②還元③灰オリーブ	内外面器表荒れ、歪みあり。内面漆か。	
2	須恵器蓋		口縁部片	口径17.4	①砂粒②還元③灰	身受けあり。	
3	須恵器杯		底部	底径8.2	①白色粒②還元③灰白	外底右回転削り。	
4	須恵器杯		1/6	口径(12.6)	①白色粒②還元③灰	小片、外底回転糸切り。	

## 5区17号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器杯		1/4	口径(12.6)底径(7.1)器高3.5	①白色粒②還元③灰	外底右回転糸切り。	
2	須恵器椀		底部	底径9.5	①砂粒②還元③にぶい黄橙	外底器表荒れ。	
3	土師器高杯		杯部欠	底径(15.2)	①砂粒②酸化③橙	脚部彫れる。	
4	瓦		破片		②還元③灰	凹面布目あり、瓦?	
5	瓦塔屋根			厚0.75	①砂粒②酸化③褐	降り棟部か。	

## 5区25号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	石製品五輪塔空風輪		略完	長26.0径15.6重9150g	粗粒輝石安山岩	歪みあり。	
2	青磁不明		小片		②明緑灰③還元	釉に貫入あり。器形不明。釉厚い。	
3	土師器甕		口縁部	口径(21.8)	①砂粒②酸化③にぶい褐	内面丁寧な撫で。	
4	土師器器台or高杯		杯・脚接合部		①砂粒②酸化③明赤褐	杯部内底荒れ、杯部上位との接合痕あり。	

## 6区2号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	瓦十能瓦		破片	厚1.1	②灰黄褐③還元	型作りか。内部黒色、外面白色。	
2	石製品硯		一端欠	幅4.8厚1.3重107.0g	頁岩	二面硯か、片面に掘り込みノミ痕あり。	
3	鉄銭		完形	径2.3径2.7厚0.3重2.9g 孔径0.6			

## 6区3号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器提瓶		体部片		①砂粒②還元③にぶい黄橙	回転削り+非回転削り。	
2	土師器壺		体部-底部	底径(3.0)	①砂粒②酸化③にぶい黄橙	底部径3cmの窪み。	
3	須恵器甕		体部片	厚0.8	①細砂粒②還元③灰	外面平行叩き目後撫で後カキ目、内面同心円当て具痕。	
4	土師器壺		口縁部片	口径(19.0)	①砂粒②酸化③橙	頸部内面に指頭撫で。	
5	土師器甕		口縁部片	口径(13.6)	①砂粒②酸化③にぶい橙	薄い。	
6	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③橙	脚部内面指頭撫で。杯部底部小片接合。	
7	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③赤褐	脚部内面指頭撫で。	
8	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③赤褐	脚部外面縦削り。	

## 6区8号溝

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器提瓶		体部片		①砂粒②還元③黄褐	丸みある体部片。	
2	土師器壺		口縁部片	口径(18.8)	①砂粒②酸化③明褐	外面屈曲。	
3	土師器小型甕		口縁部～体部片	口径(9.4)	①砂粒②酸化③橙	体部内面指頭撫で。	
4	土師器高杯		杯部略完	口径17.4	①細砂粒②酸化③橙	内面縦磨き、外面縦削り。	



番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
5	土師器高杯		脚部片	底径(13.0)	①砂粒②酸化③橙	外面縦削り、縦磨き。	
6	土師器高杯		口縁部片	口径(18.8)	①細砂粒②酸化③明黄褐	口唇部薄く尖る。内面赤彩か。	
7	土師器高杯		口縁部片	口径(18.6)	①砂粒②酸化③にぶい黄褐	内面横磨き。	
8	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③橙	外面縦削り。	
9	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③明褐	外面縦削り。	
10	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③明赤褐	外面縦削り、杯部凸接合。	
11	土師器高杯		脚部片		①砂粒②酸化③にぶい赤褐	外面縦撫で。	
12	土師器甕		底部片	底径(7.0)	①砂粒②酸化③明褐	外面削り。	
13	石製品紡錘車		完形	径3.9厚0.6孔径0.6重12.6g	蛇紋岩	両面に擦れた跡。	
14	土師器甕		体部片	厚1.5	①砂粒②橙③酸化	外面平行叩き目、内面丁寧な撫で、須恵器甕の酸化焼成か。	

遺構外

番号	種別	出土位置	部位・残存	法量(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形技法の特徴	備考
1	龍泉窯系青磁碗	1区495トレンチ	口縁部片	口径(13.8)	②還元③オリープ灰	外面線描き蓮文。花卉先端のみ見える。貫入。	青磁碗B4類
2	龍泉窯系青磁碗	4区375-345	口縁部片	口径(15.8)	②還元③オリープ灰	外面篋彫り無篋蓮弁文。外面に石ハゼ状の亀裂あり。	青磁碗B2類
3	龍泉窯系青磁碗		胴部片		②還元③灰オリープ	粗い貫入あり。外面篋蓮弁文。	青磁碗B1類
4	龍泉窯系青磁碗	6区365-300	口縁部片	口径(14.8)	①精良②還元③オリープ灰	外面篋蓮弁文。	青磁碗B1類
5	龍泉窯系青磁碗	4区430-450	底部片	底径(6.4)	①精良②還元③灰オリープ	内面から高台外面施釉。内底片彫りによる施文。釉の発色悪い。12世紀後半～14世紀。	
6	龍泉窯系青磁碗	4区385-355	底～胴部片	底径(5.4)	①精良②還元③緑灰	高台端部を除き厚く施釉後、高台端部付近削る。ごく粗い貫入。内面片彫りによる施文。外面無文。高台端部鉄足。体部丸味を帯びる。13世紀後半～14世紀。	
7	龍泉窯系青磁碗	6区クリッド360-315	体部片		①精良②還元③灰オリープ	貫入あり。外面篋蓮弁文。	青磁碗B1類
8	龍泉窯系青磁碗		体部片		①精良②還元③灰オリープ	篋蓮弁文。13世紀中葉～14世紀前半。	
9	中国白磁碗	5区490-390	体部片		①精良②還元③灰白	粗い貫入あり。内面櫛書文。11世紀後半～12世紀後半。	白磁碗VII類か
10	中国白磁碗	1区475トレンチ	口縁部小片		①精良②還元③灰白	口縁部小さく外反し、端部平坦。12世紀後半。	白磁碗VII類
11	中国白磁皿	1区495トレンチ	底～口縁片	口径(8.8)底径(4.4)器高(2.0)	①精良②還元③灰白	抉り高台。内面重ね焼痕。全面施釉葉。14世紀後半～15世紀。	小野分類白磁皿B群
12	中国染付皿	1区495トレンチ	底部片	底径(6.0)	①精良②還元③明青灰	内面2重線内に花卉文。基筒底状で端部内外面篋削り。粗い貫入。15世紀後半～16世紀前。	染付皿C群
13	中国染付皿	1区495トレンチ	底部小片	底径(6.6)	①精良②還元③明緑灰	高台内染付あり。内面染付。16世紀後半～17世紀前半か。	
14	古瀬戸水注か	4区390-380	体部片		①精良②還元③灰	部分的に薄く灰釉。横位凸帯、縦位に刻線。12世紀末～13世紀初。	古瀬戸前I期
15	瀬戸・美濃陶器端反皿	1区495トレンチ	口縁部小片		①黄白、ザックリ②還元③オリープ黄	口縁部外湾。灰釉。貫入。15世紀末～16世紀前。	大窯1期
16	古瀬戸大皿か	6区クリッド360-305、360-310	体部片		①黄②還元③灰白	灰釉。14世紀後～15世紀初。	古瀬戸後IかII期
17	製作地不詳陶器碗		3/4	口径7.9底径3.1器高4.3	②還元③灰	外面に小さく花卉状の小文様を1箇所上給付けする。内部は雄しべ？は黒、花卉は緑。全体に細かい貫入。江戸時代以降。	
18	瀬戸・美濃陶器灯明受皿		1/5	口径(9.2)底径(4.2)器高(1.5)	②還元③褐	錆釉。体部外面以下釉を拭う。19世紀中～後半。	
19	瀬戸・美濃陶器片口鉢	3区460-520	口縁部片	口径(13.8)	②還元③オリープ黄	内外面灰釉。口縁部外面凹線1条。19世紀前～中葉。	
20	肥前磁器碗	3区435-525	1/8	口径(9.8)	②還元③灰	波佐見系。梅の折れ枝と雪輪文。18世紀後半～19世紀前。	
21	肥前磁器碗			口径(10.0)	②還元③灰	波佐見系。梅の折れ枝文。18世紀中～後半。	
22	在地系土器不詳	3区435-500、440-500	底部片	底径(26.0)	②還元③オリープ黒	器表黒灰色。胎土鈍い黄橙、褐灰色のサンドイッチ状。底部外面と体部下位回転削り痕。江戸時代以降。	
23	肥前磁器碗		底部片		②還元③灰	波佐見系。蛇の目刺剥ぎ。見込み五弁花コンニャク印判。18世紀後半～19世紀前。	
24	鉄製品鉄砲弾丸		略完形	6.26匁	①鉛玉③灰白		
25	銅製品古銭			外径2.4内径0.55厚0.05重2.6g		淳化元宝。銅製品。	
26	銅製品古銭			外径2.2内径0.7厚0.05重1.4g		寛永通宝。銅製品。	
27	石製品砥石		完形	長6.8幅3.2重32.6g	珪質粘板岩		